K-1大勝利！　石井館長、危険な賭けに勝つ！

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年9月13日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第3巻・17号・通算53号

SRS DX

Special Ring Side

No.53
2001
9・13
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

藤田惨敗
頭蓋骨むき出しで
39秒TKO負け!!

猪木軍血の掟

殺るか殺られるか！

K-1と究極の潰し合いへ!!

K-1 JAPANシリーズ
JAPAN GP決勝戦
K-1 ANDY MEMORIAL 2001
～アンディメモリアル～

8.19★さいたまスーパーアリーナ大会速報号

K-1ジャパンGP、極真のニコラス・ペタス優勝！

SRS DX 9.13 No.53

発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445

俺はリングに上がると
いつもぶっ倒したくなるんだ。君も俺様のチームに
入って一緒に闘わないか!!

ジェロム・レ・バンナ

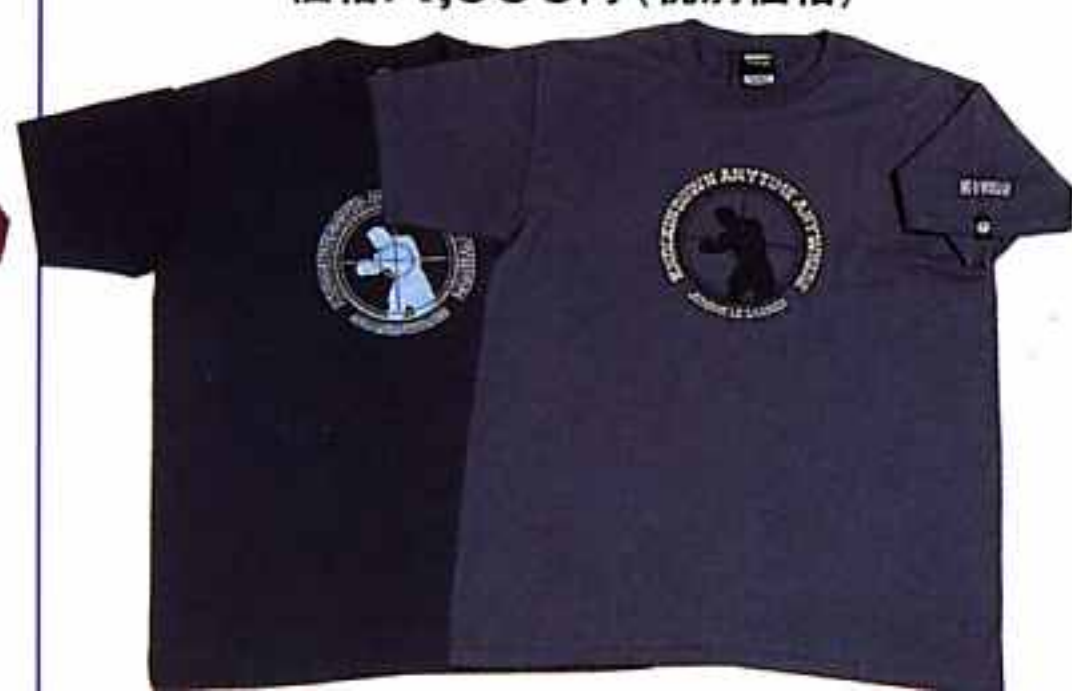
K-1OFFICIAL GOODS

アビディROCK Tシャツ
カラー:サックス/ブラック　サイズ:M・L
価格:4,000円(税別価格)

マイクROCK Tシャツ
カラー:レッド/ホワイト　サイズ:M・L
価格:4,000円(税別価格)

ジェロムROCK Tシャツ
カラー:バーガンディ/エスプレッソ　サイズ:M・L
価格:4,000円(税別価格)

ジェロムTARGET Tシャツ
カラー:チャコール/ブラックサイズ:M・L
価格:4,000円(税別価格)

OFFICIAL GOODS K-1

K-1 Apparel Line up

商品に関してはK-1ホームページのオフィシャルショップ・大会会場・通信販売にて
K-1オフィシャルホームページ http://www.k-1.co.jp

Supporter

通信販売のご注文方法

・電話注文のみのご注文となります

☎03-3204-4410（東京）
☎06-6358-4363（大阪）
（株）BEGINスポーツ

・商品お渡し方法
代金引換でのお受け取りとなりますので、ご注意ください。
（ご家族がいらっしゃる場合は、その旨お伝えください）

・注意事項
◉商品代金のほかに送料500円、代引手数料360円がかかります。
◉現金書留での受付はいたしません。
※当社は可能な限り、消費税はいただきません!!
※お問い合わせは、（有）M・D・K ☎03-3796-2993まで。

上段左から、チーム・ピーター、チーム・マイク、チーム・タケル　中段左から、チーム・マイク、チーム・ミルコ、チーム・アビディ　下段左から、チーム・イグナショフ、チーム・アビディ

FAIR PLAY please!

アスリーターを愛する　すべての人たちのために…

たった3週間のVT特訓で
ミルコ・クロコップ大勝利

ざまあみろ、猪木軍団!!

写真◎真崎貴夫
中島ミノル（望遠）

開戦! K-1 VS 猪木軍

8.19★さいたまスーパーアリーナ

まさか、まさかのミルコ・クロコップの大勝利！　まるでK―1の試合を見ているような大どんでん返し。今年一番の大事件だ

藤田、大流血のTKO敗
本物の打撃をナメるな！

K—1戦士、遂に「禁断の実(VT)」を囓る！

▲試合前のミルコは、初めてのバーリ・トゥードの試合ということもあり、見ていて気の毒なくらいナーバスになっていた

猪木の異種格闘技戦が甦る！

▲赤い闘魂タオルを巻いて入場する藤田。まるで猪木の異種格闘技戦が甦ったかのようだ

恐るべき反射神経、藤田のタックルを切った

▲ゴングが鳴るとミルコは嘘のように冷静にあの藤田のタックルを2度切った。恐るべき身体能力！　恐るべき、反射神経！

▶会場となったさいたまスーパーアリーナには、18200人の観客が集まった

▶リングサイドには、札幌ドームでゲーリー・グッドリッジに敗れた中西学の姿も

▲ミルコのこの日は体重は98キロ。一方の藤田は113キロもあり、体重差は10キロ以上。何から何までミルコがハンディを背負っていた

《猪木軍団対K-1軍団・公式ルール》

【試合形式】
3分3R制、ラウンド間のインターバルは90秒。3Rで決着がつかない場合、延長戦とし最大延長は2Rまでとする。
それでも決着がつかない場合は引き分け。

【勝敗】
TKO、ギブアップで決着。ダウン時の10カウントKOは無。
偶発性の事故で試合続行不可能の場合、無効試合となる。

【禁止事項】
ジャッジ無しのため、反則は罰金。
噛み付き、頭突き、目潰し、金的、頭髪を掴む、頭部・顔面へのヒジ打ち。
後頭部・延髄・脊髄への打撃攻撃。
両者グラウンド状態での頭部・顔面へのヒザ蹴り。
4点ポジションの相手への頭部・顔面への足による打撃攻撃、等。

【ブレイクが行われる場合】
・双方の選手がリングから落ちそうになった場合。
・両者がスタンディングポジションで膠着状態が続いた場合。
・猪木アリ状態で膠着が続いた場合。
・両者グラウンド状態において膠着及び消極的な状態が続いた場合。
・コーナー、ロープ際での消極的な攻撃、膠着状態が続いた場合は、ドントムーブではなく、ブレイクとなる。
※以上、ブレイクが命じられた場合、全て、スタンド状態になりリング中央から再開される。

「石井館長、そんなこと軽はずみに発言して、後に引けなくなったら、K—1は潰れてしまいますよ」

当初、「猪木軍団VSK—1軍団」の全面対抗戦話が持ち上がった時、私でさえ石井館長にそう言って反対していた。

しかし、石井館長は譲らなかった。「僕は本気です。今のK—1にはそういう刺激が必要なんです。大丈夫ですよ。アンディ・スピリットじゃないけど、勝つまでやりますから」。

そうか、やるならばもう、とことんやれ！　できれば、私の世代の感覚で言うと、猪木VSウィリー戦や、猪木VSアリ戦のような緊張感あふれる他流試合の大一番にまで、この対抗戦が大きくなっていくことを願うばかりだ。中途半端にごまかしの対抗戦をやってもまったく意味がないからである。

マスコミ各社はこぞってこの対抗戦を大々的に報じた。もちろん、K—1は今やメジャースポーツだし、「猪木軍団」という名前もプロレスファンというマニアックな世界では、プロレス最大のブランド力を誇っている。これほどのブランド同士が激突するからには、マスコミも大きく扱うのは当然のことだった。

しかし、そのリアリティが記者やファンにどれほど届いているかというと、私はマスコミの一人として疑問が残った。この対抗戦のポイントは、両者がどれほどの本気度を見せられるかに全てがかかっていると言っても過言ではない。

その点において、猪木軍団はなんら問題はなかった。いち早く反応した藤田はバリバリの本気だったし、ルールについても「競技会

藤田の低空タックルにミルコが見事にヒザを合わせた。「偶然じゃない。最初から狙っていたんだ」とミルコ。それにしても、達人のような見事さだ

IWGP王者のタックルを砕いた これがK―1のヒザ蹴りだっ！

たし、ルールについても「競技会じゃないんで。これは喧嘩なんでなんでも有りでいいんじゃないですか」と自信満々。考えてみれば藤田は、バーリ・トゥードに近いルールになれば勝って当たり前の試合。引き分けでも負けだと評価を下されるリスクがある。それでもなおK―1と闘おうとするのは、K―1というメジャーと交わることで世間を騒がせてやろうという猪木イズムに他ならない。

かつて、猪木はそういう精神で異種格闘技戦を繰り広げてきた。しかも、猪木軍団は『プライド』の門番ゲーリー・グッドリッジや今が旬の安田忠夫まで投入する力の入れよう。これが、マスコミの気持ちをかき立てた理由だろう。

しかし、一方のK―1軍団は正直に言えば、石井館長は四面楚歌に立たされていた。周囲の関係者はほとんど反対。K―1ファンの中にも「なんでそんなことをする必要があるのか」という意見も多かった。さらに、バーリ・トゥードをやってもいいというファイターがなかなか出て来ない。石井館長しか、今のK―1に危機感を持っている人がいないのだ。

結果、K―1軍団はベスト8ファイターのミルコ・クロコップをやっとの思いで口説き落とし、ヤン・ザ・ジャイアント・ノルキヤとエンセン井上や桜庭和志との総合経験があるレネ・ローゼをなんとか投入したに過ぎなかった。石井館長の本気の思いが、思ったほど伝わっていないように感じられたのは、そのためである。

きっとプロレスファンの多くは、これはさいたまスーパーアリーナ

どうした藤田？ 突然の大流血 大どんでん返しだ！

▲（1〜7）ヒザ蹴りを食いながらも藤田は根性でタックル。ミルコはガードポジションを取ろうとしたが、藤田はすぐにサイドを取ることに成功！　しかし、藤田の左目の上から急におびただしい鮮血が。ミルコの体が真っ赤に染め上がり、ドクターストップとなった

★K-1VS猪木軍・第3試合（3分3R）
○ミルコ・クロコップ（1R0分39秒、TKO勝ち）藤田和之●
〈クロアチア/クロ・コップスクワッドジム〉　〈日本/猪木事務所〉
※ドクターストップ。藤田が左コメカミから出血したため

©Essei Hara

でやるための、単なる話題作りにしか見えなかっただろう。プロレスファンにとっては、K—1とは、アーネスト・ホースト、ピーター・アーツ、ジェロム・レ・バンナ、マイク・ベルナルドの四天王しか眼中になく、ミルコさえよく知らない状況。まして、猪木軍団のメンバーを見れば、藤田らが軽くひねるところを見に行く程度の感覚。藤田VSバンナなら大一番という感じもするが、藤田がミルコなんかに総合ルールで負けるはずがないというのが本音だろう。

もっと言えば、この対抗戦話が進んでいく中で、K—1側がなんとかルールで有利に持ち込み、お茶を濁すんじゃないのか。あるいは、ルールが不利なことを理由になんらかの言い訳をするんじゃないかと、うがった目で見ていた人がほとんどだった。プロレスの試合だと思っている人さえ、けっこう周りにはたくさんいたほどだ。

ハッキリ言って、石井館長にとっては、未来を左右する大きな賭けだった。メジャーがあえてマニアックな世界に挑んでいくといっても、甘えは通用しない。自分たちはできるだけのリスクを背負い、負けてもそこに一点の意地を見せられるか。そこまで追い詰められていたような気がする。

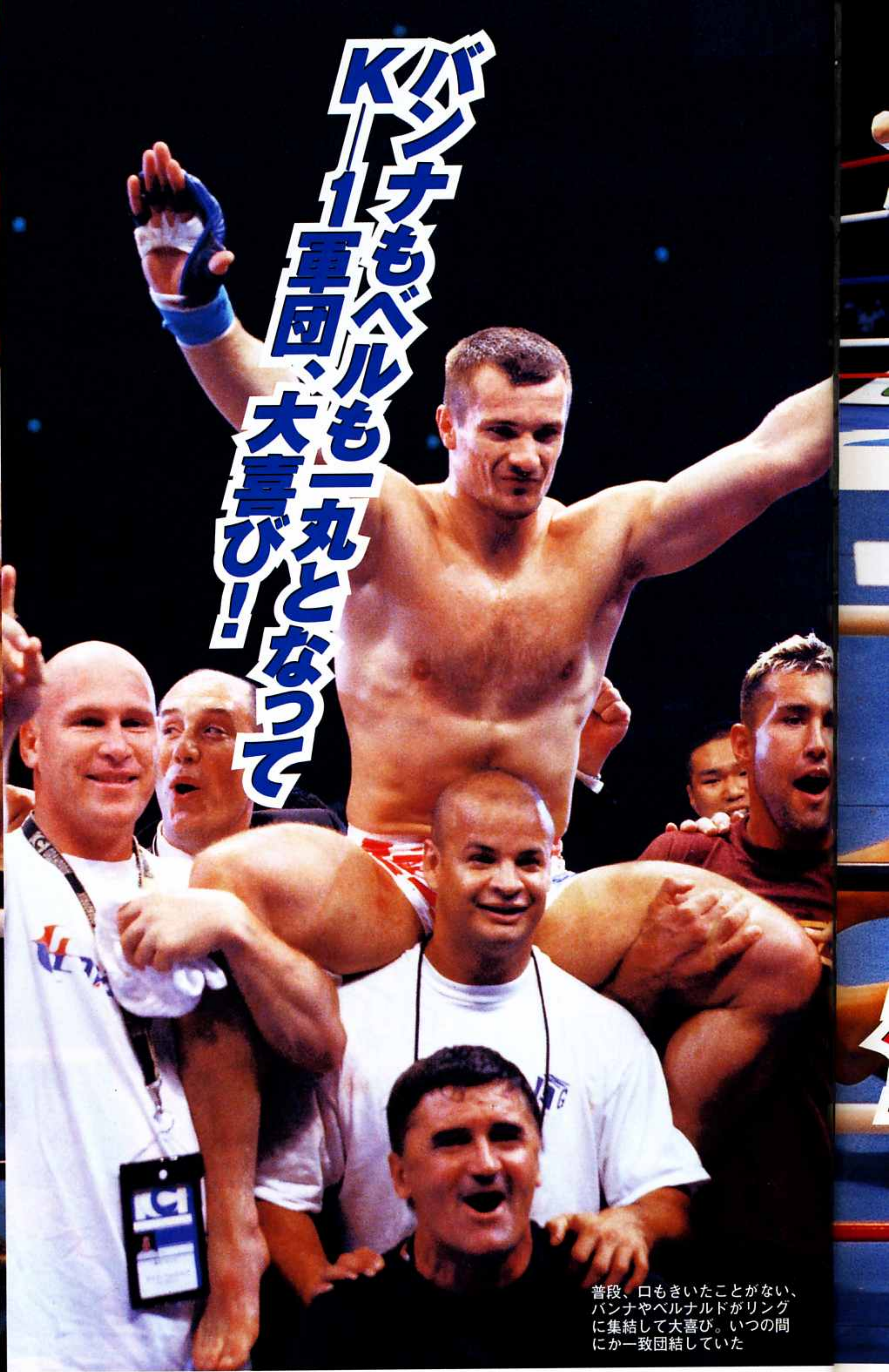
ところが、その賭けになんと勝った！　歴史的開戦日をタカをくくって見に行ったファンは、度肝を抜かれるような衝撃的な結末を目の当たりにすることになったのだ。

「これって、K—1の強い人なの？」と思ってたファンも多かっただろうが、実は石井館長は緻密な計算で勝ちにいっていた。しか

開戦！ K-1 VS 猪木軍
8.19★さいたまスーパーアリーナ

バンナもベルナルドも一丸となって K—1軍団、大喜び！

このままでは終われない！ 史上最高の軍団抗争、勃発！

藤田のまさかの敗北で、「猪木軍団VSK—1軍団」は史上最高の軍団抗争へ
©Essei Hara

普段、口もきいたことがない、バンナやベルナルドがリングに集結して大喜び。いつの間にか一致団結していた

も、リングサイドにバンナやベルナルドを集め、彼らをその気にさせる作戦にも出ていたのだ。

その雰囲気をガラリと変えてくれたのが安田VSローゼ戦。ローゼの殺気、喧嘩っぷりも良かったが、この雰囲気を作ったのは、安田の頑張りとやられっぷりだった。

K—1という本物の打撃のスペシャリストが相手となると、無名のローゼといえども、かくも緊張感あふれる試合になるのか。この興奮は、『プライド』とも違う。この一戦で、「猪木軍団VSK—1」は途端に本気度が伝わってきたような気がする。

天国にいるアンディのパワーが伝わってきたのか、こうなると俄然K—1のほうに〝運気〟が増してきた。2番手のヤン・ザ・ジャイアント・ノルキヤも敗れたとはいえ、決して悪くない試合。そして、大将戦の藤田VSミルコ戦は、K—1の土俵らしく、信じられない大どんでん返しが起こった。

まさか、藤田が負けるとは思っていなかった。ミルコが勝てる確率は1％くらいと思っていた。その1％の勝利が、ミルコに舞い込んできたのだ。

ミルコが総合の練習を始めたのは、わずか3週間前。本職が警察官ということで、総合向きに思われるが、それまでまったく寝技の練習はしたこともなかった。

そのため、ミルコは見ていて気の毒なくらいナーバスになりながら、それでもロスにあるマルコ・ジャラの柔術道場でひたむきにトレーニングをしていた。さすが身体能力が抜群なために、なんとかサマになっているように見えたが、

「まだ闘いは終わっていない」。
石井館長は笑顔を見せなかった
©Essei Hara

今日分かったことは、石井館長はやっぱり本気だったことだ！

医務室からタオルをスッポリかぶって出てきた藤田。さあ、これからの藤田も面白い！

石井館長・試合後の挨拶

「（騒然とする場内に向かって）えーっ、みなさんっ！　僕たちはこれで勝ったと思ってませんっ！　今度は！　今日は猪木軍がK—1に来ましたけど、今度は僕らが猪木軍に出向いて行って、完全に決着をつけますっ！　納得してくださいっ！　今日はたまたま運が良かっただけです。以上、ありがとうございましたあっ！」

© Essei Hara

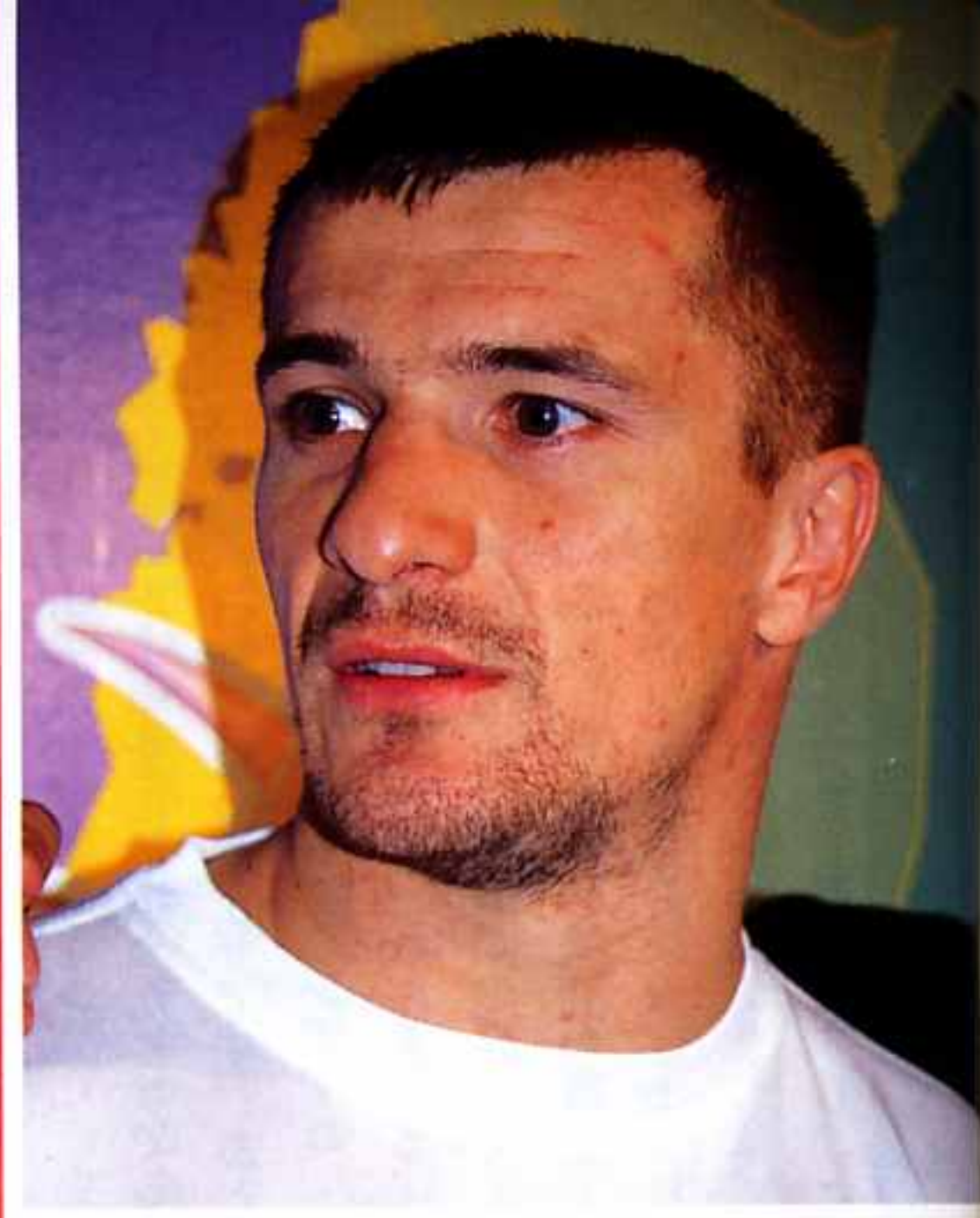
それでも本番では間違いなく何もできないだろうと思っていたのだ。

しかし、いざ本番になると、ミルコは冷静に藤田のタックルをサイドステップでかわし、そして正面からタックルに来るところを見事にカウンターのヒザ蹴りを合わせてみせた。これで左のコメカミの周りから藤田が大流血！　たった39秒で、あの恐竜のように強かった藤田がドクターストップを宣告されたのだ。

信じられないほどの衝撃！　K—1がまさかの大勝利。ナメて見に来たファンさえも、「K—1という本物の打撃系の人間がバーリ・トゥードをやれば、かくも恐ろしいものになるのか」という強烈なインパクトを残す最高の結末となった。

試合後、リング上に上がった石井館長には、ブーイングも飛んだ。プロレスファンにとって、これでK—1は最強の外敵になったし、同時に石井館長の本気度が十分伝わった開戦日となった。

もちろん、これでは藤田や安田も引き下がれない。思いもかけない敗戦で、小川直也ら猪木軍団も黙っちゃいられないだろう。そしてまた、ミルコの勝利を見て、バンナやベルナルドらK—1ファイターに火が付いたのも間違いない。

これはどえらいことになった。「猪木軍団VSK—1」は史上最高の対抗戦となって、今後、空前のスケールで展開されるのは決定的。K—1ファンの反対派はどう思ったのか？　そして、プロレスファンよ、K—1側の「ざまあみろ、猪木軍団！」という心の声を聞いて、これから本気になって燃えてみろ！　（谷川）

ミルコの試合後のコメント

あのキックは偶然じゃない もちろん、狙っていた!!

——まずは試合の感想からお願いします。

ミルコ　すごく嬉しい。K—1の代表に選ばれて、K—1の看板を守れたことがとても嬉しいよ。

——今回、ルールがK—1ルールと違うんで試合前にナーバスになってたと思うんですが……。

ミルコ　それはないよ。新しいルールに集中しようと思ってたから。正直に言って試合には勝つと思ってた。ここにいるマルコ・ジャラトレーナーから、どういうふうにしてフジタのタックルを切るかっていうトレーニングを、集中的に受けてきた。だから試合には自信があった。

——相手のタックルにカウンターで合わせる練習はかなり積んだんですか？

ミルコ　もちろん！　今日やったカウンターからのヒザ蹴りのトレーニングをかなり練習したよ。それが勝機につながると信じてた。ロスでの3週間のトレーニングで、彼にみっちり叩き込まれたからね。

——藤田選手の動きはよく見えましたか？

ミルコ　うん。はっきり見えたよ。ただ、フジタのタックルは非常に速かったね。ロスでミドル級クラスを相手にタックルを切る練習をしてたけど、その選手達よりもあの体重でフジタのほうが速かった。ま、それよりもボクのキックのほうが速いけどね。

——ある意味、K—1を越えた試合に勝ったわけですが、これから自分の闘うスタイルとして、どういう方向に進んでいきたいですか？

ミルコ　とりあえず今は、この勝利を味わいたい。先のことはそれから考えるよ。

——石井館長が10月の福岡でのトーナメントにミルコ選手を推薦すると言ってたんですが……。

ミルコ　まだ何も聞いてないよ。自分はファイターなので、(試合が組まれて)闘うと決まったら闘うさ。

——試合後、ベルナルド選手とバンナ選手がかなり喜んでましたね。リング上で2人とはどんな言葉を交わされたんですか？

ミルコ　「コングラッチュエイション」と。

——今後、またこういう形式の闘いもしてみたいですか？　それともK—1に専念したいですか？

ミルコ　とにかく今はこの勝利をじっくり味わいたい。それだけです。あとそれとは別に、憤慨してることがあって……。雑誌だか何かに、今回、私が日本に(試合よりも)ハネムーンに来てると書いてあった。ボクはこの3週間、毎日5時間ハードなトレーニングをしてきたし、こういった大切な役目をいただいてふざけて日本に来てるわけではない。大役を果たすためにやって来たんだ。もちろん今回日本には婚約者と一緒に来たけど、それは今までの自分の努力を彼女に見せたいという気持ちと、ついこの前が付き合ってから6カ月の記念日だったので、日本に呼んだんだよ。

——フィアンセは今日の結末に対して何か言ってましたか？

ミルコ　ボクがこういう試合に出ることを、彼女は不愉快に思ってたらしい。彼女がボクの試合を見るのも初めてだったし、怖い部分もあったんじゃないかな。だけど、試合が終わってボクが勝ったら、泣いて喜んでくれたよ。

——普通、タックルに対してヒザを合わせるというのは「偶然でしか当たらない」というふうに柔術関係の人は言うんですけど、他の柔術家と違って「これしかない！」と思ってこの作戦を立てたんですか？

ミルコ　フジタが同じようにタックルに2回入って来たので、3度目にキチッと当てようとして当てた。「100％当たる」と思って、狙ってカウンターで蹴ったらそのとおりに当たった。偶然なんかじゃないよ！

——藤田選手について、タックルが速いという印象以外に何かありましたか？

ミルコ　ちょっと分からない。試合時間が短かったので……。

——試合が止まって藤田選手が流血してる間に、手を水平にしながら何かリング上でおっしゃってました。あれはなんとおっしゃってたんですか？

ミルコ　状況としては、キックを加えた後に掴まれた時、フジタに力がなくなってるのを感じた。彼は半分意識がなくなってたんじゃないかな。それから血が大量に出てきた。キズを見たら、とてもじゃないけど試合は続けられないなと思った。フジタが立ってるのが不思議なくらいだったよ。「これ以上はムリ。続けたらホント、危険なことになるよ」と言ってたと思う。試合前、フジタのいろんな過去の試合を見て研究をしてきた。彼はとてもいい選手だし、ケガがひどくないことを祈ってるよ。ボクの責任として、フジタのキズが治って、またボクと試合をやりたいんだったら、リマッチは受けたいと思う。

マルコ・ジャラトレーナーのコメント

6カ月あれば、誰もミルコに勝てなくなる！

まず作戦としてフジタのタックルを切りながら、様子を見ていけと。それでミルコに自信があれば、ヒザを出すということだった。フジタはタフでいい選手だけど、テクニカルファイターではない。万一ヒザをかわされてグラウンドになっても、ミルコが彼にチョークスリーパーで勝つという自信はあった。ミルコは非常に才能がある選手。このトレーニングを6カ月したら、彼に勝てる選手はいなくなると思うよ。

K—1広報のコメント

藤田のケガの状況について『K—1』広報 石井俊治氏のコメント

キズの状況ですが、骨膜近くまで深く達する断裂です。Yの字に切れていて、どちらかというと中の筋肉の組織が裂けたという切れ方になってます。内側の筋肉層が5針。外の皮膜および筋肉が8針。合計13針です。本人のキズはその部分だけで、あとは全然元気です。

大会終了後の石井館長のコメントを、ほぼ全文掲載

▶大会前の挨拶で、故アンディ・フグに対し「私たちは彼のことを永遠に忘れません」と話した後、「K―1は本日をもって、新たな一歩を踏み出します。それは地上最強のK―1です」とコメントした石井館長

猪木さん、次の指令を待ってます！

構成◎"Show"大谷泰顕

石井　最後の挨拶、良かったでしょう？

――場内はちょっと混乱してましたね。

石井　いや、応援とか、「もっとやらせろ」とか、K―1の人たちは喜んでるし（笑）。マイクを持っても静まらないからさ。こんな興奮したのは初めてだよ。

――よくあれで収まりましたよね。

石井　だから言ったじゃない。「今度は俺らが乗り込んで行く」って。でもあれ、（ミルコの）ヒザ蹴りが当たって切れたんだよね。一発でしたよね。

――凄い感じで切れてましたよね。

石井　思ったとおりの展開だなあと思って。

――あれって、狙ってたんですか？

石井　ミルコはあれしか練習してないですね。ホントに何度も何度も練習からヒザが入ってた。

――完全に、狙ったヒザでした？

石井　狙ったヒザです。あと、もうちょっと続けたらダウンですね。

――最初にタックルを切る、間合いっていうのも、3週間の練習で？

石井　うん。3週間の練習でね。ミルコはホントにあの練習ばっかりしてましたから。パンチっていうのは、彼の意識にはなかったと思いますし。というのは藤田のタックルというのはパンチが打てないんですよ。低いタックル。パンチを打ったら胴が開くんで、必ずタックルを食うから。ヒザ蹴りしか意識してなかった。で、（コーチの）マルコもミルコのヒザで血だらけになってましたから。また、運良く。運良く入った。

――館長、今までで一番汗をかいたんですか？

石井　そう。僕らが行きますよ、今度は。こんなに汗をかいたのは久し振りですよ（笑）。

――どうなんですか、今回はK―1勢の優勢という感じでしたけど。

石井　ねえ？　何もやってませんからね。これから総合の練習をしていくっていうところで。K―1ファイターたちが勇気を持ってね。

――今日を終えたことで、また見えてきたことってあります？

石井　いや、僕はね、男は負けと分かってても、闘わなきゃいけないことだってあるんですよ。それが、今回のミルコだって、僕は思うんですよ。普段、正直言ってミルコはヒザ蹴りを当てる練習しかしてなかったと思うし。藤田のタックルが凄く低いんで。そこにヒザを合わすっていうね。ま、その練習での力が出たんじゃないですかね。だから短い時間の中にも、凄さが出たんじゃないかな。ホントにキズの状態も凄くて、縫うのも大変な状態だったんで、あのまま血を流したまんま、続けることは不可能ですよね。ファイターは首の骨が折れても、首を切られても「闘う」って言いますからね。それがファイターですよ。

――ミルコにはなんと声を掛けますか？

石井　ホントに頑張ったんじゃないですかね。ただ、あんまりあそこで僕自身が喜びを露にできなかったんで。

――K―1全体に刺激を与えるために、この闘いを始めたわけですよね。

石井　僕、刺激になったと思うんですけどね。ジャパン勢もそうだし、他のK―1ファイターもそうだし。

――ミルコ以上に、バンナが喜んでましたね（笑）。

石井　バンナなんて、そのままリングの上で闘いそうでしたもんね（笑）。

――ええ（笑）。これから猪木軍の逆襲がありそうですね。

石井　そうですね、ええ。こういう展開になるとは思ってなかったんで、負けたら「もう一丁っ！」て言って、負けるつもりで、そこにたとえ1％でも2％でも確率があるなら、闘って。ホントの1％でも2％でも、今日はハマッたね。3分3ラウンドで、それにプラス延長2回の計5ラウンドだし、まあ、絶対に完全決着になるな、とは思ってましたし。ただ、その間にうまくミルコがK―1の意地を見せられるかな、と思ってたし。まあ、勝つとしたら、開始早々のヒザしかないかなって。

――藤田選手は大丈夫ですかね。

石井　今聞いたら、パックリと割れて、骨が見えてるみたいですね。

――ああ……。

石井　藤田は「納得がいかない」って言ってますよ。

――次の対戦は年を越しますか？

石井　年は……、ちょっと分からないですね。年末に合わせて、という状況ですよね。藤田だって、これでK―1の怖さが分かっただろうし。

――今回は3対3でしたけど、次回はもっと試合数を増やすとか、その辺は？

石井　K―1のイベントの中に、こういう形でやるのは最後ですよね。これからは猪木さんたちがやるイベント、それから『プライド』に、僕らが上がって行く形にしないと。K―1はK―1で、ひとつの競技なんで、K―1の中にこういうミックスでやっていくと、K―1のファンがとまどうだろうし。

――ルールはどうでしたか？　このルールがベスト？

男は負けと分かってても、闘わなきゃいけないことだってあるんです！

石井 いやぁ。分からないですね。ただ、体重差があったんで、5分はキツいなと。だから3分。まあ、あとは旧『プライド』ルールですからね。あとは、膠着状態が長いと面白くないんで、早め早めに立たすと。最初はそのくらいで、僕たちにも何回か打撃を使えるチャンスはあるという。やっぱし決まってから3週間の練習では、何があるのか分からないでしょうし。最低半年あると、グラウンドにも対応できるだろうし。面白いんじゃないですか？

――ブレイクが速すぎる、というのは猪木軍のほうからクレームはついてたんですか？

石井 そうですねぇ……。その辺は自分の判断じゃなくて、レフェリーの判断なんで。その辺はまったくノータッチ。彼（島田）は『プライド』ルールを裁いてるし。ただ、ずっと膠着状態で、スタミナを消耗する、っていうのは「ドント・ムーブ」じゃなくて、どんどん立たして。寝たら瞬時に極めると、グッドリッジみたいに。で、立ったら打撃でいくと。寝たら遊ばないで、選手は極めにいかないと。寝て遊ぼうとする選手が出てくるんで、そういうことは試合が面白くなくなるんで。猪木さんがそういう提案（ブレイクが速い）をしていくなら、僕はそういう提案をしていこうと思ってますけど。

――今回は5分でしたけど。

石井 時間は今回は3分でしたけど。選手が慣れてきたら5分でもいいんですけど、選手にしても慣れる時間が欲しいじゃないですか。ホントにまったく、全然違いますからね、寝技は。その代わり、寝技は無制限にしてますんで。無制限にする代わりに、膠着状態では早めに立たす。

――館長、今回の結果はプロレス界というか、マット界にとって凄くショックだと思うし、凄くマット界に波紋は広がっていくと思うんですけど、その辺りはどう考えますか？

石井 いやぁ、波紋はどんどん投げたいですよね。やっぱり今の格闘技界の人気というのは、やっぱし、どんどん波紋を投げかけていき続けたいし、また波紋を投げかけていき続けなかったら、格闘技界って良くならないと思うんですよ。やっぱり僕は「点」でこれを終わらせるつもりはないし。僕自身はこれで勝ち逃げするつもりもないし、勝ったつもりもないし。僕らは練習して、「地上最強のカラテ、K―1」を目指しますからね（キッパリ）。「ホントにK―1って強いんだ」って言われるものを目指したいですから。だから何度も言うようですけど、僕らは1％2％の可能性に賭けたっていう、今回はそれでいいんじゃないかと。今度は猪木さんが用意してくれたリングがあれば、今度は僕たちがそのリングに上がっていこうと。

――ミルコの福岡大会（10月8日、福岡マリンメッセ）出場は決定ですか？

石井 決定ですね。

――やっぱりこれ（藤田戦の勝利）のご褒美という形ですか？

石井 ご褒美というよりも、今までの実績があるんで、ご褒美自体というよりも、今までの実績重視ですね。

――これを加味した。

石井 そうですね、加味した。過去にミルコはピーターにもジェロムにも勝ってますからね。ミルコは今回の藤田に挑戦というのも、大きな財産になると思いますけどね。K―1GPに向けて。あれだけの緊張の中で、自分の持ち味を出したっていうことは、K―1GPにもつながったろうし。こうなったらミルコが優勝して、K―1GPのチャンピオンになってほしいし。

――次に猪木軍から、この選手に出てきてほしい、という選手はいますか？

石井 いや、それは僕らが決めることじゃなくて……。ホントにIWGPの王者である藤田選手が、今回勇気を持ってK―1のリングに上がってくれたことに対して、ホントに猪木さんをはじめ、敬意を払ってるんで。それは安田選手にしてもそうだし。短い期間にも関わらず、出てきてくれたっていうのは、プロ魂を見たし。勝ち様っていうか、負け様っていうか、それを見たし。負けてもK―1ジャパンの武蔵とか、いい試合してたじゃないですか。僕らはお客さんの声を反映させるような試合をした選手にはエールを送りたいと思うし。

――ミルコの立場はK―1を越えた、格闘技界の主役の座に立つわけですか？

石井 それは、だから僕が決めることじゃなくて、ファンの人たち、マスコミの人たちが決めることなんで。

――例えば、他からオファーがあった時っていうのは、ミルコは出ていきますか？

石井 もちろん出しますよ。『プライド』のリングでも、新日本……、どこでも。ただ、とりあえず10月の敗者復活戦がありますんで、それに賭けて。ホントに勝つ、勝てるとは思ってなかったんで。ただ、100―0とは思っていなかったですよ、もちろんね。チャンスは最初の1分しかないなと。僕ならそこに賭けるしかないなと。

――ジャパンGPのほうも盛り上がりましたね。

石井 （ニコラスの優勝に）感動したし、武蔵も簡単に3連覇できるもんじゃないなと。あのブロックを選んだのも武蔵自身だし。あそこで大石のブロックに行った時に「あっ」と思ったし。大石みたいにしつこいタイプなんで、その大石と3ラウンドフルに闘ってね。その辺の部分からのスタートで、自信はあったんでしょうけど、その自信が過信につながったと。そういうことじゃないですか？ あと、追い込む練習をこれからしていかないと。1発、2発目のパンチはかわせますけど、3発目、4発目のパンチは必ず入ってますから。だからパンチの連打を避ける練習、ローをもらう練習、そしてパンチの連打を打つ練習、それをやってほしいですね。

――なるほど、なるほど。

石井 だから、やっぱし反対が多かったんですよ。もちろんK―1の選手、そしてテレビ局、関係者みんな反対で、ホント四面楚歌で、僕だけがその反対を押し切ってやってきた。だから僕自身も追い込まれてた。でも、それでもやらなくちゃいけないことがあるんですよ、男には。べつに僕ら、こういう結果になるってことは分かってなかったですからね。これが圧倒的に負けようが、何しようが、僕の中では腹を決めてましたから。そうじゃなきゃ、こんなリスクを負って、みんなが反対する中、できないですよ。記者の皆さんもホントに無理やりだ、という部分があったと思うんですよ。運が良かったけど、僕自身、運だけで生きてる男なんで（笑）。ということで、ありがとうございましたっ！

――はい、ありがとうございました。

石井 猪木さんに「次の指令を待ってます」って（笑）。以上です。■

今回は脇役に徹したバンナだったが、
次の主役はバンナに間違いない！

“毒舌大王”バンナを直撃！

今度はフジタ、まずお前がK—1ルールに挑戦してみろ！

今回の対抗戦3試合のうち、K—1軍の2勝に、最も喜びを露にしていたのがジェロム・レ・バンナだった。バンナといえば、藤田との対戦が噂されたことで注目を浴びているが、それに加え、その止まることを知らない毒舌で、グッドリッジやコールマンにも目を付けられている人物。そんなバンナに大会終了後、話を聞いた——。

聞き手◎“Show”大谷泰顕

——あのー、バンナさん。率直に言って、今日の「K—1VS猪木軍」はどう思いました？

バンナ 俺から言いたいことはたいしてないよ。K—1はパンチとかキックがうまいし、『プライド』とかのバーリ・トゥードはグラウンドで闘えば強いから。

——でも、その闘いの結果を見て、一番大喜びしてたのがバンナさんだったじゃないですか。

バンナ それは当たり前だよ。俺はK—1ファイターなんだからさ。やっぱりミルコは今日の大会の中では大将を務めたわけだから、そのミルコが勝ったら、喜ぶのは当たり前さ。

——バンナさんは自分がK—1のトップであるという自覚はないんですか？

バンナ いや、そういうことは、自分で考えないことさ。K—1はスポーツとして、凄くプレッシャーが強い闘いだから、俺は決してそういうことは考えない。

——例えば、今日はグッドリッジがノルキヤに勝ったんですけど、試合後にグッドリッジが「今度はバンナと闘いたい」と言ってたんですよ。

バンナ いつでもいいぜ。かかって来いって！ ただな、俺もグラウンドでモンキーごっこができるように、その練習をしなきゃならないのか？

——そ、それはどうなんでしょう？

バンナ もしそうなら、その練習をしてから闘いたいな。

——じゃあ、最近はよく藤田選手との対戦がマスコミ各紙（誌）で書かれてるんですけど、それに関してはどう思ってますか？

バンナ その前に言っておくと、俺はK—1ファイターだし、K—1のファンが好きだし、何があってもK—1を応援する。それは変わらない。ただ、もちろんフジタと試合することになれば、それは闘うよ。フジタは強いファイターだと思うし、闘えることは楽しみだよ。でもな。

——はい。

バンナ そんなにフジタが「バンナと闘いたい」と言うなら、なぜ彼はK—1ルールで闘ってみないんだ？

——いや、それはちょっと……。じゃあ、今日の「K—1VS猪木軍」のルールに関

やっぱりK―1がナンバーワンなのさ！

してはどう思いました？

バンナ　まあ、バーリ・トゥードの試合にはグラウンドで使う技が使えるように、そのためのルールがあるんだろうけど、一般大衆はKOとか、そういったものが見たいと思ってるんじゃないのか？　そう考えると、あの闘いはつまらないものだと思うぜ。

――つまりませんか……。あのー、今日はたまたま3分3ラウンドの延長2ラウンドというルールで、猪木軍サイドは「もう少し1ラウンドの試合時間を長くしてほしい。例えば10分とか」と言ってたんですけど、それに関してはどう思ってます？

バンナ　ちょっと待ってくれ。その前にその3分すらもたなかったじゃないか。そのくせに、そんなことを要求するのはおかしいぜ。今日だって、フジタとヤスダの2人がケガしてたじゃないか。要は本当のパンチとキックの恐ろしさが分かってないんだよ。このまま行くと、本当に死人が出るぜ。でもな、それでもバーリ・トゥードはスポーツなんだろ？　だったらそういう範囲にまで行きたくはないし、俺だってそんな場面を見たいとは思わないぜ。しょせんバーリ・トゥードなんて、古代ローマ時代の闘い方じゃないか。もう21世紀なんだぜ。だからそんな闘いは超えようぜっ！　そんなことしてたら、終いには檻の中にライオンを入れて、人間と闘わせるなんてことになっちまうからな。やってみるかい、ライオンVS人間を？

――そういうバンナさんの発言は凄く毒舌というか、正直に言うと、楽しみでもあるんですけど（苦笑）。なぜそこまで言うんですか？　それだけ自信があるんですか？

バンナ　お前は『プライド』みたいなバーリ・トゥードを応援してるからそう思うんだろうな。だったら、それはしょうがないさ。そんなヤツとは、俺がバーリ・トゥードの闘いに出る時まで話したくはないな。

――そ、そんなこと言わないでくださいよ（苦笑）。

バンナ　まあ、俺だってメディアのために、少し大袈裟に言う部分もあるんだよ。

――なるほど、なるほど。

バンナ　向こう（猪木軍）もそれに対して何か言ったりしてきてるんだろ？　でもな、その前にパンチとキックを覚えてからそういうことは言えよな。パンチもキックもできないくせに、そこまで言うのはバカバカしいさ。そんなのは「ストリート・ファイター」とは言わない。インチキストリート・ファイターだよ。

――あららららら（苦笑）。例えば、K―1ファイターの中には、まったく猪木軍とは闘う意思を示さずに、純粋にK―1ルールの闘いだけをしたいと考えてるファイターもいますよね。

バンナ　そのほうが賢いと思うよ。当たり前の考え方だよ。なぜかと言えば、K―1は世界のどこでも見ることができるスポーツじゃないか。だけど、バーリ・トゥードなんてのは国によっては禁止されてるし、テレビにだって放送されないところもある。要は誰でも見られるものじゃないんだよ。そんな血だらけの闘いなんて、大きく宣伝して、子供にまで見せるものかよ。そんなことしてたら、マジで死人が出るぜ。まあ、そうなったら真剣に考えるんだろうけどな。それにマットの上で闘うのと、カーペットの上で闘うのと、コンクリートの上で闘うのは違うじゃないか。

――ということは、今のバンナさんの目標は、やっぱり12月のK―1GPで優勝することですか？

バンナ　そりゃあそうさ。お前だって見ただろ？　やっぱりK―1がナンバーワンなのさ。

――K―1がナンバーワンですか！

バンナ　そうだ！　今回はK―1ファイターがバーリ・トゥードの闘いに挑んでいったんだから、次回はバーリ・トゥードに出てるヤツらがK―1のルールに挑んでみろよ！　フジタ、まずお前がK―1のルールに挑戦してみろ！　12月に東京ドームで待ってるぜ！　まあ、そんな覚悟はないだろうけどな。まずミルコとK―1のルールで闘ってみろよ。きっと今日の結末なんて問題にならないくらい、痛めつけられると思うぜ。

――じゃあ、もしバンナさんがバーリ・トゥードに挑戦するとしたら、その前に12月の東京ドームで優勝してからですね。

バンナ　いや、もし本当にせっかく彼と闘うなら、彼の強さも体感したいからな。そのために、キチンとした準備をしたいからな。こう見えても、もの凄く真面目なんだぜ（笑）。

――いや、そんなことしなくても、十分強いと思うんですよ、今のバンナさんは。

バンナ　それは違うよ。もし闘うなら、完全に彼を潰したいからな。そのためのチャンスは渡したくないな。というより、そうしなかったら、彼に対して失礼じゃないか。

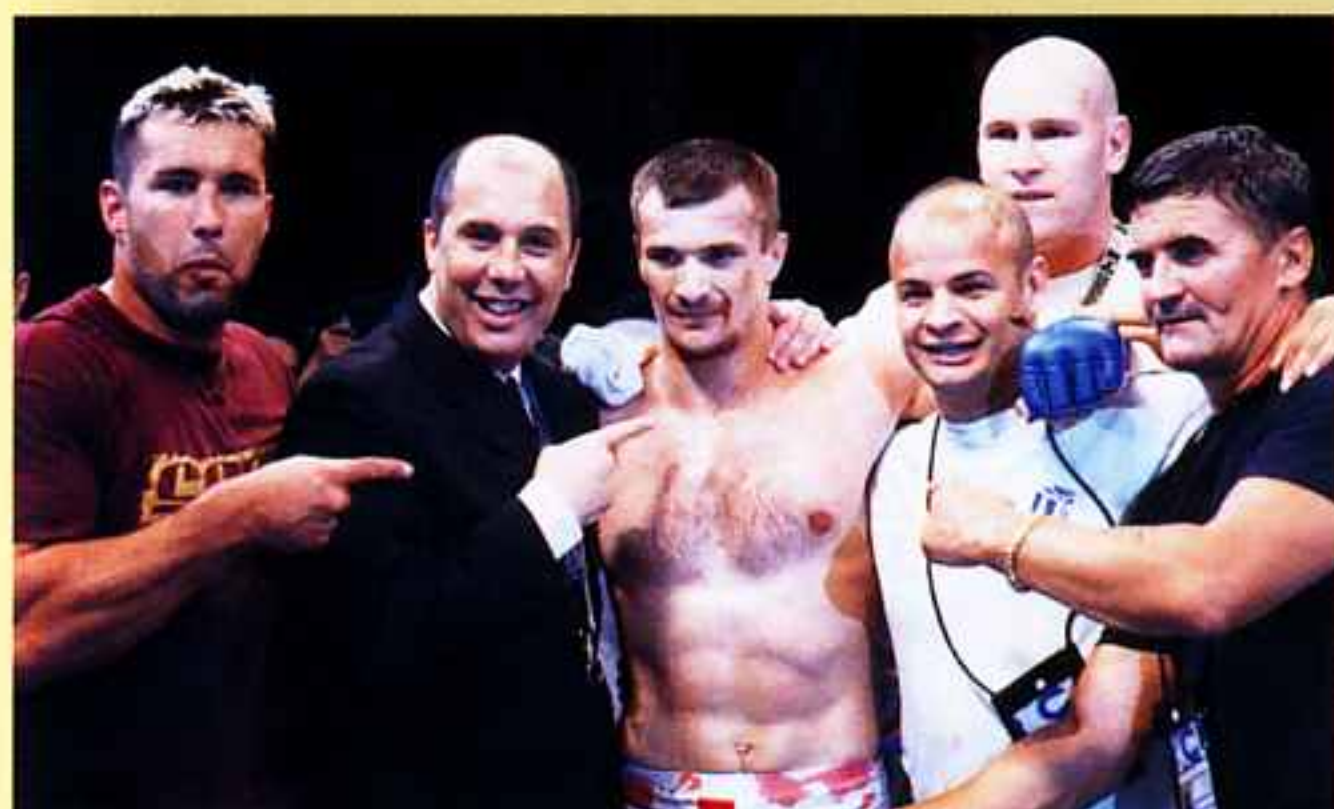
――凄いなあ……。

バンナ　だから、だんだんだんだん俺のことが嫌いになって、憎たらしくなって、俺にかかってくることを楽しみにして、情熱的な試合を見せたいよな。K―1ならそういう情熱的な闘いができるんだよ、いつでも。それなのに、あんなバーリ・トゥードなんてルールで、カラダのあちこちをケガして、血だらけになる闘いのどこがいいんだよ。ストリート・ファイトは毎日、世界の各地で行われてるじゃないか。そんなもの、メディアで宣伝できるわけがないよな。その点、K―1は違うだろ？　な？

――そうかそうかそうか。

バンナ　ただな、フォローするわけじゃないけど、俺は『プライド』に出ているようなバーリ・トゥードの選手はリスペクトしてるんだぜ。

――そうなんですか（笑）。

バンナ　ただな、リングに上がれば、まったく違うことになるけどな。■

▲こんな表情でミルコの勝利を祝福するバンナ（左端）。その毒舌ぶりで標的にされることも多く、猪木軍との闘いに進出するのも時間の問題。というよりも、このまま猪木軍が黙っているはずがない！

なんと、ベルも出陣宣言！

K―1チャンピオン、ボクシングチャンピオン、VTチャンピオンになるのが夢さ！

――今日行われた、K―1軍団VS猪木軍団の感想を聞かせてください。

ベルナルド　試合の結果には凄くビックリしたんだけど、お互いにまだルールとかに慣れていないから、時間も足りなくて大変だったと思うよ。実際にヤンもやれる範囲の時間で必死に練習してたし、結果としては驚いたけどいいものだと思った。バーリ・トゥードをK―1に取り入れることは、ボクは有りだと思うし、面白いと思うね。

――レネ・ローゼVS安田忠夫戦はどう思いましたか？

ベルナルド　その試合はスクリーン脇で見てたんだけど、ローゼは凄く精神的にもタフでキックボクシングの技術もあって、そういう部分で攻撃を仕掛けていたのは面白かったね。

――安田選手の印象はどうですか？　相撲レスラーなんですよ。

ベルナルド　ベリーグッド！　牛のように突進していくところは、相撲をやってたからなんだというのを感じたよ。とてもタフでストロングな選手だね。ホントニ（日本語で）。

――ヤン選手とゲーリー選手の試合についてはどうですか？

ベルナルド　ヤンは今回凄くいい経験をしたんじゃないかと思うよ。キックボクシングのほうで、もっと勉強しないといけない部分もあるだろうし、バーリ・トゥードに関しても、いいコーチをつけて、もっとやるべきだね。

――では、藤田VSミルコ戦については？

ベルナルド　フジタがどれくらい素晴らしい選手かは分からなかったけど、ミルコはよくやったんじゃないかな。フジタはバーリ・トゥード・ルールには慣れているけど、ミルコはたった3週間しか練習できてないんだよね。そう考えると、ミルコがやった功績は大きいと思う。

――実際に試合を見て、藤田選手の印象は？

ベルナルド　フジタは自分自身がやることに、凄く自信があるんだなぁと思った。

――強さは感じましたか？

ベルナルド　ミルコのヒザをもらって、もの凄い流血をしているのに、「やれる」って言ってしまう部分は強いところじゃないかな。

――ミルコ選手がこういう形で勝ったんですけど、ミルコ選手はバーリ・トゥード・ルールとK―1ルールとどっちが向いていると思いましたか？

ベルナルド　どっちでも適応できると思う。バーリ・トゥードであろうが、K―1だろうがミルコ次第であって、どちらでも適応できるんじゃない？

――ところで、ベルナルド選手はバーリ・トゥードはやらないんですか？

ベルナルド　ん？　オレ（日本語で）？　いつかはボクもバーリ・トゥードをやりたいと思っているよ。だけど、グラウンドテクニックがないから、ヤンのように練習していかないといけないよね。

――ベルナルド選手は、興味があるんですかぁ？

ベルナルド　もちろんだよっ！　格闘技だからね。

――てっきりベルナルド選手は、K―1とボクシングに専念するのかと思ってましたよ。

ベルナルド　K―1チャンピオンとボクシングチャンピオンと、バーリ・トゥードのチャンピオンになるのが夢なんだ。これは他の人にはできないだろ！

――なるほどねぇ。今後、K―1軍団と猪木軍団の抗争は激しくなっていくと思われるんですが、ベルナルド選手が参戦する可能性もあるんですか？

ベルナルド　いやいや、向こうがボクらのリングに来て、K―1ルールで闘うのが先だろ。

――でも、そもそもはK―1が猪木軍団に挑戦するという立場だったんですよ。

ベルナルド　でも、なんで僕らが行くばっかりじゃないとダメなんだよ。

――はぁ〜。今後、ベルナルド選手はバーリ・トゥードの練習をしようと思っているんですか？

ベルナルド　う〜ん、能力がいることだと思うんだけど、これからの1、2年間で勉強して知識を身に付けようかなと思ってるよ。■

壮絶決着!!

安田が味わった、猪木軍とK−1 危険な初遭遇!!

安田が、ローゼのハイキックで失神ＫＯ負け。猪木軍圧勝という予想が大方を占める中で、初戦でいきなり猪木軍側がつまずいた

安田忠夫、K－1初土俵!!

©Essei Hara

▼対するレネ・ローゼは、K-1でも反則の常習者。あの桜庭とも、バーリ・トゥードで対戦した経験を持つ、K-1軍団の秘密兵器だ

▼なんとも凛々しい顔で、入場してくる安田。まさかK-1のリングに安田が上がる日が来るとは

▲安田のセコンドに付いたのはケンドー・カシン！水分補給する安田のキュートな顔に注目

組んでから狙うのは、これまた相撲殺法のサバ折り！

安田にあるのは相撲時代に培った、前に出るぶちかまし。殴られても、蹴られても前進あるのみ。

撃たれても、撃たれても、前に出る！
今宵も相撲殺法爆発!!

む、惨い。あまりに惨い結末である。あれではまるで人身御供だ。生けにえだ。『猪木軍VSＫ－1』の歴史的な開戦の、先鋒戦となった安田忠夫VSレネ・ローゼは、誰もが目を覆いたくなるような無惨極まりない、結末となった。

あの安田が、ＫＯされたのだ。こんなに惨いことがあっていいのだろうか！　安田はご存知のように、元・幕内力士である。相撲出身の私にとっては、人一倍思い入れがある選手だ。相撲最強論を信じて疑わない私にとって、元力士である安田のＫＯは誰が負けるよりもショックな出来事である。

安田のＫ－1参戦が決定したのは、この大会の1週間前のこと。8月12日まで、古巣新日本プロレスの『Ｇ1クライマックス』に参戦していた。安田の今年の成績は、ベスト4。そんな好成績を胸に、再び苦手のアメリカへ旅立とうと、車で空港へ向かう途中のことだった。

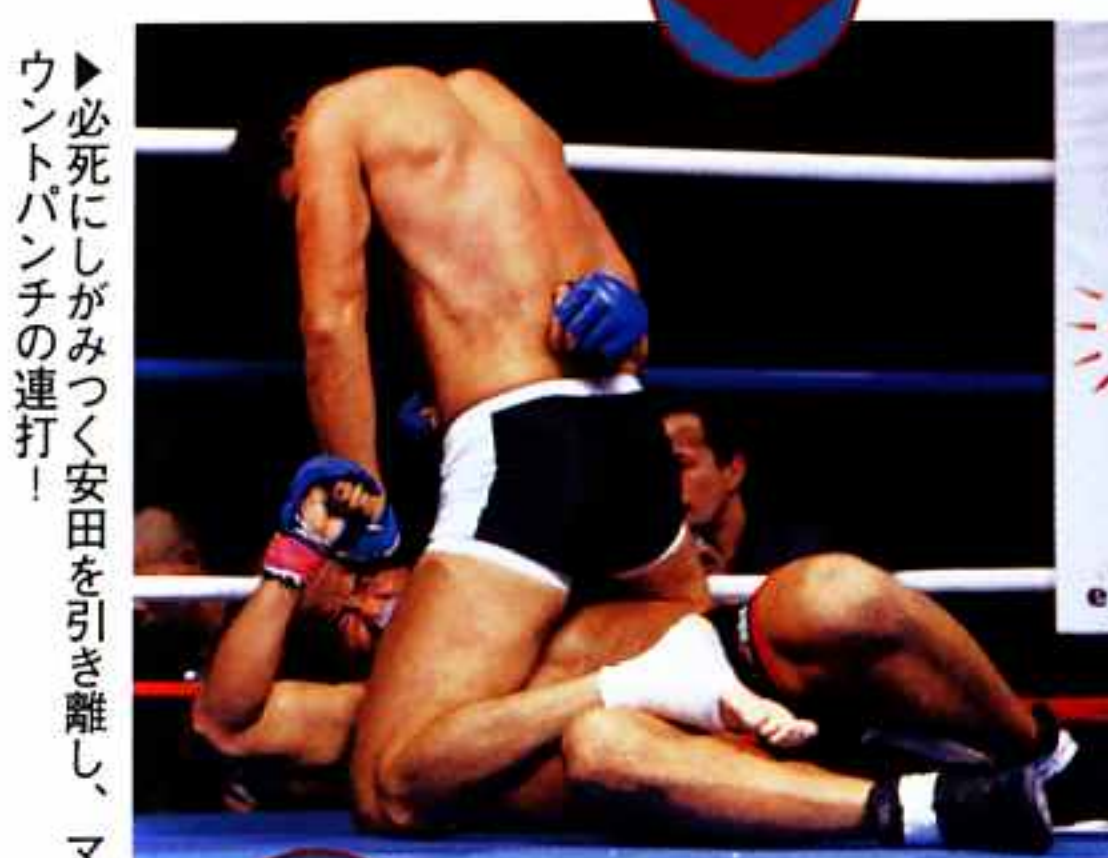
突如、猪木から電話が入り、Ｋ－1ジャパンへの出撃命令が下ってしまったのだ。このＫ－1ジャパンへの参戦は、『Ｇ1』最終日から、1週間後のことだ。『Ｇ1』で使い果たしたモチベーションを、もう一度高めるのは並大抵のことではない。それでも、猪木軍の総帥たるアントニオ猪木から、「行け！」と言われれば、行かざるを得ない。

しかし、一度は出ると決めたものの、やっぱりそこは安田である。関係者の話によると、試合当日になっても、「あ～あ、空港まで車で行かないで、電車で行けば良かった。そうすれば、会長からの電話

力士の抑え込みがひっくり返される！

▲1R、ローゼのヒザ蹴りが、ぶちかましに来た安田にヒット！　安田の体がぐらつく

▲ヒザを着いてしまった安田の肩口に、非情なヒザ蹴りを！！

▶2Rマウントポジションを取った安田は、その体勢からケサ固めへと移行

▶しかしローゼは、うまく体を入れ替え始める

▶なんと、ローゼが逆にケサ固めの体勢に！

◀さらにその体勢から、マウントポジションをあっさり奪う

▶必死にしがみつく安田を引き離し、マウントパンチの連打！

◀さらに、立ち上がって、安田の顔面へ回し蹴り！　本人は、「パンチを撃っている時に、手を痛めたので、蹴りに切り換えた」とのこと

も受けずに済んだのになぁ」などと、ボヤいていたそうだ。ところが、娘からメールをもらった途端、「ようやく、試合に出る気になったよ～」などと、ハシャイでいた安田。やっぱり憎めない人だ。

なぜ、そんなお人好しの安田を、駆り出さなければならなかったのか？　猪木はあえて安田を人身御供にして、『猪木軍VSK—1』を一気にリアルな抗争に持っていこうという狙いがあったのではないのか？

安田は急きょ、参戦が決まったわけだが、相手のレネ・ローゼはK—1側がそれ以前に用意していた選手。レネ・ローゼという選手はK—1側の選手ではあるが、以前エンセン井上や桜庭和志とバーリ・トゥードの試合をしたことがある。

しかも、K—1の試合では、頭突き、金的蹴りなど、反則暴走ばかり繰り返すとんでもない男。身長も2メートルを越える大柄で、言ってみれば、体のでかいジェラルド・ゴルドーといったタイプ。

実際、安田との試合でも後頭部を殴ったりロープを掴んだりと反則殺法を平気で繰り出していた。フィニッシュとなったハイキックも、ロープを掴んでのもの。恐らく猪木は、このローゼのキャラクターを知った上で安田を当てたのだ。なぜならば、先程言ったように、まず、対抗戦の初っ端の試合で、リアルな攻争であるということを、ファンに認識させなければならない。それには、ローゼのような反則男と激しい試合ができる選手というのは、限られてくる。

そこで白羽の矢が立ったのが、

3Rに入って、やはりコーナーに押し込みにかかる安田に、ローゼはヒザ蹴りを喰らわし、トドメのハイキック！　この一撃で安田はKO負け！

ローゼ、戦慄のハイキック！

ああ、キックボクサーの蹴りに、力士が倒れるなんて……信じられん!!

安田だった。なぜかというと、それは相撲出身という過去を全面的に信用しているからだ。たしかに、安田はバーリ・トゥードは2戦目で、まだまだ技術的には足らないところばかり。しかも、ブライアン・ジョンストンとの特訓中に、「練習では顔は殴れないよ～」とボヤくなど、格闘家としては、致命的に気弱なところがある。

しかし、猪木はローゼがいかに反則暴走しようと、相撲出身の安田なら、その頑丈な体で耐えてくれるはずだと確信を持っていた。猪木は、相撲嫌いのように言われることがあるが、師匠・力道山の凄さを知っているだけに、根底には相撲への信頼感があるのだ。

安田は、そういった意味では、猪木の期待に応えて、よく踏ん張った。

ああ、しかしあの目を覆いたくなるようなフィニッシュシーンだけは、もう見たくない。だが、あの試合で、『猪木軍VSK―1』が、リアルなケンカであることを十分証明してみせた。

もし、試合の順番が、ゲーリー・グッドリッジVS〝ジャイアント〟・ノルキヤだったら、あの後の試合の緊張感は生まれなかっただろう。猪木は、闘う意味を伝える意味でも、そしてこの対抗戦が〝殺るか殺られるか〟の抗争であることを、猪木軍とK―1の選手に思い知らしめるためにも、あえてこの試合を組んだのだ。

安田は、K―1との本格開戦を前にして、見事にこの対抗戦を盛り上げる人身御供となった。

だが、やはり悔しい。安田は現在のバーリ・トゥードで、唯一相

安田失神!!

無意識状態で口から出た言葉は、心の故郷「りょ、両国……」

★K-1 VS 猪木軍・第1試合（3分3R）
○レネ・ローゼ（3R0分09秒、KO勝ち）安田忠夫●
〈オランダ/メジロジム〉 〈日本/フリー〉
※左ハイキック

▲白目をむき出しにし、舌を出して失神する安田

ローゼのコメント

「勝てて非常に嬉しい。ヤスダの状態があまり良くなかったようだから、ちょっと不安だね。（安田の印象？）１週間前に、試合が組まれたので、ナーバスになっていたんだ。こういう形式の試合をするのも久しぶりだったからね。十分なトレーニングを積める時間をくれれば、こういう試合に出てもいい」

◀タンカで運ばれる安田。まさか、猪木軍団VSK-1の先鋒戦で、こんなショッキングな結末が待っていようとは

©Essei Hara

▲意識があるかどうか確かめるために、リングドクターが「ここは、どこ？」と言うと、「りょ、両国……」と答えたとか

撲の技術で勝てる人間だ。その安田が負けた瞬間の怒りや悲しみは、半端なものではなかった。あのお人好しの安田が、白目を剥いて失神してしまうのだから、あまりに哀れだ。

だいたい、ローゼはロープを掴んだりして、セコイ手を使いやがる。反則だろう、反則！ こうなったら、リベンジ戦を組んでくれなきゃ、プロレスファンも相撲ファンも納得いかないだろう。とにかく、この日は自分の相撲人生の中で、最もむかつき、怒りに満ちた一日だった。

全国の相撲ファン、猪木軍ファンの悔しさを晴らすためにも、安田にはもう一度この対抗戦に名乗りを挙げてもらいたい。安田が負けた時に、リングサイドで頭に来るほどハシャイでいたK—1戦士を引きずり出すためにも、もう一度闘う必要がある。K—1戦士共に、相撲の怖さを骨の髄まで教えてやれ！

安田もすれ違った時に、呑気にマイク・ベルナルドに挨拶をしている場合じゃない。しかも、無視までされてしまうのだから、お人好しにも程がある。

最後に一つ、涙を誘う話がある。意識が戻ってきた安田に、リングドクターが「ここはどこ？」と聞くと、「りょ、両国……」と呟いたというのだ。「両国」と言ったのが、力士時代を思い出して言ったことなのか、この間までやっていた『G1』のことを思い出しただけなのか、それは分からない。しかし、このエピソードが、相撲人間の心に深々と突き刺さったことだけはたしかだ。（小松）

猪木軍団・中堅、ゲーリー・グッドリッジ まさに〝助っ人ガイジンイズム最後の継承者〟だ!!

〝PRIDEの番人〟改め、〝黒いホーガン〟襲名決定！

先鋒・安田がレネ・ローゼに敗戦。猪木軍サイドに暗雲が立ちこめたが、つづくグッドリッジが胸のすくような腕ひしぎ十字固めで一本勝ち！　かつて猪木が現役時代に長期欠場した際、猪木軍の助っ人ガイジンとして活躍したハルク・ホーガンを彷彿とさせる頼もしさだ！

▲「勝ったら私のロレックスをあげよう！」と館長に言われ、参戦を快諾した南アのノルキヤ。序盤は得意の立ち技、左ストレートでグッドリッジを追い込んでみせた

K―1 VS猪木軍の先鋒を飾った安田が、ローゼのハイキックで失神KO負け。このショッキングな事態に、少々お祭り気分ではしゃいでいた場内には一瞬にして戦慄が走った。これは〝ガチンコ〟の闘いなのだ。ホントのケンカなんだと、やっと思い知らされた瞬間だ。猪木軍団応援シートに座るファンの間にも、なんとも不安なムードが漂ってしまった。

この後、残された2試合はどうなってしまうのか……。そんなショックが冷めやらぬ中、中堅の役割を担ったグッドリッジが入場してきた。入場曲はもちろん、故アンディ・フグと同じ『WE WILL ROCK YOU』だ。

しかし、結果から言ってしまえば、猪木ばりの腕ひしぎ十字固めを極めたグッドリッジの一本勝ちだった！　これで勝負は一勝一敗。対抗戦はいよいよ盛り上がりをみせ、グッドリッジは大将・藤田への橋渡しをうまくやってのけた。グッドリッジよ、お前はハルク・ホーガンか！　と言いたくなるほどの、助っ人ガイジンイズムを爆発させてくれたのだった。

ホーガンといえば、現役時代のアントニオ猪木が82年に右ヒザ手術のため長期欠場を余儀なくされた時に、猪木不在の新日を盛り上げた元祖助っ人ガイジン。当時、日本でもブームを巻き起こしていた映画「ロッキー3」に出演していたホーガンは、ここで人気爆発！「イチバーン！」と叫び、「超人」と呼ばれ、実に頼もしい存在だったのだ。

この日のグッドリッジは、まるであの時の頼もしいホーガンその

▶倒されたノルキヤは簡単にマウントを取られ、パンチを避けようとうっかり腕を伸ばしてしまう……

◀序盤の強烈な打撃をしのいだグッドリッジは、ノルキヤに組みつき、大内刈りで倒す

ⓒEssei Hara

猪木イズムを注入されたガイジンは、かくも頼もしい！

なんとフィニッシュは猪木ばりの"腕ひしぎ" フジタよ、こいつら倒しちまえばこんなにチョロいぜ！

▲くしくも、猪木が格闘技戦で定番としていた"腕ひしぎ十字固め"で、ノルキヤを仕留めたグッドリッジ。その後ろではバンナが悔しげな顔！

★K-1VS猪木軍・第2試合（3分3R）
○ゲーリー・グッドリッジ（1R1分11秒、腕ひしぎ十字固め）ヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤ●
〈トリニダード・トバゴ/フリー〉〈南アフリカ/スティーブズ・ジム〉

ものだった。しかも、『プライド』でもそうそうお目にかかれないフィニッシュ・ホールドの〝腕ひしぎ十字固め〟は、猪木が異種格闘技戦の時によく使っていた技。グッドリッジよ、お前は猪木か!? 猪木イズムは、トリニダード・トバゴのこの男に、これほど深く染み込んでいたのだ。

一方のノルキヤよ、お前はアンドレか!? それまで立ちこめていた暗雲を吹き飛ばしたグッドリッジの一本勝ち。それは、その昔、ホーガンがアンドレをボディスラムで投げ飛ばした時のような、胸のすく思いとまったく同じだった。そのアンドレ役をノルキヤは見事にやってのけてしまった（名前に「ジャイアント」と付くだけに）。

ノルキヤは7・20K—1名古屋大会で掣圏道のセルゲイ・マトキンにKO勝ちした後、石井館長に「バーリ・トゥード戦で勝ったら、僕のロレックスあげるよ」と言われた。ノルキヤは、「やる！」と即答したという。そして、「VTはやったことあるの？」と聞かれ、「あるよ。ロシアのサンボ王者と闘って、「デストロイした」とまたも即答した。それならと、館長も今回の大抜擢を決意したのである。

だが、南アフリカで行われたそのVTマッチには明確な記録がない。来日したノルキヤによくよく聞いてみると、レフェリーはベルナルドが務めたという、いかにも眉唾ものだった。そして、「絶対KOして、館長のロレックスをもらうんだ～！」と鼻息の荒いノルキヤだったが、来日するまで寝技の練習をいっさいやってこなかった。それでもノルキヤは「大丈夫、立

「絶対KOで勝って、館長のロレックスをもらうんだ〜!」寝技の練習をやらず、立ち技だけで勝とうしたノルキヤ。甘い!

▶ノルキヤの重い左ストレートが、「ゴチンッ、ゴチンッ!」とグッドリッジの頭を揺さぶるたび、「あぁ……」という猪木軍応援団の悲痛なため息が漏れる。実に身長20センチ、体重34キロという体格差

グッドリッジのコメント

「ノルキヤは予想どおり強かった。自分の理想の勝ち方ではなかったが、勝てたので嬉しいぜ。猪木軍を代表して出られて光栄だ。(ノルキヤのパンチは)目が腫れる程度には効いたが、それぐらい。(猪木軍の唯一の勝利だったが？)選手はそれぞれいい日もあれば悪い日もある。フジタにとっては悪い日だった。ただ、このチームは間違いなく最強軍団だ。個人的にはジェロム・レ・バンナの口を封じるため、ヤツをブッ倒してやりたいぜ！」

▲ノルキヤのセコンドには同じスティーブズ・ジムのマイク・ベルナルドが。ノルキヤが殺られた今、猪木軍との抗争に関わってくるのか……？

▶コーナーに追い込んで、さらにヒザ蹴りで追い打ちをかけるノルキヤ。このわずか30秒足らずの攻撃だけで、グッドリッジの左目はパンパンに腫れてしまった

ち技でデストロイする」と言い張ったのだ。

ノルキヤは来日後、ミルコらとの寝技の合同練習に参加したが、もちろん寝技なんてできるはずもなく、その上、良くないことに足の指を骨折してしまう。これには館長も「だまされた……」とつぶやき、交代させようと思ったらしいが、〝館長のロレックス〟しか頭にないノルキヤを止めることはもはや不可能だった……。ノルキヤよ、お前はK—1の安田か!?

ノルキヤがこんなにもVTを甘く見ていたとは……。本来なら、〝PRIDEの番人〟として多くの挑戦者達を葬ってきたグッドリッジが手こずるはずもないのだ。しかし、開始早々のノルキヤの左ストレートからのラッシュに、グッドリッジはグラついてしまった。試合後のダメージも、勝ったグッドリッジのほうが大きく、左目は開けるのがやっとだった。

それもそのはず、グッドリッジは今回、急なオファーだったため、十分なトレーニングもできなかった。おまけに引っ越し作業で来日も遅れてしまったのだ。7月中は20日の新日本札幌大会に出場してすぐ、29日の『プライド15』もコールマンの代打として出場するというハードスケジュール。9月の『プライド』にも出場予定だ。短期間でこれほどの試合数をこなすバーリ・トゥーダーが今、グッドリッジ以外にいるだろうか？ これぞ素晴らしきプロレスラー魂！

そう、グッドリッジはまさに、〝助っ人ガイジンイズム最後の継承者〟。そして(勝手に)〝黒いホーガン〟襲名決定だ！ (日比)

K-1 JAPAN シリーズ
JAPAN GP決勝戦

K-1 ANDY MEMORIAL 2001
～アンディメモリアル～

8.19★さいたまスーパーアリーナ

ニコラス、キミこそアンディを継ぐ男だ！

ジャパンGP史上最高の興奮！

ニコラス・ペタス、武蔵を破り優勝

武蔵にブーイング、ニコラスに大声援！
いったいどっちが日本人なんだ!?

▲両者の対戦は過去2回予定されていながら、2回とも武蔵のケガで流れている。ついに訪れた初対決は、ジャパンGPの決勝という最高の舞台だった。気合いのこもった闘いを見せるニコラスに、観客は大声援。試合中には何度かペタスコールも起こっていた

▶武蔵の闘い方は、相手の攻撃をかわしてカウンターを打ち込むのがメインとなる。確実にポイントは稼げるがKOする気が見えない武蔵の姿勢に、ファンはブーイングで応えた

◀延長戦に入ってややアグレッシブになった武蔵に押されていたニコラスだが、終盤、一気に形成を逆転。右ストレートのクリーンヒット

ない雰囲気だった。

ジャパン・グランプリのトーナメントを勝ち上がり、決勝のリングで向かいあった武蔵とニコラス・ペタス。声援を浴びているのは、ニコラスのほうだ。逆に武蔵にはブーイング。この日の観客は、同じ日本人である武蔵より、デンマーク出身のニコラスを支持した。決勝までに二人が見せてきた闘いを比べれば、そうなるのも不思議ではない。

ジャパンGP3連覇を狙う武蔵。〝武蔵流〟と呼ばれるその闘い方を、ボクは悪いとは思わない。スピードとテクニックで撹乱し、カウンターで攻める。超ヘビー級の外国人に対抗するためには最善のスタイルだろう。

ただ、これまでの外国選手との試合を見ても分かるように〝武蔵流〟はまだ未完成なものなのだ。しかし、未完成ながらも、日本人が相手なら通用してしまう。結果、ジャパン戦線は武蔵が飛び抜けた存在になり、一般のファンには分かりにくい技術重視の判定勝負が幅をきかす状況である。

今回の武蔵は、特にそれが顕著だった。大石亨、中迫剛を破りはしたが、どちらも判定勝ち。武蔵からは対戦相手をKOしてやろうという意思はまったく見えず、「どうだ、うまいだろ」と言わんばかりに見せびらかす小手先のテクニックや駆け引きが鼻につくばかりだ。そんなもの、好きになれるわけがない。日本のエースは、気が付いたらナチュラルな大ヒールになっていた。

一方のニコラスは、勝ち上がる

「今日は空手で倒そうと思った」（ニコラス）

▲武蔵はラウンドが進むごとに調子を上げていく。パンチでニコラスがたじろぐ場面も

▲「パンチではなく空手的に」ローキックで武蔵を攻略する作戦だったニコラス。3発連続で打っていくことも

▲それまで温存していたカカト落としを、ニコラスはついに決勝で放つ。そこにはアンディへの万感の思いがあったはずだ

“武蔵流”ついに崩壊！勝負を決めるのはやっぱり闘志だ！

◀延長戦に入ってややアグレッシブになった武蔵に押されていたニコラスだが、終盤、一気に形成を逆転。右ストレートのクリーンヒットをきっかけに猛ラッシュ！

▲ジャパンでは敵なし状態だった武蔵だが、ついに落城！

▲最後は右フックを食らってコーナーに崩れた武蔵。ゴングに救われてKOこそまぬがれたが、勝敗は誰の目にも明らかだった

★第10試合/K-1ジャパンGP決勝戦（3分3R）
○ニコラス・ペタス（延長判定3-0）武蔵●
〈デンマーク/極真会館〉　〈日本/正道会館〉
※採点…10-9、10-8、10-8。武蔵は延長R、右フックでダウン。本戦は判定0-0（29-29、29-29、29-29）でドロー

と同時に観客の心をワシ掴みにしてきた。ここまでの2戦はいずれもKO勝ち。アグレッシブな闘いぶりや空手家らしいひたむきな姿勢はファンの心の琴線を刺激しまくった。ラスベガス大会でフィリォが敗れ、たった一人で極真を背負ってK—1という他流試合に挑む形となったニコラス。

「極真が負けるのは凄く悔しいですね。プレッシャーは考えないでいようと思ったんですけど、やっぱりフィリォの顔を見ると〝やらなきゃ〟と思った」

そんな気持ちが、リングの上からでも充分に伝わってくるのだ。気取りが見えるスタイルの武蔵より、よっぽど感情移入できるのである。

決勝戦。「空手で倒したかった」というニコラスは、ローキックを主体に攻めた。「ローキックは極真の技」というこだわりがあるのだ。一発ヒットするたびに、客席からは大歓声が沸き上がる。

攻めに攻めるニコラス。ハイキック、バックスピンキック、そしてカカト落とし！『アンディ・メモリアル』でニコラスがこの技を出すことに、どんな思いが込められているか。それに気付かないヤツなんていない。もう場内は感動の嵐である。

本戦3Rを終わって、判定はドロー。武蔵はオーソドックスとサウスポーを巧みに使い分けながらニコラスの技を殺し、数は少ないながらも的確に攻撃を決めていたのだ。

そして延長戦。この土壇場の勝負どころで、武蔵はこの日初めて自分からプレッシャーをかけてい

この仕事をやらなきゃいけないのは、本当は日本人だったんだけど……

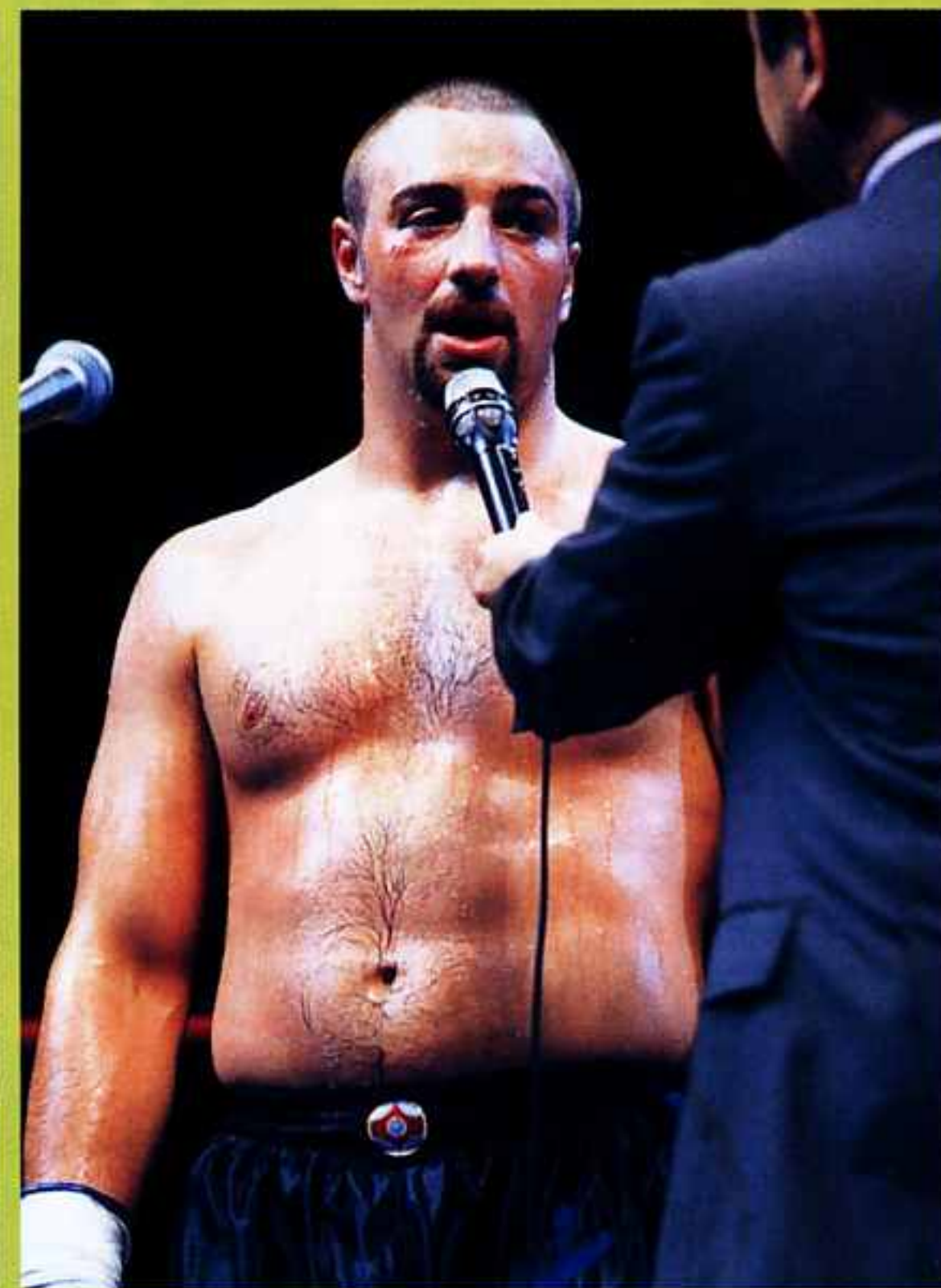
ニコラスのコメント

「ダメージは……そうですね、見たとおりっていうか(笑)。(3Rの時点での判定は？)ドローだと思ってました。負けは絶対しなかったと思うんで。でも勝った気もしなかったし、ドローだと。心の準備はできてました。(日本代表になった気持ちは？)僕はこっちに来て、こっちで強くなって頑張ったので、日本のタイトルを取って日本人が僕を応援してくれるのは認めてもらって嬉しいですね。フィリォがラスベガスで負けて、自分が頑張らなきゃという気持ちはもちろんありました。やっぱり極真が負けると凄い悔しいですね。あんまりプレッシャーは考えないでいようと思ったんですけど、やっぱりフィリォの顔を見ると"やらないと"と思った」

武蔵のコメント

「1Rから体が自分の意思に反応しないっていうか、回を重ねるごとに調子が悪いなという。それは1回戦からずっと。本調子ではなかったです。パンチをもらったのは事実で、相当効かされちゃったんで。(今後は？)やられたらやり返す。とりあえずペタス選手にはリベンジして、はい」

▲延長戦の判定は文句なしでニコラス。武蔵は精魂尽き果てて立ちつくし、ニコラスはアンディそのままに"押忍"の十字を切って四方にカカト落としのパフォーマンス

▶認定証を渡した石井館長は「感動しました。君にこそ、アンディを受け継いでほしいと思います」と祝福

◀リング上での勝利者インタビュー。ニコラスはアンディと、1カ月前に生まれた娘に感謝の言葉を送った

K-1 JAPAN GP決勝トーナメント

- 大石亨(日進会館)
- 武蔵(正道会館)
- 中迫剛(ZEBRA244)
- グレート草津(チーム・アンディ)
- ニコラス・ペタス(極真会館)
- 藤本祐介(モンスター・ファクトリー)
- ノブ・ハヤシ(ドージョー・チャクリキ)
- 富平辰文(SQUARE)

優勝：ニコラス・ペタス

った。胴回し回転蹴りまで出して攻勢点を奪いにかかる。だが、劣勢の中で出したニコラスの右ストレートがクリーンヒットすると流れが変わった。よろける武蔵。すかさずニコラスはラッシュをかける。そして……。

武蔵、ダウン！

〝武蔵流〟ついに崩壊！

勝ったのは武蔵のテクニックではなく、ニコラスの闘志だった。すでに初戦でダウンを喫し、顔をアザだらけにしながらも攻めの姿勢を崩さなかったニコラスの尋常ならざるモチベーションが、劇的な勝利を呼び込んだのだ。

「感動しました。君にこそアンディを受け継いでほしい」

表彰式での石井館長の言葉に、まったく異存はない。ニコラスの闘いが感じさせてくれたのは、まさにアンディのログセだった「スピリット」そのものである。

アンディといいニコラスといい、やはり極真には特別な何かがある。その何かがあるから、アンディはK—1の精神的支柱となり、また今回のニコラスはこれまでのジャパン戦線の流れを変えるヒーローになれたんだと思う。

ただ、それは本来K—1が生まれた国である日本の選手に求められていることだ。武蔵はK—1のヒーローになれなかった。他のジャパン戦士は、その武蔵を倒すことができず、自分たちの仕事をニコラスにされてしまった。

ジャパンGP史上最高の興奮を生んだ今大会。だがその主役がニコラスだったことを、武蔵や中迫はどれだけ重く受け止めているだろうか。

(橋本)

◀8・19『アンディ・メモリアル』の大会レポートは、95ページに続きます

K-1 WORLD GP 2001 in Las Vegas
8月11日☆米国ネバダ州ラスベガス・ベラージオ・ホテル

ワールドGPシリーズは是か非か？

3R、ヒザ蹴りにいったところをカウンターの右ストレートを合わされ、アーツが豪快な大の字に。このシーンはVTRで9度もリピートされるほど、全米を震撼させた

今度は暴君アーツが沈んだっ！

▲会場となったラスベガス一豪華なベラージオ・ホテル。5800人超満員の観衆が集まった

▲4人目の東京ドーム行きのキップを手に入れたのは、ステファン・レコ。今回もアーツとフィリォの2人のベスト8ファイターが姿を消した

4人目の東京ドーム行きのキップを手に入れたのはレコ！

レポート◎谷川貞治　撮影◎石黒由佳子

今だから明かそう！
アーツはほとんど試合ができる状態ではなかったのだ

腰痛のため全盛期の半分の力しか出ないアーツは、レコにボコボコにされた。その姿を見るのは、本当に切ない気分になった

大会を締めたアーツの負けっぷり！豪快なダウンにＵＳＡが絶叫

★K—1ワールドGP開幕戦・決勝（3分3R）
○ステファン・レコ（3R2分5秒KO）ピーター・アーツ●
＜ドイツ/マスタージム＞　＜オランダ/目白ジム＞
※右ストレート。アーツが２Ｒに右ストレートで２度のダウン

「正直に言うと、ピーターが7月にジムで練習できたのは2日だけ。それほど腰が良くないんだ。ピーターを最強のキックボクサーと呼べたのは20世紀までの話で、今は正直、普通のキックボクサーに成り下がってしまったかもね」

そう試合前にこっそり打ち明けてくれたのは、オランダ目白ジムのアンドレ・マナート会長。昨年のシリル・アビディ戦で発覚した腰痛はそれほど良くない状態だった。しかも、6月末には待望の双子が誕生。オランダ人の子育ては夫婦平等で行うため、かつてのホーストがそうだったように、アーツもまた赤ん坊の夜泣きに悩まされ、とてもK—1どころではなかったのだ。

そんなアーツだっただけに、とても勝てるとは思えなかった。よくぞ、決勝戦まで来れたものだとさえ、思ったほどだ。アーツが1回戦の内田戦から、どこか泣き顔でスタミナ切れに見えたのは、それほどコンディションが良くなかったからだった。

「東京ドームの決勝トーナメントに進出できるのは、優勝者1名のみ」という過酷なサバイバル戦を展開している今年の「ワールドGP」シリーズ。その中でレイ・セフォーやミルコ・クロコップ、マイク・ベルナルドといったベスト8ファイターが次々と敗れ去っている。これもスポーツとしてのシステムをしっかり作り上げようとしているからだが、このラスベガス大会でもまたフランシスコ・フィリォとピーター・アーツが負けたのを見ると、システムの是非を問いたくなるのも不思議ではない

K-1 WORLD GP 2001 in Las Vegas

8月11日☆米国ネバダ州ラスベガス・ベラージオ・ホテル

レコのコメント

「今まで僕になかった運がやっと巡ってきた感じだ。ピーターはK―1の偉大な先輩だけれども、今日はコンディションが良くなかったし、決勝まで7R闘っていたので今回は僕が勝つことができた。とにかくやっと優勝できて嬉しい。今、猪木軍団とのMMAの話もあるようだが、僕はコンディションを整えて12月のグランプリ優勝をめざしていくよ」

Results

1回戦	
ピーター・アーツ	内田ノボル
モーリス・スミス	ユルゲン・クルト
フランシスコ・フィリォ	セルゲイ・イバノビッチ
ステファン・レコ	ジェフ・ルーファス

※ステファン・レコが12・8東京ドーム、決勝大会に進出

アーツ、顔面骨折で全治2カ月「猪木軍団」との対抗戦ばかりか10月・福岡大会も絶望的か？

1 2 3 4

▲2R、レコのパンチの連打をコーナーで食い、2度のダウンを喫したアーツ。意識はもうろうとしていたが、なんとかゴングに救われた

▲レコの強烈な右ストレートが何度もアーツにヒット。これでアーツは顔面を骨折した

▲レコのパンチをなんとか止めようと右ローキックを繰り出すアーツ。しかし、進化しているレコの勢いは止められない

▲アーツのパンチに対し、左ミドルで距離を離すアーツ。2R以降、この作戦でレコの動きが止まってきた

▲初の本戦をラスベガスで成功させたK―1。イグナショフに続き、レコという第2世代が完全に主役の座を奪った大会だった

▲見事な負けっぷりを見せたのはさすがアーツ。だが、顔面を骨折しているため、年内のK―1は絶望か？

だろう。

バンナが言うとおり、トーナメント戦はその日の運やコンディションが大きく左右する。K―1の場合はヘビー級のため、一発のパンチやキックで逆転のKO劇が生まれやすい。だから、この1試合に全てを賭けようとするワンマッチに比べて、完全燃焼や完全決着が生まれにくいシステムなのだ。

今回のラスベガス大会でその運に見放されていたのがフィリォで、コンディションが最悪だったのがアーツ。アーツはいつ自爆するかもしれない腰痛を抱えたまま、このトーナメントに出なければ東京ドームに行けないということで、選手生命を断たれることさえ覚悟でリングに上がっていた。

それを知っていただけに、アーツの試合を見るのは忍びなかった。それでも、アーツは前向きになって優勝を狙っていた。それに対してコンディション絶好調、フィリォが1回戦で敗れるという強運にも恵まれて決勝に上がってきたのが、K―1第2世代のステファン・レコだった。

レコの強烈な左右のパンチにボコボコにされるアーツ。その姿にかつての暴君のイメージはない。だが、さすがアーツ。そんなボロボロの姿さえ、プロとしてキッチリと見せているのだ。フィニッシュの右ストレートでぶっ飛ぶ負けっぷりは、ラスベガスのファンも絶叫させたほど。アーツは落ち目の自らの姿を演じることで、ラスベガス大会をビシッと締めた。しかも顔面骨折という大きな代償までして。それはあまりにも切ないエースの交代劇だった。■

♪お久しぶり～ね。8年ぶりの再会 まさか21世紀にこんな対決が！

▲アーツにとっては、未知のクルトより、モーリスのほうがやりやすい相手だったかもしれない

▲モーリスのインサイドワークが光る。長年のファンにとってはたまらない試合だった

やっぱり死神モーリスに、アーツがチュ♥

▲何度もクリンチする死神モーリスに対し、アーツが「近づくな」とばかりにキッスする場面も

★K―1ワールドGP開幕戦・準決勝（3分3R）
○ピーター・アーツ（延長4R判定3-0）モーリス・スミス●
＜オランダ/目白ジム＞　＜アメリカ/MSキックセンター＞

▲約8年ぶりの対決となったアーツVSモーリスの感慨深い一戦。アーツが判定で下し、対モーリス4度目の勝利を飾った

8年前の93年、オランダで行われたアーツVSモーリス戦。その当時、モーリスは31歳、8年間無敗でキック界の帝王として君臨し、アーツは弱冠22歳の怪童と呼ばれていた頃だった。そしてアーツはハイキックでモーリスを失神KOし、「20世紀最強のキックボクサー」の道を突っ走っていく。その神話を崩壊させた因縁の一戦が、まさか21世紀になってまた実現するとは思いもよらなかった。これも、モーリスが常にベストコンディションをキープし、今年40歳になろうというのに、なおK―1王者をめざして励んでいたからだろう。そのすさまじい日常の努力には頭が下がる思いである。モーリスはアーツとの再会を楽しむかのように、現時点での自分を精一杯ぶつけていった。インサイドワークを駆使して、攻撃してはクリンチする戦法で体調の悪いアーツを延長戦にまで持ち込むほどの大健闘。その死神のような闘いっぷりは、たとえ面白くないと言われても断然、是だ！■

ネバダ州向き、サソリ男の先生 フィリォのお土産にギブアップ

▲痛めていながら、積極的に蹴りを出すイバノビッチ。そのハングリー精神は立派だ

▲フィリォ敗退に続き、イバノビッチまでドクターストップとなったレコ。運が向いてきた

★K―1ワールドGP開幕戦・準決勝（3分3R）
○ステファン・レコ（2RTKO）セルゲイ・イバノビッチ●
＜ドイツ/マスタージム＞　＜ベラルーシ/チヌックジム＞
※1R終了時にイバノビッチが左足甲を骨折

左スネが裂け、左足甲が2倍に！

▲左足の甲を完全に骨折したイバノビッチに、1R終了時点でドクターストップがかかった

1回戦でフィリォを破るという大金星を挙げたセルゲイ・イバノビッチは、名古屋の開幕戦で優勝を果たしたアレクセイ・イグナショフの先生。タイで行われたアマチュア・ムエタイで優勝したのが、母国ベラルーシの国営放送でテレビ中継され、それを見たイグナショフがイバノビッチに弟子入りしたというエピソードの持ち主である。そんなイバノビッチだけに闘い方は、イグナショフそっくり。しかも、アマチュアで優勝しているだけに、ポイントの取り方がうまく、ネバダ州のジャッジ法では好印象を与えやすい選手だ。だが、1回戦でのフィリォとの激闘で大きなダメージを負い、左足スネを裂傷、さらに左足甲も骨折して倍に膨れ上がっている状態。絶好調レコにプレッシャーをかけられ、1R終了時点で遂にドクターストップがかかってしまった。だが、試合前は細くて誰も期待していなかったイバノビッチがここまでの大健闘。あらためて東欧の層の厚さをアピールした。■

K-1 WORLD GP 2001 in Las Vegas
8月11日☆米国ネバダ州ラスベガス・ベラージオ・ホテル

まさかの1回戦敗退を喫したフィリォと一撃軍団。調子が良かっただけに、本当に残念な結果となった

そんな馬鹿なっ!

▲判定を聞いてボー然とするフィリォは試合後ノーコメント。「どっちが勝ったか、見た人には分かってもらえると思う」と言いながらホテルの部屋に戻っていった

これはK―1じゃない! 極真フィリォ、ネバダ裁定に1回戦敗退

ラスベガスで行われた今大会のカジノ賭け率

選手	賭け率
ピーター・アーツ	3倍
フランシスコ・フィリォ	3.5倍
ユルゲン・クルト	5.5倍
ステファン・レコ	5.5倍
モーリス・スミス	7倍
ジェフ・ルーファス	7倍
セルゲイ・イバノビッチ	25倍
内田ノボル	36倍

一時は“引退”を考えたフィリオ この結果はかわいそうすぎる！

▲ブラジリアン・キックまで狙うフィリォ。しかしイバノビッチのディフェンスもなかなかのものだ

▲もう完全にグローブ技術が完成しつつあるフィリォは、ガードの間から見える表情も自信に満ちあふれていた

▲この強烈な左ミドルキックでイバノビッチのワキ腹にはフィリォの足型がクッキリと残った

▲渾身の右ローキックをぶつける。昨年の東京ドーム大会に比べて、フィリォの調子は良かった

「判定はドロー！」

3R終了時、マイケル・バッファーがそうコールすると、日本人及びK—1関係者のほとんどが絶句した。試合は明らかに極真のフランシスコ・フィリォがリードしていた。しかも、3Rには左右の強引なフックでダウンを奪いながら、イバノビッチとの差がまったく出なかったのである。これは、日本で行われているK—1の試合では、とても考えられない判定だった。

もちろん、この判定はK—1が極真所属のフィリォにわざと辛いジャッジをつけたのではない。むしろ、興行論的に言えば、K—1にとってフィリォは非常に大切なタマ。だから、優勝して東京ドームに行ってほしいと願う選手の一人だった。ポスト・アンディはやはりフィリォが一番頼りになる空手家だからである。

では、いったい何が起こったのか？　その理由はこの大会がネバダ州のアスレチック・コミッションの管理下で行われた大会だったことにある。

K—1はたしかにネバダ州のアスレチック・コミッションから認可を受けて、全米のどの州でも興行が打てるようになった。しかし、K—1というイベントは認められても、ルールは純K—1ルールではなく、ネバダ州で認められたキックのルールを基にしたルールを採用しなければならないという拘束に縛られていた。そのため、今大会は顔面へのヒザ蹴りを禁止して行われなければならなかった。

しかも、ジャッジ人は全員ネバダ州の人間。角田・島田レフェリーがやっとレフェリーをさせても

この軽い攻撃がポイントに!

▲ラスベガスに再び極真上陸。USAのファンにも人気があったが、昨年のグラウベに続きどうも相性が悪い土地となってしまった

▲イバノビッチが盛んに出してきた、軽い左のローキック。これが判定のポイントになった攻撃だ

▲コーナーでクリンチしようとするイバノビッチを振りほどき、フィリォが強引な左右フックで遂にダウンを奪った
しかし、これも2ポイント差になってないのが不思議だ

これが、ネバダ州のジャッジ表だ

ジャッジA	フィリォ	セルゲイ
1R	9.5	10
2R	10	9.5
3R	10／29.5	8.5／28
4R	9.5	10★

ジャッジB	フィリォ	セルゲイ
1R	9.5	10
2R	9.5	10
3R	10／29	8.5／28.5
4R	9.5	10★

ジャッジC	フィリォ	セルゲイ
1R	9.5	10
2R	9.5	10
3R	10／29	9／29
4R	9.5	10★

K—1の主役はフィリォであるべき 10月復帰戦はどうする!

▶ダウンを奪いながら、本戦ではドローとなり、延長でもまったくダメージがないのに手数で敗れたフィリォ。日本じゃとても考えられない判定だ

★K—1ワールドGP開幕戦・1回戦（3分3R）
○セルゲイ・イバノビッチ（延長4R判定3-0）フランシスコ・フィリォ●
<ベラルーシ/チヌックジム> <ブラジル/極真会館>
※3Rにイバノビッチが左右フックでダウン1あり

らえる以外、K—1のジャッジは一人も入れられなかったのである。さらに言えば、角田レフェリーが提出したレフェリーのシフト表を土壇場になって「今回からK—1はギャンブルの対象になったため、八百長があってはいけない」という理由で全て変更させられていたのだ。

そのネバダ州のジャッジは、通常のK—1のジャッジ法をほとんど無視して、自分たちの採点法に従って全ての試合に点数をつけた。それは、必ずどちらかに差をつけるマストシステムを採用しており、しかもダメージの有無より手数を重視するというボクシングと同じ採点をしていたのである。

これじゃあK—1であっても、K—1とは言えない。特にフィリォのようなカウンターファイターにとっては明らかに不利。一撃一撃で大きなダメージを与えるフィリォよりも、何も効かないが手数を出しているイバノビッチに、ネバダ州のジャッジは好勢点を必ずつけていたのだ。こういう採点をされると、競技の中味を変えてまでラスベガスでやる意味があるのかという疑問まで沸いてくる。

それにしても、かわいそうなのはフィリォだ。予想外の延長でもイバノビッチの手数に敗れて、まさかまさかの1回戦敗退。

実を言うと昨年のグランプリ後、フィリォは「極真の世界大会で完全燃焼してしまった」と引退を示唆する発言をしていた。それをなんとかモチベーションを再び高めて参戦したこの一戦。それなのに、こんな結果になるとは……。フィリォはこれからどうするのか? ■

アーツが内田にビビッてた？ しかし最後はきっちりKO！

▲アーツの右ハイが空を切る。内田もカウンター戦法でアーツを苦しめた

▲3Rには、右ストレートとヒザで内田がダウン。敗れたとはいえ、内田の健闘も光った

▲1回戦1Rから倒しにいったアーツ。それだけ余裕がなかった証拠だ

試合前、アーツが私のほうに近付き、信じられないことを聞いてきた。あのアーツが「ウチダは何が得意なんだ？ パンチ、キック？ ローは受けられるのか？ 構えは右？ 左？」と聞いてくるのだ。これまで、アーツと言えばどんな相手と対戦を組まれても「全然問題ない」とばかりに対策を練ることさえしなかった。いつもの自分が出れば、負けることはあり得ないと自信満々で、レベルの高いK—1でさえも、「何もしないで優勝できる」と豪語していたほどの男だった。それが、内田ごとき相手（大変、失礼！）に、今まで見たことのないほどの心配ぶり。それほどコンディションが悪かったのである。その言葉どおり、アーツは内田相手に大苦戦。プレッシャーはかけるものの、力み過ぎて連打が出ずに、逆に内田のパンチをまともに食らってしまう場面も。それでも、最後は3Rに右ストレートとヒザでKO！ 粘る内田に対し、王者の面目をなんとか守った。■

★K—1ワールドGP開幕戦・1回戦（3分3R）
○ピーター・アーツ（3R2分6秒TKO）内田ノボル●
<オランダ/目白ジム> <日本/ビクトリージム>
※3Rに内田が右ストレート、ヒザ蹴りで2ダウン

絶好調レコに火をつけたのはルーファスの喧嘩殺法だった

▲元気ハツラツで攻めてくるジェフ・ルーファスに火をつけられたレコ。試合は壮絶な殴り合いとなった

▲ルーファスもパンチの選手だが、さすがにボクシングではレコが一枚上手。ヒザとアッパーで2度のダウンを奪って勝利し、優勝への弾みをつけた

★K—1ワールドGP開幕戦・1回戦（3分3R）
○ステファン・レコ（2R2分34秒TKO）ジェフ・ルーファス●
<ドイツ/マスタージム> <アメリカ/ルーファス・キックジム>
※2Rに左ヒザ蹴りと右ストレートでルーファスが2ダウン

大穴クルト、期待はずれ！ 死神モーリスに完封される

▲なぜか期待されながらまったく何もできなかったクルト。レコもKOした、その強さは見られなかった

▲タイミングを見てコンビネーションを繰り出し、クリンチするモーリスの作戦に完封されたクルト。コンディションが悪かったのか？

★K—1ワールドGP開幕戦・1回戦（3分3R）
○モーリス・スミス（3R判定3-0）ユルゲン・クルト●
<アメリカ/MSキックセンター> <スウェーデン/ヴァレンチュナ・B・C>

※「K—1 WORLD GP 2001 in LasVegas」大会の模様は、89ページに続きます。

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX
スペシャル・リング・サイド
No.53 9・13号

CONTENTS

大会速報&詳報

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

出席者 ◎山口日昇（紙のプロレスRADICAL編集長／通称・会長）
◎サダハルンバ谷川（本誌編集長）
◎“Show”大谷泰顕（ワンダフル）
司　会 ◎柳沢忠之（本誌発行人／通称・社長）

PRIDEの「メジャー化」で失われていくものとは何か

その答えは「猪木軍VS K-1」に隠されている！

谷川 あ～あ、腹減ったぁ。あのさぁ、ファスティングやってて今日が3日目の夜なんだけどさぁ、食べちゃお。

大谷 食べちゃダメじゃないですか。

谷川 いやいや、もういいよぉ。

――だっはははは。

山口 ムチャクチャだ（笑）。

大谷 ダメですよぉ、ちゃんと朝までファスティングやんなきゃ。

谷川 うん、ムシャムシャ、そうなんだけどさぁ、ムシャムシャ、ウマいなぁ、この牛肉のたたき。

――あ～あ。

谷川 さぁ、今日のテーマは『プライド15』をみんなで振り返ろうです。じゃ、Show！

大谷 えっ、はいっ。

谷川 口火を切って、『プライド15』を振り返ってくれよ。

大谷 僕はあの日は、試合はちゃんと見てないですから。

谷川 な～んで、……見ろよ。

山口 だっはははは。面白いなぁ、相変わらず、オマエは。

谷川 見ろよ、オマエェェ、何をしに行ったの？

大谷 いやぁ、だって猪木さんと石井館長が会うっていうから。そっちばっかで、試合なんて見てないですよ。まあ、後でビデオでちゃんと見たけど。でも、一応、休憩の後は全部見てますけど。

谷川 えっ？ みんなそうなのかなぁ？

山口 しっかし、Ｓｈｏｗの格好は暑っくるしいんだか、涼しげなんだかよく分からない格好だよなぁ。

谷川 結構、モチ肌だねぇ。

大谷 モチ肌ですかぁ（笑）。

谷川 色っぽいっていうか、いやらしいねぇ。

巻頭座談会リターンズ PRIDE.15を振り返る

山口 ちゃんと写真撮っておいてね。暑っくるしく見せたいんだか、涼しげに見せたいんだか分からない、この妙な格好。
谷川 なんか、パパイヤっぽくも見えるなぁ。
山口 は? なんですか? なに、そのパパイヤっぽいって(笑)。
谷川 パパイヤ鈴木ですよ。
山口 あ〜あぁ、パパイヤ鈴木ね。
谷川 なんか、こう体の膨らみ方がさぁ。
山口 ま、いずれにしろ気持ち悪いよね。
大谷 ヒャッ! ありがとうございます。でも、嬉しいなぁ。山口さんも谷川さんもちゃんと突っ込んでくれるから。
谷川 気持ち悪いこと言うなぁ。さぁ、振り返って、どうだったの?
大谷 だから、休憩前はちゃんと見てない。休憩後は……。
谷川 見てどうだったの?
大谷 いやぁ、意識が猪木軍対K—1軍団に行ってますからねぇ。
谷川 そんなにワクワクしているんだ。
大谷 ええ。俺はもうハッキリ言って、『プライド』は捨てました。
谷川 捨てたぁ〜!
山口 だっはははははは。
谷川 このヤローっ! 捨てるなよ。
山口 いいぞぉ〜、Show!
谷川 ここまで育てて……。
大谷 あとは皆さんにお任せしますよ。僕はもう、猪木軍団対K—1軍団に進みましたから。
谷川 じ、じゃあサクはどうするんだよ。
大谷 いやぁ、サクも出ればいいじゃないですか。猪木軍団かK—1軍団どっちかで。
谷川 どっちかでって、なんで、サクがK—1軍団で出るんだよぉ。サクちゃんとK—1軍団のつながりなんてひとつもないよ。
大谷 いやぁ、だってアンディ・フグのファンだったじゃないですか、俺。
谷川 そういう基準で決めてるわけじゃないから(笑)。
山口 それだったら誰でも上がれるじゃん(笑)。
大谷 どっちでもいいから、みんなも早くそっちに進んでください。MSGシリーズがIWGPシリーズに変わったような感じで進めばいいんですよ。
山口 わけの分かんないことばっか言うなよ、このパパイヤ小僧!
谷川 俺はだけど、MSGシリーズ好きだったなぁ。あっ、すみません、タバコ置いてます?
大谷 谷川さん、ファスティング中なんだからタバコ吸っちゃダメでしょ。
谷川 いやぁ、タバコはずっと吸ってましたよ。
山口 肉は食うわタバコは吸うわ、それでどこがファスティングなの?
谷川 いやぁ、でも2日半はやりましたからね。もう十分ですよ。昨日おとといは何も食わなかったもんなぁ。
山口 そりゃ、ファスティングやってるんだから当たり前ですよ(笑)。
谷川 明日、残りの半日やろ。
大谷 あっはははははは、そんなファスティングがあんのぉ? ファスティングを冒涜しているなぁ。
谷川 いやぁ、でも僕は前に1回完遂しているからね。
大谷 1回完遂しているからいいの?
山口 ファスティング道にもとるね(笑)。

ハッキリ言って『プライド』は捨てました。あとは皆さんにお任せします。僕はもう、猪木軍団対K-1に進みましたから(大谷)

大谷 で、谷川さんはどうだったんですか?
谷川 『プライド15』は……、普通。
大谷 ええっ、なんだよぉ、それ。俺もあんまりちゃんとしたこと言ってないけど、それはないんじゃないのぉ(笑)。
山口 社長(柳沢忠之のアダ名)、俺、帰っていい? ホントに。
谷川 ま、まあ、面白かったけどね。
山口 「普通」ってなんだよ(笑)。
谷川 あの〜、ハイアンがね、やっぱりちょっとね。ハイアンがムカついたなぁ。
大谷 それはある。グレイシーの風上にも置けない、あれは。
谷川 ホント、ムカついたなぁ、ハイアンが。はい、会長(山口日昇のアダ名)は?
——だっはっはっはっはっは。今日は何? 一言コメントでまとめてるの?
山口 座談会じゃないよ、これ(笑)。終わって1週間くらい経つの?
大谷 そう、1週間。
山口 な〜んか忘れちゃったなぁ。
——ほんとに遠い過去の話だよなぁ。
山口 1週間でこれだけ風化しちゃうってことは、ちょっとヤバイ気がするけどなぁ。でも、決してつまらなかったわけではないんだよね。
谷川 うん、面白かった。
山口 会場も熱気があったし。
大谷 そうなんですよね、たしかに。なんでなんですかね?
山口 なんかこう、脳ミソがスクワットしないね。いま一つ(笑)。
谷川 イヤらしい選手がいないんですよね。悪役っていうか。
山口 それ! 一言で言うと、やっぱりヒールがいないんですよ。
谷川 ジェロム・レ・バンナとかさぁ、小川直也とかさぁ。
山口 昔のグレイシーとかね。
谷川 そうそう。ヒクソン、ホリオンとかね。ああいうのがいないとやっぱりちょっとなんか……。
大谷 大会がイマイチというか。
谷川 イマイチじゃないんだけど。

▼超満員（27323人）のお客さんが詰めかけた『プライド15』。お客さんの熱気はもの凄く、盛り上がってはいたが……

山口 それぞれの試合は面白いんだよ。

谷川 うん、面白い。でも、このまま回を重ねていくと、K―1っぽくなってしまうというか。

大谷 でも、兆候はありますよ、もう。

山口 いや、もうすでにK―1化しているでしょ。

谷川 K―1化ってどういうことなの？

大谷 Show。

谷川 K―1化ですか。どういうことですかねぇ。へへへへへっ。

――いつ何時も、気持ち悪いね、キミは（笑）。

谷川 じゃあ、この前のお客は良かったと思うの、悪かったと思うの？

大谷 ええっ、客ですかぁ。客は……。

谷川 いいお客さんだったと思うの？ 会場の熱気とかみて。

大谷 どうなんだろう。でも、なんか、『プライド』であればなんでもいいみたいな風潮というか空気があるんですよ、僕の周りにも。そういうのは良くないですよね、たぶん。誰対誰があるから見に行こうとか、そういうふうじゃないと。

山口 『プライド』であればなんでもいいっていうのはいいんじゃないの？ イベントとしては。ダメなの？（笑）。

大谷 そ、そうなんですか？

山口 アントニオ猪木なら何をやっても許されるという次元までいけばいいじゃない、『プライド』も（笑）。

大谷 でも、『プライド』はまだそこまで行ってないですもん、ダメですよ。

谷川 もの凄い熱気だったよねぇ、でも。

山口 頭おかしいんじゃないかっていうくらい凄かった（笑）。

谷川 あのノリは凄いですよね。

山口 で、例えばの話、ヴァンダレイ・シウバが誰かとカード組まれて出てきたら、もの凄い歓声を受けるでしょ。ブーイングはそんなに飛ばないと思うよ。

谷川 飛ばない飛ばない。

山口 そういう意味で、ヒールを生み出しにくい空間ではあるよね。おしなべてベビーフェイスにしていく世界っていうかさぁ。

――それはファン側が？

山口 うん、ファン側。べつにファンには責任はないと思うんだけど、取り巻く空気が、ベビーフェイスしか生まないような風向きになっちゃってる。

なんでもかんでも騒ぐお客さんはフジテレビが作っているんじゃないですか（大谷）
フジテレビのせいじゃない！ フジテレビ批判はやめろ！（怒）（谷川）

谷川 どっちに責任がないんだろう？

山口 はぁ？ 意味が分かんねえよ、それ（笑）。俺、生まれて初めて聞かれたよ、「どっちに責任がないんだろう？」なんて（笑）。

――「どっち」も分かんないし、「責任」って意味も分かんない（笑）。

谷川 ああ、間違えた。どっちに責任があるんだろう？

大谷 ヒャヒャヒャ。な～んか、久しぶりの座談会でうれしいなぁ。

谷川 あの、客のノリっていうか、なんでもかんでも騒いじゃう、お客さんを作っているのは、ファンが作っているのか、それとも『プライド』が作っているのか？

大谷 じゃあ、K―1はどうなんですか？

谷川 K―1はそういう状況にどんどんなっていったんだよ。

大谷 それは……石井館長が作ったんですか？ それとも誰がそうしたんですか？

谷川 まぁ、一番作ったのはフジテレビだね。

大谷 じゃあ、同じじゃないですか。『プライド』だってフジテレビがそうしているんじゃないですか？

谷川 あの……、フジテレビ批判はやめろ！（怒）。

――ぷぷぷぷぷぷぷぷぷっ！

山口 ぐわはははははははははははははははははは！

谷川 よ、要するに……。

山口 面白い！ 素晴らしいよ、今の展開は。ガ然、ヒートアップした。あぁ来て良かった、今日。ぷぷぷっ。

――いいなぁ（笑）。凄くいいなぁ、だっ

谷川 ははははは。

谷川 よ、要するに、K―1も最初、リングスと絡んで、格闘技オリンピックとかいろいろやっていた時に、求心力のプロレスファンがかなり見に行ったんだよね、K―1を。

大谷 はいはいはい。それは分かります。

谷川 それがだんだんメジャー化していく中で、遠心力のファン、ベルナルドがカッコイイとかアーツがカッコイイとか、そういうファンが凄く増えていって、で、今、まさに、そのコアなファンというのが少なくなっている危機感から、石井館長はもういっぺん、それを取り戻したいから、猪木軍団とやりたいとかっていう、そういう感じになっているんだよね。

山口 その一歩を踏み出す勇気は凄いよね、館長の。

大谷 凄い凄い、それは凄い。

谷川 で、それが今、逆に言うと、『プライド』でもそういう、ワーッとなんでもかんでも騒いじゃって、このままいくと、ファンが空洞化していっちゃうんじゃないかという危機感があるよね。

山口 K―1化って、おしなべてベビーフェイスにしていく世界のことを言うんじゃないの。誰が勝っても負けても声援送って、試合が終わったら、2人とも頑張ったぞ～っていう世界。それはやっぱりフジテレビのせいだと思うなぁ（笑）。

谷川 フ、フジテレビのせいじゃない！

――この時期にフジ批判はやめろっ！（笑）。

山口 ぐわはははははは。

谷川 今、フジテレビの会議出てきたばっかりなんだから（笑）。

山口 でも、これは批判じゃないもんなぁ。問題を追求していく姿勢というか、なぁ、Show？（笑）。

まぁ、それも面白かったんだけど。
レス」っていう表現が、今の感覚の中で
軍団対K―1軍団とか、例えば猪木軍団

――フジテレビを追求しないでくれ！（笑）。

谷川 し、しないでくれ！　でも、『プライド』はフジテレビが作っているんですかねぇ？　そんな感じは全然ないんですけどね。

山口 ふ〜ん。

――まあ、話を戻すと、K―1化っていうのは、要するにメジャー化ってことでしょ。

山口 うん。簡単に言うとね。

谷川 決して悪いことじゃないよ、メジャー化するのは。

――悪いことじゃないよ。でも、プロレスファンにとって「メジャー」に対するコンプレックスっていうのは、永遠の命題でしょ。

山口 それしかないって言ってもいい。

谷川 メジャー化するとマニアックなファンは離れますよね。

山口 マニアックなファンというか、プロレスファンっていうのはもともと日陰者だからね（笑）。

――そうそう。

山口 その日陰者根性を軸に見ちゃうと、この間の『プライド』の空気みたいなのは、「なんかなぁ」ってなっちゃうんだよね。

――最近ね、猪木さんの発言で凄い引っかかるっていうか、いいなぁと思ったのは、小川に対して言ったじゃない？

大谷 「離婚しろ」って（笑）。

――違うよ（笑）。

山口 「Tシャツの金勘定ばっかりしてるな」って（笑）。

――まあ、それも面白かったんだけど。「小さな釣り針では大きな魚は釣れねえぞ」って言ったじゃない。

山口 ああ、言ってた。

――それが今のプロレスとかプロレスファンを一言で言い表しているなぁと思うんだよね。

谷川 それで、その小さな針と大きな魚っていうのは、何と何なの？

山口 だっはははは。ちょっとそこまで話を噛み砕くのはやめようよ（笑）。

――それも説明しなきゃいけないの？（笑）。

谷川 いやいや、じゃあいいや。

――メジャー化するってことは、小さな魚を捨ててでも大きな魚を狙うってことだよね。でも、今のプロレスっていうジャンルはみんな、小さな仕掛けで成り立たせている世界だからさぁ。

大谷 ああ、そうかそうか。

――小さな針で小さな魚をいっぱい釣ってる世界が今のプロレスでしょ。

大谷 そりゃダメだな。

――で、ファンもまた大きな仕掛けを求めていないっていう気がするんだよね。

大谷 ああ、ファンが求めてないんだったら、ファンがダメなんだ。

山口 それに関してはファンじゃなくて、プロレスマスコミがダメなんだよ。

――俺は、それが一番大きいと思うよ。マスコミが一番デカいと思う。

大谷 あらま。

山口 マスコミが小さい針のことばっかり取り上げているから。

谷川 そうだね。今のはよく分かる。

山口 べつにあんまり、さっきの話と大して変わってないんだけど（笑）。

――今のマスコミの表現としてさぁ、会長なんかもよくやっているけど、「純プロレス」っていう表現が、今の感覚の中では凄く適切じゃん。

ファンがダメっていうより、プロレスマスコミがダメだよね。マスコミが小さい針のことばっかり取り上げているから（山口）

山口 ホントは、そういう区分けはしたくないんだけどね。

――うん、だけど、適切な状況だよね。そういう言葉が。で、その純プロレス＝小さな針なんだよね。

山口 そうだね。要は生け簀だよね。人工的な生け簀。

大谷 そこまで小さいんですか。

山口 例えば桜庭でいうと、以前の『プライド』では、大きな海を活き活きと泳いでるっていうイメージのファイトをしていたのに、去年の「猪木祭り」のvsカシンなんかは、ホントは表現の幅としてはバーリ・トゥードより広いはずのプロレスの試合なのに、なんか生け簀で一生懸命泳いでいるみたいなイメージでしょ。それが今の純プロレスのポジションを端的に表してるよね。

大谷 だから、早く猪木軍団対K―1軍団に進めばいいんですよ、みんな。

山口 でも、『プライド15』も凄く盛り上がったけど、今の『プライド』もその生け簀になりかかってるのかなって気もするんだよね。「純プライド」っていうか。

大谷 はあ、凄い言葉だなぁ。

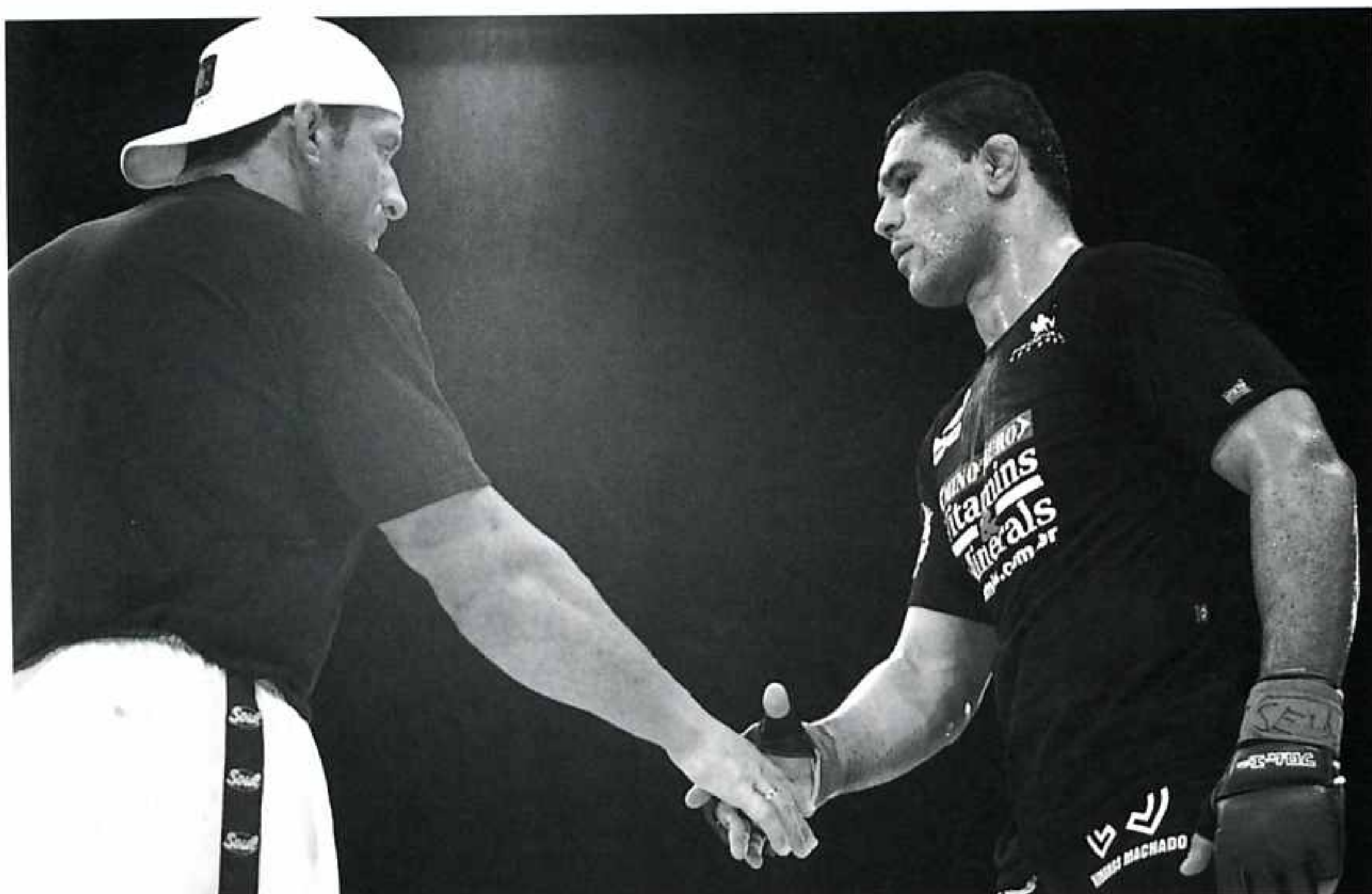
山口 その先に猪木軍団対K―1軍団とか、例えば猪木軍団対プライド軍団とか、猪木軍団対極真軍団とか、そういう大きな魚がいないと、どんどん純プライド化していっちゃうでしょ。

谷川 ふんふんふん。

大谷 じゃあ、K―1対猪木軍団というのは、メジャー対マニアの闘いなの？

――構図としてはそうでしょ。

谷川 猪木軍団ってのはマニアックな世界だよね。で、あえてメジャーが不利なハンディを背負って、マニアックな世界に挑もうとしていること自体が、みんな魔可不思議に思うよね。

――そういうこと。

▲コールマンVSノゲイラというマニアックなカードも、『プライド』のようなメジャーな世界だとコアファンに対するオプションとして余裕を持ってできる

谷川　とくにテレビ局やスポンサー関係にしてみれば、なんであのメジャーなK—1が、ゴールデンでスポンサーも一流企業がつくようなK—1が、マニアックな世界に行って、しかも、勝てもしないルールでやるのかってところが理解できないんだよね。

大谷　そこにはロマンがあるんだって押し通しちゃダメなんですか？

谷川　なんのロマン？　って話でしょ。

——どっちかって言ったらさ、メジャーな位置からしかできないことっていっぱいあると思うんだよね。猪木さんはマイナーな世界からメジャーに風穴を空けるというやり方をしてきたけども、それも、メジャーなほうにやる気がなければできないわけでしょ。アリにしてもなんにしても。

谷川　うんうん。

——もちろん仕掛けた猪木さんは凄いんだけど、アリがやったってこと、つまりメジャー側が受けたってことのほうがホントに凄いことだと思うんだよね。

山口　アリにとってはリスクしかないわけだからね。

——そう。だから、ロマンってやっぱりメジャー側が握ってるんだよ。メジャーになっちゃうとできないことっていっぱいあるけど、逆にメジャーにならなきゃできないことっていうのもいっぱいあるもんね。

大谷　ああ、そっかあ。

——例えば、この間の『プライド』でコールマン対ノゲイラのカードが流れたでしょ。でも、それを求めているファンがどれくらいいるの？　って話じゃん。誰が出てきてもワーッと騒いでるメジャーな空間の中で、コールマン対ノゲイラっていう、ホントにマニアックな世界がどれだけ必要なのか、どれだけ意味を持っているのか。

谷川　うんうん。

——でも、逆にそれはメジャーな領域だからできることだと思うんだよね。例えばDEEPみたいな世界だったら、コールマン対ノゲイラって精一杯のカードでしょ。だけど、ハッキリ言ってそういうカードだけでは「メジャー化」できないよね。それが『プライド』のようなメジャーな世界だと、余裕を持ってできちゃう。コアファンに対するオプションになるんだよね。

大谷　はいはい。

——だから、日陰者にとっては今のメジャー化した『プライド』の客層とかあの空間とかは凄くイヤなわけよ。日陰者という小さな魚の立場からすれば、大きな魚がのさばっている空間っていうのはイヤでしょ（笑）。でも、もし『プライド』が方向転換して、大きな魚を無視して小さな魚ばっかり釣ろうとしたら、今のメジャーな立場は維持できないだろうし、精一杯やってコールマン対ノゲイラっていうことに落ち着いちゃうんだろうね。

会長！　僕はわりと……。（谷川）
失礼しました。谷川さんはメジャーの人だからねぇ（笑）（山口）

山口　言わんとしていることは凄くよく分かる。

——K—1も一緒だと思うよ。だから、K—1の精一杯の立場として、ここまで大きくなった器の中で、あえて猪木軍とやることには凄く意味があるよね。

谷川　あまりメジャーになりすぎると、何をしていいか分からなくなるんだよ。メジャーはホントに難しいよなぁ。

山口　メジャーを批判するのは簡単なことなんだよね。とくに我々みたいな日陰者根性を持った者としては、簡単に批判できるじゃない。

谷川　会長！　僕はわりと……。

山口　あ、失礼しました。谷川さんはメジャーの人だからねぇ（笑）。

谷川　というか、あの空間に合う人ですよね（笑）。

山口　あの空間じゃないと生きないと言ってもいいかもしれないですね（笑）。

——ぷぷぷぷぷぷぷっ。

山口　メジャーじゃなきゃできないっていうのは、サダハルンバのことを言うのかもしれない（笑）。逆に言えば、サダハルンバがマニアックな世界に来たら、まったく光らないかもしれないし（笑）。

谷川　うん。

山口　だから、メジャーの位置にいて、なおかつ求心力を持つっていうのは、もの凄い難しい作業だと思うんだよね。たぶん、みんなが目指していることだと思うんだけど。

谷川　みんなが目指していることでしょ。

——ホント、そうだよね。格闘技に限らず、どんなジャンルでもそうでしょ。メジャー化していけば、求心力が失われていくというリスクは必ず背中合わせで、どんなジャンルにだってあるんだから。

山口　でもさぁ、例えば、さっきサダハルンバが言った、格闘技オリンピックや、USA大山カラテと正道会館の5vs5なんかは、プロレスファンも注目する求心力があったでしょ。新しい磁場としてね。でも、K—1になっていったら、メジャーになったけど、格闘技界の中心にある渦みたいなものとは関係ないっていうところで、切り離して見てるファンもいるわけでしょ。

——メジャーなものは関係なくなっちゃうんだよね、日陰者にとって。

山口　で、K—1が辿って来た道筋というか、それと同じ道筋に『プライド』は行ってほしくないという思いが、ファン

にはあるんだよね。

大谷　あるある。

山口　たしかにK—1は凄いしメジャーなものなんだけど、あまり「渦」という部分とは接点がなかったでしょ。

谷川　ホントにそういう人が多いよ。じゃあ『プライド』はこれからどうしていけばいいの？

——主催者側とファン側に分けて言うとしたら、ファン側には「メジャー化するって大切なことなんだよ」っていうことを言うべきだよね。

谷川　うん、大切。

——「メジャーだからこそできること」をもっと追求しよう、と。日陰者の欲求を満たすことを、メジャーのお裾分けでオプションとしてガンガンやってもらうと（笑）。

大谷　ああ、それは楽しそうだ。

——主催者側に対しては、そのオプションやお裾分けってことを忘れた瞬間にもうゼロだよ、と。

谷川　なるほどね。

——「メジャーだからこそできること」っていうのは、当然タイソンやカレリンや、それこそ室伏広治や井上康生を引っぱり出すことが第一義なんだけど、それと同時にノアの杉浦貴も『プライド』で見せてねっていうことでしょ（笑）。

大谷　ああぁ、それはそうだ。

——俺らは結局、その両方をバランスとして求めてるんじゃないの？

山口　その両輪がなきゃダメなんだよね。そういう時期に、メジャーなK—1がマイナーな猪木軍団と対抗戦をやるって踏み出しているのは、凄い宝だよね。

谷川　凄い宝だね。

——アントニオ猪木って存在はマイナーではないんだよね。マニアックなんだよ。

谷川　そう。マニアックなんだよね。

山口　マニアックであり、ヒールになれるスケールを持ってるんだよね。

——世間的な悪役というスタンスを、我々が勝手に持っているだけでしょう。

山口　そうそう。そういうイメージを持っていたいというかさぁ。世間に対する時のスタンスとして、ヒールでもなんでも引き受けてやるぜっていう凄みね。

——世間がベビーフェイスだとしたらね。

山口　そう。

——でも、日陰者としては、どこまで行っても世間がヒールなんだけどね。でも、一般的には世間っていうベビーフェイスを相手に、アントニオ猪木という悪役がどこまで引っかき回してくれるかって話でしょ。

谷川　Ｓｈｏｗ、分かった？　猪木軍団対K—1の意味は？

大谷　俺は、もうバッチリ分かってますよ。

谷川　どういうふうに分かっているの？

大谷　面白いって。へへへへへっ。

——でも、ホントに危険な状況にあるのは、『プライド』ってものが、メジャー化していくことが危険なんじゃなくて、ファンがメジャーに対処しきれないということのほうが心配だよね。

大谷　へぇ〜。

山口　『プライド15』に来ていたファンからしてみれば、そんなことまったく関係ない話じゃないの？

大谷　関係ない、と思いますよ。

メジャーなK-1がマイナーな猪木軍団と対抗戦をやるって踏み出しているのは、凄い宝だよね。（山口）

——そうだよね。だから、そういうヤツらと同じ空間にいることがイヤなんでしょ、日陰者は。日陰者にしてみれば「オマエらホント、なんでもいいんか？」っていう感じでしょ（笑）。

大谷　なんでもいいんですよね。

——でも、そういう空間が耐えられないって気持ちを、どこでバランスをとっていくか。そいつらを無視したら今の『プライド』は成り立たないんだから。

山口　まったく成り立たない。

——とにかく、この間の『プライド』の客層を見て一番思うことは、コアファンは居づらいだろうなってのは感じるんだよね。でも、やっぱり居心地の悪い中でいかに叫び続けるかっていうのが、マイナーパワーっていうことじゃないの？

山口　昔、社長とさ、Uインターが絶頂期であると同時に、危機感がまったく見えない時期に、Uインター批判みたいなことやったじゃない、紙プロで。

——うんうんうん。

山口　あの当時のUインターもまさにその〝居づらい〟って感覚だったよね。

——そうだよね。

山口　お客さんは入ってるし、熱もあるんだよ。だけど、どうも居づらいっていう空間ね（笑）。

——だけど、そこらへんから俺らが学ばなきゃいけないのは、居づらいことも「是」っていうかさぁ。俺らが居心地がいいなんていうのは、それはビジネスとしてダメだろっていう（笑）。

山口　うん。ビジネスの構造なんてグチャグチャだもんなぁ。俺らが居心地いい場なんて（笑）。

大谷　そうなんだよねぇ。

山口　その当時の、まんざらでもない頃のUインターっていうのは、ホントは落とし穴がすぐそこにあるっていうのは分かってるのに、団体もファンもそれに気が付かなかった。で、今の『プライド』が、やっぱりまんざらでもない顔をしているのか？　それともその先を見て、絶頂期なりの危機感というか、絶頂期だからこそ持たなきゃいけない攻めの姿勢を持っているのか。それがいまいちよく分からないんでしょう。

谷川　まあ、半々でしょうね。たしかに、絶頂期の満足感もあると思いますよ、今の『プライド』は。危機感もあると思うし。

——一番危機感を持ってるのは、猪木さんじゃない？

谷川　ああ、そうだろうね。

大谷　う〜ん。いつまで経っても猪木さんにしか頼れないんだなぁ。

——いや、マニアックな世界でメジャー

を標的にできるのは、アントニオ猪木しかいないもん。みんなマニアックで終わっちゃってんだもん。

山口 逆に言えば、メジャーの世界でマニアックなものを標的にできるのは石井館長くらいしかいないんだよね。

谷川 いない。ただ、マニアックな世界ってなくならないですよね。メジャーはなくなる可能性あるけど。

——そう。絶対にマニアックな世界はなくならない。

谷川 マニアックな世界ってテレビの中継が深夜に追い込まれようが、会場が小さくなろうが、絶対に生き残るでしょ

——だから、やっぱり『プライド15』の総括はそういうことなんだよ（笑）。

谷川 なるほど。

大谷 そうなるんだよなぁ。

山口 ホントでもさぁ、単純に行けば「純プライド」になる兆候はあるよね。

——メチャあるでしょ。

大谷 超プライドにしないと。

——『プライド』で猪木VS石井があったというのが救いなんだよね。

大谷 ホント、それはそうだ。

山口 そうなんだよね。

——そういうことに関係ないファンばっかりなんだから。サクが出て来て、ワーッと騒げればいいというファンばっかりじゃない。でも逆に、そんな離れやすいファンはないんだよね。だけど、そういうファンに支えられていることは間違いない。そういったファンを無視するわけにはいかないし、そのギリギリの線をどうやって綱渡りしていくかということだよね。

山口 コアなファンをきちんと育てる、変換させていく装置が今ないからね。

——そうだよね。

山口 『SRS・DX』も『紙プロ』もやってるつもりなんだろうけど（笑）。なかなか、いい意味でのコア層が育たない。

——でも、大衆層をコアなリピーターに変換させていくっていうのは、メジャー世界の命題だろうけど、なかなか難しいよね。例えばK—1でも、フジテレビはブラウン管スポーツとしてのリピーターは作ったと思うんだよね。でも、会場に必ず来て、新聞も専門誌もチェックする、従来のプロレス・格闘技のコア層とはまったく違うでしょ。

大谷 そりゃそうだ。

谷川 も、もうそろそろフジテレビの話題はそれくらいにして……。

山口 なにが！（笑）。

谷川 そ、それよりも、Ｓｈｏｗの『ワンダフル』のほうが問題だっ！

大谷 えーっ、なんでぇ～？

谷川 あれはワンギャルのリピーターばっかりで、格闘技のリピーターじゃないもんなぁ。

大谷 いやぁ、こう見えてもボクのファンも着実にリピーターになってますって。

山口 オマエのファンなんかいるのかよ？（笑）。

——それはリピーターじゃなくてフェチだね（笑）。

山口 ガッハハハハ！

谷川 いやあ、ＴＢＳはそういうフェチもどきの小さな魚は無視して、ワンギャルだけで立派なメジャー路線を突き進んでほしいなあ。

大谷 ヒャッ!?

■

8/23THU〜9/13THU
CALENDAR

日付	予定
8/23 THU	★『SRS・DX』53号発売日
8/24 FRI	●フジテレビ系『SRS』(25:45〜26:15)放送 ⬅p69
8/25 SAT	■パンクラス/大阪・梅田ステラホール(18:30〜)⬅p47 ◆Be a champ 3rd stage/チケット発売 ⬅p49
8/26 SUN	■修斗/大阪府立体育会館第一競技場(14:00〜)⬅p47 ◆PRIDE.16/チケット発売 ⬅p48
8/27 MON	
8/28 TUE	
8/29 WED	
8/30 THU	■ZERO-ONE/東京・日本武道館(19:00〜)⬅p46
8/31 FRI	●フジテレビ系『SRS』お休み
9/1 SAT	
9/2 SUN	■修斗/東京・後楽園ホール(18:00〜)⬅p47 ◆K-1ワールドGP in 福岡/チケット発売 ⬅p46 ◆PANCRASE 2001 PROOF TOUR/チケット発売 ⬅p47
9/3 MON	◆K-1ワールドGP in 福岡/チケット発売 ⬅p46
9/4 TUE	
9/5 WED	
9/6 THU	
9/7 FRI	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール(18:00〜)⬅p48 ●フジテレビ系『SRS』(25:45〜26:15)放送 ⬅p69
9/8 SAT	■ニュージャパンキック連盟/東京・後楽園ホール(17:00〜)⬅p48
9/9 SUN	■新日本キック協会/東京・アールンホール(16:00〜)⬅p49
9/10 MON	
9/11 TUE	
9/12 WED	
9/13 THU	★『SRS・DX』54号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

リングス

**新世代台頭のチャンス！ 須藤元気初参戦！
メインは未来のエース、滑川だ！**

BATTLE GENESIS VOL.8
9月21日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/18:00　試合開始/19:00 ◆入場料/RRS席12,000円 RS席10,000円　スタンドS席7,000円　スタンドA席5,000円　スタンドB席3,000円　学生特別優待A席2,000円　学生特別優待B席1,000円　※学生特別優待席はチケットぴあのみで販売。なお、購入できるのは高校生以下。購入の際、学生証の提示が必要 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、レッスル渋谷、レッスル池袋、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、格闘技プロショップ・イサミ、イサミ尚武堂 ◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

決定対戦カード

《ミドル級　オフィシャルマッチ》
滑川康仁（リングス・ジャパン） vs デクスター・ケイシー（リングス・イギリス）
横井宏考（リングス・ジャパン） vs 小島正也（和術慧舟會千葉支部）
ブライアン・ロアニュー（リングス・オランダ） vs 須藤元気（フリー）
伊藤博之（リングス・ジャパン） vs 門馬秀貴（A³GYM）
小谷直之（RODEO STYLE） vs 所英男（パワーオブドリーム）
矢野卓見（烏合破門会） vs X

掣圏道

Result アルティメットボクシング帯広大会
8.4★北海道・帯広市総合体育館

《全試合結果》

★第8試合
○ボドリャチン・デニス（判定2-0）マトキン・セルゼイ●
〈ロシア／SWA〉　〈ロシア／SWA〉

★第7試合
○桜木裕司（2R3分、反則）ケベドフ・ミカイル●
〈掣圏会館〉　〈ロシア／SWA〉

★第6試合
○アフメドフ・ズラブ（3R1分37秒、KO勝ち）アブドゥラノマノフ・アブドゥルジャリ●
〈ダゲスタン／SWA〉　〈ロシア／SWA〉

★第5試合
○シュリジン・ワレンチン（判定3-0）瓜田幸造●
〈ロシア／SWA〉　〈掣圏会館〉

★第4試合
○マゴメドフ・アルスラン（2R54秒、ドクターストップ）アスケロフ・アザド●
〈ロシア／SWA〉　〈アゼルバイジャン／SWA〉

★第3試合
○ステパノフ・ミハイル（判定3-0）シャークＨＩＤＥ●
〈ロシア／SWA〉　〈截空道〉

★第2試合
○メジドフ・アブドゥルナシル（2R9秒、TKO勝ち）クネベツ・アレクサンドル●
〈ロシア／SWA〉　〈ロシア／SWA〉

★第1試合
○スレイマノフ・マゴメド（1R2分52秒、KO勝ち）浅野将一●
〈ロシア／SWA〉　〈截空道〉

プロレスリングZERO-ONE

FIGHTING ATELETES ZERO-ONE 「真撃」第Ⅱ章
8月30日（木）　東京・日本武道館

◆開場/17:30　試合開始/19:00
◆入場料/特別席（リングサイド）20,000円　RS席（アリーナ）12,000円　SS席（スタンド1F）10,000円　S席（スタンド2F）6,000円　A席（スタンド2F）3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ファミリーマート、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス）、デジシート（http://www.digiseat.net/01/）、たんぽぽの種（http://tanpopo-tane.com/）、サンクス、サークルK、後楽園ホール、レッスル渋谷、レッスル池袋、書泉ブックマート、大山アメリカン、フィットネスショップ水道橋、格闘技プロショップ・イサミ
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

決定対戦カード

マーク・ケアー（アメリカ／LAボクシングジム）、ジャスティン・マッコリー（アメリカ／LAボクシングジム） vs 橋本真也（ZERO-ONE）、藤原喜明（藤原組）
大谷晋二郎（ZERO-ONE） vs リー・ヤングガン（韓国／ハブキドー）
高岩竜一（ZERO-ONE） vs 安生洋二（フリー）
村上一成（UFO） vs X
田中将斗（フリー） vs ジェラルド・ゴルドー（オランダ／カマクラジム）
佐藤耕平（ZERO-ONE） vs イゴール・メインダート（ロシア／カマクラジム）
星川尚浩（ZERO-ONE） vs ショーン・マッコリー（アメリカ／LAボクシングジム）

出場予定選手

小川直也（UFO）
トム・ハワード（アメリカ／UPW）
UFOベイダー（アメリカ／OVW）
アレクサンダー大塚（バトラーツ）

BURNING HEART 火祭り

9月1日（土）　東京・後楽園ホール
9月8日（土）　Zepp tokyo
9月9日（日）　東京・後楽園ホール
9月14日（金）　東京・ディファ有明
9月15日（土・祝）　東京・ディファ有明

◆お問い合わせ/ZERO-ONE事務局☎03-5730-3401、バトラーツ☎048-963-0005

リーグ戦出場予定選手

大谷晋二郎（ZERO-ONE）
石川雄規（バトラーツ）
アレクサンダー大塚（バトラーツ）
村上一成（UFO）
田中将斗（フリー）
ショーン・マッコリー（アメリカ/LA・ボクシングジム）
ジャスティン・マッコリー（アメリカ/LAボクシングジム）
サモア・ジョー（アメリカ/LAボクシングジム）
佐藤耕平（ZERO-ONE）

※5人総当り、2リーグ制。リーグ終了後の1位同士により優勝決定戦。優勝者には橋本、小川への挑戦権が与えられる。

K-1ワールドGP・シリーズ

**グランプリ決勝への出場を賭けて、
再び世界から福岡に強豪が集結！**

K-1 WORLD GP2001 in福岡（敗者復活）
10月8日（月・祝）　マリンメッセ福岡

◆開場/13:30　試合開始/15:00
◆入場料/SRS席22,000円　RS席17,000円　SS席12,000円　S席8,000円　A席5,000円 ◆チケット発売/下記の表を参照
◆会場アクセス/JR博多駅より車で5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977、テレビ西日本事業局☎092-845-8804

出場予定選手

レイ・セフォー（ニュージーランド）
ロイド・ヴァン・ダム（オランダ）
マット・スケルトン（イギリス）
アダム・ワット（オーストラリア）
ピーター・アーツ（オランダ）

10・8『K-1 WORLD GP2001 in福岡』チケット発売

〈一斉発売〉
9月2日（日）10:00～

ローソンチケット	【特電】	☎0570-00-0092 ☎0570-00-0093 ☎092-847-9999 ［Lコード=83703］
チケットぴあ	【特電】	☎0570-00-0027 ［Pコード=945-124］ ☎092-708-9999 ☎092-707-9966
キョードー西日本		☎092-714-0159

9月3日（月）10:00～

ローソンチケット	☎092-847-9999 ［Lコード=83703］
チケットぴあ	☎092-708-9999 ［Pコード=945-124］ ☎092-708-9966
キョードー西日本	☎092-714-0159

K-1 WORLD GP2001 決勝大会
12月8日（土）　東京ドーム

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

修斗

SHOOTO TO THE TOP in OSAKA
8月26日（日） 大阪府立体育会館第一競技場

◆物販開始/11:00　開場/12:00　試合開始/14:00 ◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　SS席12,000円　S席10,000円　パノラマS席10,000円　A席8,000円　パノラマ席8,000円　B席4,000円　【特別通しチケット】HOLDING R共通チケット17,000円（プレイガイド扱いなし）◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e-ticket（http://www.e-ticket.net/）、e+（イープラス）、シューティングジム大阪、BODY MAKER桑名店、KEEL CAFE ◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分 ◆チケットに関するお問い合わせ/修斗大阪大会事務局☎06-6233-8887
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード

《ミドル級チャンピオンシップ》
桜井“マッハ”速人（GUTSMAN修斗道場） vs アンデウソン・シウバ（ブラジル／シュート・ボクセ）
マーシオ・クロマド（ブラジル／スポート・フィジカル） vs 佐藤ルミナ（K'zファクトリー）
ラリー・パパドポロス（オーストラリア／AUS修斗スパルタン・ジム） vs 須田匡昇（クラブJ）
池本誠知（ライルーツコナン） vs スティーブ・バーガー（アメリカ／ホドリーゴ・バギ柔術アカデミー）
藤田善弘（パレストラ広島） vs 村田一着（アメリカ／無所属）
大原友則（シューティングジム東海） vs 徳岡靖之（パレストラ加古川）

※五味隆典VS三島★ド根性ノ助のタイトル戦は三島のケガにより中止

SHOOTO TO THE TOP
9月2日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00 ◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円 ◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、書泉ブックマート、格闘技ショップ・ファイター、フィットネスショップ水道橋 ◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

決定対戦カード

《ライト級チャンピオンシップ》
アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ（王者／ブラジル／ワールド・ファイト・センター） vs 勝田哲夫（1位／K'zファクトリー）
山下志功（パレストラ札幌） vs レオポルド・セラオン（ブラジル／ワールド・ファイト・センター）
秋本じん（K'zファクトリー） vs 廣野剛康（和術慧舟會）
井上和浩（インプレス） vs フラビオ・サンティゴ・デイアス（ブラジル／ワールド・ファイト・センター）
阿部和也（パレストラ東京） vs 石川真（PUREBRED大宮）

SHOOTO GIG WEST 2
9月23日（日） 大阪・NGKスタジオ

◆開場/14:00　試合開始/15:00
◆チケット発売所/e-ticket（http://e-ticket.net/）、他
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

SHOOTO TO THE TOP
9月27日（水） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE、e-ticket（http://e-ticket.net/）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

決定対戦カード

ザ・ばばんば（パレストラ東京） vs 岩瀬茂俊（総合格闘技TOPS）
高田和道（WILD PHOENIX） vs 川尻達也（総合格闘技TOPS）
漆谷康宏（RJWセントラル） vs 赤崎勝久（K'zファクトリー）
小谷ヒロキ（K'zファクトリー） vs 石田光洋（総合格闘技TOPS）
石井俊光（タイガー・プレイス） vs 久保山誉（K'zファクトリー）

プロ修斗公式戦
10月23日（火） 東京・北沢タウンホール

◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

プロ修斗公式戦
11月26日（月） 東京・北沢タウンホール

◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

Result SHOOTO GIG EAST Vol.4
7.27★東京・北沢タウンホール

《全試合結果》

★第7試合（5分2R）
○中山 巧（テクニカル判定3-0）村濱天晴●
〈パレストラ札幌〉〈WILD PHOENIX〉

★第6試合（5分2R）
○山崎剛（判定3-0）藤原正人●
〈TEAM GRABAKA〉〈パレストラ東京〉

★第5試合 北斗旗ルール（本戦3分延長3分）
○藤松泰通（判定3-0）金子哲也●
〈大道塾総本部〉〈大道塾横浜支部〉

★第4試合 ブラジリアン柔術アダルト紫帯プルーマ級（7分1本勝負）
○梅村寛（ポイント4-0）藤田善弘●
〈ALIVE〉〈パレストラ広島〉

★第3試合（5分2R）
○北川純（判定3-0）鹿糠智樹●
〈直心会格闘技道場〉〈パレストラ岩手〉

★第2試合（5分2R）
○富樫健一郎（判定2-0）椎木努●
〈パレストラ広島〉〈直心会格闘技道場〉

★第1試合（5分2R）
○安達明彦（判定2-0）石井淳●
〈パレストラ松戸〉〈超人クラブ〉

Result SHOOTO GIG EAST Vol.5
8・15★東京・北沢タウンホール

《全試合結果》

★第7試合
○吉岡広明（判定3-0）今泉堅太郎●
〈パレストラ東京〉〈SKアブソリュート〉

★第6試合
○松根良太（判定3-0）梅村寛●
〈パレストラ松戸〉〈ALIVE〉

★第5試合/北斗旗ルール（本戦3分延長3分）
○山崎進（延長45秒、KO勝ち）滝田巌●
〈大道塾東北本部〉〈大道塾総本部〉

★第4試合/ブラジリアン柔術アダルト紫帯ガロ級（7分1本勝負）
○山田武志（アドバンテージポイント1-0）泊憲史●
〈PUREBRED大宮〉〈パレストラ東京〉

★第3試合
○鈴木洋平（判定3-0）倉持昌和●
〈パレストラ東京〉〈フリー〉

★第2試合
○田村彰敏（判定3-0）REDスレイヤー♥がい●
〈格闘結社田中塾〉〈総合格闘技夢想戦術〉

★第1試合
○小島直人（判定3-0）松下直輝●
〈パレストラ東京〉〈ALIVE〉

パンクラス

稲垣、大阪所属となって1年半ぶりに復帰！
みのるは3年ぶりに山宮へのリベンジに挑む！

鈴木みのるvsKEI山宮

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
8月25日（土） 大阪・梅田ステラホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30 ◆入場料/SS席8,500円　A席6,500円　B席4,500円　※当日は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ、ローソンチケット、e+（イープラス）、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富万☎078-811-6222、パンクラス
◆会場アクセス/JR大阪駅中央北口より徒歩10分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

髙橋義生（パンクラス・東京） vs 稲垣克臣（パンクラス・大阪）

〈キャッチレスリング〉
鈴木みのる（パンクラス・横浜） vs KEI山宮（パンクラス・東京）
渡辺大介（パンクラス・横浜） vs 鶴巻伸洋（フリー）
伊藤崇文（パンクラス・横浜） vs 柴田寛（RJW/CENTRAL）
吉信（四王塾） vs 矢野卓見（烏合破門会）
北岡悟（パンクラス・東京） vs 宮川順也（パンクラス・横浜）

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
9月30日（日） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/15:00　試合開始/16:30 ◆入場料/SS席16,000円　RS-A席7,500円　RS-B席5,500円　2F-A席10,000円　2F-B席6,500円　2F-C席3,500円　3F席4,500円　※当日券は500円増し ◆チケット発売/9月2日（日） ◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e+（イープラス）、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス ◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
10月30日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30 ◆入場料/SS席10,000円　A席6,500円　B席4,500円　立見3,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/9月30日（日）9・30横浜文化体育館大会、会場内売場でも販売 ◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、e＋（イープラス）、書泉ブックマート、大山アメリカン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス ◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

総合格闘技&ノールール系

全日本キックボクシング連盟

REVOLVER

9月7日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　立見3,500円（当日券のみ）　※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、Bout Review（http://boutreview.com）、全日本キック電話予約☎03-3365-1171
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

小林聡（藤原ジム） vs テーパリット・シットクウォンイム（タイ）
安川賢（S.V.G） vs 割澤誠（作真会館）
清水貴彦（超越塾） vs 久保坂左近（新空手／健生館）
遠藤慎介（不動館） vs 竹村健二（名古屋J・Kファクトリー）
前田尚紀（藤原ジム） vs 工藤正泰（RIKI）

ニュージャパンキックボクシング連盟

9・8後楽園大会、対戦カード決定！

ジョンポップ・キアットポンティップvs桜井洋平

CHALLENGE TO MUAY THAI 9

9月8日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:30　試合開始/17:00
◆入場料/特別RS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　A席5,000円　B席4,000円　C席3,000円　立見2,000円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、他
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-5625-2371

主な対戦カード

ジョンポップ・キアットポンティップ（タイ） vs 桜井洋平（岩瀬ジム）
唐沢たくみ（K-U・八王子FSG） vs 川津真一（NJKF・町田金子）

〈NKBトーナメント予選〉

高野洋一（K-U・神武館） vs 野崎勇治（NJKF・東京北星）
ソムチャイ高津（NJKF・小国） vs 飯田誠一（NJKF・町田金子）
藤原国崇（NJKF・拳之会） vs 深山俊明（K-U・截空道）
中村保成（NJKF・ウイラサクレック） vs 中野智則（APKF・パシフィック）

MA日本キックボクシング連盟

ODYSSEY-3

9月15日（土・祝）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席10,000円　自由席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/連盟事務局☎03-3485-7063

主な対戦カード

―5回戦―

井上哲（山木ジム） vs 荻野兼嗣（ビクトリー）
加藤督朗（フリー） vs 船木鷹虎（仙台青葉）
木村允（土浦ジム） vs 笹羅崇裕（仙台青葉）
マグナム酒井（士道館） vs 井手本高司（八街ジム）

ODYSSEY-4

9月29日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

主な対戦カード

―5回戦―

山上健吾（花澤ジム） vs X
ラビット関（山木ジム） vs X
ファイティング前沢（土浦ジム） vs 増田博正（アクティブJ）
武藤孝行（ビクトリー） vs 小石原勝（習志野ジム）
アトム山田（武勇会） vs 加村健一（習志野ジム）
カズ工藤（士・新座） vs 高島義幸（習志野ジム）
柴田早千予（白龍ジム） vs X

Ticket Present!

9・8『CHALLENGE TO MUAY THAI 9』の観戦チケットを、『SRS・DX』読者3名様にプレゼント！　希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは9月3日（月）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「9・8NJKFチケットプレゼント」係

PRIDE

PRIDE.16

9月24日（月・休）　大阪城ホール

◆開場/14:30　試合開始/16:00（予定）　◆入場料/VIP席100,000円　RRS席23,000円　スタンドS席13,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット一斉発売/8月26日（日）
◆チケット発売所/グレート・アントニオ、ドリームステージエンターテインメント、他　◆会場アクセス/JR大阪城公園駅、地下鉄大阪ビジネスパーク駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

マーク・コールマン（アメリカ／ハンマーハウス） vs アントニオ・ホドリコ・ノゲイラ（ブラジル／ブラジリアン・トップチーム）

バトラーツ

『ヤングジェネレーションバトル'2001』

優勝決定戦
8月25日（土）　北海道・札幌テイセンホール

ヤンジェネ・クライマックス
8月26日（日）　北海道・札幌テイセンホール

DAY BREAK

9月9日（日）　東京・後楽園ホール

薔薇の香りに誘われて……

9月16日（日）　広島県立ふくやま産業交流館

GO WEST

9月17日（月）　アクロス福岡

格闘ロマン ～YUKI BOM-BA-YE～

10月14日（日）　東京ベイNKホール

Extreme Brawl ～極限への挑戦～

10月26日（金）　沖縄・宜野湾運動公園　野外劇場

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

バトラーツ、秋のビッグマッチ決定！ 10・14NKホール、10・26沖縄大会だ！

▲7月31日に行われた会見で、格闘探偵団バトラーツの秋のビッグマッチが発表された。まずは、フジテレビ主催で行われる10・14東京ベイNKホール大会。続いて、沖縄テレビ主催で行われる10・26沖縄大会だ。出場するのはアレクサンダー大塚、石川雄規らバトラーツ全選手のほか、大谷晋二郎（ZERO-ONE）、松井大二郎（高田道場）、平直行（RtoR）等。遂にNKホールにも初進出し、ますます格闘ロマンを突き進むバトラーツを熱く観戦しようっ！

J-NETWORK

地獄から来たパフォーマンスドール、ジャネット・パヤックランポーグ来日！

◀泉ユーサクと闘う、ジャネット・パヤックランポーグ

MAKING THE ROAD-Ⅳ

9月14日（金） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30 試合開始/18:00
◆入場料/S指定席5,000円 A自由席4,000円 当日入場券4,500円 ※当日500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

主な対戦カード

—5回戦—

長谷川康成（アクティブJ） vs 鈴木ミツル（飛鳥塾）
五十嵐幹志（アクティブJ） vs 天野哲成（MA・マイウェイジム）
蔵満誠（アクティブJ） vs 明日華和哉（飛鳥塾）
ジャネット・パヤックランポーグ（タイ） vs 泉ユーサク（MA・山木ジム）

シュートボクシング協会

Be a champ 3rd stage

9月25日（火） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/RS席8,000円 SS席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
◆チケット発売/8月25日（土）
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、渋谷東急文化チケットセンター、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、チャンピオン、書泉ブックマート、後楽園ホール、ワールドスポーツプラザKINGS☎03-3462-1212、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

決定対戦カード

土井広之（シーザージム） vs 中国散打選手
緒形健一（シーザージム） vs 中国散打選手
前田辰也（寝屋川ジム） vs 中国散打選手
後藤龍治（土道館） vs 中国散打選手
伊賀弘治（龍生塾） vs 中国散打選手

〈SBシーガル級タイトルマッチ〉
宍戸大樹（シーザージム） vs 坂口立起（龍生塾）

日本キックボクシング連盟

Result

日本キックボクシング連盟「2001激動シリーズ」
8.5★茨城・水戸市民体育館

《全試合結果》

★メインイベント/日本バンタム級王座決定戦
○尾崎英樹〈ピコイ錦ジム〉（判定3-0）海老沢朋和●〈平戸ジム〉

★第7試合
○関健至〈平戸ジム〉（4R1分24秒、KO勝ち）高嶺幸良●〈大阪真門〉

★第6試合
○中岡秀夫〈大阪真門〉（1R2分01秒、TKO勝ち）松永敦●〈福岡リアルディール〉

★第5試合
○神谷秀明〈ピコイ錦ジム〉（2R1分46秒、KO勝ち）道中克明●〈千葉〉

★第4試合
○広瀬哲郎〈平戸ジム〉（3R2分01秒、TKO勝ち）石井旭●〈大塚道場〉

★第3試合
○渋谷正太〈千葉〉（判定2-0）播田実勝徳●〈平戸ジム〉

★第2試合
○真方大輔〈直心会〉（判定3-0）藤枝和則●〈平戸ジム〉

★第1試合
○千葉啓司〈直心会〉（2R2分07秒、KO勝ち）太田正成●〈平戸ジム〉

新日本キックボクシング協会

Fight Ⅱ 平和島

9月9日（日） 東京・アールンホール

◆開場/15:30 試合開始/16:00
◆入場料/RS席8,000円 A指定席5,000円 立見4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、治政館ジム、協会各ジム
◆会場アクセス/東京モノレール東京流通センター駅より徒歩2分
◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

主な対戦カード

—5回戦—

中川タカシ（トーエルジム） vs ムアンファーレッグ・ギャットウィチアン（タイ）
蔦謙介（藤本ジム） vs 風神和昌（野本ジム）
石川準（宮川ジム） vs 阿部道人（治政館）
ヒロ本間（野本ジム） vs 阿佐美義文（治政館）
リトル・ジョーカー（トーエルジム） vs 佐藤優悟（治政館）
小鳥（ホワイト・タイガー） vs 天竺裕史（尚武会）

〈日本ライト級タイトルマッチ〉
石井宏樹（藤本ジム） vs マサル（トーエルジム）

深津飛成（伊原ジム） vs デンラグー・トゥーラットグー（タイ）
鈴木敦（尚武会） vs 真鍋英治（市原ジム）
小川和宏（治政館ジム） vs 金輪圭（韓国）

Ticket Present!

9・9『Fight Ⅱ 平和島』の観戦チケットを、『SRS・DX』読者5組10名様にプレゼント！ 希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは9月3日（月）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「9・9新日本キックチケットプレゼント」係

TAKE ONE

9月16日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/16:30 試合開始/17:00 ◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 S席10,000円 A席7,000円 B席5,000円 立見席4,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、ディファ有明☎03-5500-3731、治政館ジム
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

主な対戦カード

—5回戦—

〈ラジャダムナンスタジアム認定ウェルター級タイトルマッチ〉
武田幸三（治政館） vs チャーンヴィット・ギャット・ト・ボー・ウボン（タイ）

Ticket Present!

9・16『TAKE ONE』の観戦チケットを、『SRS・DX』読者5組10名様にプレゼント！ 希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは9月10日（月）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「9・16新日本キックチケットプレゼント」係

アマチュア

アマ修斗

アマチュア修斗 ワンマッチ大会
9月16日（日） 新潟・鳥屋野総合体育館 柔道場

◆入場料/無料
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

JTC実行委員会

第1回全日本総合格闘技オープントーナメント
9月23日（日） 東京・大田区体育館

◆開場/12:30 試合開始/13:00 ◆入場料/無料 ◆会場アクセス/JR京浜東北根岸線、東急池上線・目蒲線蒲田駅より徒歩15分、京急本線梅屋敷駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/JTC実行委員会☎03-3239-6200

合気道S.A.

オープントーナメント 第1回合気杯争奪 実戦・リアル合気道選手権大会4
10月8日（月・祝） 東京・八王子クリエイトホール

◆開場/12:30 試合開始/13:00 ◆入場料/3,000円 ※観戦希望者は、氏名・住所・電話番号・観戦希望を明記の上、9月末日までに下記まで現金書留で入場料を郵送する。書留到着後、大会整理券等を送付（当日は基本的に入場できない） ◆会場アクセス/JR中央線八王子駅、京王線京王八王子駅より徒歩4分 ◆お問い合わせ＆あて先/〒193-0821 東京都八王子市川町128-280 合気道S.A.代表 櫻井文夫 ☎0426-51-8418 ☎090-3807-2205

キングダム・エルガイツ

全日本アマチュアキングダム選手権
9月30日（日） 東京・稲城市総合体育館武道場

◆試合開始/11:00 ◆入場料/無料
◆会場アクセス/京王線稲城駅より総合体育館行きバスで10分
◆お問い合わせ/キングダム・エルガイツ☎042-331-2797

第8回全日本アマチュア修斗選手権大会
9月24日（月・祝） 大阪・舞洲アリーナ サブアリーナ

◆開会式/11:30 試合開始/12:00
◆入場料/一般1,000円
◆お問い合わせ/日本修斗協会☎03-5912-6455

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999	レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
チケットセゾン ☎03-3250-9999	レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
ローソンチケット ☎03-3569-9900	板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
CNプレイガイド ☎03-5802-9999	チャンピオン ☎03-3221-6237
オデッセー ☎03-3408-0331	書泉ブックマート ☎03-3294-0011
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513	後楽園ホール ☎03-5800-9999

空手

正道会館

第36回オープントーナメント 全日本新人戦空手道選手権大会
8月26日（日） 大阪市中央体育館B3F柔道場

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/地下鉄中央線朝潮橋駅2番出口より徒歩3分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

FNSチャリティー 第3回ウェイト制オープントーナメント 全日本空手道選手権大会2001
9月2日（日） 大阪府立体育会館第一競技場

◆開場/10:00 開会式/13:00
◆入場料/自由席2,500円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、正道会館
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新日本空手道連盟正道会館☎06-6363-9999

新空手

第36回新空手道交流会
9月30日（日） 東京武道館・第一武道場

◆試合開始/12:00
◆入場料/500円（大会パンフレット付）
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

大道塾

北斗旗 第1回世界空道選手権大会
11月17日（土） 東京・国立代々木競技場第二体育館

◆開場/9:30
◆入場料/SS席12,000円（当日15,000円） S席8,000円（当日10,000円） A席3,500円（当日4,500円） A席（中学生）1,500円（当日2,500円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、大道塾公式ホームページ(http://www.daidojuku.com/)
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

その他

日本女子ボクシング協会

Fighting Angels Part3
10月10日（水） 東京・北沢タウンホール

◆開場/18:00 試合開始/18:30 ◆入場料/自由席5,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/日本女子ボクシング協会事務局
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会事務局☎03-3485-7063

主な対戦カード

―4回戦―
〈初代日本フライ級王座決定トーナメント決勝戦〉
八島有美 vs 土田奈緒子
（プロフィット馬車道） （入谷ジム）

国際空手道連盟極真会館山陰支部

第5回オープントーナメント全中国空手道選手権大会
9月30日（日） 鳥取県立武道館

◆開会式/13:00 試合開始/13:30
◆入場料/指定席3,000円 一般自由席/2,000円 中学・高校生/1,000円 小学生以下入場無料 ※当日は500円増し
◆チケット発売日/未定
◆チケット発売所/鳥取・島根プレイガイド、スポーツ店、山陰支部各道場
◆お問い合わせ/大会事務局☎0859-29-6788

空手道禅道会

バーリ・トゥード2001・オープントーナメント リアルファイティング空手道選手権大会
9月16日（日） 南長野運動公園総合運動場体育館

◆開場/8:30 予選開始/9:00 本戦開始/12:30 ◆入場料/一般2,700円（当日3,000円） 大学生・高校生2,200円（当日2,500円） ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/空手道禅道会
◆会場アクセス/JR篠ノ井駅より川中島バスで東福寺（松代行き）下車、徒歩10分（南長野運動公園へ）
◆お問い合わせ/空手道禅道会長野支部☎026-293-6944

真樹道場

2001オープントーナメント 第2回全日本空手道選手権大会
9月16日（日） 愛知・豊田市体育館

◆開場/9:30 試合開始/10:00 ◆入場料/自由席2,000円（当日は3,000円） 小中学生1,000円 ◆チケット発売/未定 ◆チケット発売所/チケットぴあ、公武堂☎052-241-2511、真樹道場愛知支部
◆会場アクセス/名鉄三河線豊田市駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/真樹道場愛知支部☎0565-24-3861

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
☎03-5824-1324

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
☎03-577-55700

掣圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1 サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《5・10　45号》

- SRS・DX注目インタビュー/桜庭和志独占インタビュー
- 5・27『プライド14』情報/高山善廣、藤田和之インタビュー
- 特集◎K-1ワールドGP2001開幕/ジェロム・レ・バンナ、アーネスト・ホーストインタビュー
- 大会詳報/4・15『K-1 BURNING 2001』熊本大会
- 総力特集/4・11～14アブダビコンバット2001、アブダビ王子、谷津嘉章インタビュー
- 4・14～15第4回極真祭全日本ウェイト制大会
- SRS・DXの注目/堀辺正史、美濃輪育久インタビュー、写真家・アントニオ猪木、パラオに降臨
- 巻頭座談会/緊急！？　タニー&ノビー。結成前夜発会式「プロレスラーよ嫉妬を抱け！」

《5・24&6・14　合併号　46号》

- 大会詳報/4・29 K-1 WORLD GP 2001　大阪大会
- 5・27『プライド14』直前！　藤田VS高山は是か非か？/緊急"エース"は誰だ座談会、髙田延彦、高山善廣、宮戸優光、ビル・ロビンソンインタビュー
- SRS・DXの注目/山田豊文インタビュー、小路晃・研究座談会、堀辺正史インタビュー、アブダビ・スーパースター列伝、大山峻護、藪下めぐみインタビュー
- 大会レポート/5・1修斗後楽園大会、4・21K-1イタリア大会、4・29『キング・オブ・ザ・ケイジ8』、5・3ReMix日本武道館大会、5・5パンクラス大田区体育館、4・21グラン・トロフィーフランス大会、4・30シュートボクシング後楽園大会

《6・28　臨時増刊号　47号》

- 大会詳報/5・27『プライド14』横浜アリーナ大会
- 極真空手・2001全世界ウェイト制空手道選手権大会直前情報/数見肇インタビュー、全階級トーナメント表&ワンポイント見所
- SRS・DX注目！/佐山聡、参院選出馬、髙田延彦、謙吾インタビュー、ガチンコファスティングニュース【浅草キッド編】
- 大会レポート/5・13パンクラス後楽園ホール大会、5・10バトラーツ駒沢大会、5・13北斗旗全日本体力別空手道選手権大会、5・20MAキック後楽園ホール大会、5・17全日本キック後楽園ホール大会

《6・28　48号》

- 『プライド14』で話題集中の藤田に注目!/6・6新日本プロレス武道館大会　藤田和之VS永田裕志
- 7・29『プライド15』さいたまスーパーアリーナ情報/『プライド15』対戦カード発表記者会見、恒例！　猪木in成田会見、大山峻護インタビュー
- 話題騒然！　ぷれいばっく！　『プライド14』横浜大会/『プライド14』総括座談会、高山善廣、藤田和之、堀辺正史、ヴァンダレイ・シウバ、松井大二郎インタビュー
- 6・24仙台上陸K-1 JAPAN直前情報/角田信朗、子安慎悟インタビュー
- 大会速報/6・10極真全世界ウェイト制空手道選手権大会、6・10コンテンダーズ
- SRS・DXの注目！/田村潔司、『武道通信』杉山頴男、インタビュー

《7・12　49号》

- スペシャルインタビュー/石井和義インタビュー
- 『プライド15』直前情報/吉田秀彦VS大山峻護、スペシャル対談、柏崎克彦、ヘンゾ・グレイシーインタビュー、すべては敬愛するエリオのために
- 山本憲尚インタビュー、恒例！　猪木成田会見
- 大会詳報/6・24K-1ジャパン仙台大会、6・16K-1ワールドGPメルボルン大会
- SRS・DXの注目！/6・14ZERO-ONE『真撃』大阪城ホール大会、鈴木みのるインタビュー、藤田和之inタイランド、堀辺正史師範がズバッと斬る！（後編）
- 極真世界ウェイト制大会徹底検証/ロシア旋風を徹底検証、数見肇インタビュー

《7・26　50号》

- 話題騒然！　『猪木軍団VSK-1全面対抗戦』の行方/アントニオ猪木、藤田和之インタビュー
- 主役は誰だ！　7・29『プライド15』さいたまアリーナ大会/注目！　『プライド15』の最新カード、桜庭和志、ハイアン・グレイシー、DSE森下直人社長、佐竹雅昭インタビュー
- 8・19K-1アンディ・メモリアルで何かが起こる！/ニコラス・ペタス、武蔵インタビュー、コラム◎石井館長に猪木イズムあり！
- SRS・DXの注目！/松井章圭館長、レミー・ボンヤスキーインタビュー
- 7・1UFC32詳報！/はせキョーの初体験！　UFC観戦記、近藤有己、渋谷修身インタビュー
- 大会レポート/6・26パンクラス後楽園大会、7・6修斗後楽園大会

《8・9&8・23　合併号　51号》

- 猪木軍団VSK-1全面対抗戦/バンナ、石井館長インタビュー、コールマン&グッドリッジ対談
- 7・29『プライド15』最終情報！/アントニオ・ノゲイラインタビュー、大山峻護奮闘日記
- 祝・リングス取材解禁！/前田日明と久々の再会、金原弘光が8・11有明大会をズバリ分析、前田日明主催・マスコミ懇親会
- 大会速報/7・20K-1ワールドGP2001名古屋大会
- 噂の三面記事　特大版/猪木成田会見、『プライド15』全カード決定、K-1ラスベガス大会情報、リングス有明大会情報、『DEEP2001』全カード決定、大道塾世界大会開催
- 8・19K-1ジャパンGP決勝戦/中迫剛、ノブ・ハヤシ、大石亨インタビュー

《9・13　臨時増刊号　52号》

- 大会速報/7・29『プライド15』　さいたまスーパーアリーナ大会
- K-1vs猪木軍団続報/どうなる！？　8・19K-1ジャパン、ミルコ・クロコップインタビュー
- SRS・DXの注目！/前田日明主催、マスコミ懇親会（後編）、極真、真夏の他流試合3連戦、東孝インタビュー、『プライド』&UFC、ラスベガス大会実現へGO！
- 8・11K-1ラスベガス大会最終情報/ピーター・アーツ、内田ノボルインタビュー
- 大会レポート/7・22全日本キック後楽園ホール大会、7・26SMACK GIRLclubATOM大会、7・28新日本キック後楽園ホール大会、7・29パンクラス後楽園ホール大会
- 大盛況！　グレート・アントニオ津田沼店

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝310円、2冊＝340円、3冊以上＝500円。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承ください。

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

NEXT　次号予告　ISSUE

9/13㊍発売

『K-1vs猪木軍団』開戦の波紋

徹底検証

これから、どうなる！？

とっておきの最新情報もタップリさぁ～

9・24 PRIDE.16 直前情報！

SRS DX スペシャル・リング・サイド

Special Ring Side

毎月第2・第4木曜日発売
2001年9月27日号 54号
定価680円（税込）

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

真夏の興行ラッシュを総括！
サダハルンバ、ベガスで極秘行動…？

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.kidchan.com

博士　8月11日は興行ラッシュ！　有明・リングス、両国・新日本、ベガス・K―1。

玉袋　しょぼい、しょぼい。注目はなんと言っても、所沢西武ドーム・渡辺美里のお誕生会。

博士　お誕生会は西田ひかるだろ！　西武ドーム夏のマンネリ行事は渡辺美里のコンサートだよ！

玉袋　今年でいい加減16回目ですよ。もう所沢市民は美里に対してPTSDですよ。

博士　岡田美里と渡辺美里を一緒にするな！　俺たちの注目と言えば、当然、リングス10周年記念興行だろ。

玉袋　当日、会場の有明コロシアム付近はリングス10周年を記念して大きな打ち上げ花火も上がり、それを一目見ようという観客で大渋滞！　警察も出動して大規模な交通規制までしてました。

博士　それは当日に東京湾大花火大会があったんだよ！　リングスの観客はあの渋滞に巻き込まれて大迷惑だったんだよ！

玉袋　多勢に無勢。なんせこっちは4977人ですから。

博士　や・か・ま・し・い！　前田道場の秘蔵っ子、横井宏考のリングスデビュー戦初勝利を生で見たあの日の観客は、将来絶対自慢になる！

玉袋　そうそう、俺なんかジャイアント落合のデビュー戦完敗を生で見たのがいまだに自慢だからね。

博士　誰に自慢できるんだよ！　今回のリングスはヘビー級、ミドル級のトーナメント。

玉袋　気になるヘビー級のトーナメントの優勝は永田でしたね。

博士　それは新日本プロレスのG1だろ！

玉袋　今回は前回の反省を踏まえて放送ギリギリのところで結果が出ました。

博士　べつに前回の反省を踏まえたわけじゃなくて放送人としてやらなくちゃいけないことだよ！

玉袋　永田は武藤相手に最後は延髄斬りから卍固め、小松フォークリフト、がまかつの提供の文字の後ろで「ダァーッ」ポーズですよ！

博士　そりゃ昔の猪木様現役時代の放送ギリギリのテレビ画面だろ！　話をリングスに戻せ！

玉袋　で、結局、団体の経営権が冬木派に渡りました。

博士　お前、8月11日はいったいどこにいたんだよ！　それは駒沢のFMWだろ！

玉袋　リングスは巨乳愛好家の前田日明のためにまたもや乙葉を用意してくれましたよ！

博士　だからそれが新日本プロレスなんだよ！

玉袋　とにかく新日本プロレスのアイドルの座を乙葉から奪うためのGカップアイドルを集めた真のG1クライマックスを開催してくれ！

博士　それなら優勝候補は小池栄子に決まってるかもしれないな。

玉袋　とにかくリングス10周年おめでとうですよ！

博士　どんな“とにかく”なんだよ。そして今回はK―1ラスベガス大会だ。

玉袋　猪木軍団の安田が「自腹でいいから絶対にラスベガスに参戦させてくれ！」って志願してましたよ！

博士　そりゃ試合じゃなくてカジノに行こうとしてるんだよ！

玉袋　そんなバカラ！

博士　駄洒落はいいよ！　また借金まみれになっちまうだろ！

玉袋　安田は島田紳助発案の漫才版K―1、「M―1」の賞金目当てにエントリーするらしいですよ！

博士　いくら和ましてくれる安田でも漫才で1000万円は無理だよ！

玉袋　しかしラスベガス大会の紀香のスタイルが凄かった！

博士　あれぞ藤原主義！　ハニーが羨ましいよ！

玉袋　紀香は真っ赤なドレスに背中がパックリ開いて股間に天狗のお面をつけた強烈なものでした！

博士　天狗はつけてないよ！

玉袋　背中見えたくらいじゃハン立ちだよ！　今回の藤原はエキシビジョンなんだから、それぐらいサービスしろよ！

博士　リングスの話は終わってんだよ！　エキシビジョンって、藤原組長の話じゃねーって！　しかし、またもや谷川編集長のスケベスイッチをオンにしてベガスの娼館に走らせたという情報もある。

玉袋　谷川さんはコッソリと技術班に田代さんを派遣してモノ凄い紀香裏VTRの撮影に成功しました。

博士　するなよ！

玉袋　それを『グレート・アントニオ』で近日発売決定！

博士　どんな卑怯な手を使う悪質なお店なんだよ！

玉袋　だって俺たちのTシャツまで発売して、メチャクチャあこぎな商売してるんですよ！

博士　売れてることは嬉しいことだから素直に喜べよ！

玉袋　だからTシャツに「EVIL（悪）」って断わりを入れてるじゃないですか。

博士　なんで俺たちのTシャツがカイエンタイTシャツになってんだよ！

玉袋　とにかく、キッドTシャツは平成のNWOTシャツになりますよ！

博士　NWO自体が平成だろ！　しかし、このTシャツどうやら、ADC賞受賞で注目株ナンバー1デザイナーのゴキータ作品ということで、ファッション界からも俄然注目されてるんだよ。

玉袋　それは本当なんですか？　一部では、俺の息子の落書きをTシャツにしてるのか！　って叱られてたんですけど。

博士　……俺も知らなかったほどだが、これが、マジに本当なんだよ。プレミアものだってさ。とにかく、K―1ラスベガス大会は紀香・ハセキョー・谷川・館長・実況陣みんなドレス&タキシード正装でゴージャス感一杯だったな。

玉袋　その後ろで後楽園ホールで見るようなTシャツ短パンの肥満アメリカ人の観客がウロウロしてましたよ！

博士　細かいところ指摘するな！　今後は観客にもドレスコードを設定すべきだな。しかしK―1も本格的にベガス上陸に成功した。

玉袋　それよりもスポンサーのアルゼのパチスロがスロットの本場のラスベガスに上陸したのも業界的にゃもの凄い快挙ですよ！

博士　そんなことは「パチスロ攻略マガジン」で主張しろ！

玉袋　ゴト師集団がベガス入りしないことを祈ります！

博士　来ないよ！

玉袋　でも結果は凄いことになりましたよね。

博士　フィリォが負けたりしたからな。

玉袋　テロリスト村上がよく頑張った！

博士　だからG1の話じゃないんだよ！　優勝候補のアーツもレコに負けてしまって東京ドーム大会はどうなるんだ？

玉袋　優勝候補なのに暴力事件で甲子園にPL学園が出られないようなもんですよ！

博士　まったく異質だよ！　あんな不祥事と一緒にするな！

玉袋　フィリォも負けてしまったでしょ。

博士　本当にショックだよ！　でもベガスの判定と日本の判定の方法の違いからあの結果になったんだよ。

玉袋　今回の事態でフィリォはフランシスコ・不慮に改名ですね。

博士　たしかに不慮の事態だけど駄洒落で落とすな！

玉袋　今のは田代さんから是非言ってくれと頼まれたんですよ！

博士　田代さんのせいにするな！　■

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES
～旗揚げ10周年記念特別興行～
8・11★有明コロシアム

危機的状況の中のリングス10周年記念興行……
されど新しい力の台頭に、
前田の、そしてリングスのたくましさを見た!!

リングス新世代、一斉決起!!

横井宏孝
〈リングス・ジャパン〉

ヴォルク・アターエフ
〈リングス・ロシア〉

エメリヤーエンコ・ヒョードル
〈リングス・ロシア〉

リングス10周年大会はアクシデント続出！

「金原ァ〜！ なんでもいいから勝ってくれ!!」

タックルに合わせてパンチを打つ金原。だが、むなしく空を切る

▼金原は道場でも下からの寝技を積極的に練習していた。2R中盤には腕十字を極めかけるチャンスもあったのだが……

▶1Rはじっくりと関節を狙っていった金原。まだまだ表情には余裕が感じられた

▲2人の表情を見ても分かるとおり、3Rは互いに消耗戦。だが、上のポジションをとり続けたヒューズに軍配が上がる

この大会のメインでさえなければ気持ち良く楽しめたこの試合。金原にとっても観客にとってもこんな切羽詰まった状況だったのがつくづく残念でならないわけだ。

ともかくメインに至るまでにあまりにもいろんなことが重なりあったのが悔やまれる。試合内容がいつものＫＯＫに比べてどこかメリハリに欠けていてどうも盛り上がらないのがまず一つ。ババルに勝ったヒョードルや、後ろ回し蹴りが豪快だったアターエフ、ハンVS藤原組長戦での「5分経過！」の絶叫など要所要所で楽しめるものはあったが、肝心の階級別トーナメントの決勝が、ミドル級は消化不良な結末だし、ヘビー級に至っては選手の棄権で試合がなくなるという事態まで発生。時間の経過とともに深刻さを増していくのだから呆然とするばかり。観客が期待していたノスタルジックな気持ちや、リングスの輝かしい未来を確信できるきっかけを持って家路につきたい気持ちなどを次々と叩き潰していくこの流れ。

とはいえ、こういった流れの興行はどんな団体でもあることだし、ダメな時には気持ちを切り替えれば、それなりに楽しめるはず。ところが、このところのリングスを取り巻く状況がそれを許さず、観客の飢餓感と危機感が一気に金原の背中にのしかかっていく。

そして、そんな時に限って相手のマット・ヒューズがすこぶるいい選手だったのがなんとも皮肉なのだ。金原を頭上高く持ち上げ、頭から叩き落とすこと2度、3度。金原も下から腕十字を極めかけたりと、パワー対技術の攻防は普通

の試合だったら十分に堪能できた

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES

～旗揚げ10周年記念特別興行～

8・11★有明コロシアム

マット・ヒューズは注目株！強引豪快なスープレックスが魅力!!

無念！金原、記念大会に花添えられず

ヒューズのコメント

「とてもタフな試合でした。ただ、テイクダウンを取れたので良かったと思います。額のカットはセコンドのジェレミーが大したことないと言っていたので大したことはないと思ってました。試合はセコンドの指示どおりに動きますから。投げ技については、アームロックを仕掛けてきた時の返し技として、あの投げしか思いつかなかったんです」

金原のコメント

「相手は力が強かったです。投げ技のダメージはべつに大丈夫でしたね、落とした瞬間に狙ってたのもあるんで。なんか今、ホントに大きな穴に落ちた感じで、それでなんか気持ちが焦っちゃって。いいパンチが入って相手がカットしたんで、もう一発入ればドクターストップでいけるかなって思えば思うほど当てるのが難しくなって。う～ん、難しいですね、なんか」

▲ヒューズとは同門のジェレミー・ホーン。彼の指示によってヒューズは的確に金原の死角をついていった

①②③ヒューズは素晴らしい選手だった。金原の身体を軽々と持ち上げて真っ逆さまにマットに叩きつけるほどパワーを誇る。バックに回ろうと腕がらみを狙われようと、彼の攻め方、守り方はこれ一つというのがたまらなくいい

▼リングスマット初勝利を射止めたヒューズは今後も見てみたい選手だ

3R、金原の放ったパンチがヒューズの額をカット。傷は浅かったがあと一発入ればドクターストップで勝ったはず

★第11試合（ミドル級オフィシャルマッチ 5分3R）

○マット・ヒューズ（3R判定2－0）金原弘光●

<USA／ミレティッチ・マーシャルアーツセンター> <リングス・ジャパン>

の試合だったら十分に堪能できたはずのもの。しかし、この試合における観客の望みは金原がともかく勝つこと。だが、こんな状況で勝つのはよほどの実力差がなければほとんどムリな気がしてならない。試合後、「焦ってしまって身体が動かなかった」と語った金原だが、会場があんな雰囲気だったら当たり前だと思うがどうだろう？

だが、それでも勝つのがエースの仕事だと厳しいファンは言うかもしれない。でも考えてほしいのは金原ばかりがとてつもなくプレッシャーを感じ、ヒューズのほうはごく普通に試合ができて、しかも、セコンドのジェレミー・ホーンが的確な指示を出し、試合の最中ですら心の拠り所があったあの状況は、もはやハンディキャップマッチと言いたいほど。金原が負けたことをただ責めるのはあまりにも酷い仕打ちだろう。それに金原の問題点は別にある。

それは他人はどうあれ、自分自身がエースだという強烈な意志が感じられなかったこと。そもそもエース選手が大事な試合で負けたことなどいくらでもある。猪木さんしかり、前田総帥しかりだ。だが、彼らは自分こそが団体を引っ張っていくのだと強烈に思い込んでいるから心の奥底では絶対にたじろがない。ボコボコの顔して「それでは皆さん、ご唱和ください」とまで言える強引な恥知らずぶりこそがエースの証なのである。だから、こうなったら金原には何がなんでも自分がエースであることを認めさせようとする意地をぜひとも持ってほしいもの。それが男の子ってもんでしょ？ （ブチ）

リングスの危機に、頼りになる男が帰ってくる！

TK、日本再定着前に、ヒザで激勝!!

見事KO勝ちを収めたTK! 10月にはこの頼りになる男が、日本に帰ってくる

ＴＫ激勝！　この瞬間の安堵感といったら、なかった。「やっぱり、この男は頼りになる！」そう思ったファンも少なくないだろう。

そして、この頼りになる男が10月から、日本に再び定着してくれるのだ。アメリカに拠点を移していたとは言え、試合があれば日本には帰ってきていた。しかし、現在、日本人選手が一斉に離脱してしまった状態のリングス・ジャパンには、ＴＫのような頼りがいのある男が必要ではないのか。

この試合、ＴＫは必ず勝たなければならなかった。周りを取り巻く状況が、負けることを許さないからである。

本来なら、メインになってなければおかしいトーナメントが、メインになっていなかったのは、ＴＫと金原という日本人の中心選手が、１回戦で敗退してしまったからだ。

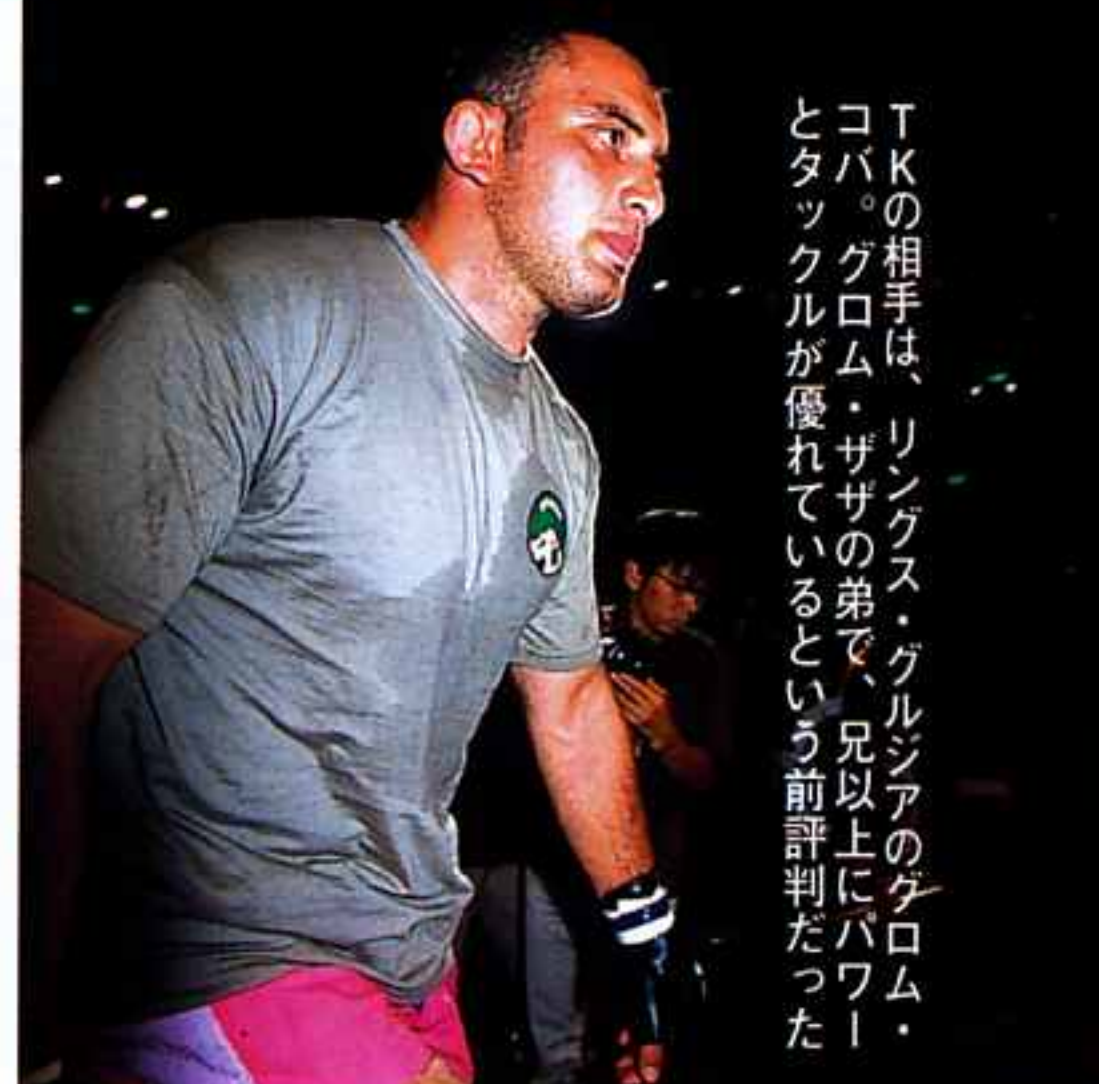
まして、この興行はリングスの10周年記念興行である。生え抜きのＴＫの勝利を見たいという思いは、ファンの一致した意見だろう。いわば、ＴＫは自分自身に落とし前を付ける意味でも、勝利しなければならなかった。それも、観客が納得する形で。つまり、ＫＯ勝ちが望まれていたのだ。

そんな状況の中で見せてくれたＫＯ劇。内容だって、ＴＫの完勝だ。相手のグロム・コバは、リングス・グルジアのグロム・ザザの弟で、パワーやタックルは兄以上と、評価が高い。

ＴＫは、序盤、そのコバのタックルを受け、グラウンドでは下のポジションになってしまう。コバは、ここぞとばかりにＴＫのボデ

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES
〜旗揚げ10周年記念特別興行〜
8・11★有明コロシアム

▶レスリングのフリースタイルで、ヨーロッパチャンピオンにもなっているコバは、得意のタックルでTKをテイクダウンさせ、グラウンドでボディへのパンチを連発

TKの相手は、リングス・グルジアのグロム・コバ。グロム・ザザの弟で、兄以上にパワーとタックルが優れているという前評判だった

髙阪のコメント

「（最後は）ここはもうアレしかないなと思った。力が強い選手でしたけど、直線的な動きしかしない、ああいうタイプは得意ですね。それと、10月には日本に帰国します。本来ならアメリカでやろうと思っていたことが、日本でやる必要があるんじゃないかということに気が付いたんです。9月にケビン山崎さんがジムを開くので、そこに自分の格闘技のスペースを作って、セミナーを開きたいと思います。呼んでいただければ、日本中どこにでも行きますので」

コバの3度目のタックルを完全に見切ったTK！

下の体勢から、コバの足を取りにいくTK。下になっても決して危険な状態になることはなかった

ザザの弟、コバに余裕の横綱相撲！

さすがはジャパンの大黒柱！TK、あなたはやっぱり頼りになる!!

タックルをしっかりと受け止めて、ヒザ蹴りを一発ぶち込み、KO勝ち！

▶KO負けを喫し、ボー然とするコバ。試合後、コバはこの場合のヒザ蹴りは反則になると勘違いしてしまったために、もろに喰ってしまったと語っている

▶「今日勝てたのは、思ったように試合ができなかった時に応援してくれた、皆さんのおかげです」と試合後マイクアピール

★第10試合（ミドル級オフィシャルマッチ 5分3R）
○髙阪 剛（1R2分17秒、KO勝ち）グロム・コバ●
<リングス・ジャパン>　<リングス・グルジア>

ィへパンチの連打を繰り出していく。だがしかし、それでもTKの表情から余裕が消えることはない。

そんな余裕の状態だから、コバの3度目のタックルは簡単に受け止めてしまう。そしてそこからヒザを叩き込み、KO勝利。〝世界のTK〟と呼ばれる男が見せた、貫禄の勝利だ。

このTKの前の2試合、つまりミドル級、ヘビー級の両トーナメントの決勝戦が、あまりに消化不良な終わり方だったために、このKO勝利は心底ホッとした。たしかに、デビュー戦を一本勝ちで飾った新人の横井宏考、そして〝ロシアの破壊王〟ヴォルク・アターエフの戦慄のKO劇なども、凄い試合だったと思う。だがTKは、リングス・ジャパンの残された大黒柱。肝心な男が勝たないと話にならないのだ。

試合後、本人の口から日本への帰国が発表された。帰ってきてからは、ケビン山崎氏が開くジムの中に、格闘技のスペースを作ってもらい、セミナーなどを開催し、日本に総合格闘技を根付かせる活動をしていくとのこと。

おそらく、あまり前田道場にばかり掛かり切りになることはないだろうが、TKが日本にいるというだけで、他の日本人選手も心強いだろう。その頼もしさを証明したのが、今回の勝利だったのだ。

試合後、レフェリーから勝ち名乗りを受けても、表情をまったく変えなかったTK。ステキな顔だらけの格闘技界で、世界中のどんな強豪にもひけを取らなかった、あの頼もしい顔が、いよいよ日本に帰ってくる。

（小松）

ミドル級 王者決定トーナメント

決勝戦は不明瞭決着。それでも初代王者・アローナに文句なし！

クリストファー・ヘイズマン（リングス・オーストラリア）	
グスタボ・シム（ファス・バーリ・トゥードシステム）	
ジェレミー・ホーン（リングスUSA）	
ヒカルド・アローナ（ブラジル）	

下馬評どおり、ミドル級の初代王者となったアローナ。今後、この男からタイトルを奪うのは至難の技だろう

▶〈準決勝〉唯一のリングス生え抜き選手としてファンの期待を一身に集めていたヘイズマンだが、シムに敗れる。シムの打撃にヘイズマンはなんと水面蹴りで対抗！ 試合は延長戦までもつれたが、最後はシムが振り切った（延長判定3−0）

▲▼〈準決勝〉ホーンVSアローナ、世界でも最高峰の一戦が実現。常に上から攻め続けたアローナが緻密な技術戦を2−0の判定で制した

▶〈決勝戦〉アローナVSシムのブラジル対決は不明瞭な結末となった。アローナがパンチでラッシュをかけ、後ろに下がったシムがバランスを崩して（？）尻もちをつくように転倒したところでレフェリーが試合をストップ、アローナのKO勝ちに

▶当然、シム側はレフェリーに抗議したが、裁定は覆らず。観客からはブーイングも起こっていた

▶あからさまに肩を落として引き上げるシム。「判定が間違っていると思う。理解できないよ……」

★第8試合（ミドル級王者決定トーナメント決勝 5分2R）
○ヒカルド・アローナ（1R1分29秒、KO）グスタボ・シム●
<ブラジル> <ブラジル／ファス・バーリ・トゥード システム>

なんでこういう時に限ってこんなことになっちゃうのか。リングス10周年記念大会。その目玉であるはずのミドル級、ヘビー級の初代王者決定トーナメントは、アクシデントとハプニングで著しく盛り上がりの欠けたものになってしまった。何事もすんなりいかないのは前田らしいと言えばらしいけど、でもなぁ……。

まずはミドル級の決勝。ヒカルド・アローナVSグスタボ・シムというブラジル勢同士の好カードだ。試合は差し合いからスタート。一旦ブレイクとなったところで、アローナが右ローからパンチ連打で突進！ その勢いでシムが後ろに転倒したところで……。えっ、ストップ？ KOだって!? スリップじゃないのかよ!?

当然、観客からは大ブーイングだ。シムも「こんなの理解できない」と憤懣やるかたない表情。たしかに微妙な裁定はよくあることだけど、よりによって決勝じゃなくてもいいじゃないか……。

こうして、ミドル級のトーナメントは不明瞭な決着で幕を閉じた。ただし、優勝して初代王者になったアローナにはなんの文句もない。悪い幕切れこそ後味が悪かったが、1回戦で金原、準決勝でホーンと連続して〝事実上の決勝戦〟を制してきたアローナの強さには一点の曇りもないのだ。

アブダビ・コンバットでも2連覇＆2階級制覇を達成したアローナだが、これでリングスの〝顔〟にもなった。10周年ということでノスタルジックな面もあった今大会だが、主役はあくまで現在形の選手である。

（橋本）

FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES
〜旗揚げ10周年記念特別興行〜
8・11★有明コロシアム

ヘビー級王者決定トーナメント

イリューヒン・ミーシャ（リングス・ロシア）
ボビー・ホフマン（チーム・エクストリーム）
エメリヤーエンコ・ヒョードル（リングス・ロシア）
レナート・ババル（リングス・ブラジル）

国歌吹奏も認定宣言も終わってるのに……

ホフマン、決勝をドタキャン！リングスのタイトルがナメられた!?

▲セレモニーがひとしきり終了し、いざゴングというところでリングドクターが登場。ホフマンの左肩脱臼によるドクターストップが告げられた。しかし、ウワサでは……

▲決勝戦のリングへ向かうホフマン。しかしこの格好は……。グローブなし、スパッツなし、闘う気まるでなし！

★第9試合（ヘビー級王者決定トーナメント決勝 5分2R）
○エメリヤーエンコ・ヒョードル（不戦勝、ドクターストップ）ボビー・ホフマン●
＜リングス・ロシア＞　＜USA／チーム・エクストリーム＞

▲〈準決勝〉リングス・ロシアの重鎮ミーシャはホフマンに敗北。粘り強いタックルでテイクダウンを繰り返し、押し気味に試合を進めたのだが、延長戦突入が決まったところでタオル投入。練習中に痛めた靱帯が限界に達してしまったという

優勝はハンの愛弟子E・ヒョードル！

▲〈準決勝〉優勝候補筆頭だったババルをストップする金星をあげたのはヴォルク・ハンの愛弟子ヒョードルだった。ババルの巧みな下からの攻めをよくしのぎ、ヒョードルはパンチをガンガン落としていく

▲表彰式での両階級王者と前田日明。この秋からは、無差別級の王者を決める闘いもスタートする

◀スタンドでも果敢に攻めていったヒョードル。柔道ロシア王者＆サンボヨーロッパ王者の実力に加え、この思い切りの良さが強みだ

さて、ミドル級の決勝が不明瞭な形で終わったこともあって、よりスッキリした決着が望まれたヘビー級だが、これまたうまくいかなかった。っていうか試合そのものがなかったのだ。

決勝に勝ち進んだのはホフマンとヴォルク・ハンの愛弟子ヒョードル。両者が入場し、前田日明のタイトル認定宣言があり、国歌吹奏も行われた。あとはゴングを待つばかりだ。が、何やらホフマンの様子がおかしい。そしてドクターがリングに登場。

え、ホフマンが左肩脱臼でドクターストップ!? そんなの最初から言えよ！　しかも、よく見るとホフマンはグローブもスパッツも着用してないじゃないか。闘う気もないままにリングに上がっていたのかよ……。

さらに大会が終わる頃、妙な情報も入ってきた。あくまで未確認なのだが、ホフマンは棄権の理由をこう言っていたらしいのだ。

「オレはKOTCのヘビー級チャンピオンなんだ。ここで自分の価値を落とすわけにはいかない。それに有名じゃないロシア人に勝って、なんのメリットがある？」

もしこれが本当だとしたら、あまりにリングスをナメきった行動である。変な話、ホフマンがチャンピオンにならなくてよかった。損得勘定よりも男気を優先させる。そうして成り立ってきたのがリングスワールドではないか。

「将軍（前田）に行けと言われれば行くまで」とKOKトーナメントに出陣したハンの弟子・ヒョードルのほうが、やっぱりリングスの王者にはふさわしい。（橋本）

今大会一番の衝撃！

〝ロシアの破壊王〟、ヴォルク・アターエフ戦慄のKO劇!!

▲6月15日の横浜大会に続いて、2連続KO勝ちを収めたアターエフ。〝ヴォルク〟の名前は伊達じゃない!

▲相手のアーロン・ブリンクは、UFCで活躍するティト・オーティズと同じチーム・パニッシュメントの選手

▲躍動感溢れる右の飛び後ろ回し蹴りが、ブリンクのテンプルにヒット!

▲蹴りがヒットしてから、しばらく経って、前に倒れ込んだブリンク。恐るべき破壊力だ

★第7試合（ヘビー級オフィシャルマッチ 5分3R）
○ヴォルク・アターエフ（1R1分9秒、KO勝ち）アーロン・ブリンク●
<リングス・ロシア> <USA／チーム・パニッシュメント>

この大会で、楽しみだったのは、このヴォルク・アターエフだ。なんと言っても、相手の頭蓋骨を陥没骨折させたりだとか、足の骨をへし折っただとか、伝わってくるのは、とんでもない噂ばかりだ。そんな〝ロシアの破壊王〟が今回も、噂どおりの破壊力を見せてくれた。凄まじい威力の、右の飛び後ろ回し蹴り。その散打仕込みの蹴りの威力は尋常じゃない。ハッキリ言って、試合で覚えている箇所というのは、この場面しかなかった。それほど、インパクトがありすぎるシーンなのだ。相手のアーロン・ブリンクは、これをまともにテンプルに喰らってはたまらない。しばらくしてから、前になだれ込むように倒れ込んで、KO負け！　ところで、アターエフが、この大会の前にもブルガリアで試合をして、相手の鼻の骨を折ってしまったという事実が、後日発覚。ともかく、このとんでもない〝破壊力〟を持つ男から、当分の間、目を離せそうにない。（小松）

組長とハンの名人芸に、この日一番の歓声が!!

▲10周年を記念して、藤原組長とヴォルク・ハンが、旧リングスルールでエキシビジョンマッチを行った。リングアナウンサーの「5分経過」というコールに観客も大喜び

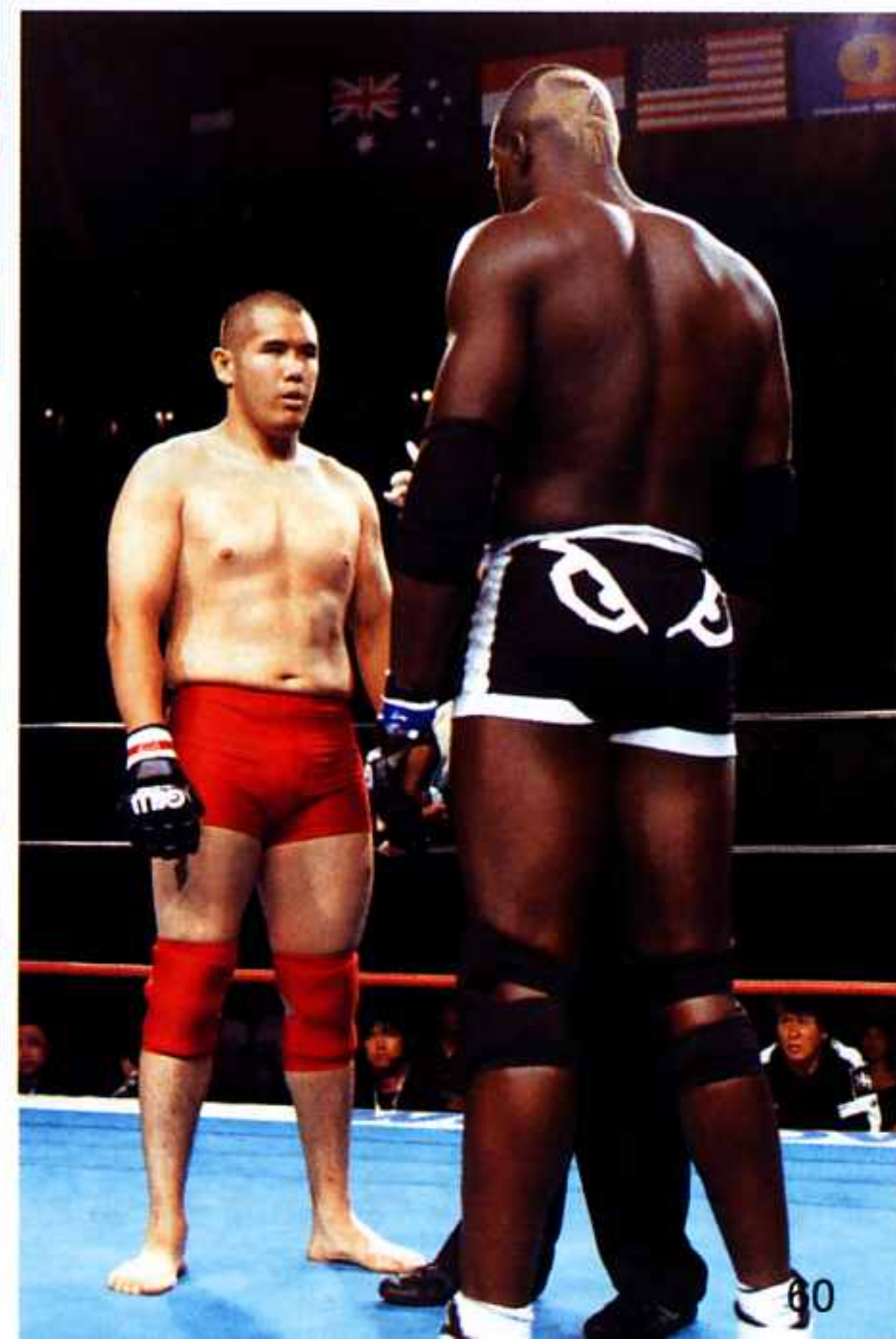
組長が足関節を取れば、ハンも負けじと取り返していく。この2人の関節技合戦に、場内は酔いしれていた

リングス史上最短デビュー男、横井宏考鮮烈デビュー！

▼リングス史上最短の入門以来、4カ月でデビューした横井。リングス・オランダのリカルド・フィエートを前にしても、物怖じしない

▲序盤、フィエートのパンチをもらって、ガクッとなった場面もあったが、近大柔道部で鍛えた得意のグラウンドで勝負

▲見事、腕ひしぎ十字固めで一本勝ち！　試合後は、「金原さんと髙阪さんを足したような選手になりたいと」コメント。前田曰く、「デビュー前の高阪よりセンスがある」とのこと。将来が楽しみだ

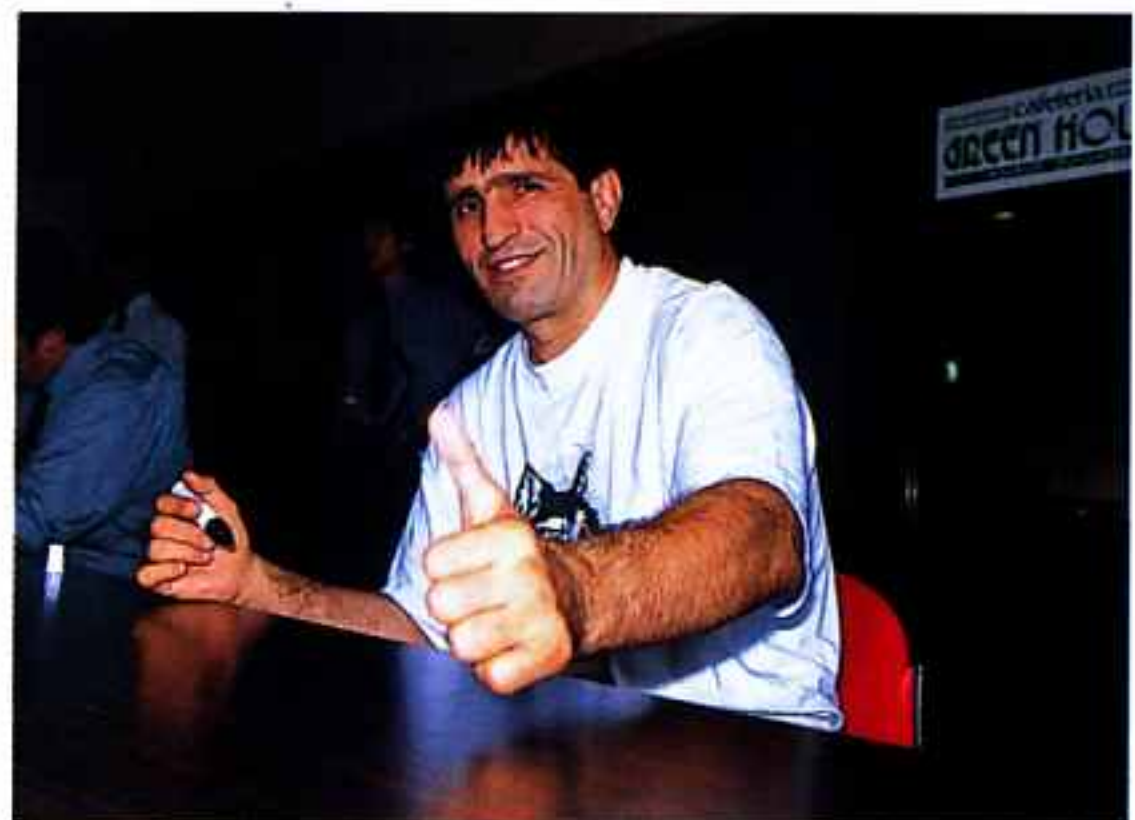
FIGHTING NETWORK RINGS

WORLD TITLE SERIES
～旗揚げ10周年記念特別興行～
8・11★有明コロシアム

リングス旗揚げ10周年記念興行雑感

▲▼パンフレットを購入した、先着200名の人を対象に、前田のサイン会が行われた。当日までお楽しみだったもう１人のゲストは、ヴォルク・ハン！ やはりリングスといえば、この2人!!

▲試合前の全選手入場式では、TKが選手を代表して挨拶。「10周年記念にふさわしい試合を行います」とファンに挨拶した

前田入場式での挨拶

「リングス10周年記念大会に際し、多数のご来場心よりお礼を申し上げます。旗揚げした時には、たった1人でした。しかし、10年経って知らない間に多くの仲間や同志が増えてきたように思えます。当初、自分が望んで掲げた総合格闘技も、ここに至って皆様に少しずつではありますが、認知されるようになってきました。リングスはこれからも、驕ることなく真のプロスポーツとして、真の格闘技のスポーツ化を目指し、頑張っていきたいと思います。最後に、自分の好きな何かにめげた時に、心に言い聞かせている言葉を皆様にご披露したいと思います。『男子、志を立て郷関を帰さず。学、もし成らずんば、死すとも帰らず。骨を埋むる墳墓の地、あにはからんや。人間、到る所青山有り』これからもますます頑張っていく所存でございます。なにとぞご声援の程、よろしくお願い申し上げます」

▶大道塾の加藤清尚も試合を観戦。その他にも、エンセン井上やノアの杉浦貴、武道通信の杉山頴男氏など多数の著名人が訪れていた

表彰式

▲▶後半の試合に移る前に、リング上では表彰式が行われ、各国の支部長には感謝状が贈られた。リングス・オランダのクリス・ドールマンがリングに上がると一際大きな歓声が上がった

前田試合後のコメント

「タイトル全部持って行かれるかなあと思ってたんですけど、ロシア勢が頑張ってくれて。無差別級のほうは秋から決めます。今年は『KOK』やらないです。（10月からの展開は?）まず、無差別級のベルトを巡る闘いを始めたいですね。トーナメントでやっていくかはまだ分からないです。明日の支部長会議で、各国のランキングを作ることを指示します。それを踏まえてワールドランキングを作ります。（横井は）まだまだですね。最初のワンパンチ、キレイなのをもらいまして、少しストンと落ちましたけど、パッと動いたから良かったけど、あれで一瞬止まったら負けでしたね。とりあえず、グラウンドは落ち着いて動いたし、期待からすると60点ですね。（新日本の参戦に関しては?）8月がなかったら、10月って言ってますんで。ただ、うちはね、『プライド』のルールのように、上で押さえてボカスカ殴ったら勝ちじゃないんで、大変ですよ。（須藤元気の参戦に関しては?）彼は前から知っているんだよね。ビバリーヒルズ柔術クラブにいたからね」

▲観客動員数は、4977人。10周年記念としては、少し寂しい客入りとなった

▲10周年ということもあって、花が多数贈られていた。中には、先頃リングスを離脱した、田村潔司、坂田亘、成瀬昌由からの花もあった

なぜだ!? 南国沖縄にこの2人!!

髙田延彦&桜庭和志 in 沖縄

撮影◎宮澤正明

▲合宿に参加したメンバー全員で、記念撮影!!

髙田と桜庭が一緒に食事をしているシーンも、実に貴重だ

この海は正真正銘、沖縄の海!!

沖縄の美しい海の前で、髙田と桜庭のツーショット!

8月8日、水曜日。この日から、8月11日まで髙田道場のキッズファイターの合宿が始まった。合宿が行われた場所はなんと、沖縄だ! 私はこの合宿を取材するために、髙田道場の一行に同行することとなった。

なぜ合宿の地が沖縄かというと、安室奈美恵やSPEEDといった、芸能人を輩出した、沖縄アクターズスクールとドリームプラネットインターナショナルスクール(以下『DPI』)と合同合宿をするためだ。

『DPI』とはいわゆるフリースクールと呼ばれるもので、アクターズスクールのマキノ正幸校長が、運営に携わっている。アクターズスクールとは姉妹校のようなものである。

当然、この合宿に参加するキッズファイターたちには髙田延彦が引率者として、同行した。

那覇空港へ到着すると、『DPI』の生徒たちのお出迎えを受け、一行はそのまま沖縄アクターズスクールへ直行。そこで、アクターズスクールの生徒たちから、歌とダンスを披露してもらった。

ここで思いがけない場面を目にすることとなる。なんと、髙田があまりのダンスの素晴らしさに感動して、涙を流したのだ。

「今日は泣きたいね。ありがとうございました。すいません、涙を流して」(髙田)

素晴らしい、シーンだった。ダンスも素晴らしかったが、何よりも髙田が感涙を流す場面を見られたことが、何よりの感動だ。もう、これを見られただけでも、沖縄へ行ったかいがあったというもの。

さて、一行は那覇から、恩納村

髙田延彦＆桜庭和志 in 沖縄

▲合宿２日目に合流した桜庭は、夕食の時に挨拶「元気ですかぁぁぁ！　元気があればなんでもできる！」と挨拶。会場を沸かした

▼こんな小さな子供が、桜庭に腕ひしぎを!!

ヒャッ!! 桜庭がタップ!?

沖縄アクターズスクールの生徒にレスリングを指導!!

◀合宿２日目と３日目に、髙田道場の選手たちが、キッズファイターとアクターズスクールの生徒にレスリングを指導。子供が倒立前転するのを補助する髙田と、自ら実演してみせる桜庭

▼合宿初日、沖縄に到着したその足で、沖縄アクターズスクールへ。そこで、子供たちの素晴らしいダンスに感動して、涙を流す髙田。ちなみに、左隣の人物が、沖縄アクターズスクールの校長のマキノ正幸氏

涙は流さない——髙田が感動の涙!

さて、一行は那覇から、恩納村という所にある、ホテルムーンビーチへと向かった。そこで、合宿を張ることになるのだが、実はそのホテル内に『ＤＰＩ』のキャンパスがある。何から何まで、驚かされてしまうような、環境だ。

２日目には、桜庭が合宿に合流。合宿自体はこの日から本格的に始まった。朝からキッズファイターとアクターズスクールの生徒たちはレスリングの練習。当然、髙田や桜庭、そして同行している豊永、浜中といった髙田道場の選手たちが指導に当たる。

ここでの髙田の先生ぶりは、実に板に付いている。腕立てなど、みんなより遅れてしまった子供に、「もう一丁！」と声を掛けて励ましていた。リングで闘う姿とも、テレビのキャスターをしている時とも違う、どんな場面でもいちいちシビれさせてくれる男だ。

桜庭は桜庭で、２日目の夕食の席で「元気ですかぁぁぁ！　元気があればなんでもできる！」と、猪木ネタで挨拶。会場の雰囲気を見事に掴んでみせた。

初日に、髙田に挨拶した時に、「編集長は？　ラスベガス？　あ、あっちを選んだ（笑）。貸しができたね（笑）」と、爽やかな笑顔でしゃべっている姿を見て、やっぱり天性のスターなんだと思わずにはいられない。

髙田道場のキッズたちも、アクターズスクール＆『ＤＰＩ』の子供たちも元気さと、何より、髙田延彦の魅力が、開放的な沖縄という土地で存分に発散させられていたことが、一番の発見だった。沖縄、恐るべしである。（小松）

グレート・アントニオ

PARCO

去る８月５日、千葉県の津田沼パルコにて、破壊王・橋本真也VS谷川貞治&山口日昇の、変則マッチ１対２トークバトルが開催された。会場に集まったファンを、ひとり残らずその魅力で釘付けにしてしまった破壊王。『グレート・アントニオ』主催で行われた、このトークショーの模様をお送りしよう。

グレート・アントニオ夏の陣！ サマーファイトシリーズ in津田沼パルコ イベント速報！ その1

みんな破壊王が大好き！ 橋本真也トークショー開催！

▶次から次へとギャグを飛ばす破壊王。ちなみに司会は本誌ではお馴染みタニー&ノビーの編集長コンビが務めた

破壊王節、炸裂！

教えて、破壊王 1

猪木軍団の正式メンバーは誰？

破壊王「まず僕でしょ、小川（直也）、藤田（和之）、安田（忠夫）、あとカシンも入るかなぁ？」 谷川「コールマンとか外人勢は？」 破壊王「あ、そのへんはよく分かんない（笑）」

教えて、破壊王 2

ZERO-ONEリーグ戦の『火祭り』って？

破壊王「テーマとしては、若手でもなくトップを狙いたいけどチャンスがないっていうヤツらが、"炎の男"を見せられるかっていう。優勝者には俺と小川への挑戦権なんだけど、副賞は赤いトラクターにしようかと（笑）」

「小川に新日本の悪口言われると腹立つんだよね（笑）」

破壊王「この間、小川（直也）と新日本の悪口大会みたいになって。俺は新日本が古巣だからいいけど、お前はそこまで言うなよって（笑）。自分のカミさんが料理できないからって、他人に言われると腹立つみたいなね（笑）」

「極真會って書いた柔道衣着て先生に怒られて（笑）」

破壊王「中学生の頃は、猪木さんとウィリーどっちも大好きで。柔道衣の胸に"極真會"って書いて、先生に怒られたことがある（笑）。でも、武藤（敬司）だって『空手バカ一代』読んで山ごもりしたんだから。夜、怖くなって下山したらしいけど（笑）」

今日もキマってるね！ 破壊王サングラス

◀このサングラス、実はスキー用なんだって。でも破壊王がかけるとキマっちゃうから不思議だよね

ヴァンダレイ&アスエリオのWシウバもやってきた！

▲7月31日には、津田沼パルコの『グレート・アントニオ』特設会場にヴァンダレイ・シウバ&アスエリオ・シウバも遊びにきたぞ！　握手&撮影会を行い、こちらも大盛況だったのだ

この日、会場となったイタリア料理店は、200人近くのファンであっという間に満席に。サングラス姿の破壊王が現れると、待ってましたとばかりに場内からは拍手が巻き起こった。

開始1分、「ZERO－ONEと真撃って、違いがよく分からないんですが……？」という素朴な疑問を投げかけるサダハルンバに、「真撃は、まぁバーリ・トゥードルールというか、ロープエスケープとかナシのね。でも僕の頭にあるのは、猪木VSウィリー・ウィリアムス戦とか、猪木VSモンスターマン戦。あの試合も今思うと、ルールを規制してたからよかったと思うんだよね」と、親切に答えてくれた破壊王。そして、「俺らの世代は、新日と極真だからね」と、中学生時代に自分でもイノシシくらい倒せると思って山に探しに行ったことまでも披露（結局、見つからずに帰ってきた）。トークバトルの相手を務めた本誌・谷川貞治編集長&『紙のプロレスRADICAL』・山口日昇編集長も、破壊王にボケたり突っ込んだりと大忙し。次から次へと繰り出される破壊王節に、場内は終始その魅力に釘付けだった。

そして、イベントのラストでは、破壊王からファンへのチョップ大会が！　我先にと上半身ハダカで押し寄せる若者たちに、〝バチーン、バチーン〟とカツを入れる破壊王！　取材するこっちまで興奮しちゃった！　最後は「1、2、3、ダァーーーッ！」で締めくくった破壊王！　ますます破壊王が大好きになってしまう、そんなイベントだったのだ。　（日比）

グレート・アントニオ
TOKYO

キッド恐喝か!?

大ブレイク中の『キッドTシャツ』浅草キッドが特別即売会を開催！

浅草キッド（水道橋博士&玉袋筋太郎）が8月11日午後2時過ぎ、東京・神田の『グレート・アントニオ』前で、本誌カメラマンをどう喝、撮影したフィルムを取り上げ、感光させるという暴挙に出た。この日、「浅草キッドTシャツ」発売を記念して『グレート・アントニオ』で即売会を行った浅草キッドの2人は、登場するなり「『SRS・DX』のカメラマンはおるか！　出てこんかい！」とエキサイト！　会場に集まった100人ほどのファンの前で、"前田日明の○スポカメラマン恐喝事件"の完コピを派手に演じてみせたのだった——。

撮影◎山口比佐夫、他

▼前田日明を意識した黒いサングラス＆首からメガホンという出で立ちで登場した浅草キッド。この数秒後には、「ふざけるなよ、コラッ！！」という怒号が響き渡ることに……

『SRS・DX』は浅草キッドに屈しない！

▲カメラマンの恐喝をやり終え、エンジン全開となったキッドが、今度は『グレート・アントニオ』の店内に籠城！　そして『浅草キッドTシャツ』を買ってくれたファンひとり一人に、サイン→握手→記念撮影→張り手→「アリガトーッ！」を延々繰り返し、ほんの1時間ほどで200枚も売り切ってしまった！

本誌カメラマンを脅し、フィルム抜き取り捨てる!!

▲本誌・山口カメラマンが差し出したフィルムを奪い取った玉袋筋太郎。フィルムを感光させるや、放り捨てた！

▶即売会が終わり、お待ちかねのジャンケン抽選会！　水道橋博士からは「ビールマグ＆よく使い込まれたビデオデッキ」がプレゼントされた

▲続いて「俺たちはこれからリングスに行くから！」と、関係者からもらったらしき○-1のチケットをバラ巻くという大暴挙に！　運良く当選した親子は歓喜の表情！

▶ラストはもちろん「1、2、3、ダーーーッ！」でフィニッシュ！　誰かこの"猪木王"に挑戦するヤツはいないのか〜!?

本誌はこの暴挙を断じて許さないこともない！ 1時間でTシャツ200枚を売りさばく！

このように、数々の蛮行を行いながらも、たった1時間でTシャツ200枚以上を売るという、『グレート・アントニオ』オープン以来の怪記録を樹立してくれた浅草キッドのご両人。ここは修斗の会場か!?　それとも宇野商店か!?　キッド人気＆ゴキータのハイセンスにはただただひれ伏すしかない！　『グレート・アントニオ』では、すでにキッドTシャツ第2〜4弾の制作にも着手。今号より通販もスタートしたので、ショップに来られないキッドファンのアナタも入手可能だ。

2001年8月11日、午後2時。それは『グレート・アントニオ』が、あの伝説のショップ『元気が出るハウス』を超えた瞬間であった——（嘘）。

ただごとじゃないスケール感! 野地竜太、キック2戦目も快勝

キック2戦目にして、K－1ジャパンGP3位の実績もある安部康博との対戦を迎えた野地竜太。実に堂々とした試合運びで、文句なしの判定勝ちだ

★第8試合（3分3R）
○野地竜太（3R判定3-0）安部康博●
〈極真会館〉　〈TEAM AMBE〉
※採点…30-27、30-27、30-27。安部は1Rに左ハイキックでダウンを喫した

撮影◎吉澤 晃

「どうだった、野地の試合？　たいしたことなかったの？」

ラスベガス取材から帰ってきた谷川編集長は、ボクにこう聞いてきた。なるほど〝ダウンを1回奪っての判定勝ち〟という結果だけを知って、編集長が「いいとこまでいきながら攻めきれなかったんじゃないか。モロさも露呈したんじゃないか」と考えても不思議じゃない。

いや、違うんッスよ谷川さん！　判定勝ちだったけど、いや判定だったからこそ、ボクには野地のスケール、可能性が余計に大きく感じられたのだ。

野地のキック2戦目、安部康博との試合でまず感じたのが「うまくなってるなぁ」ということ。なによりディフェンスがしっかりしている。前腕はキッチリ顔面をガードし、相手のパンチを受けても危ない場面はほとんどなかった。それでいて、ディフェンスを気にしすぎて攻撃が出ないということもない。上体の使い方やパンチのコンビネーションはボクサーばりだし、ダウンを奪ったハイキックやローのキレと重さは当然、空手仕込みのものだ。

空手からキック、K—1を始めた選手は何人もいるが、たった10カ月でここまでやれる選手はちょっと見たことがない。

判定勝負も、あらかじめ予定に入っていたことだ。野地の最終目標は2003年の極真世界大会。キック

はそれまでの修行・経験である。そ

◀1Rに左ハイでダウンを奪う。なんとガードごと吹っ飛ばしてみせた！

全日本キック
HOT SHOT
8.10★後楽園ホール

これぞ極真魂！自ら修羅場を選んだ野地

この男なら、VTでも勝てるんじゃないか!?

野地のコメント

「前回と比べたら少しはやりたいこと、練習してきたことが出せた感じがして、いい経験になりました。今日はニコラス先輩に3Rやるように言われました。もちろんチャンスがあれば倒したかったんですけど、ムキにKOしようという感じではなかったです。ニコラス先輩とはいつも一緒に練習してるんで、精神的に心強かったですね。声もよく聞こえましたし。（K－1出場は？）自分で決めることではないですけど、目標は強い人とやることなんで、出られたら素晴らしいと思います。（しばらくこの路線で？）10カ月くらいやって、少しずつ上達してると思うので、もう少し上達するまでやって、それで世界大会に行きたいと思います」

▲相手の動きをしっかり見ることが今回の課題だったとか。無理に攻め込まず、守るべき所はしっかり守っていた

▲デビュー戦と比べて、技術的にも格段の進歩があった。上体の動きやパンチのコンビネーションはボクサーばり

▶野地のセコンドには、一緒に練習もしているニコラス・ペタスがついた

◀第2試合に登場したニュージーランドのファイ・ファラモエ（チームTBC）も、野地、ニコラスのトレーニング仲間。キックの試合は初めてだったが、窪田豊彦（FAT BOYS）を1Rに右フックで3度倒し、あっという間にKO勝ちした。実はファラモエはボクシングで16勝2敗、東洋太平洋のヘビー級ランカーだった！

▲特に効果的だった攻撃は左右のローキック。一発の威力はさすが極真

◀1Rに左ハイでダウンを奪う。なんとガードごと吹っ飛ばしてみせた！

はそれまでの修行・経験である。その経験を積むという意味で、今回は長く闘おうと決めていたのだ。

だがこれは、野地にとってはリスキーである。キックに不慣れな野地にしてみれば、試合が長くなればなるほどスキも生まれ、ピンチも多くなるはずだからだ。まして安部はK－1ジャパンGPで3位になったこともある選手。野地くらいの身体能力とパワーがあれば、勢いにまかせてイチかバチかの打ち合いを挑んでしまうほうがむしろ楽だと思う。

でも、野地はそうしなかった。やられる可能性が高くなるのを承知で、わざと長い時間、ルールの違うキックボクシングという修羅場に身を置き続けたのだ。爆発的な攻撃力を持つ野地が、今回はあえて守る場面も作った。まるで相手のパンチを受けながら、自分の器の大きさを測っているみたいに。そんなの、並の選手ができることじゃない。

試合中には「うまくなってるなぁ」と感じたが、試合が終わった後には「これはもっと伸びるぞ」という感触が残った。なにしろたったの2戦目でここまでやれるのだ。キック用のテクニックが上がったとか、そういうことではない。闘うことそのものに対する適応力というか、潜在能力がズバ抜けてるんじゃないかという感じだ。もしかしたら、VTをやらせてもあっという間に強くなっちゃうんじゃないだろうか。

今の野地には、空手とかキックとか、そういうジャンル分けの必要性を感じない。野地のスケールの大きさから見えてくるのは〝強いヤツは何をやらせても強い〟という、誰もが求めてやまない格闘家の理想像なのである。

（橋本）

全日本キック
HOT SHOT
8.10★後楽園ホール

念願の世界チャンプのベルト、金沢久幸、冷え冷えと奪取

仇敵イギンに判定勝ちも、灼熱の熱狂、怒濤と喝采は今回はお預け

金沢のコメント

「前の対戦では、いきなり速攻をかけられてダメージを受けてしまったけど、今回のイギンは違った。じっくりと待たれて。こういう展開は難しい。でも、今まではこうなったら引き分けがやっとだったのに、勝てたのだから自分を褒めてやりたい。勝負を分けたのはベルトへの執念の差だろう。あっちはもうひとつ持っているから」

イギンのコメント

「いい試合だった。1ポイント差だからしょうがない。世界中、いろんな所で試合をやってきたので、敵地での勝負がどういうものか知っている。ポイントを失ったのは2Rだろうが、それ以降は調子が上がってきたと思ったが。金沢は前回より強くなっていた。とくに精神面がずっと成長していた。まさにヤマトダマシイだったよ」

▶シャープな右ミドルを蹴り込む金沢。しかし、堅いイギンのディフェンスを崩すことはできなかった

★第10試合・メインイベント/WPKC世界スーパーライト級王座決定戦（3分5R）
○金沢久幸（5R判定2-0）オスマン・イギン●
〈TEAM-1〉 〈ベルギー〉
※採点…50-49、50-50、50-49。金沢が新王者に

▲金沢の勝利で、全日本キックはこれで3つ目の世界タイトルを手にしたことになる。試合は白熱しなかったが、偉業であることには変わりない

◀ウェルター級のホープ、佐藤嘉洋は内田康弘をKOしているノエル・ソアレスと対戦。パンチとヒザの厳しい我慢比べに、佐藤は打ち勝ち、3Rに3度のダウンを奪って劇的勝利。佐藤がその後、リングで昏倒するほどの消耗戦だった

▲イギンは鋭いカウンターを狙って、金沢の深追いを許さない。試合が膠着したのは、全てこのベルギー人の高度な戦略のせいだ

▲得意の階段駆け上がり式の飛びヒザが炸裂！　もう少し深く決まっていたら……

せっかく世界王者が生まれたというのに、つべこべ言うべきではない。だけど、こういう闘いって、どう評価したらいい？　高度な技術戦はハイブローであっても、観客の熱狂を呼ぶ白熱の打ち合いはない。なんだかお高く止まっているようにさえ見えた。「素人にはともかく、玄人には分かってもらえたはず」と、当の金沢が言うのだから、確かにそのとおりなのかもしれない。

すでに100戦を越えるベテランのイギンはどこまでも冷静で、テクニカルだった。金沢は得意の飛びヒザ蹴りに前蹴りを合わされて、すっ転がされたり、あるいは回転の速いパンチでひるまされたりという場面もあった。さらに、この4年前には、敵地でこのイギンにKO負けを喫してもいる。慎重な闘いに終始したのも、当然の選択だったのだろう。

僅差でも、金沢の勝利は文句なしだ。2R、バックハンドブローの奇襲からボディにパンチを連打してイギンを防戦一方に追いやった。このポイントを彼は大事に守りきった。そのかわり、あとは静かにそして冷え冷えと進行させていったのだった。

「本当はお客さんに喜んでもらえないと、いけないんですが」（金沢）

大事なのは世界のベルト、目の前の勝利。次へのステップを、男気にはやって捨てるのは愚行である。金沢の言葉を信じて、リングの熱狂は次回まで待つことにする。（宮崎）

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

8/24、9/7の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは8月14日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

注意！

8月31日のSRSはお休みです！

8月31日のSRSはお休みさせていただきます。くれぐれもご注意ください。8月24日と9月7日は通常どおりオンエアーです。こちらで、たっぷりお楽しみくださいネ！

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

8/24

SRS、久しぶりのボクシング！

8・25『WBA世界ミニマム級タイトルマッチ』直前、新井田豊特集！

8月24日（金）/25:45～26:15

SRSで久しぶりのボクシング特集です。フジテレビでは、8月25日（土）16:20～17:30に、ボクシングの世界タイトルマッチを生中継します。今回、行われるのは、『WBA世界ミニマム級タイトルマッチ』。それに挑むのは、前WBA世界ライト級王者畑山隆則と同じ横浜光ジムで育った、新井田豊・22歳です。SRSはタイトルマッチ直前のこの1カ月間、新井田に密着取材しました。世界をめざす男の闘志、意気込みをたっぷりお見せします。SRSで、ばっちりチェックしてから、新井田の世界への挑戦を楽しんでください。この他にも、直前に迫った修斗大阪大会に出場する佐藤ルミナの近況もお送りする予定です。お楽しみに！

©日刊スポーツ

▲世界タイトル奪取なるか！？

9/7

ルミナ、マッハと豪華なメンツが勢揃い！

8・26修斗『SHOOTO TO THE TOP in OSAKA』特集！

9月7日（金）/25:45～26:15

修斗が大阪で燃える！　ということで、8月26日（日）に大阪府立体育会館で開催される『SHOOTO TO THE TOP in OSAKA』をたっぷり特集します。今回の大会は、ウェルター級タイトルマッチとして、三島☆ド根性ノ助VS五味隆典が行われます。今、勢いのある2人が空位となっていた王座を賭けて激突。その他にも、久しぶりに修斗のリングに佐藤ルミナが帰ってきます。相手は、マーシオ・クロマド。これも見応えのある一戦になりそうですね。その上さらに、桜井“マッハ”速人も参戦。こんな豪華なメンバーが揃った、修斗大阪大会をじっくりお見せします。どうしても会場に見に行けない人は、SRSでたっぷり楽しんでください。

▲マッハとルミナ、修斗のスターが揃い踏み！

フジテレビ系列の番組から

◎フジテレビ

8・25『WBA世界ミニマム級タイトルマッチ』

8月25日（土）/16:20～17:30

8月25日（土）に横浜パシフィコで開催される、『WBA世界ミニマム級タイトルマッチ』チャナ・ポーパオインVS新井田豊を当日生放送します。世界のベルトに挑む、22歳の男の闘いをじっくりご覧ください。解説は、なんと前WBA世界ライト級王者畑山隆則！　こちらも必見です。

◎フジテレビ739

6・10『極真全世界ウェイト制空手道選手権大会』再放送！

8月26日（日）/13:00～14:30、26:00～27:00

6月10日（日）に行われた『極真全世界ウェイト制空手道選手権大会』を再放送します。重量級で優勝した数見肇の奮闘や、ロシア勢の凄まじい猛威を余すところなく、お伝えします。極真空手の底の深さをこの放送で味わってください。

▲数見とプレカノフの試合は必見！

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/23（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	4:00～5:00	これまでの『ワールドコンバットファイト』の再放送シリーズ。『ロシアンNHBシリーズ5』(2000.11.2/ロシア)から4試合。同内容放送8/30・16:00～、8/31・4:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	ニュージャパンキック連盟、『achievement7』後楽園ホール大会（99.10.1）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	修斗、『R.E.A.D.～2000 SHOOTO～』後楽園ホール大会（2000.1.14）
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23 4:00～を参照。トニー・カスティーリョvsポール・ジョーンズほか全7試合。同内容放送8/24・4:00～、8/31・11:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	7.27 & 8.15に北沢タウンホールで開催された修斗『SHOOTO GIG EAST Vol.4 & 5』の2大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvsアレッシャンドリ・カフェ・ダンタス戦ほか全7試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25:00～27:00	『ブラジル・メッカ・バーリ・トゥード』を放送
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題をピックアップ。選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
8/24（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	8/23を参照。同日再放送、12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	8/23と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	8/23 19:00～と同内容
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	新GHCチャンピオン・秋山企画
8/25（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	8:00～10:00	8.12に名古屋市体育館で開催の格闘探偵団バトラーツ『バトラーツ旗揚げ5周年記念興行スペシャル名古屋場所』
	BS朝日	ハイブリッドアワー	20:00～22:00	8.18横浜文化体育館で開催の『DEEP2001 in YOKOHAMA』を放送 再放送9/2・17:00～
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:30～27:30	8/23のＪスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	内容未定
8/26（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	8:00～9:00	8/23と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	9:00～10:00	8/23を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	10:00～12:00	8/23 19:00～と同内容
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2001 G1 クライマックス 8・4大阪府立体育会館
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25:00～26:00	内容未定
8/27（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	4:00～5:00	8/23を参照。アレクサンダー・マヨロフvsナグムジン・ウスマノフほか全4試合
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	15:00～16:00	第62回新空手道交流大会 同内容放送8/30・25:00～、9/1・15:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。『USWF8 パート1』（98.3.28/テキサス州）から9試合。同内容放送8/28・4:00～、
	GAORA	全日本キックボクシング	16:00～18:00	7.22後楽園ホール大会 同内容放送 8/29・23:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『真撃』直前、橋本真也特集！
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	K-1ジャパン特集
8/28（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。98.5.23、オランダ・アムステルダムスポートホールサウドでの試合を放送。同内容放送8/29・4:00～
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	バトラーツ名古屋大会。大場の活躍をレポート
8/29（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。『USWF7 BATTLE OF THE BELTS パート1』から9試合。同内容放送8/30・4:00～
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	ロイヤルリングサイド。アンディ・フグ一周忌企画、角田信朗沖縄を行く
	テレビ東京	Gパラ コロシアム	23:55～24:35	輪島、ビーチでゲーム
8/30（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、『浪速からの挑戦者』北沢タウンホール大会（99.8.4）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	新日本キック協会、『DOUBLE IMPACT』後楽園ホール大会（2000.1.23）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	7.28に後楽園ホールで開催された新日本キック協会『THE EXTREME MISSION』大会
	スカイパーフェクTV	『真撃』第Ⅱ章	19:00～	8.30『真撃第Ⅱ章』をPPV生放送。Ch.121（パーフェクトチョイス）、視聴料2,000円。同内容再放送、8/30・24:00～（Ch.121）、9/1 & 9/2・14:00～（Ch.122）、9/3 & 9/4・21:00～（Ch.121）
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『ユーロキックボクシング・クラシックス』（89.11.19/オランダと90.11.18/オランダ）から全3試合
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	6.26後楽園ホール大会を放送
	スカイパーフェクTV	渋谷系女子格闘技 SMACK GIRL	22:00～	7.26SMACK GIRLをPPV放送。Ch.111（パーフェクトチョイス）、視聴料600円
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	8/23を参照。同日再放送、25:00～
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	8/23を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	8/23を参照
8/31（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	8/23を参照。同日再放送、12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	8/30と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	8/30 19:00～と同内容
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	お休み
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	内容未定
9/1（土）	ＢＳ朝日	パンクラスハイブリッドアワー	14:00～16:00	7.29後楽園ホール NEO BLOOD TOURNAMENT NIGHT TIME
	ＢＳ朝日	パンクラスハイブリッドアワー	20:00～22:00	8.25大阪・梅田ステラホール PANCRASE 2001 PROOF TOUR 同内容放送9/8・14:00～、9/9・18:00～
	GAORA	角田信朗の格闘魂	23:30～24:00	8/23を参照
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:30～26:30	8/26のＪスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	内容未定

ON THE AIR 8/23～9/13

格闘技番組ガイド TV&RADIO

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
9/2（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8:00～9:00	8/30と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	9:00～10:00	8/23を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	10:00～12:00	8/30　19:00～と同内容
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2001 G1クライマックス　8・5大阪府立体育会館
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	18:00～20:00	8/30と同内容
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	8/26と同内容
9/3（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	4:00～5:00	8/23を参照。『USWF8パート2』ライト級&ヘビー級選手権他、7試合放送　同内容放送9/10・16:00～、9/11・4:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。『AFCユーロ・アジアン・カップ』から9試合放送　同内容放送9/4・4:00～、9/11・16:00～、9/12・4:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	参議院議員・大仁田厚特集！
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	K-1ジャパン特集
9/4（火）	GAORA	全日本キックボクシング	12:30～14:30	7.22　後楽園ホール大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。『USWF9パート1』トーナメント他10試合放送　同内容放送9/5・4:00～、9/12・16:00～、9/13・4:00～
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『プライドの壺』、練習生の普段の姿
9/5（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。『USWF9パート2』ヘビー級タイトルマッチ他6試合放送　同内容放送9/6・4:00～、9/13・16:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	8.25に札幌テイセンホールで開催の格闘探偵団バトラーツ『ヤングジェネレーションバトル2001』。　同内容放送9/6・14:00～、9/9・17:00～、
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	ロイヤルリングサイド。8.26修斗大阪大会特集
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23:55～24:35	内容未定
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	26:00～27:00	8/26のJスカイスポーツ3と同内容
9/6（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、『4 The Renaxis1999』後楽園ホール大会（99.9.6）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	MA日本キック連盟、後楽園ホール大会（2000.3.20）
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	16:00～17:00	8/23を参照。WPKLムエタイチャンピオンリーグ全4試合放送　同内容放送9/7・4:00～
	GAORA	週刊格闘JAM！	18:35～18:40	8/23を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	8.15に新宿・リキッドルームで開催の GMCコミュニケーション『CLUB CONTENDERS:01』
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『USWF14　パート2』（99.4.24）からヘビー級トーナメント戦7試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	8/23を参照。同日再放送、25:00～
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	8/26と同内容
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	8/23を参照。再放送9/8・28:50～
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	8/23を参照。再放送9/8・17:00～
9/7（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	8/23を参照。同日再放送、12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	11:00～12:00	8/23を参照。『HOOKnSHOOT』全6試合　同内容放送9/10・4:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	13:00～14:00	9/6と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	9/6と同内容
	GAORA	全日本キックボクシング	24:00～26:00	8.10後楽園ホール大会　同内容放送9/8・15:00～
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	内容未定
9/8（土）	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:30～26:30	8/26のJスカイスポーツ3と同内容
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	内容未定
9/9（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8:00～9:00	9/6と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	9:00～10:00	8/23を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	10:00～12:00	9/6と同内容
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2001 G1クライマックス　8・6愛知県体育館
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	内容未定
9/10（月）	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	お休みの予定
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	K-1ジャパン特集
9/11（火）	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	佐藤江梨子と選手の未公開トーク
9/12（水）	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	角田信朗、空手発祥の地・沖縄を行く！
	テレビ東京	Gパラ　コロシアム	23:55～24:35	内容未定
9/13（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	アマチュア修斗『第6回アマチュア修斗全日本大会』（99.8.8）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	エクストリームスポーツプロダクション、『Super Browl 13』（99.9.7/ハワイ）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	9.2に後楽園ホールで開催された修斗『SHOOTO TO THE TOP』
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	『USWF16　パート1』（99.5.22）からライト級トーナメント戦7試合とワンマッチ2試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	8/23を参照。同日再放送、25:00～
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24:00～25:00	9/9と同内容
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	8/23を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	8/23を参照。再放送9/15・23:30～、9/16・26:30～

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介❶〉 It's HOT!

『期間限定　長州力』

長州力著/アミューズブックス
本体価格　952円/発売中

"期間限定"と言わずに、いつまでも味わいたい長州本！

本書は、長州力へのインタビューによって構成された、語り下ろし本である。5月の小川とのタッグマッチ以降、再びリングに上がったものの、復帰した当初のような元気さがイマイチ見えてこない長州だが、やっぱりこの人からは目が離せない。珍しく、自分のことを僕と言っているが、その常に自信に溢れている姿が、目に浮かんでくるようなインタビューだ。「自分は自己プロデュースに長けている」とキッパリ言いきったり、自分のことを批判する小川や橋本も、バッサリと叩き斬る。男なら、こうありたいと思わせるその語り口調を、存分に楽しめる1冊だ。

〈新刊紹介❸〉 It's HOT!

『燃える闘魂　醜聞（スキャンダル）外伝　猪木の弱点』

竹内宏介著/日本スポーツ出版社
本体価格　571円/発売中

プロレス取材歴36年の竹内宏介氏が綴る、もう一つの猪木史

「プロレスラー・アントニオ猪木と人間・ジャイアント馬場が好き」が持論の、週刊ゴング編集人・竹内宏介氏。その竹内氏が猪木をスキャンダルという視点から、描いたのが本書である。36年に及ぶ長い取材歴の中で、蓄積されてきた取材メモをあえて開封し、猪木の怖さと凄さを集大成したのだから、まさに力作。東京プロレス旗揚げにまつわる、太平洋上略奪事件や、その東京プロレスの崩壊。そして、日本プロレスからの追放や、議員時代のスキャンダルとファンが知りたい真相が、キッチリと書かれている。はたして猪木の最大の弱点とはなんなのか？　本書を読んで、その答えを見つけよう！

〈新刊紹介❷〉 It's HOT!

『ターザン山本　豪速球　時速160キロの剛腕日記』

ターザン山本著/芳賀書店
本体価格　1,500円/発売中

大人気の往生際日記が遂に単行本化！

『プロレスのあばき方』から、日を置かずして放たれたターザン山本氏の最新著書。インターネット上で人気の有料Webマガジン『マイナーパワー』に掲載され、浅草キッドや『紙のプロレスRADICAL』でお馴染みの吉田豪氏が大絶賛の『往生際日記』が、なんと単行本として発売されたのだ。自分の私生活を、隠すことなく全てさらけ出しているこの日記は、タイトルどおり豪速球を頭にぶつけられたような、衝撃的な面白さがある。これは、もはや単なる日記を超えた、一つのエンターテインメントだ。氏の凄まじい、生活ぶりを体感すれば、残暑を乗り切れるようなパワーが付くことは請け合いだ！

〈おすすめの一冊〉 Recommend

『平直行のリアルファイト柔術』

平直行著/徳間書店
本体価格　1,500円/発売中

平直行が解説する、柔術テクニック

日本の総合格闘技の先駆者とも言うべき、平直行が自ら学んだ柔術のテクニックと、総合格闘技で使える打撃の技術や、実際の場面で使われる護身術のテクニックを1冊の本にまとめて解説してくれる。実戦でのポイントやコツに重点を置いて解説してくれるため、「スパーリングの時に指を噛まれない」方法や、「腕十字の時に足を噛まれない」方法、「アームロックは目つきに注意」など、もはや総合格闘技の範疇を超えてしまっているような、テクニックまで登場する。また、自分の経験等をコラムで綴ってあるために、こちらも参考になる。護身術を身に付けたいと思う人にはおすすめだ！

BOOK RANKING (8/1～8/14調べ)

1. 『期間限定　長州力』
アミューズブックス
本体価格　952円
2. 『平直行のリアルファイト柔術』
平直行著/徳間書店
本体価格　1,500円
3. 『からだには希望がある』
高岡英夫著/総合法令出版
本体価格　1,400円
4. 『船木誠勝　リアル格闘術』
船木誠勝著/大泉書店
本体価格　1,200円
5. 『裏プライド読本』
西本廣司著/同朋舎
本体価格　1,300円

4位 『船木誠勝　リアル格闘術』

パンクラシストの技術を、一般のファンにも分かりやすく解説してくれる、『船木誠勝リアル格闘術』が好評だ。技術の実演モデルには、パンクラスの所属選手が全て登場。打撃や関節技の技術から、実戦的なテクニックまで、詳しく解説してくれる。船木の食事方法に関するコラムも収録してあり、体を鍛えようと思っている人には、うってつけの1冊だ！

書泉ブックタワー

東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲プロレス・格闘技の本を探すならここ、『書泉ブックタワー』！　本誌のバックナンバーも常備しているので、探している本があったら秋葉原の書泉へGO！

書泉ブックタワー　後藤　実副主任

「好調です。新刊、既刊とも順調に売れています。先日の『プライド15』に合わせて、桜庭関連の書籍が再び動いたとの報告もありました。今月も片寄りなく売れています」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介〉 It's HOT!

◀FRONT
BACK▶

『小路晃Tシャツ Support Ver.』
小路晃事務所/3,800円（税別）

ファン待望のニューTシャツ登場！

ファン待望、フリー宣言後としては初めての新作Tシャツの登場だ。フロントには、道衣姿の凛々しい小路の姿が、そしてバックにはスポンサーのロゴがプリントされている。カラーもホワイトとサンドの2種類。小路を応援しに行くなら、このTシャツで決まりだ！

〈おすすめグッズ〉 Recommend

◀FRONT
BACK▶

『桜庭和志モデルTシャツ』
高田道場/3,800円（税別）

大人気Tシャツの別注カラー！

大人気のサクTシャツに、またまたニューバージョンが登場！　今度は以前発売されていたオレンジの『桜庭和志モデルTシャツ』が、カラーをホワイトにして発売されたぞ。これは、KINGS吉祥寺店の別注カラー。袖にはお馴染みの高田道場のロゴプリント入りだ。

ワールドスポーツプラザKINGS渋谷本店
鳴坂店長

「桜庭の復活に猪木軍vs K-1軍の抗争など、何かと話題の多い昨今の格闘技界。そんな業界をリードするKINGS渋谷本店では、様々な格闘技グッズを皆様にいち早くお届けしています。夏休みの間にぜひ遊びに来てください。お待ちしてま～す」

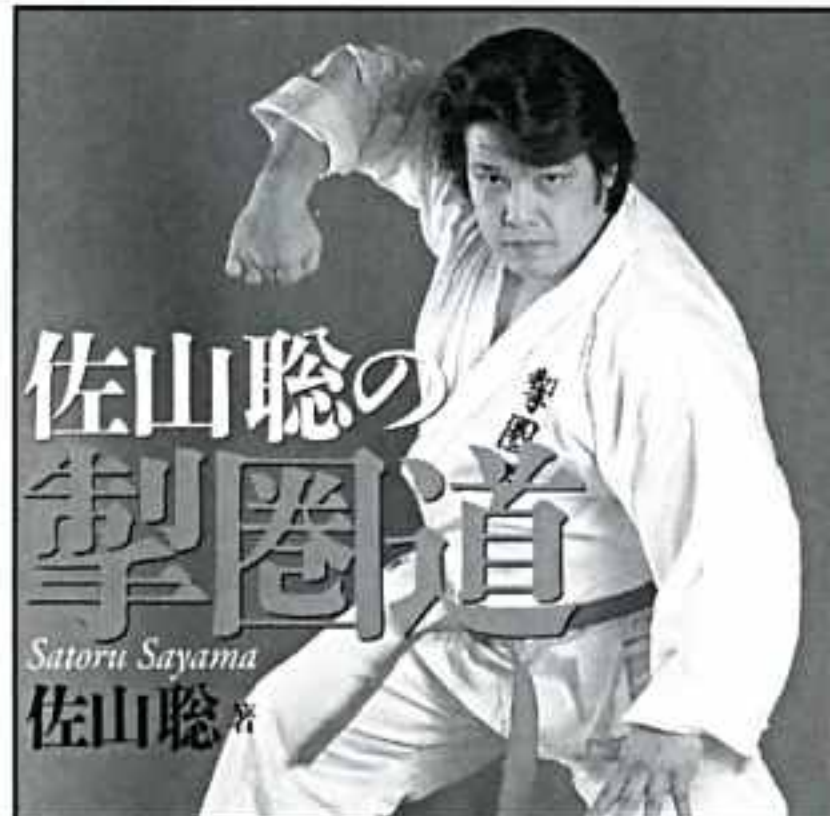
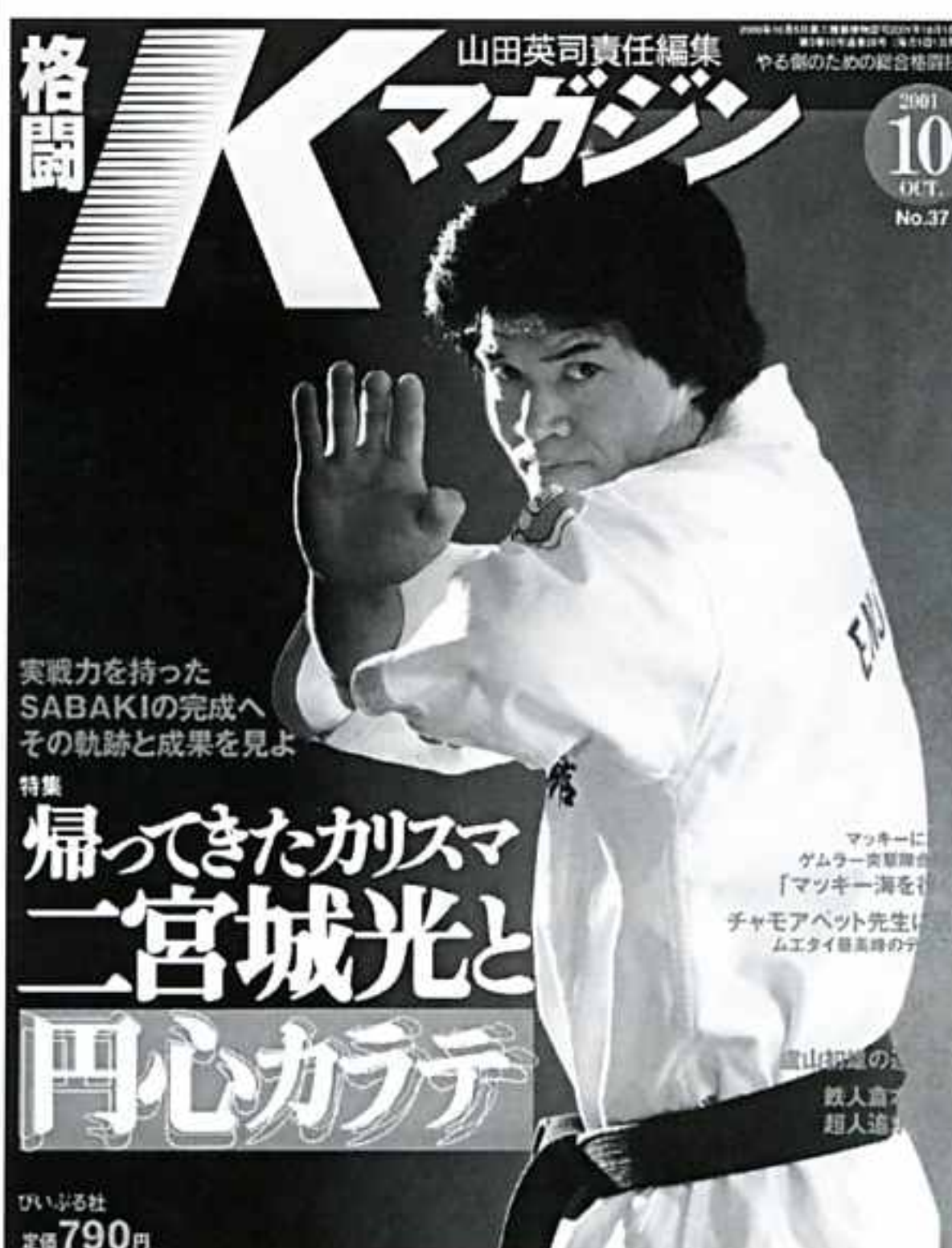
ワールドスポーツプラザKINGS渋谷本店
東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F（渋谷消防署前）
☎03-3462-1001
通信販売受付　☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00　通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING (8/1～8/14調べ)

1. 『闘魂猪木塾Tシャツ』 猪木事務所/3,500円（税別）
2. 『猪木イズムタオル』 SOUL/4,500円（税別）
3. 『ROAD TO INOKI#4 SLEEPER』 KINGS/4,200円（税別）
4. 『大山峻護Tシャツ』 FFF/4,800円（税別）
5. 『魔裟斗フィギュア』 ブロンコス/2,000円（税別）

1位
◀FRONT
BACK▶

『闘魂猪木塾Tシャツ』
猪木信者御用達の一品！

猪木信者なら一度は着てみたいのが、この『闘魂猪木塾Tシャツ』。カラーも新たにブルーが登場し、ますます人気が急上昇中だ！

Et cetra

ターザン山本の一揆塾、第二期生募集！

好評を博した、ターザン山本氏による、プロレスマスコミを養成する講座、一揆塾が第二期生を募集している。今度の募集人員は40名。今回入塾するには、ターザン氏と10分程度の個人面接が必要となってくるが、あの氏の底知れぬパワーに触れるにはいいチャンスだ。恐れずに、一歩踏み出す勇気を持って、申し込もう！
◆開講期間/10月4日（木）～平成14年1月27日（木）の毎週木曜日全15回（12/20、27、1/3はお休み）
◆時間/19:00～21:00
◆参加費/80,000円
◆申し込み締め切り/8月29日（水）
◆面接日/9月1日（土）、9月2日（日）　11:00より（履歴書持参）
◆お問い合わせ/ロックウエスト
☎03-5459-7988（14:00～20:00まで）mail@rockwest.to

パンクラス情報！

【菊田早苗サイン会開催！】
グラバカの総大将にして、いまやパンクラスのエースと言っても過言ではない菊田早苗が、サイン会を開催するぞ！　今年のアブダビ・コンバットで優勝し、寝技世界一の称号を欲しいままにする菊田の姿を、間近で見られる絶好の機会だ。当日会場では、大人気の『GRABAKA』Tシャツを多数販売。夏休み最後の思い出に、菊田のサインをもらっちゃおう！
◆日時/8月26日（日）14:00～15:00
◆場所/愛知県春日井市　春日井ルネック5F　スポーツカードショー会場（JR勝川駅前）
◆お問い合わせ/IVY BOOKs　☎0568-31-0727

【KID's LABスタート！】
小学生のパンクラスファンには朗報！　パンクラスのジムとしてお馴染みのP's LABに、9月から小学生でも入会できることになったぞ！　すでに、8月19日から東京と横浜のP's LABでは、プレオープンとして、『体験KID's LAB』が行われた。夏休み、まだまだ遊び足りずに、元気を持て余している君。P's LABで、エネルギーを発散させよう！
◆オープン日時/9月1日（土）
◆年会費/5,000円
◆月謝/5,000円（保険料含む）
◆練習日時/東京　毎週土曜日16:30～18:00
横浜　毎週土曜日17:00～18:30
◆入会特典/小学生会員はパンクラス主催の大会は、入場料500円
◆お問い合わせ/P's LAB　☎03-5792-7079

『民族スポーツフェスティバル　体験！！武術・武道・格闘技』開催！

10月14日（日）に、大阪府立体育会館で、大阪21世紀協会が主催する、『民族スポーツフェスティバル　体験！！　武術・武道・格闘技』が開催される。このイベントは、会場各所にブースを設置し、参加する武術、武道、格闘技の各団体が個人指導を行うことになっている。また、各団体は、デモンストレーション、セミナーを実施し、参加する一般の市民の人たちに、武術、武道、格闘技の精神と技術を自由に体験してもらう。このイベントに参加する団体や競技は、正道会館、テコンドー、太極拳、パレストラ、合気道、サンボ、修斗、少林寺拳法の8つの団体である。総合司会を務めるのは、正道会館の角田信朗師範代。誰でも参加可能で、様々な趣向を凝らして、参加した人全員が楽しめるようなイベントにするとのことなので、大阪方面に住んでいる人は、ぜひ参加してみよう。
◆日時/10月14日（日）10:00～16:30
◆場所/大阪府立体育会館　大阪府大阪市浪速区難波中3-4-36
☎06-6631-0121
◆参加料/無料
◆お問い合わせ/財団法人大阪21世紀協会スポーツ部　中井
☎06-6942-2008

グレイシー柔術体験ツアー開催！

グレイシー一族と仲良くなれるチャンス!?　ホイス、ホリオン、エリオというグレイシーファミリー全面協力のもとグレイシー柔術体験ツアーが行われるぞ！　このツアーでは、ホイスを筆頭にグレイシー一族が直接柔術を指導してくれたり、グレイシーアカデミーとの食事会というファンなら、垂涎ものの企画が組まれている。この体験ツアーが行われる場所はなんとロサンゼルス！　またとないこの機会を逃さず、この7日間の旅に参加しよう！
◆出発日/9月28日、10月23日、11月20日、12月11日
◆旅行代金/9月28日出発:198,000円　その他の出発日:208,000円
◆お問い合わせ/IACEトラベル　☎03-3436-6550

ストライプル、水道橋に新道場オープン！

平直行率いる、ストライプルの新道場が9月から水道橋にオープンする。これはストライプルとしては、柔術の道場ではなく、初の総合格闘技専門の道場となる。また会員は、各ストライプルの道場で柔術も学ぶことができるという、お得なシステム。また一つ、格闘技のメッカ水道橋に、名所の誕生だ！
◆場所/東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル4F　フィットネスショップ内　☎03-3265-4646
◆入会金/15,000円
◆月会費/8,000円
◆練習日/火曜日　19:30～21:00　金曜日　19:30～21:00
◆お問い合わせ/柔術　総合格闘技ストライプル　平直行
☎047-467-5765

宇月田麻裕の 北斗占い

Mahiro Utsukita

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

8/23〜9/12

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の1つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の1つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が表る。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。流暢な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運
夏休みの終わりは、時間を有意義に過ごそう。レジャーや旅行もいいけど、自分磨きをしていくとグッド！　将来に向けて、短期講習を受けたり、新しい格闘技を始めてもOK。また、明確な目標が見えてくるチャンスのときでも。

恋愛運
恋人とは、旅行などで一緒にいると、やたら欠点が目に付き、熱が冷めそう。フリーは、キャンプなどのアウトドアに出掛けると、出会いのチャンスが。

勝負運
あいまいな技が意外にも決まる暗示。

健康運
ヒーリングミュージックでエネルギーの充電を。

金運
交際費よりも自己投資にお金をかけたほうが◯。

★ラッキーカラー★ ピンク
★ラッキーアイテム★ アクセサリー
★ラッキースポット★ キャンプ場

巨門星

全体運
吉兆星が輝いています。夏はもうすぐで終幕。まったく遊んでいな〜い、という人は追い込みを。仕事や勉強より、恋愛や遊びに目がいってしまってもOK。良い起爆剤になり、生活にメリハリができ仕事や勉強に好影響が出そう。

恋愛運
人気運アップ！　カップルは、熱中症になるくらいラブラブモード全開！　フリーは、出会いシーンの宝庫。旅行やゼミなど、行く先々でチャンスあり。

勝負運
パートナーを見つけることで勝負運アップ。

健康運
適度なトレーニングが健康キープのカギ。

金運
多方面にアンテナを張っておくとグッド。

★ラッキーカラー★ ホワイト
★ラッキーアイテム★ 筆記用具
★ラッキースポット★ プール

禄存星

全体運
凶兆星が現れています。アンラッキーハプニングの暗示。突発的な事故や事件が起きやすいので「備えあれば憂いなし」で十分に準備しておく必要があり。とくに、外出先、試合会場では、慌てることは禁物。落ち着いた言動を。

恋愛運
フリーは、高望みをすると×。略奪愛など、良からぬことを目論んだら大変。カップルは冷たい空気が流れる瞬間が。仲間とワイワイしたほうが良さそう。

勝負運
勝負を賭けるのは延期したほうがベター。

健康運
気持ちをゆったりと持たないとケガの恐れが。

金運
貴重品を盗まれる暗示。意識を集中して。

★ラッキーカラー★ オレンジ
★ラッキーアイテム★ 帽子
★ラッキースポット★ 書店

文曲星

全体運
前半に、楽しい夏の終幕を実感しそう。秋の香りがし始めた頃、トラブル勃発の暗示。早とちりによる勘違いや誤解が生じやすいとき。人間関係にヒビが入ったり、信用を失ったり。キチンと確認して、行くべき方向をしっかり見て。

恋愛運
カップルは、行き違いからケンカの雲行き。よく話し合って。フリーは、タイプじゃない人にアプローチされ、ひょんなことで交際スタートなんてことが…。

勝負運
勘がハズれるとき。ギャンブル系はNG。

健康運
ゆっくりお風呂に入って疲れを癒しておこう。

金運
安物買いの銭失いに。バーゲン品はよく考えて。

★ラッキーカラー★ ネイビーブルー
★ラッキーアイテム★ CD
★ラッキースポット★ 海辺

廉貞星

全体運
努力不足が目立ち、評価がダウンしがち。昇級審査や試合で結果が出せないことも。夏バテで、ダラ〜ッとしていないで、やるときには一生懸命やろう！　あなたのキャラを生かして奮起すればいいことが。武曲の人と組むとグッド。

恋愛運
夏の終わりの悪夢。恋人以外の人と、なんとなくエッチしてしまうと、トラブル発生の予感。後悔するなら浮気は控えて。フリーは、身近に恋人候補が。

勝負運
お金が絡んだ勝負は弱いとき。避けたほうが。

健康運
大声の出し過ぎやカラオケなどでノドを痛めそう。

金運
投資には要注意。とくに株の暴落はチェック。

★ラッキーカラー★ レッド
★ラッキーアイテム★ ペンダント
★ラッキースポット★ ライブハウス

武曲星

全体運
仕事も勉強も、日常の生活自体は、マイペースでいけるものの、健康運、金運ではやや苦労が付きまといそう。大会の往復の交通費やチケット代…。節約できるところは節約していくこと。暴飲暴食を避け、規則正しくをモットーに。

恋愛運
フリーは、合コンや旅行と、新しい出会いからハートが熱くなりそう。カップルは、金銭トラブルに要注意。お金の貸し借りは、尾を引くのでNG！

勝負運
年上の女性がカギ。勝利の女神になりそう。

健康運
太りやすいとき。シェイプアップを心掛けて。

金運
前半に軍資金を貯めておくとグッド。

★ラッキーカラー★ ゴールド
★ラッキーアイテム★ ヘアケアグッズ
★ラッキースポット★ 友達の家

破軍星

全体運
ライバルとの差をグ〜ンと引き離せるチャンス。探求心、知識力がアップするので、スキルに磨きがかかるとき。まだ夏休みの前半は、時間をできる限り有効活用していこう。後半は、将来のことを真剣に取り組むとグッド。

恋愛運
ターゲットをゲット！　フリーは、アプローチのステージが用意されるとき、タイミングを見計らって。カップルは、夏の終わりに、関係が急進展する暗示。

勝負運
4と5がラッキーナンバーになりそう。

健康運
美容運がアップし、ビジュアルセンスアップ。

金運
プレゼントや割引チケットが手に入りそう。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ サングラス
★ラッキースポット★ 行楽地

宇月田麻裕プロフィール
ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、タロットをはじめ西洋、東洋の占いをオールマイティに使う。TBS「ワンダフル」月曜レギュラー出演をはじめ、雑誌、映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

8

・11 K—1ラスベガス大会で起こ

定基準のルールを決めるということだ。

通常のK—1とは違い、親指と他の指が

来、全米で興行を打とうという野心があ

一撃コラム 連載第53回

これじゃあ、アメリカで興行が開けない？ラスベガス大会に『プライド』も絶句！

8・11K—1ラスベガス大会で起こった「フランシスコ・フィリォVSセルゲイ・イバノビッチ」の疑惑の判定は、かなり深刻な問題として我々も受け止める必要があるだろう。

あの試合は通常のK—1の試合だったら、どう見たってフィリォの判定勝ち。日本のファンはそれくらいの見方はしっかりとできているため、試合後、日本でテレビ中継を見ていた視聴者からフジテレビやK—1のネットにかなりのクレームが入ったという。もちろん、当事者の極真関係者もまったく納得していない。

なぜ、あのような判定になったかは、33ページからの試合レポートでも触れたが、日本の格闘技団体が今後、アメリカで興行を開くためにはどうしたらいいかを知るうえでも、ここではさらに徹底検証してみたい。

まず、アメリカで正式な形でプロの興行を開くためには、州政府のアスレチック・コミッションの認可を受けなければならない。もし認可を受けなければ、無許可のモグリで興行を開くか、アスレチック・コミッションの存在しない少数の州でやるしかないのだ。そのため、SEGがプロモートしていた頃のUFCやリングスのKOK大会は、アメリカでも片田舎でしか開けなかったのである。

このアスレチック・コミッションの認可を受けるためには、様々な手続きが必要になってくるのだが、ここで重要なのはまずコミッション側としては、そのジャンルを認可する方向になった時、先に一定基準のルールを決めるということだ。

つまり、ルールを徹底検証しながら、競技としての面白さと安全性を検討し、一つのジャンルにつき、一つのルールを認可しようとするのである。たとえば、Aというキックボクシング団体のルールが認められたら、それ以降、興行を開きたいというBの団体も、Cの団体もAの団体のルールに準じたルールで試合を行わなければならないというのが基本方針。いくらウチには投げがあるとか、ヒザ蹴りがあると主張しても、コミッション側は「Aの団体のルールでやってくれ」と主張してくるのだ。こうして、アスレチック・コミッションは、団体が乱立しても、ボクシングはボクシング、キックはキックでルールの統一化を図ろうとしているのである。

しかも、驚いたことに、それを裁くジャッジ陣は、全てアスレチック・コミッションの認可を受けた人間でなければ認められない。だから今回のように、日本で何度もK—1のジャッジをしていた人間が一人もジャッジに入れずに、今まで一度もK—1を判定したことがないような人間がジャッジをしているのだ。

このシステムのもと、今回のK—1ラスベガス大会は、首相撲をしながらの顔面へのヒザ蹴り禁止、スリップといえども一度はダウンカウントを数えるなど、日本で行われている通常のK—1とは違うルールが押しつけられ、さらに全試合をネバダ州のジャッジが採点をつけるという方式で行われた。また、グローブも通常のK—1とは違い、親指と他の指がくっついたものを使用しなければならなかったという（しかも、このグローブが違うと気付かれたのは、フィリォVSイバノビッチ戦からだった）。

もちろん、ネバダ州のジャッジ方式も日本とは違った。通常のK—1では、裁定基準として、①ダメージ度、②手数度、③アグレッシブ度の順番で判断し、大きな差がなかったら「10—10」の引き分けがあるのは当たり前。しかし、今回のラスベガス大会では、ダメージ度よりも手数を重視し、毎ラウンドごとにどちらか一方の選手に差をつけるマストシステムを採用していた。これは、ゲーム性を重視するボクシングに準じた採点法。だからダウンを奪ったフィリォよりも、手数の多かったイバノビッチに軍配が上がったのだ。もし日本で採点したら、おそらく「30—28」でフィリォの判定勝ちになっていただろうが、実際は「29—28・5」のドローがつけられていたのである。

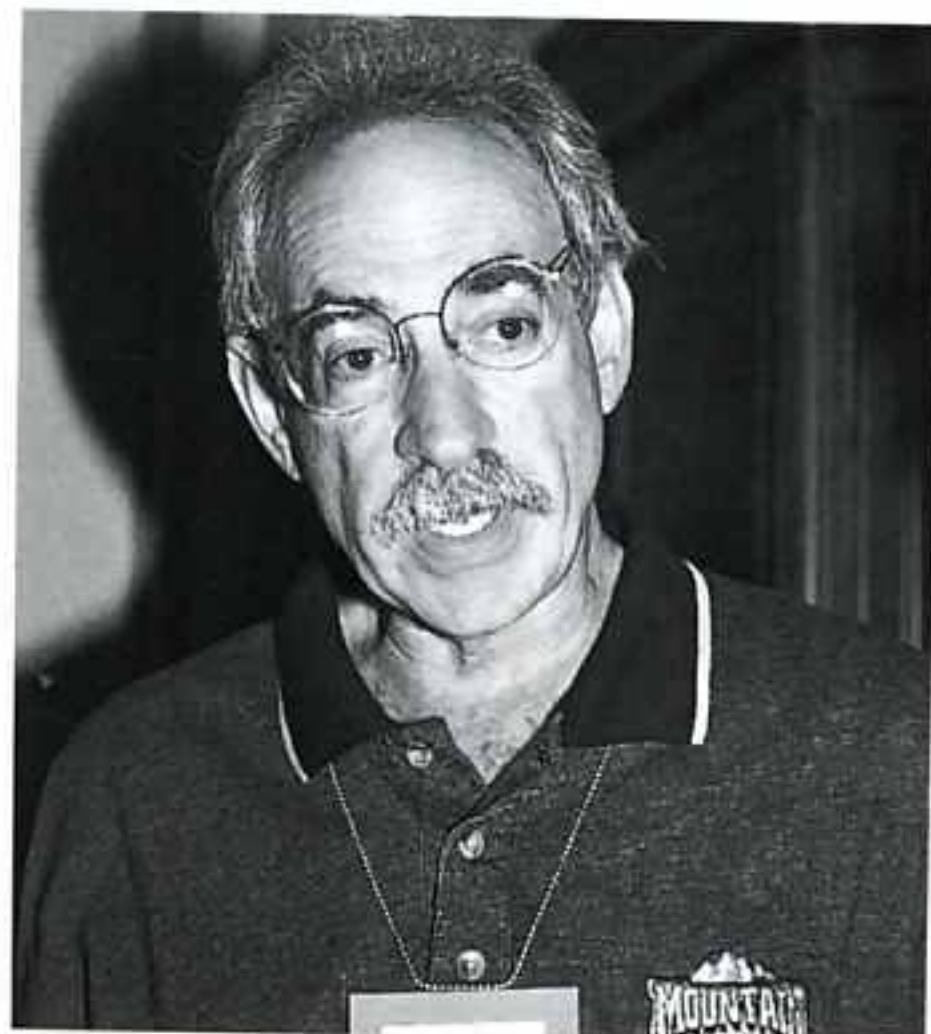
これじゃあ、K—1という名前が付いていたとしても、明らかにK—1とは違う。また、ルールを変えてまでアメリカでやる必要があるのかという議論も出てくるはずだ。特に今回から、K—1はラスベガスの「スポーツカフェ」でのカジノの対象とされたので、過去2回以上に急にアスレチック・コミッションが厳しくなったと言われている。

たまたま今回のK—1ラスベガス大会には、猪木軍団や『プライド』関係者の多くが会場に訪れていた。彼らも近い将来、全米で興行を打とうという野心がある。しかし、そんな彼らも今回のK—1を見て、「見直しを図る必要が出てきた」と口を揃えて感想を述べた。

総合格闘技（MMA）のルールは今年、新生UFCのルールをもとに、ネバダ州のアスレチック・コミッションで正式に認可された。金網オクタゴンは使用しなくてもいいが、リングで行われるルールは、ほとんどUFCルールに則って行わなければならない。しかも、ジャッジ人はやはりネバダ州認定の人間。これだと『プライド』としての個性は、まったく出なくなる。そこで、認可は下りてもすぐに開催すべきかどうかという、悩みが出てきたのだ。

ネバダ州のアスレチック・コミッションが一つの競技のルールを決定すれば、あとは経済基盤のしっかりした興行会社なら、どこでも大会が開けることになる。『プライド』は当然、なんら問題なく認可は下りるだろう。ネバダ州が認められれば、全米どの州でも開催が可能だ。

しかし、果たしてオリジナルのルールを放棄してでも、それをやる必要があるのだろうか。アメリカで興行を開くのは、やはり厄介な問題が多い。

（谷川）

▶ネバダ州のアスレチック・コミッションの代表に話を聞いたら、やはり全米開催は一筋縄ではいかないことが分かった

ABNORMAL

あぶもぐ

5日目

親方◎小松モグタン

MOGUTAN

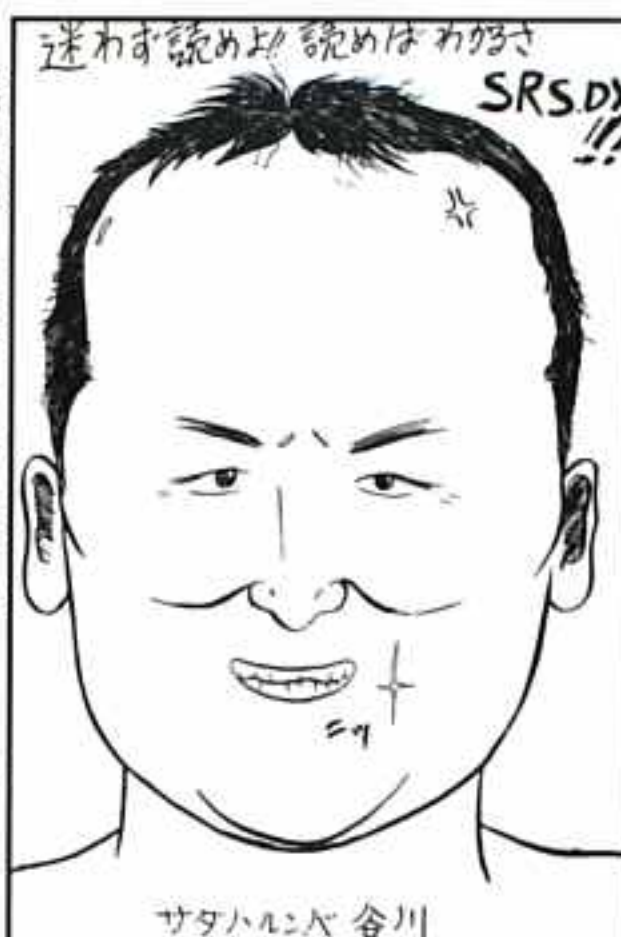
猪木・ゴッチ 肉体強化教室

12 NOON - 10 P.M. / 7 DAYS A WEEK

ABNORMAL あぶもぐ MOGUTAN

今年のG1クライマックスは燃えた！　なんたって、安田があれだけ活躍したんだから、燃えないはずがねえ。VS K―1にさっそく出陣と、この売れっ子ぶり。たまらんねえ～、もう。いいか、ぼさっとしてねえで、安田作品をドンドン送ってこい！　2ページ全て安田で埋めるぞオォオ！

▶鯉沼茂・神奈川県相模原市・？歳

▶やざま優作・東京都小平市・29歳

「谷川さ～ん!!　これでいいんですかぁぁあ？　スモウは何たらの八百長スキャンダルや、ケツに力の入ってない兄弟対決で、すっかりイヤになったんです。くだらねえ地方巡業なんかやめて、『プライド』ルールを導入するとか、マイクアピール解禁すべきなんじゃねえの？　小松ぅぅぅ！　俺がかみついたんだから、それなりの答えを待つ!! 力量をはかる!! 国技とは何か!?」（ヒランヤ横田・静岡県藤枝市・33歳）

◇初めて試合レポートを書いた頃から、噛みついてくれる横田氏。この他にも、たくさんの噛みつきおハガキを頂戴しております。いちいちごもっともなご意見だが、マイクアピールは解禁したくても、解禁できねえんですよ。取り組み後のインタビューにも息が切れて、まともに喋れない連中にマイクアピールは、ズバリ言ってムリ！　『プライド』ルール導入をしろと言うなら、『プライド』にもマワシを導入するよう、噛みついてください！「国技とは何か!?」の答えは次号で。

「暑中お見舞い申し上げます。梅雨も明けぬ内より連日のこの暑さには編集部の方も何かとご努力をされているかと存じます。さて貴社にて出版されてますSRS・DXの記事を拝見させて頂きまして、大変興味深いものがありました。それが『プライド』という総合格闘技や他流試合の社会的認知と将来の発展性にクサビを打つものと感じました。それは骨法の堀辺師範のビクトリー・ジャッジメントとKOアーティストの採用育成でもあり、ぜひとも貴社のお力添えにて実現させたいと思いペンを取りました」（埼玉県蕨市・森村利栄・？歳）

◇ご丁寧なおハガキが届きました。このようなハガキを読む度に、堀辺先生の偉大さが身にしみます。

相模原チグモン3歳（4コマ）

陵辱

『マーク・ケアーはお嫌いですか？』

（久保田武蔵・千葉県千葉市・19歳）

マーク・ケアー。霊長類ヒト科最強の異名を持つ、世界のトップファイターである。『プライド』シリーズには10回出場し、日本におけるその地位を確立してきた。レスリング技術を駆使したパワー殺法で相手を押さえ込み、ハンマーハウス陣お得意のグラウンド打撃、そしてアブダビでも証明された関節技で相手を仕止める、という流れを得意としている。

UFCでも王者になり、日本でも初期の『プライド』においては無敵の強さを発揮してきた。しかし、ボブチャンチンとの闘いによって、「最強」の称号に暗雲が立ちこめる。現在は認められている4点ポジションのヒザ攻撃で、彼は失神してしまうのである。そこから先の試合では、彼のファイトスタイルが、安全運転で手堅く勝利をつかむ、というものに一変してしまう。ここからが、彼の墜落のはじまりであった。藤田に敗れ、次のイゴリ戦では快勝したものの、ボブチャンチンとの再戦でも苦汁をなめた。ケアーの正念場が囁かれ始めたのは、この頃からである。

そして、今回の『プライド15』である。彼の相手は、ヒース・ヒーリングに決定した。それにプラスして、ここでもし、つまらない試合をしたら、リストラされるという話まで出てくる始末。また、もし負けても、アグレッシブに闘っての一本負けならばボーナスが付くという、彼のプライドを傷つけるような提案まで出された。かつて、世界最強、ホイスが対戦を避けたなどと言われていた男が、このようなポジションに立たされているのである。観客やマスコミの評価というものは、選手にとって本当に恐ろしいものである。

私は7月29日、『プライド15』の会場に足を運んだ。当初はケアーの試合が目的ではなく、『プライド』参戦以前から応援し続けていた、マーク・コールマンが目的であった。しかし、彼は、プロレスで靭帯を痛め欠場という運びになり、自然とハンマーハウス陣営の活躍に期待していた。また、ケアーの戦法はコールマンと似ているので、コールマン対ヒーリングの仮想試合として観戦するつもりであった。しかし、なぜなのであろうか。ケアーとヒーリングの試合が始まると、コールマンの影はどこかへなくなり、ケアーしか見えなくなったのである。凄まじいタックル、腕を取られそうになりながらもパワーで外したその怪力ぶり、これだけでお腹いっぱいになった。しかしこの後、常に上になりながらも動かないケアーがまた現れた。何かを狙っているのか、腕を痛めたのか、よく分からないが、そのような状態が続き、客席からはブーイングが出始めた。その中には、「ケアー辞めちまえ！」、「ケアー早く負けろ！」、さらには「ケアーお疲れさまでした！」などという悪質なものがあり、私は不愉快になった。結局最後は、ブレイク後に行ったタックルをガブられ、苦手の4点ヒザ攻撃でケアーが敗れた。私は、なんだかケアーのこれからが気になり、放心状態になってしまった。

ケアーは敗れた。ケアーは最初しかアグレッシブではなかった。たしかにそのとおりである。しかし、つまらない試合だっただろうか。少なくとも、私にとっては面白く、緊張感の途絶えない素晴らしい試合であったと感じている。また、ここでケアーの格闘技人生が終わってしまうとは思いたくない。あのコールマンにさえ、勝てない時期があり、それを乗り越えて現在があるのだ。ケアーよ、『プライド』王者マーク・コールマンを目指せ！

森下社長、ケアーはどうなってしまうのですか？　私は、また彼の試合を日本で見たいです。そしてファンの皆さん、ケアーの試合はつまらないでしょうか？　もう見たくはないですか？　最後にもう一つ。マーク・ケアーはお嫌いですか？

◇ケアーなら、『真撃』に参戦が決定しているから、まだ日本でも試合が見られるぞ。破壊王ならきっとケアーを再生してくれる（はず）。■

▶安田顔・石川県金沢市・？歳

◇本誌・52号の大道塾・東孝塾長のインタビューは、大好評。東塾長を絶賛するおハガキが、多数送られてきました

★作品＆タイトルバックイラスト募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。また、『あぶもぐ　ABNORMAL MOGUTAN』というタイトル入りのイラストを、読者の皆さんから募集しています。我こそは！　という方は、何に書いても結構ですからイラストを、『あぶもぐ』係まで送ってください。ただし、雑誌のサイズに合う形で。採用者には小社規定の何かをあげます。作品が郵送途中で折れ曲がることのないよう注意してください。

あて先は、

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル8F

SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

※なお作品は一切返却しません。

"格闘技界の哲人"、堀辺正史師範〈日本骨法會・創始師範〉が、『プライド15』を総括&『猪木軍団VSＫ－1』を一刀両断!!

『猪木軍団VSＫ－1』は、『第二次異種格闘技戦』の開始と『空手バカ一代』の続行なんです!!

前回の『プライド14』の総括が大好評だった、堀辺正史師範のビクトリー・ジャッジメント。今回の『プライド15』ももちろん、総括していただくわけだが、師範の興味は『猪木軍団VSＫ－1軍団』ほうにも飛び火していた。総合格闘技とＫ－1が交わるといったい何が起こるのか？　師範の考えをお届けする。

聞き手◎谷川貞治
撮影◎中島ミノル（インタビューカット）

――先生、お久しぶりです。今日はまず、ビクトリー・ジャッジメントで『プライド15』の個々の試合を徹底的に検証してもらおうと思っているんですが。

堀辺　今は時代の流れが早いんで、『プライド15』も随分前のことに思えるんですけど、実はもう、ちゃんと用意してあるんです。これが試合を実際に生で見て、ビデオで確認してから付けた私の評価です（P83参照）。

――おお～、凄い！

堀辺　この、「用・美・道」の基準に沿ってジャッジしていくと、今回のサムライ大賞は、文句なしで15点満点のノゲイラですね。この人の強さは群を抜いている！　テクニシャンという言葉を超えちゃったようなテクニシャンというか（笑）。

――たしかに強かったですね。グッドリッジもかなりグラウンドのテクニックが上達しているんですけどね。

堀辺　そうですね。1Rの短い時間で勝敗は着いたけれど、展開された試合内容からいうと、非常に密度が濃かったですね。グッドリッジも単なる殴り屋とか剛力というのを卒業したという内容を展開してくれましたし。

――先生、ノゲイラはすでにグレイシーを超えているんじゃないですか？

堀辺　もう、ハッキリ言ってグレイシーを超えているっていう印象を持ってしまいましたね。まず、「用」の部分でいうと、一本を取るための完成度が、完全にできあがっている。これは一応5段階評価でやっていますけど、それを無視したら10点あげてもいい！　それくらい他の選手と比較しても5点満点の意味合いが違うんですよ。

――異議なしです。具体的にノゲイラは「用」の部分では、どこが素晴らしかっ

たんですか?

堀辺　ノゲイラがタックルにいったでしょう。で、さすがにグッドリッジもガブって防御してる。でも、ガブられた瞬間に反転して、グッドリッジと対面してますよね。最後も同じようにガブられた時に反転して、返し技を使っています。あの技なんかは、ホイスなんかも見せてない柔術の最も理想とする闘い方なんですよ。これは凄い!　しかも相手の動きに従いながら、無理なくやってますもんね。そういうところに彼の技術の高さを感じましたね〜。

——本当に凄かったですよねえ。「美」に関してはいかがですか?

堀辺　「美」に関しても、最後の三角絞めですけど、あの入り方は最初から餌を蒔いていますねえ。その辺もムダがない。しかも、グッドリッジのタップする時間が速かったでしょう。

——速かったですねえ〜。アッという間でしたよ!

堀辺　あれはグッドリッジが弱かったんじゃなく、ノゲイラの三角絞めが速く絞まっているんですよ。切れ味抜群ということなんです。だからこれも満点の5点以上付けたいくらいの5点です!

——いやあ、あれは芸術品ですよね。それでは先生、「道」に関しては?

堀辺　「道」の部分で感じたのは、「冷静なヘッド」と「熱いハート」ですね。

——「冷静なヘッド」と「熱いハート」!

堀辺　一本取るんだっていう熱い思いと、それを展開していく科学者のような冷静さ。これを合わせ持っているんです、ノゲイラは。素晴らしい「道」です。これも5点ですね。これはもう、絶賛ですよ。凄い選手が『プライド』に現れましたね。15点なんて枠には収まりきらない完成度のファイターですね、このノゲイラは!

——最大級の賛辞ですねえ。さあ、次はどの選手にいきますか?

堀辺　あとの選手に関しては、表を見てください。

——え?

堀辺　それより、私は猪木軍団とK—1の抗争に関して、しゃべりたいんですよ。

——あ、なるほどぉ(笑)。実は先生、今日はその辺のお話もお聞きしたかったんですよ。

堀辺　今回、K—1と猪木軍団がやるということは凄いことですよ。まあ、いくつか重要な意味があるけど、一番のポイントは、こういうことなんですよ。UFCでホイスたちが出て来て、リアルファイトのなんでも有りの試合を初めてやり始めた。それでホイスはなんでも有りの闘いで一番優れた格闘技はグレイシー柔術だということを世界中に知らしめたわけです。そのホイスと闘った時の相手というのは、ほとんど打撃系の選手なんですね。グレイシー側は自分たちの強さを見せるためにワザと打撃系の選手を選んだわけですよ。

——はいはい。

堀辺　そして打撃系が見事に負けていったわけですよね。でもあれから7年くらいですか、時間が経過して、バーリ・トゥードそのものも進化したし、打撃のほうもK—1が生まれたことにより世界中から強い選手が集まってきた。だから当時と比べると、技術的なことは比べものにならないほど伸びてるんですよね。そうなると、ホイスと闘った時の打撃系の選手と意味合いが全然違ってくるんですね。こういっては悪いけれども、ホイス

ノゲイラはハッキリ言って、グレイシーを超えてます

と闘った時の打撃系選手は、一流の格闘家ではなかったと思うんですよ。

——そうですね。町の喧嘩屋みたいな人たちも出ていましたよねぇ。

堀辺　そうです。例えばあれがね、アメリカのタイソンだとかホリフィールドのように、プロボクサーとして世界中に認知された選手が、ホイスと闘って敗れたのなら、もっと「打撃系を倒した」という意味も大きかったでしょう。でも現実的にはそうではなかった。どういう実力か分からない格闘家が出ていって敗れたわけでしょ。でも、今回はそこが違うんですよね。

——違いますねぇ。

堀辺　K—1という練り上げられてきたヘビー級の打撃格闘家と、進化したバーリ・トゥーダーがぶつかり合うという意味では、かつてホイスたちがやってきた闘いと、同じように見えるけど内容が全然違ってくるわけです。

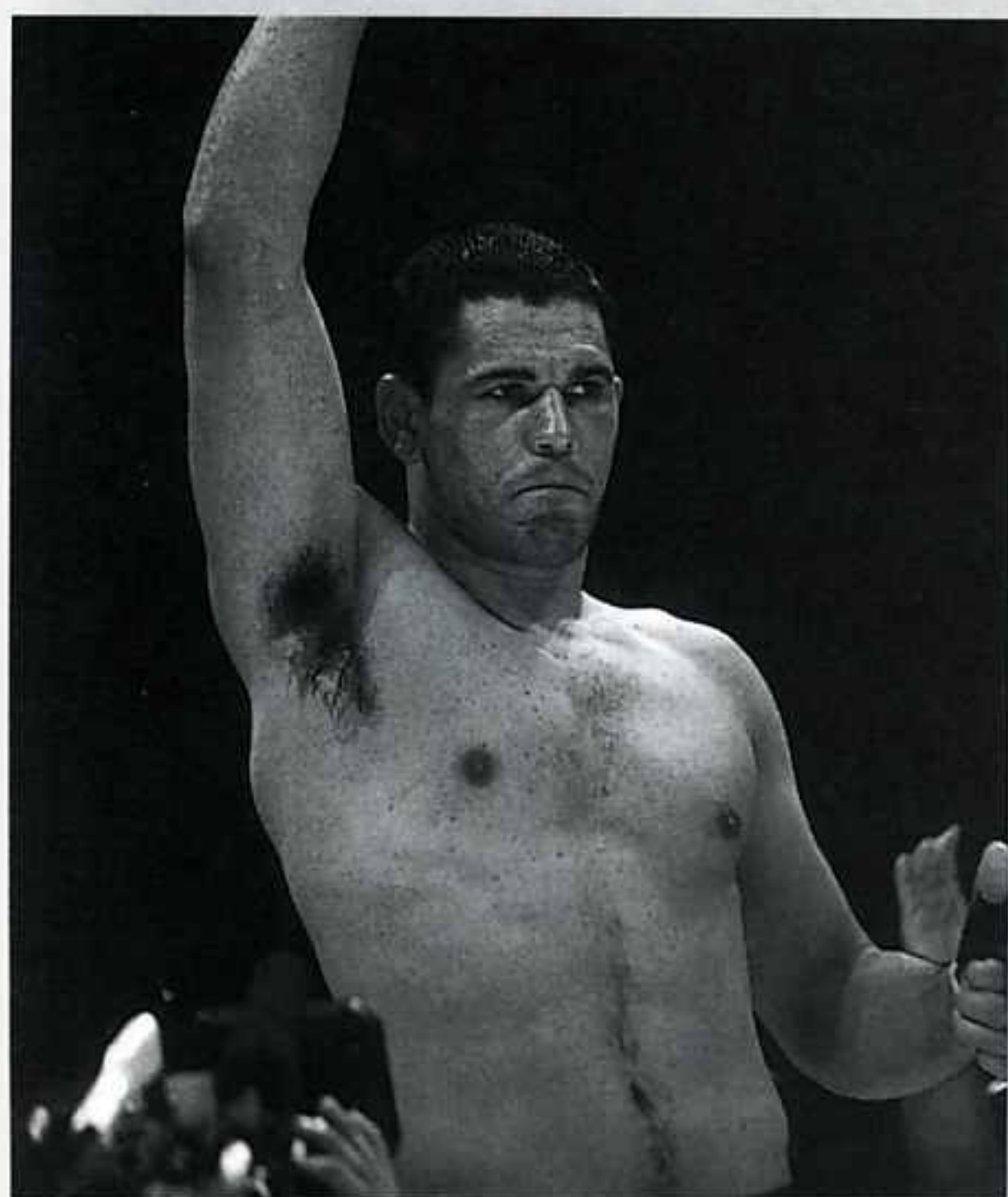
——たとえ仮にK—1と猪木軍団、どちらが負けても、ポテンシャルなり潜在能力はどちらも凄いですからね。

堀辺　この7年くらいの間に、『プライド』やUFCが広まって、K—1戦士の中にも「オレだったらこう闘う」「彼らと闘ったらこうするよ」と頭の中でシミュレートしてた人も結構いたと思うんですよ。それに時間の経過というものが、打撃系が組み技系の選手とどう闘うかという知識も与えた。そういう意味からしても、ホイスと闘った時とは違うんですよ。選手の質も違う、ノールールに対する情報量も違う。それが猪木軍団VS K—1軍団を見るための、まず最初のポイントなんです。

——なるほどぉ。モーリス・スミスがUFCでチャンピオンになりましたけど、あれは大きいですよね。モーリス・スミスでもチャンピオンになれるんだというんだったら、ポテンシャルの高いK—1ファイターなら、すぐにノールールの闘いでも成果を出すんじゃないですか?

堀辺　そのとおりです。もちろんモーリス・スミスは才能ある選手だから、短い時間でグランドテクニックを覚えられたんだと思いますよ。でもそれはモーリスだからという特別なことじゃない。これ一般論ですが、組み技やってきた人があとになって打撃を覚えるよりも、打撃をやってる人が寝技をやるほうが修得が早いんですよ。逆に組み技を修得した人が、打撃が必要だからってコツコツ打撃を覚えるのは、グレイシー一族を見ても分かるように精神的に凄くキツイはずです。

——打撃っていうのは、才能の世界ですからね。

堀辺　そう!　打撃っていうのは柔道の

▲師範が「グレイシーを超えている」と大絶賛しているアントニオ・ノゲイラ。そのグラウンドの技術は際立っていた

投げ技以上にね、才能の世界なんですよ。そういう意味でいうと、K―1で強くなれるような人が寝技をやったら、総合格闘技で闘っている選手よりも、モーリス・スミスのように早く、寝技を覚える可能性が高いんですよ。

――モーリス・スミスは、コールマンにも打撃で勝ってますからね（笑）。

堀辺　この点からも、ホイスと打撃系が闘った時代とは違うんですよ。だからね、K―1が総合をやりはじめたら大変なことになるわけですよ。

――極端なこと言えば、フィリォとかバンナが『プライド』に出たら、『プライド』は潰されてしまうことだってあるんじゃないですか？

堀辺　フィリォやバンナが本格的にやったらね。そういう可能性をK―1の選手は持ってるんですよ。だから、これはある意味でね、『プライド』にとって黒船が出てきたようなものなんですよ！　今度は逆に脅かされてるんです。そのことを『プライド』関係者が分かってやっているのかは知らないけれども、本当はこれ怖いことなんですよォ！　K―1戦士みたいに、打撃の才能のある人たちがみんな総合格闘技に転向しだしたら、えらいことになってしまうんですよ！　地殻変動が起きちゃいますよォォォォ！

――先生、これは本当にとんでもないことが起こりそうですねぇ。四点ポジションありだったらメチャクチャ怖いですよ。

堀辺　怖いですよ！　そういうところがね、初期のUFCの組み技系と打撃系の対決とは意味が違うということですよ。そこの違いをハッキリ踏まえないと、今回起きることの意味っていうのは分からないと思う。これから打撃系と組み技系の闘いは、初期の頃のUFCよりダイナミックになるんですよ。

――なるほどねぇ。たしかにダイナミックになりますよねぇ。

堀辺　それともう一つ。これは日本の特殊事情として、K―1というのは、石井館長からいうと『空手バカ一代』続行というのがどっかであるんじゃないかと思うんですよ。つまり空手っていうのはスポーツじゃないんだから、寸止めだとかグローブ空手だとかいってジャンルの中に押し込むんじゃなくて、どんな人と闘っても勝てるっていうのが本来の空手なんじゃないのという考え方ですね。『空手バカ一代』の思想がK―1、もしくは正道会館の中にあると思うんですよね。

――極真の遺伝子がありますからね。

堀辺　だから、逆のことというと日本の特殊事情として、打撃系の人が総合格闘技に出てくるってことはK―1が先陣を切ったけれども、『空手バカ一代』続行というのが『猪木軍VSK―1』の中には含まれてるんだと思うんですよね。で、猪木軍団のほうからすると、アントニオ猪木の『異種格闘技路線』というのがありましたよね。世代にバトンタッチはしたけども、これも藤田選手や小川選手にしてみれば、猪木さんがやっていた異種格闘技戦の続行なんですよ。だからプロレス的表現をすれば、これは『第二次異種格闘技路線』となるわけです。これは猪木軍団から見れば。

▲7月29日の『プライド15』で、猪木と石井館長が直接会談し、藤田のK－1参戦が決定した

ホイスと闘った時の打撃系の選手とは意味合いが全然違ってくるんですね

――『プライド』とは違ったソフトですよね。

堀辺　猪木軍団にとっては『第二次異種格闘技路線』開始！　K―1軍団からすると『空手バカ一代』続行！　となるわけですよ。この二つの巨大なドラマが融合されてくる。しかも、かつてホイスという柔術家が打撃系の格闘家をことごとく破ったのとは、さっき言ったように全然意味が違う。これは打撃系と組み技系から育ってきた選手との一大決戦というか、これから最終戦争が始まるわけですよォォォ！

――猪木軍団にとっての『第二次異種格闘技戦』はまた、世間との闘いでもありますよね。

堀辺　こういう異種格闘技戦だとかジャンルを超えた闘いをやるとね、またうさんくさい目で見る人達が必ず出るんですよ。ホントにやるの？　とか。

――プロレスだと思ってる人も多いみたいですよ。

堀辺　結局ね、世間というのはそういうふうに思っちゃうんですよ。でも、そこがそうじゃない形で進むっていうのがこの『第二次異種格闘技戦』の第一次と違うところなんです。『空手バカ一代』っていうのも、マンガじゃなくて現実の中で今度は起きるわけですよ！　大山倍達っていう伝説の人の話じゃなくてね。結局、この闘いはK―1戦士が全員大山倍達みたいになるわけでしょ。マンガで書かれてた大山倍達みたいにみんながなるわけですよ。逆に猪木軍団からすれば、みんながアントニオ猪木みたいになるということですよ。

――みんなが大山倍達で、みんながアントニオ猪木！　これは凄くワクワクしますね！

堀辺　そういうふうにイメージすると、これは凄いことなんです。だからそのイマジネーションが出てこないと、この凄さが分からないんですよ。そのところを宣伝してやらないと。で、これが交わるとどうなるかっていうと、小泉内閣ではないけれども、格闘技界の構造改革が起きるんですよ。打撃系格闘技の頂点を極めた人たちと、組み技系の藤田や小川に代表されるようなしっかりした基盤を持った人たちが出てくるわけでしょ。

――そうです、そうです。

堀辺　だから、そういった頂点を極めた、違った系統の者同士がぶつかり合った時に、その中から何が生まれてくるのか？　我々の想像もつかない格闘技の様々な現象が、「えっ？　格闘技ってこういうこともあるの？」っていうような、予測もつかないことがこの闘い中から起きてくるような気がするんですよ。そういう意味では、これは『プライド』以上の実験場になっちゃうんですよ！

――そうですね。

堀辺　前に自分は『プライド』は、「最高の格闘技の実験場であり素晴らしい貢

献をしてる」と言ったんだけれども、それ以上の実験場になっちゃう可能性があるのが「猪木軍団VSＫ―1」の闘いですよ。そういう夢がね、この闘いの中に含まれている。だからこれはぜひ、大々的にやってほしいわけ。

――本当ですよ！　やらせましょう、みんなで（笑）。

堀辺　ハハハッ（笑）。

――だけど、両方とも潰れることはないと思うんですよね。

堀辺　潰し合いをすればするほど、安泰ですよ。新しい格闘技の大きなソフトができ上がる可能性を秘めている。一時的にどっちかが人気を失したとしても、それは必ず次のドラマにつながりますから。それに、これをやることで猪木さんにしろ、石井さんにしろ、プロデューサーとしての名声はより大きくなることは間違いないでしょう。

――正直言って、『第二次異種格闘技戦』は進化したガチンコのノールールファイトですからね。

堀辺　夢があるよね。夢があります。その始まりなんだよね。まさかこんなことを組織的にやるなんて、誰も考えてなかったんですよね。

――いろんな偶然が重なって、やらざるを得ない状況になった思うんですけど（笑）。

堀辺　始まりは何だっていいんですよ。世間がそういうふうにさせてっちゃえば、ファイターはもう逃げられない。彼らにしたってもっとダイナミックになればいいんだから。格闘技の世界がもっとダイナミックになって、こまごましたものじゃなくて、もっと大きな渦を巻き起こせばいいんですよ。格闘技が暴風雨になって、他の野球だとかサッカーなんかが小さく見えるくらいに世間の中で大騒ぎになるくらいになってほしいですね。料理の仕方によっては、この融合は格闘技を凄い大きなものに化けさせる可能性を持ってるんですよ。

――ええ、そのとおりですよ！

堀辺　だからね、格闘技の世界に生きる者はこれはチャンスなんですよ。これを大きくするかしないかで、周辺に生きてる人たちの生活も変わってくるんですよ。

――僕の生活も変わってほしいなぁ～（笑）。

堀辺　極端な話、猪木さんと石井館長が喧嘩してもいいと思うんですよ、そのほうがよけいに興奮するから（笑）。

――昔、ウィリー・ウィリアムスと闘った時の、極真と猪木さんみたいに。

堀辺　だってさ、今回の試合は「猪木VSウィリー戦」の再来みたいなもんでしょ。お互い、意地の張り合いになってくると喧嘩になってしまう。また一般世間の注目度の点からすれば「猪木VSアリ戦」みたいになることも大いに有り得る。そのくらい大化けする可能性はありますねぇ。

――ここに、あとグレイシー軍団と極真が絡むとムッチャ面白いんですけどね！

堀辺　もっと面白くなるね！　いいねぇ、グレイシー軍団と極真軍団（笑）。プロレスラーもやらざるを得ない。やらないと輝かないとなってくるから、非常にいい流れですよ。嫌な人もいるんだろうけど、この流れはもう止められないでしょう。

――とにかく、先生の言うように、猪木軍団VSＫ―1によって、格闘技界が、よりダイナミックになっていけばいいですねぇ。今日はありがとうございました。■

K-1戦士が総合格闘技に転向しだしたら、地殻変動が起きますよォォォォ！

第2回「ビクトリー・ジャッジメント」

“サムライ大賞”は、圧倒的な高評価で アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラだ！

〈採点者:堀辺正史師範〉

ノゲイラVSゲーリー

	ノゲイラ
用	5
美	5
道	5
合計	15

シウバVSオーフレイム

	シウバ
用	3
美	2
道	3
合計	8

シウバはいわば、拾い勝ちですからね、「用」の部分では3点ですね。フィニッシュはもたついたから2点。「道」は足を捕らえられる心理状態にあったから、3点をあげてもいいと思います

イズマイウVS大山

	イズマイウ
用	4
美	5
道	5
合計	14

「用」の部分では、タックルにいった時にフロントチョークを取られたりするところに脆さを感じたから、4点が妥当かな。「美」という点では、あの綿で絞めるような肩固めは良かったと思いますので、5点。「道」は闘志・平常心・判断能力という点からも、この日のイズマイウは充実してましたね

ブラガVS松井

	ブラガ
用	2
美	2
道	5
合計	9

ブラガは松井選手の非常に堅いガードを崩せなかったので、「用」は2点。4点ポジションの体勢になった時も、結局固めきれなかったので、機能性にも疑問符が付きます。よって、「美」は2点。「道」は最後まで冷静沈着だったので、5点満点です

ボブチャンチンVS佐竹

	ボブチャンチン
用	2
美	2
道	3
合計	7

ボブチャンチンは必勝パターンが一つしかないということが分かりましたね。だから、「用」は2点。「美」の部分では、マウントポジションから突破口を見いだせなかったという点で、2点。「道」は、コーナーに詰めた時に、足を取って倒す戦法をパッと思いついたところもあり、3点ですね

ヒーリングVSケアー

	ヒーリング
用	4
美	5
道	5
合計	14

ヒーリングは自分の必勝パターンがないということで、「用」は4点ですね。仕止め方は最高ですね。「美」は満点の5点です。「道」の部分もの凄くいいです。先手を読む能力がヒーリングのいいところで、それが逆転勝ちに繋がっているので、5点

桜庭VSジャクソン

	桜庭
用	4
美	5
道	5
合計	14

桜庭は意識が朦朧としていた場面がありましたね、そこが残念ながら「用」は1点減点の4点。仕止め方は相変わらず切れ味抜群。したがって、「美」は5点満点です。「道」は最後に関節にこだわらずに、チョークを取りにいったという冷静さもあり、間違いなく5点です

石澤VSハイアン

	石澤
用	3
美	3
道	4
合計	10

「用」の部分では、アマレス式のエビ固めでサイドポジションをキープしましたね。最後は消化不良だったけど、このサイドポジションを高く評価して3点。「美」に関しては、ヒジを入れていたのが効いてたと考えられるので、3点。「道」は終始落ち着いていたので、4点出していいと思います

SRS・DX Editor's Talk
編集部トーク 裏事情

9・24コールマンVSノゲイラ正式決定！

A　「猪木軍団VSK―1」の開戦は、マスコミ的にも大きな反響があったけど、9・24『プライド16』のほうは、マーク・コールマンVSアントニオ・ホドリコ・ノゲイラの一戦が早くも正式決定した。このカードは『プライド15』で実現するはずだったけど、コールマンのヒザ故障のために延期。その時はコールマンが逃げたんじゃないかという噂も飛んだけど、やっぱりケガは本当だったんだな（笑）。

B　ただ、この試合でコールマンがノゲイラに本当にやられる可能性は高いよ。なんと言っても、ノゲイラの関節技はグレイシー以上だと関係者も絶賛。『プライド』王者のコールマンが遂に敗れる姿が見れるかもしれない。

C　そうなると、11・3東京ドームは、藤田VSコールマンではなく、藤田VSノゲイラになる可能性も出てきますね。

A　うん、いずれにせよ、東京ドーム大会を前にした大事な大阪大会で、こうした通好みのカードを出し惜しみしないところが、今の『プライド』の強みだね。何しろ前回このカードがキャンセルになった時、今までの『プライド』で一番チケットの払い戻しが多かったみたいだからな。

B　噂のフランク・シャムロックの参戦はどうなったの？

A　もちろん、フランクはK―1を通じて『プライド』に出ることに異存はない。また、『プライド』側としても、桜庭がシウバに勝ったら、一気に桜庭VSフランク戦に持っていきたいところだろう。そのため、フランクとは複数契約して高額なファイトマネーでオファーしたらしい。ただ、一方でフランクをエースとして、アメリカで新しいMMA（総合格闘技）の団体を興そうとしているグループがあって、それがネックになっている。だから、この話はもしかしたら、流れるかもしれないよ。

C　K―1のラスベガス大会を見ても分かるように、フランクは日本よりもアメリカで人気のある選手ですからね。また、アメリカの総合格闘技界で新生UFCのネバダ州認可に触発されて、再び第2、第3の団体が誕生する動きが出てきてるみたいですよ。

B　もう一つ、気になるのはマーク・ケアーの去就だけれど、俺が聞いたところによると、ケアーは当初、猪木軍団の最後の一人にも予定が入っていたみたいだね。

A　ウン、それが橋本のZERO―ONEが、ケアーと直接交渉して、8・30日本武道館大会に出場することが決定。ただし、これは『プライド』→猪木ルートじゃないんで、猪木側がカンカンに怒っているらしいんだよ。話し合いによっては、猪木―橋本ラインまで絶縁状態になるかもしれない。『プライド』としても、ケアーをZERO―ONEに貸すのはいいんだけれど、あくまでも猪木ルートってことらしいしね。今回の猪木軍団VSK―1軍団を見ても分かるように、『プライド』側は猪木さんを通じてなら、コールマンでもグッドリッジでも貸す方針だからな。

C　でも、橋本の言い分だと、ケアーと『プライド』の契約は切れているから、なんら問題ないと主張しているみたいですよ。

B　だから板挟みとなって一番困っているのがUFO小川直也だろうな。もちろん、猪木さんは裏切れないし、橋本との信頼関係を崩したくない。だから、小川がどう出るかは注目だね。

A　ところで、その小川がらみと言えば、リングスを離脱した山本憲尚はどうなったの？

B　まあ、橋本に言わせれば、小川に全て一任したかたちだし、トークショーでは「前田さんの教育がなってない」とまで言っていた。小川のほうも、ほとんどサジを投げている状態だから、小川VS山本戦は消滅したと見ていいんじゃないかな。

C　山本はどうするんでしょうね。そう言えば、次回のDEEPで鈴木みのるVS田村潔司をやるっていう噂もあるみたいですよ。■

▲間違いなく、過去の闘いの中でも一番の強敵であるノゲイラ。コールマンが負けるかも？

◎生まれて初めて娘の出産に立ち合った。愛犬アリ、2歳のシーズー。メスなので、一度は子供を産む喜びを味わわせてやろうと、今年6月にブリーダーを通じてチャンピオン犬と交配。せめて、旦那の顔だけでも見てやろうと写真をお願いしたら、なぜかHしている写真が送られてきて、自分の娘が強姦されているような怒りを覚えた。しかし、その一回の交配で見事に妊娠し、それから約2カ月後（犬って本当に早い）、なんと6匹の子犬を産んだ（犬って本当に多産）。本当は予定日が8月19日の「K―1VS猪木軍団」開戦の日と聞かされていたので、これは藤田VSミルコ戦どころじゃないなとソワソワしていたが、それを察したかのように私がラスベガスから帰ってきた翌日の8月15日、急に産気づいた。私は犬どころか、人間の出産にも立ち合ったことがない。どうすればいいんだろうと、ソワソワしていたが、動物病院によると、犬は自分で勝手に出産するというのだ。それでも、赤ん坊が出てきた時は、頭を引っぱり出し、へその緒を切ってお湯で全身を洗い、体をドライヤーで乾かしながら泣き声を出させるなど、ひととおりの産婆体験をさせられた。最初、母親のアリは育児放棄していたが、わずか180グラムのかわいい子犬たちにオッパイをあげることを教えると、すっかり母親らしい顔つきに変わっていった。ああ～、感動♡　さて、自分で取り上げたこの6匹（オス5匹）。当然、全員育てたいのだが、やはりそれは無理。もし、飼いたい方がいましたら、「サダハルンバの愛犬係」まで葉書でぜひご連絡ください。安くお譲りします。（谷川）

SRS DX

次号の発売日は**9月13日**(木)です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之　編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、su・plex、岩村唯是、永吉速水、溝口真穂、野尻雅友

オープンフィンガーグローブにスリーパー……
やっぱりK-1戦士のVT挑戦は超刺激的！！

◀オープンフィンガーグローブ姿のミルコ。こんな薄いグローブで殴ったらどうなっちゃうんだぁぁぁぁ！

おおっ！　スリーパーを極めるミルコ。まさかミルコがスリーパーをやるところを見られるとは2カ月前までは考えられなかった

ミルコ・クロコップ、大変身!?

わずか2週間でバーリ・トゥーダーに

8・11K-1ラスベガス大会の翌日、ロスの柔術道場で藤田戦に向けてＶＴの練習をしていたミルコ・クロコップが公開練習を初披露した。２週間ほどの練習しかしていないミルコだったが、潜在能力の高さは抜群、想像以上の動きを見せつけた。すでに結果は出てしまっているが、ミルコがどんな練習をしていたのか紹介しよう。

撮影・取材◎石黒由佳子

▲トレーナーの指示で、タックルを切る練習。藤田相手となったら、これは基本中の基本だ

▶左から藤田戦に向けてミルコを特訓したマルコ・ジャラ・アルバカーキー、ミルコ、仮想藤田のトレーニングパートナー、ケニー・バトル、石井館長。マルコには400人の弟子がいる

▶オープンフィンガーグローブを付けるミルコ。この姿を見るだけでもちょっとワクワクしてしまう

▼島田レフェリーに「バンデージを巻いてもいいのか？」と質問をしていたミルコ。巻けたとしても、K-1の時ほどは厚く巻けないのだ

タックルを切る！スリーパーに入る！ヒザ十字も極める！

ミルコ、驚異的な進歩でK-1戦士からVT戦士へ！

コのハイキックは掛け蹴りのように最後の最後でグ〜ンとてくる。これも藤田に当たれば、面白い展開になるが……

打撃の中でもポイントとなってくるのがヒザ蹴り。藤田のタックルに合わせられたのか……？

K—1軍団のトップバッターとして、K—1軍団VS猪木軍団の初陣に登場したミルコ・クロコップ。ミルコの闘いぶり次第では、「VTをやってみようかな」と言っているK—1ファイターがいるほど、ミルコVS藤田戦は、今後、K—1ファイターたちに多大な影響を与える試合だった。

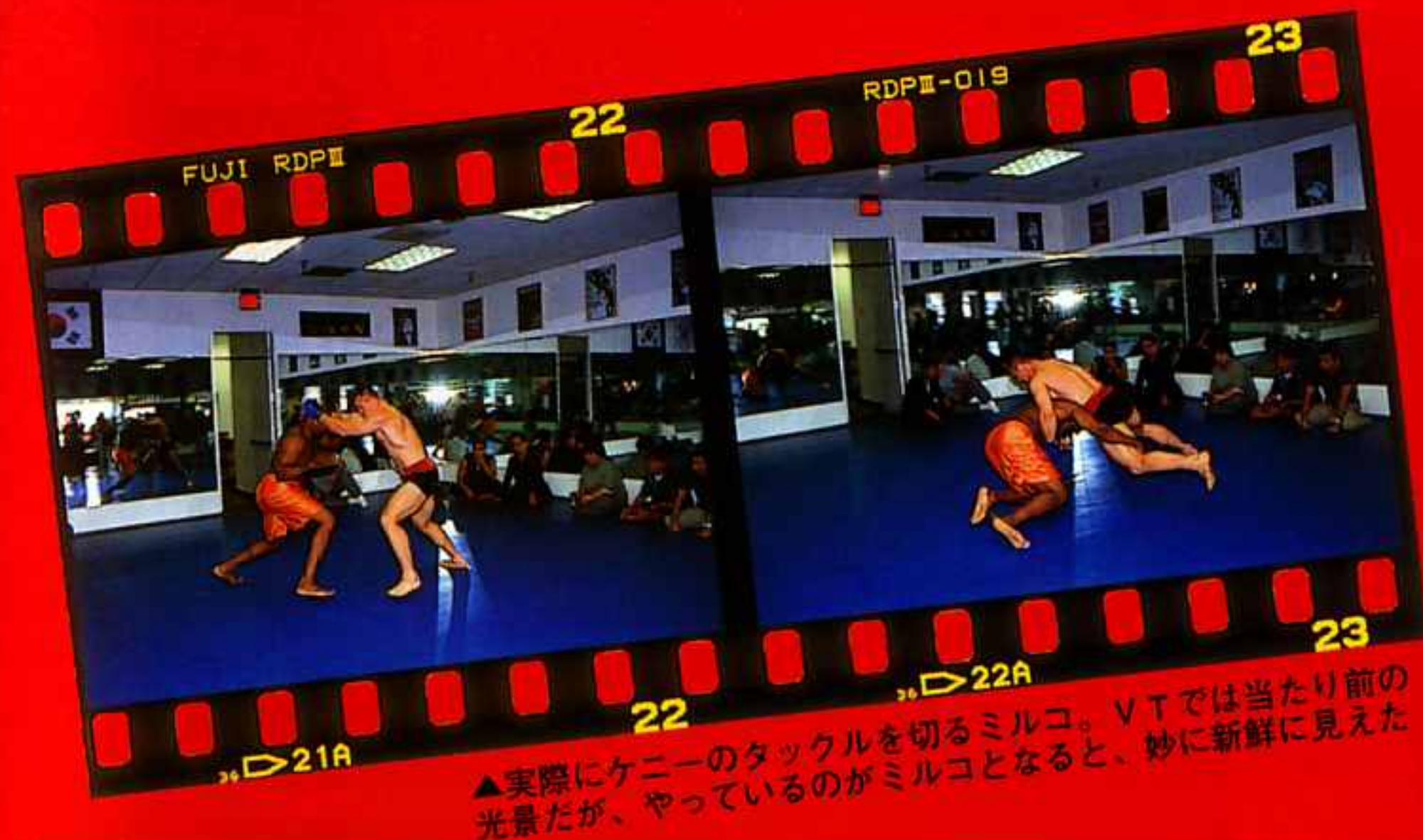
さて、そのミルコ。VTの経験もなければ、寝技の練習をするのも今回が初めて。そこで、祖国クロアチアを離れ、ロスの柔術道場で約3週間の集中トレーニングを行っているミルコの練習ぶりを取材した。

ミルコのトレーナーを務めたマルコ・ジャラ・アルバカーキーは、ヒクソンやイズマイウとも技術交流のある柔術家。ミルコのスパーリング・パートナーは藤田を想定して110キロあるレスラーのケニー・バトルが務めていた。

我々が取材で訪れた時は、練習を始めて2週間ぐらい経過した時だったが、ミルコが慣れた手つきでオープンフィンガーグローブを付けているだけで、妙にワクワクドキドキしてしまった。

実際に、この日の公開練習でミルコが見せてくれたのは、❶タックルの切り方、❷ガードポジションからバックを取ってのチョークスリーパー、❸ネックロックの防御、❹ヒザ十字、❺ミット打ちなどなど……。

ヒザ蹴りとハイキックのミット打ちは得意の打撃だけに、このハイキックが当たったら、もしかして……なんて思ってしまうほど、ハンパじゃないパワーを発揮。

一方、注目の寝技のほうは、これが2週間しか練習していない男

▲実際にケニーのタックルを切るミルコ。VTでは当たり前の光景だが、やっているのがミルコとなると、妙に新鮮に見えた

▲う〜ん、なんとミルコはヒザ十字まで覚えていた

▲トレーナーが上に乗って首を鍛える

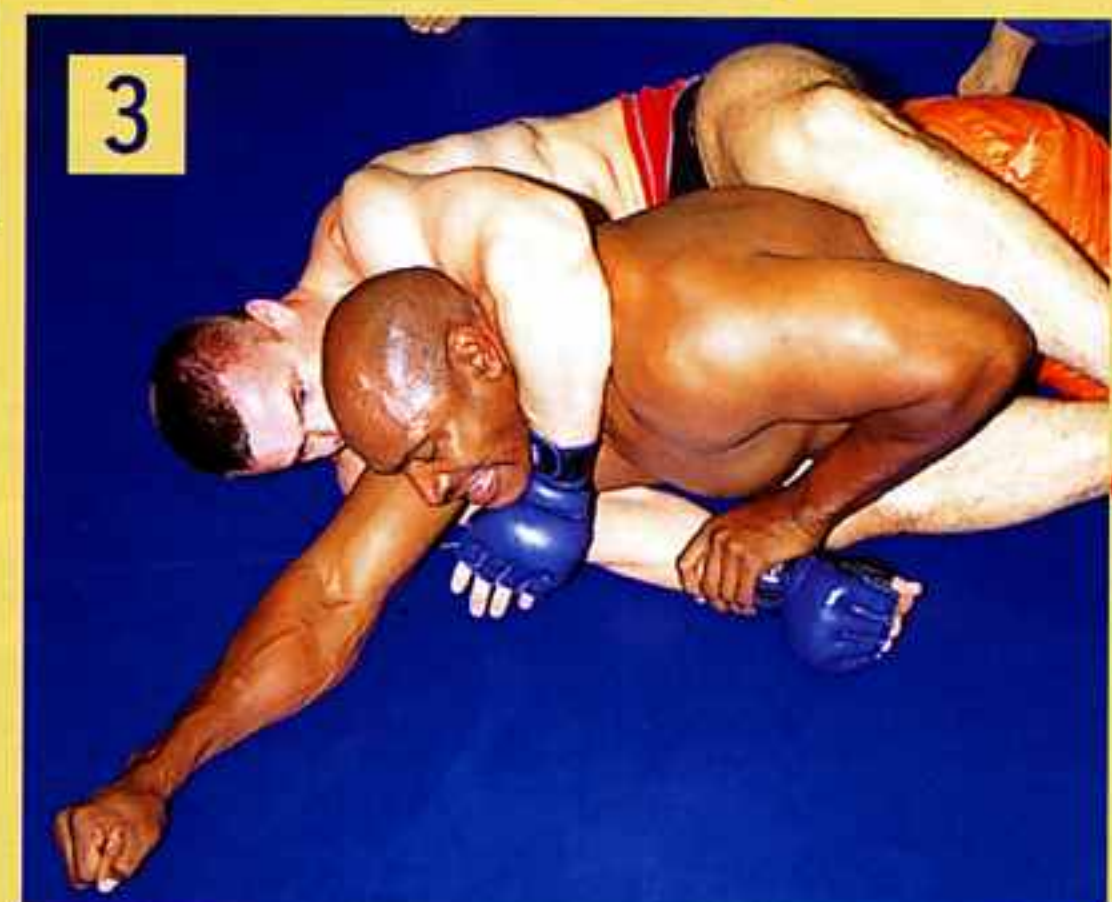
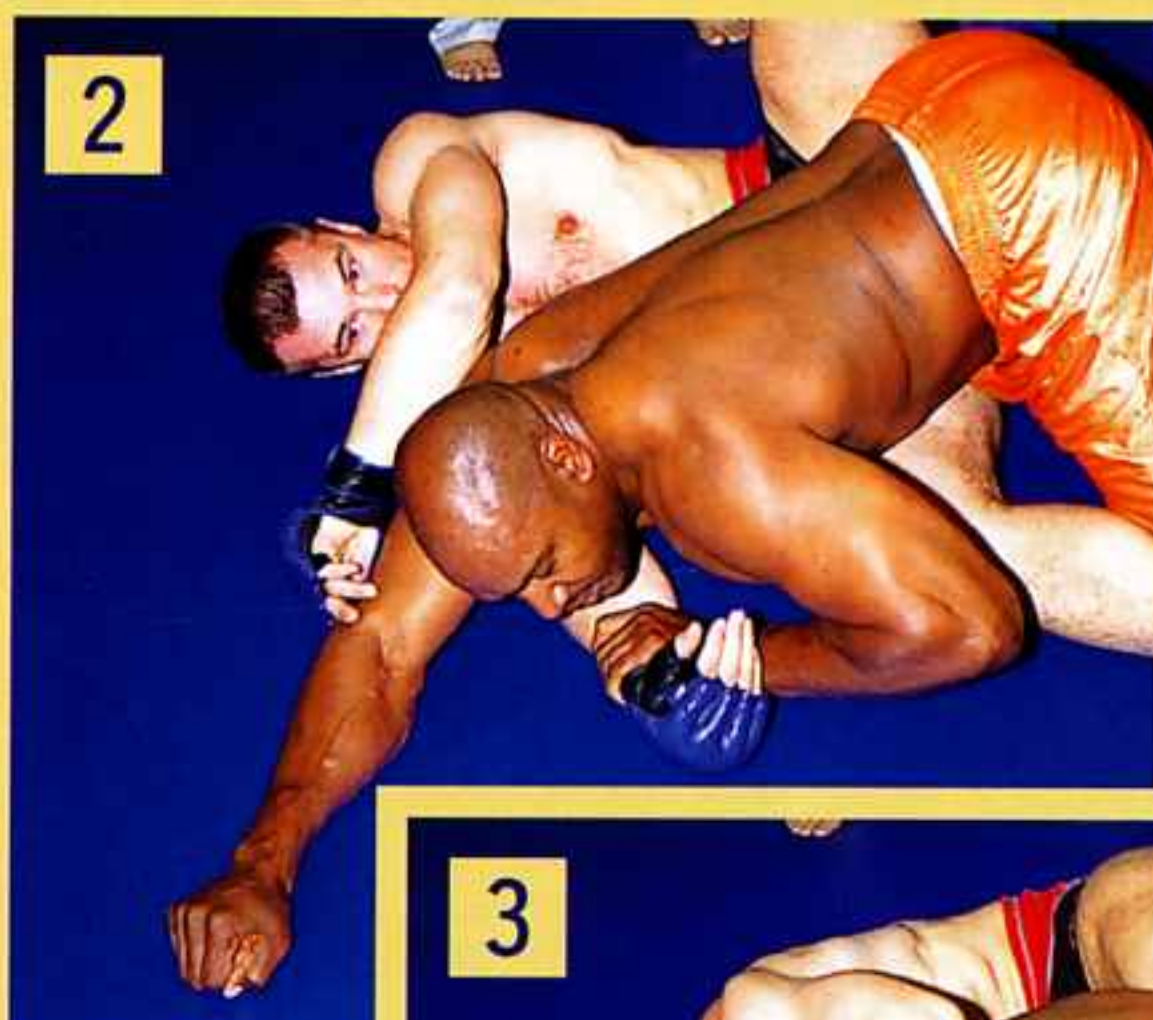
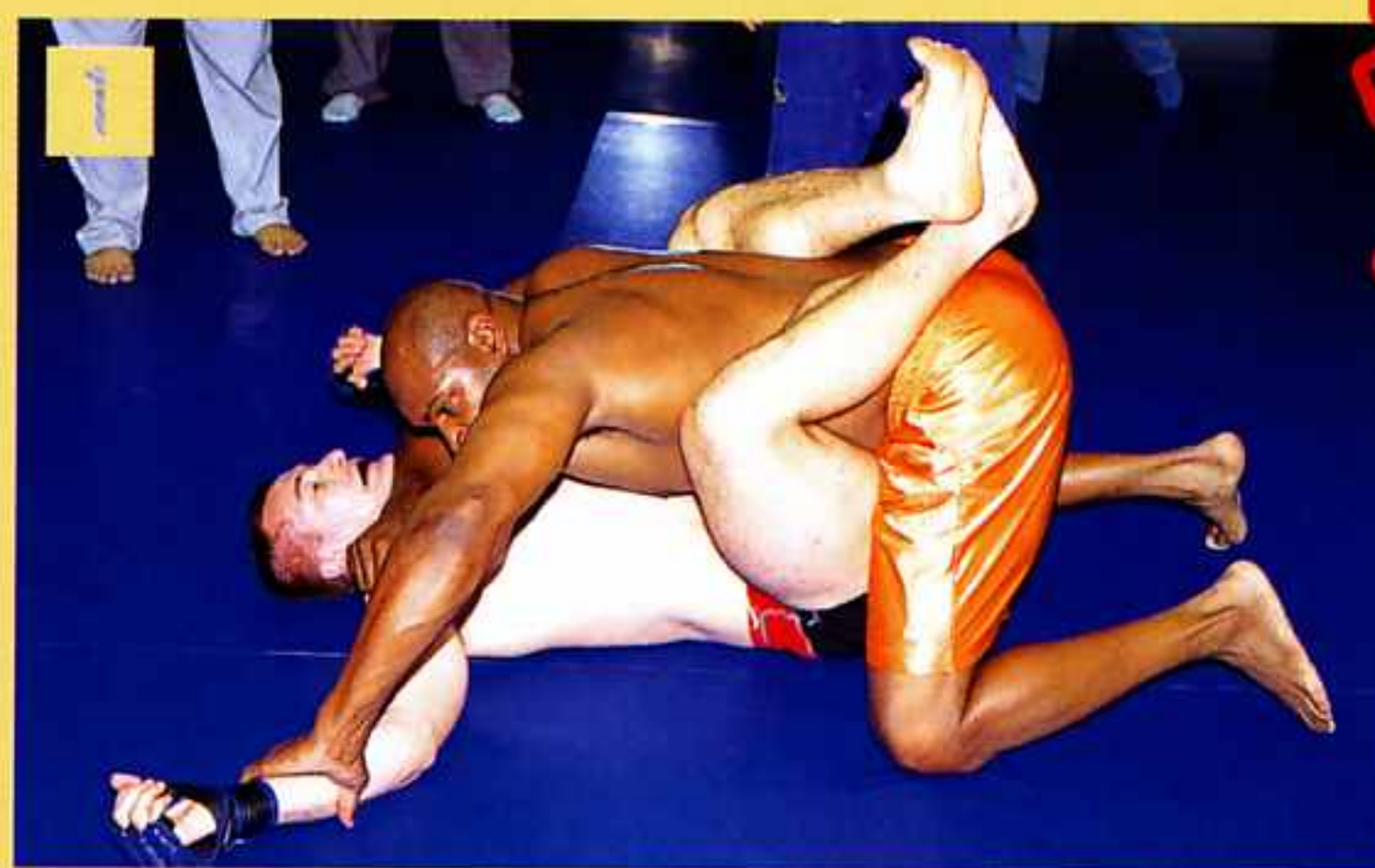
▲佐竹雅昭が『プライド』初参戦でコールマンに極められたネックロックも、ミルコはスルリと脱出

おおっ！ガードポジション脱出！スリーパーだぁ！

1

2

3

4

もし、タックルを取られても、そこから抜け出して逆にスリーパーを狙うというシチュエーションを学んでいたミルコ。なかなかスムーズに動いてはいた

れが2週間しか練習していない男なのか？　と思うほどの身体能力を見せつけた。まったくの素人のミルコがここまでやれれば立派、想像以上にスムーズに対応しているのには驚いてしまった。

タックルの切り方は基本中の基本としても、スリーパーへの入り方などなかなか堂に入ったもの。K—1ファイターだったミルコなのに、わずか2週間でVTファイターに豹変してしまったかのように、動きに違和感が感じられなかったのだ。

やるじゃないかミルコ、なんて思ったが、練習を見ていてふと気になった部分もあった。

技をスムーズに掛けているのはいいとしても、何をやっても力一杯なのである。ただでさえ、初めて経験するVTの試合では、K—1の試合よりも、慣れていない分、何倍も疲れてしまうはず。

練習中から余計な力まで使ってたら、いざ試合という時にいくらタフなミルコでも、すぐにスタミナが切れてしまうだろうなぁとちょっと不安が残った。

次から次へと寝技を繰り出すミルコに、石井館長が「これ以上、見せないほうがいいんじゃないの。もし、あるなら秘密にしておいたたほうがいいよ」と言って公開練習は終了。今のミルコに必要なのは寝技の防御を覚えることだが、やはりポイントは、いかに倒されないかだろう。

ミルコのコンディションを考えつつ、ギリギリまで練習をすると話していたマルコトレーナー。いったい、藤田戦ではどこまでミルコの力は発揮されたのだろうか。

ミルコ・クロコップ

K―1GPのチャンピオンとVTチャンピオンの両方獲りたい!

——寝技の練習は初めてだったんですか?

ミルコ 初めてです。

——この試合を受けようと決心するまでには、かなり時間はかかったんですか?

ミルコ 初めてのことなんで、じっくり考えました。悩みはありましたけど、メルボルンでああいうことがあったんで、大きなチャレンジだと思い、K―1ファイターとしての自分にも磨きがかかるような感じもあったので受けました。

——寝技の練習で一番難しいのは、なんだと思いますか?

ミルコ とにかく初めてなんで、何が難しいというよりも、全てが最初から慣れないことで難しかった。ナッシング・イズ・イージー!

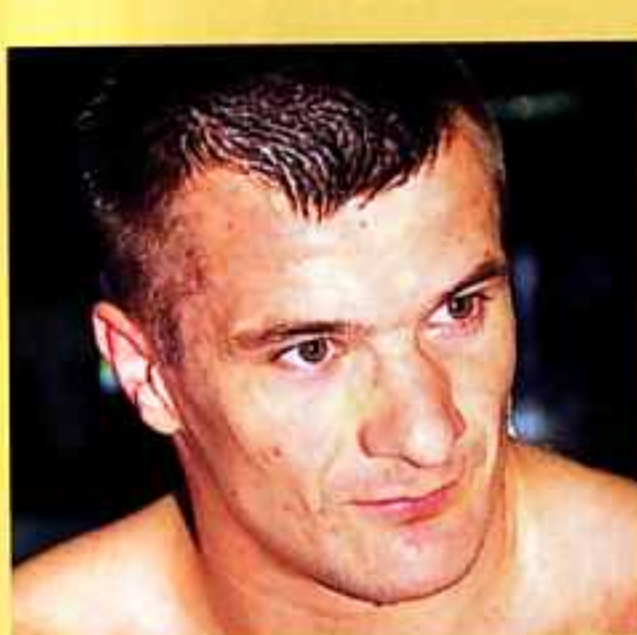
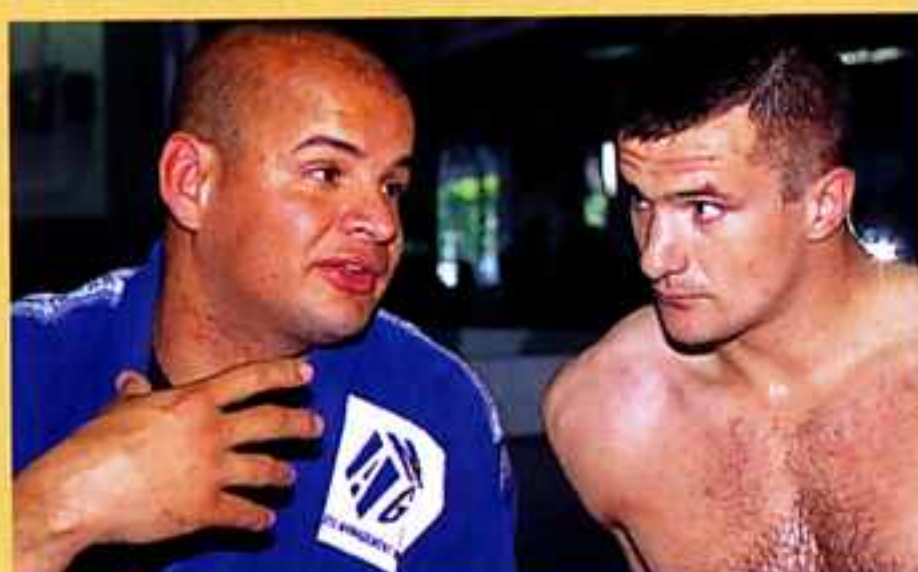
——正確には何日にここに入って、一日に何時間くらいの練習をしてるんですか?

ミルコ スケジュール的なことを言うと、7月25日にザグレブを立ってロスに入りました。一番初めは簡単に転がされて首に負荷をかけられて、ギブアップするなど精神的にまいりました。あとは使わない筋肉を使うんで、体重が落ちたり……。そういう状況からとにかく気持ちだけは切れないように、それとマルコがトレーナーとして非常に効果的に短期間で、私が寝技をやることに対して吸収しやすいような教え方でメニューを組んでくれたんで、だんだん自分の中でやれるんじゃないかっていう気持ちに切り替わってきました。少なくとも、フィジカルな練習、コンディショニング以外の部分で3~4時間は、必ず道場での練習をやります。

——こういうスタイルの中で使える武器は、何か身に付いたんでしょうか?

ミルコ 8月19日にお見せします。

——昨日、生で藤田選手を見たと思うんですが、印象は?

ミルコ 特にどういった印象もなく、新しい対戦相手と顔を合わせただけで、特別彼の何がどうだったとか、そういう意識はまったくないです。

——マルコトレーナー、ミルコの成長具合はどうですか?

マルコ カーウソン・グレイシーの道場でヒクソンともイズマイウとも、相当レベルの高いところでいろいろ(私が)教えたり戦術を共有し合ったりしてきたんで。私はそういったトップレベルを見てますけど、素質としてはミルコはもう抜群です。立ち技の選手に寝技を教えるほうが、寝技からの選手に立ち技のテクニックを教えるよりも全然簡単です。そういう意味では近い将来、この競技の中でミルコは世界最強の戦士になると、ボクは確信をしてます。

——試合まであと1週間で、やらなくちゃならないところはどんなところですか?

マルコ とにかく全部のメニューが3週間しかないということを逆算すると、彼の筋肉とかコンディショニングの面で負担にならないように細心の注意を払いながら、寝技の練習に関してはギリギリまでやりたいです。同じ練習からそのままポンと試合に入るような、彼の精神面で気持ちが切れないような、そういう最後の1週間にしたい。

——ミルコの現在の体重は何キロですか?

マルコ 97キロくらい。

——近い将来、世界最強とおっしゃってたんですけど、どれぐらいを見てらっしゃるんですか?

マルコ 例えばヴァンダレイ・シウバなんかも個人的によく知ってますけど、基本的にバッググランドは立ち技で、タックルに来られた時にそれを切る。それから、もしグラウンドに持ち込まれた時に、そのグラウンドの状態に対応してまた立った状態に戻る。そういう練習を反復してやってあのレベルの選手ができあがってくるんですね。ミルコがK―1の練習をしなくてよければ、純粋に6カ月集中して体に染み込ませるように反復して、このグラウンド有りの闘いを覚え込ませれば、6カ月あれば誰とでもやれるでしょう。

——オープンフィンガーグローブは、K―1とは違うグローブなんですが、気持ちの面で何か……。

ミルコ とりあえずナーバスになってることはない。ビデオを見て、このグローブでやるっていうことで、試合を受けることを決心した瞬間から、そういうことは考えないようにしてます。

——今度新しい世界にデビューするわけですけど、K―1にデビューする時と気持ちを比較して違いがありますか?

ミルコ K―1にデビューした時の最初の相手がジェロム・レ・バンナだったんです。その前にボクが試合をしたのは、アマチュアのボクシングの試合とサバットの試合のたった2試合だけです。その2試合の合計の観客を合わせても、150人はいなかったような気がします。それで3試合目に横浜アリーナの満員の1万7000人くらいのところで、ジェロム・レ・バンナと試合をしたっていうことを考えると、今、ボクはホントに平常心でいられるのです。

——6カ月で最強のバーリ・トゥーダーになれると(トレーナーに)言われたんですけど、ご自分ではこのスタイルで続けていく気持ちっていうのはありますか?

ミルコ オフコース!

——具体的に目標とかありますか?

ミルコ K―1GPのチャンピオンになることがまず最初の目的だけど、バーリ・トゥードの世界でチャンピオンになったらホントに世界最強だよね。両方獲るつもりです。

——いま仕事は投げうってる状態ですか?

ミルコ ええ。だけど、これは良くないですね(笑)。ボクは警察官というよりクロアチアのスペシャルフォースの中での自分の仕事っていうのができてないんで……(笑)。それを理解してくれて、こっちに来させてくれる制度というか機構に感謝をしてます。

石井和義館長

身体能力は高いですね。ちょっと驚きました!

——実際練習をご覧になったのは初めてですか?

石井 そうです。彼がいくらやってもつけ焼き刃なものでしかないですから。今闘うのは打撃で闘わなきゃならない部分ってありますよね。

——ご覧になられてどうですか?

石井 ま、身体能力は高いですよね。ちょっと驚きました。ただまぁ、実戦の経験がないし、不安だらけですね。なかなか大変ですよ(苦笑)。

——ミルコ選手はバーリ・トゥードとK―1を両方やっていきたいっておっしゃってましたが……。

石井 いいんじゃないんですかね。向いてると思いますけど。全然オッケーです。

——逆にK―1の選手で潜在能力のある選手がどんどん出てきてほしいですか?

石井 そうですね。

——K―1選手の適応能力の高さというか、ポテンシャルの高さは?

石井 個人差があると思いますけどね。総合はやっぱり寝技をやるというより、あくまでも打撃で倒すための動きを学ぶっていうだけの話ですから。総合を突き詰めていったら打撃になるんじゃないですかね。

——K―1選手を総合のスタイルに変えることですか?

石井 変わるんじゃないですか。アマチュアの見せるものとしては柔術の大会とかいいと思うんですよ、好きな人間が集まって、寸止めとか防具付きとかのあちらの空手の試合と一緒でそういうのはいいと思うんですけど。入場料払って見たいという人は、立っての攻防と立ち技からのグラウンドへの攻防、一瞬の極めを見たいんであって、グラウンドで長い間試合してるのは見たくないと思うんですね。その辺を考えて、テンポの早い試合展開をしていきたいなと考えてます。ま~大変ですね。よく頑張ってると思います。知らない国に来てね。ホント頭下がりますよ。ま、本番は12月、来年ですから。真面目に取り組んでるのが分かると思うし、この練習によってK―1は絶対に変わってくると思うんですよ。基礎的な身体能力は上がってくるし、スピードも上がってくるし、反応力・スタミナも変わってくると思うんで、どんどん新しい試合展開になってくると思います。

——そういう形で総合の練習をさせようと思ってる選手とかっています?

石井 何人かいますけどね。ま、向き不向きはありますからね。

——ノルキヤも今アフリカのほうで……?

石井 ノルキヤはやってないんじゃないかね。打撃だけじゃないんですか。

大山峻護

ミルコ選手は反応がいいですね。防御を覚えれば取られないですよ

——ミルコ選手の練習を見てどうでしたか?

大山 運動神経はすさまじいと思いましたよ。2週間で技を覚えてたじゃないですか。たぶん、試合では使えないとは思いますけど、2週間で初めて寝技をやってあそこまで覚えちゃうのはビックリしましたね。

——タックルを切る練習なんかを見ててどうでしたか?

大山 あれはいいんじゃないですかね。とりあえず基本ですからね。とりあえず反応できるようにということなんでしょうけど、反応能力はあると思いました。

——寝技をいくつか見せてくれましたけど、どうでした?

大山 凄い力入ってるんですよね。実際にやらせてもらって息づかいで分かるんですけど、僕は終わっても普通だったじゃないですか。でもミルコはヒャーヒャー言ってたんですよ。だから必要以上に力を入れちゃってるんですよ。一番は慣れてないということでしょうね。他の打撃の選手がケロッとできるようなミットのラウンドを僕はゼイゼイハーハー言うのと一緒じゃないですかね。

——ミルコ選手はこのままVTの練習をしていったらどうなりますかね。

大山 両方やっていくのは難しいんじゃないですかね。でも、ブラガみたいに両方やっちゃう人もいますからね。適応能力じゃないですか。

——先ほど、ミルコ選手とちょっと寝技のスパーリングをやってましたけど、どういうところが良かったですか?

大山 やっぱり反応が速いということですかね。素人だったら、もっと取れると思うんですけど反応いいなぁと思いましたよ。タイミングがあったら、取っちゃおうと思いましたけど結構反応してたから。だから、きちんと防御を覚えれば大丈夫ですよ。(関節を)取られなくなったら立ち技勝負でいけますからね。

▲ラスベガス大会観戦後、ロスに移動した大山もミルコの練習を見学。取材後に少しだけ寝技のスーパーリングを行った

K-1 WORLD GP 2001 in Las Vegas

8月11日☆米国ネバダ州ラスベガス・ベラージオ・ホテル

K－1ラスベガス大会で、遂にK－1軍団VS猪木軍団勢揃い！

えっ？ ズラリ揃ったこのメンバー！

新団体設立！？

▲猪木軍団からK－1軍団までズラリ勢揃いしたリング上！　なんだか新団体設立の雰囲気だ。左からマルコ・ファス、ペドロ・ヒーゾ、サム・グレコ、フランク・シャムロック、ヴァリッジ・イズマイウ、ミルコ・クロコップ、小川直也、石井和義館長、アントニオ猪木、ドン・フライ、藤田和之、レイ・セフォー、大山峻護。他に隠れて見えていないが、ファスとヒーゾの間にはルッテンがいて、グレコの左隣りにはプロレスラーのボブ・サップがいる

▲石井館長に促されて、藤田とミルコがガッチリ握手。ここから闘いが始まった！

藤田とミルコが初遭遇！

▲藤田はミルコの印象を「革靴を履いてたからかもしれないけど、大きいですね」と語っていた

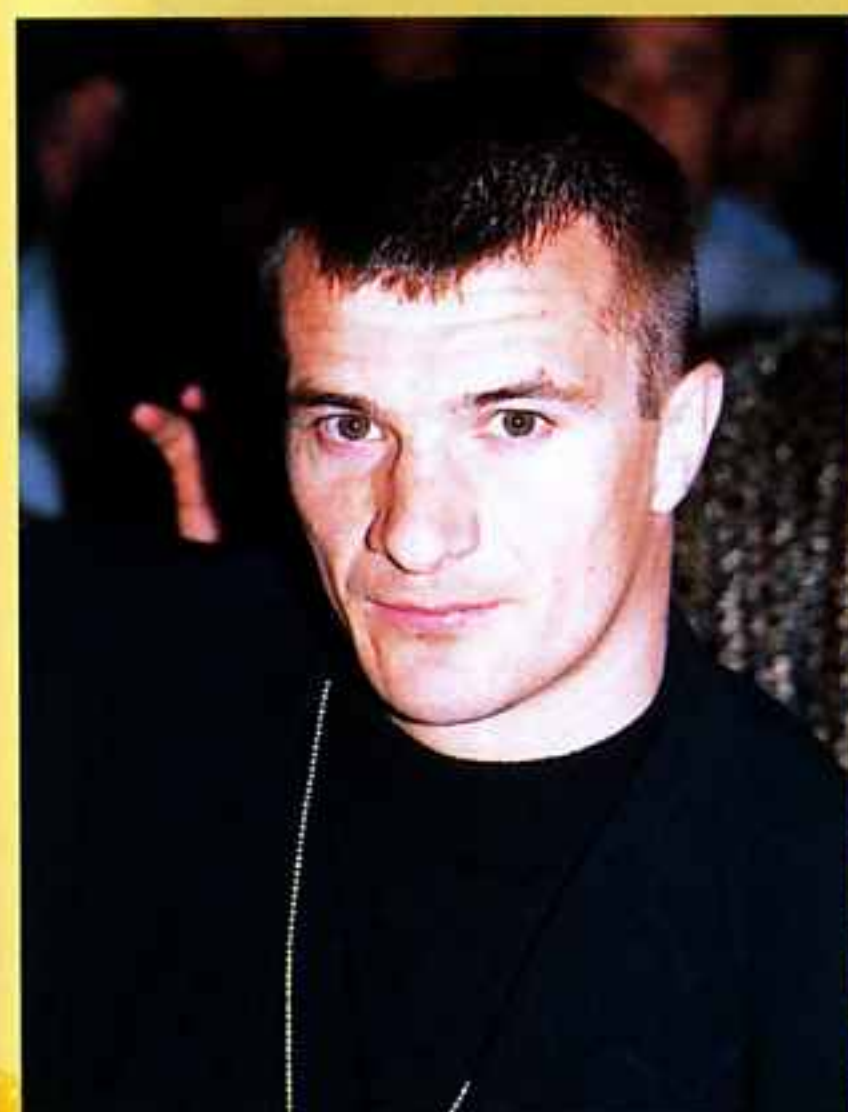
K－1ラスベガス大会の準決勝後に、スペシャルゲストを紹介するということで、アントニオ猪木をはじめ、この日観戦に来ていた猪木軍団やK－1ファイターたちがリング上に勢揃い。まるで、新団体設立か（？）という感じの光景だったが、その中に8・19K－1たまアリ大会で対戦した藤田和之とミルコ・クロコップも駆けつけ、両者は初対面した。全員での撮影後に両者はがっちりと握手も交わし、猪木軍団VSK－1軍団の開戦の幕が開いた

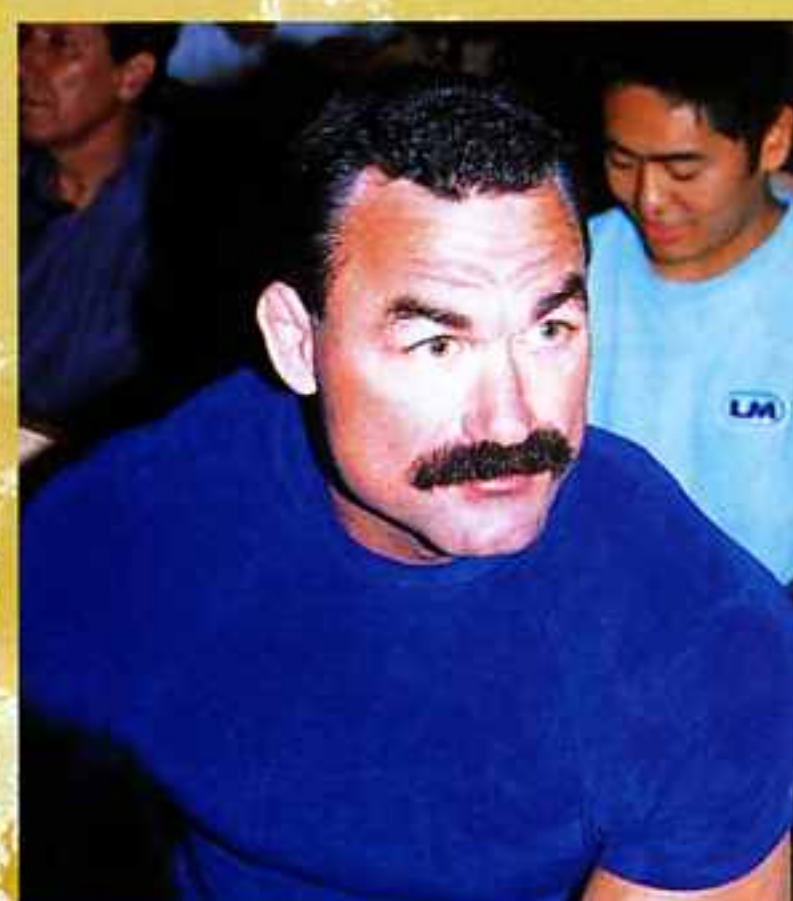
豪華なゲストがラスベガスに集結！

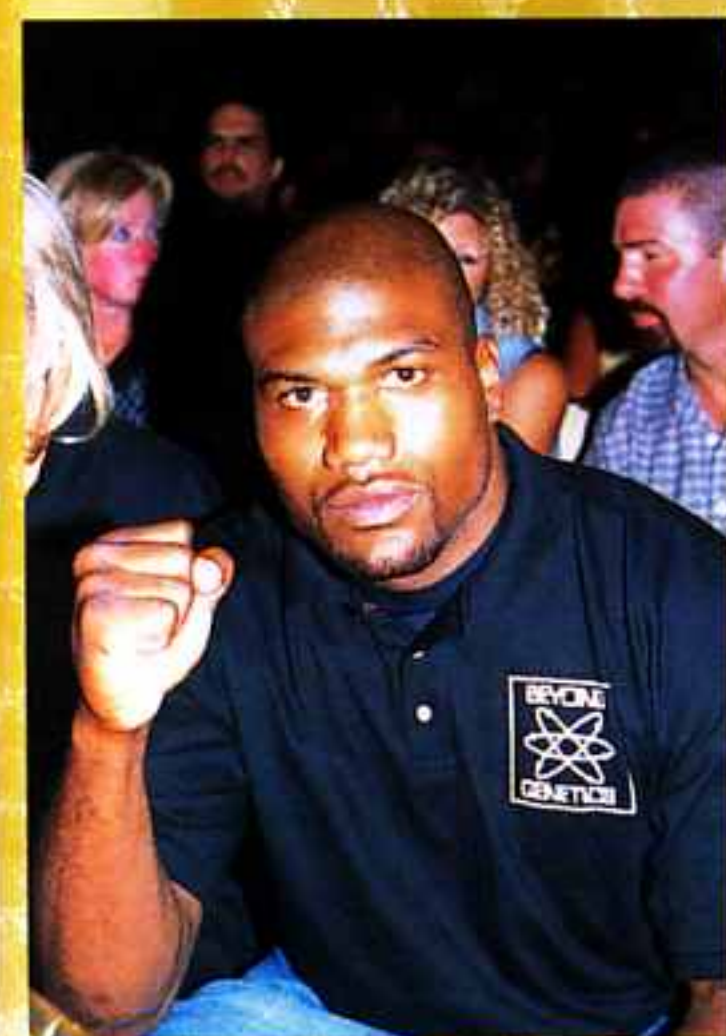
▶「アーツは最後はスタミナが切れちゃったね」と猪木はK－1の感想を語っていた

▲小川直也の姿もあったが、アクションは何も起こさなかった

▲藤田は会場でK－1を観戦するのは初めてだった

▶猪木と談笑するイズマイウ。猪木の隣には作家の百瀬博教氏

◀ロスで練習をしていたミルコも記者会見出席のために駆けつけた

▲フィリォの応援で磯部清次師範も来場

▶猪木軍団のドン・フライも藤田の隣で観戦

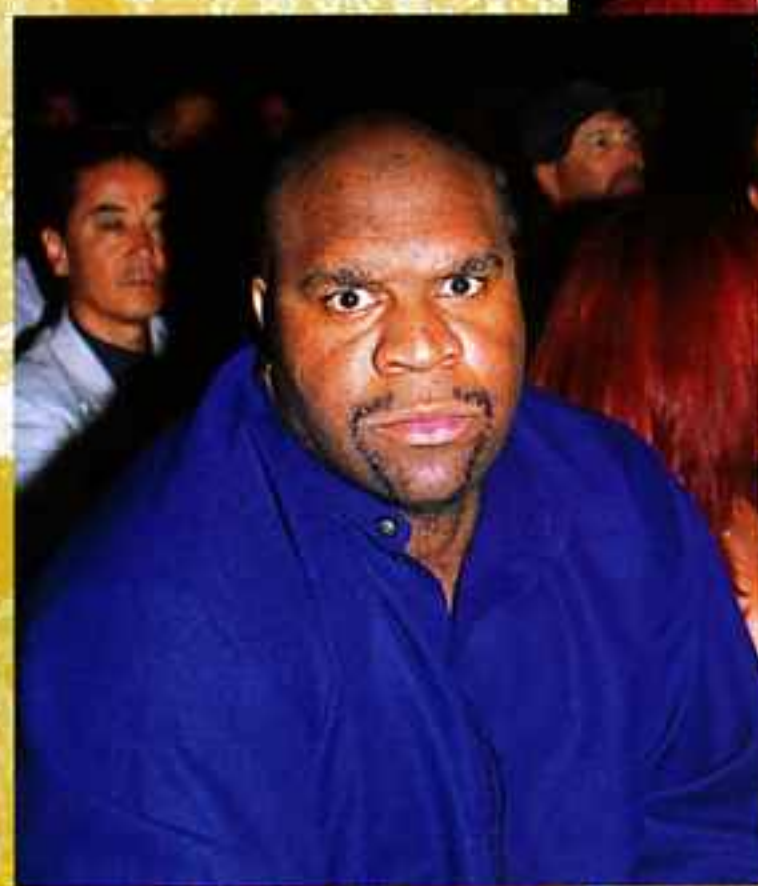
▲アーツのセコンドに付いたマルコ・ファス

▲サム・グレコは夫人と2歳になるラティーシャちゃんと観戦

◀なんと、『プライド15』で桜庭と対戦したランペイジがいたっ！

▲レイ・セフォー夫妻。セフォーはフィリォのセコンドに付いていた

◀セクシーに決めた紀香お姉さまと三宅アナ。紀香はアーツが負けた瞬間に思わず立ち上がっていた

▲大山峻護も来場。まさかK－1の会場でイズマイウと再会するとは…

▼畑野浩子とはせきょーもラスベガスで熱狂！

▲おっ、珍しい！　ジョン・ルイスも観戦していた

◀サム・グレコが連れてきたプロレスラー、ボブ・サップ。身長が205センチとチョ～ビッグ！

K-1 WORLD GP 2001 in Las Vegas

8月11日☆米国ネバダ州ラスベガス・ベラージオ・ホテル

8・11 藤田VSミルコ戦の調印式も開催!

8・11ラスベガス大会終了後に、アントニオ猪木、石井館長、藤田和之、ミルコ・クロコップが出席し、調印式が行われた。両選手とも言葉少なだったが、試合への覚悟がひしひしと伝わってきた。

藤田和之のコメント

「試合が決まったからにはやる、と。まだルールは決まってないんですけど、そういう気持ちで試合に臨みたいと思います」

ミルコ・クロコップのコメント

「とても興奮してます。K—1のバーリ・トゥーダーとして恥ずかしくないように、このチャレンジの場を与えてくれた館長に対して、御礼を言いつつ練習をしてます」

アントニオ猪木のコメント

「元気ですかー！　今日は大変素晴らしい試合でしたけども、私もやはりどこか格闘技の血がまだ残っていると。ワクワクしながら見させてもらいました。いよいよ、記者会見で発表されましたカードを実現させることができました。最近読んだ本の中に『哲学とは驚くことである』と。もし格闘哲学があるとすれば『驚かせること』ではないか、そんな気がします。イベントとは、そういう意味では異種格闘技。石井館長から火付け役の百瀬さん含めて、関係者のみなさん、ひとつ小さな世界の中だけじゃなく、世界と心を刻んで開いて、そういうことで実現したいと。素晴らしい試合を期待してます」

石井館長のコメント

「非常に温かい言葉を猪木会長のほうからいただきまして、本当にありがとうございます。わざわざラスベガスまで来ていただきまして。何回も言うようですが、猪木さんは日本の格闘技界のヒストリーであり、またみんなの憧れでありですね、彼の歩んできた道というのはそのままその格闘技伝説といいますか、格闘ヒストリーだと思うんですね。その猪木さんと接して、またその魂をいただけるということは、本当に僕たちにとって非常に光栄なことで、ただ光栄だけではなく、それは自分達の力でその魂をもぎ取っていくもんだというふうに考えてます。今回の試合に関しまして、猪木さん、ならびに百瀬さん、本当に百瀬さんには心より感謝してます。あとですね、この闘いに非常に御理解を示していただけましたドリームステージの森下社長、ならびにプロデューサーの榊原さんに心より御礼申し上げます。この闘いは藤田選手にとってですね、猪木会長が歩んできました異種格闘技戦以来の大きな闘いだと思いますし、私たちにとってはまさに私たちの歴史であります『空手バカ一代』の再現、『空手バカ一代』を超える『超空手バカ一代』の再現の試合だと思ってますんで、『強い空手』というのをですね、見せていきたいなというのが僕の気持ちです。で、今後ルール面では厳しい問題がありますが、チャレンジ精神を忘れずに思い切ってぶつかっていきたいと思ってますので、みなさん御期待してください。ありがとうございました」

島田レフェリーのコメント

「今回、猪木軍対K—1のレフェリーをやらせていただきます島田裕二と申します。今回のルールに関してなんですが、現在のところ何も決まっておりませんので、一応旧プライドルールを基本にまだ折衝中であります。なんとか、近日中におきましてみなさんのほうに発表させていただければと思っております」

▲リング上に続き、会見後に豪華な4ショット！

▲「チャレンジ精神で思い切りぶつかっていきたい」と石井館長。これをきっかけに『超空手バカ一代』の道を作り上げられるか？

▶「元気ですかぁぁぁぁぁぁ！」と会見場に響き渡らんばかりの元気ぶりを見せた猪木。外国のプレス勢から歓声が起こっていた

▼誓約書にサインをする藤田とミルコ

8・10 ルールレビュー

▶計量の最初はピーター・アーツ！

▲洋服を着ていてもいいと言っているにも関わらず、モーリスは自らパンツ一丁になって計量していた

◀マスコミ公開の元で行われたルールレビューと計量。最初に用意されていた体重計が壊れていたことをフランクが発見し、開始が遅れた

8・9 記者会見

▲会見後に石井館長は優勝候補はレコと宣言していたが、まさか当たるとは……

▲記者会見で張り切っていたのがモーリス・スミス。「ピーターをブッ倒してやる！」と発言し、アーツも思わず苦笑い……

▲ベラージオ・ホテル内で行われた記者会見には、トーナメント出場選手とフランク・シャムロックが出席した

衝撃のアーツ、フィリォ敗戦を5800人が目撃！

▲ラウンドガールのお姉さま方はきれいな人ばっかり！

▲会場内ではビールやポップコーンなどが売られていた

▲会場内はびっしり5800人の観衆で埋め尽くされた

フランク・シャムロック、K-1ルールで秒殺勝利！

▲いいところを見せることなく敗れてしまったシャノンはガッカリ……

▶先手で攻めていったフランクは、ハイキック1発でシャノン・リッチをKO！　わずか1R53秒でK－1デビュー戦を勝利した

▲あまりの呆気なさにフランクの笑顔は見られなかったが、試合後に桜庭との対戦を望んでいた

▲魔裟斗と闘ったことのあるメルチョー・メノー（右）がスーパーファイトに出陣。ウィリアム・スリヤパイを5R2分1秒、TKOで下した

▲グッズ売場も大盛況！　パンフやフィギュアが売られていた

▲入場ゲート近くにはトーナメント出場選手のタペストリーが飾られていた

K-1 WORLD GP 2001 in Las Vegas
8月11日☆米国ネバダ州ラスベガス・ベラージオ・ホテル

フィリォの疑惑の判定問題

極真・松井館長に聞く!

フィリォの疑惑の判定問題について、極真の松井章圭館長の声が聞けたので、ここにお届けする。

—フィリォVSイバノビッチ戦の判定について、松井館長はどのように受け止めていますか?

松井　正直言って、私の目には明らかにフィリォが勝ったと映ったので、この判定負けには釈然としないものを感じています。

—あの〜、K—1側は今回のジャッジは全てネバダ州の管理下に置かれてコントロールされていたと言っていますが。

松井　ええ、私のところにも試合後に様々な情報が入っていますが、問題はK—1ルールで裁定されていたかどうかの一点だと思います。

—なるほど。松井館長はこの日のフィリォの調子、フィリォが勝っていたと思われる点はどこだと思いますか?

松井　初戦ということで多少堅くなっていましたが、調子は決して悪くなかったと思います。フィリォが勝っていたと思うのは、イバノビッチの攻撃がフィリォにクリーンヒットしていなかったこと、2R以降はフィリォが常にプレッシャーをかけていたこと、3Rにダウンをとったということ。また、付け加えるとすれば、試合後フィリォはピンピンしていたけど、ステファン・レコ選手との試合に臨むイバノビッチにはかなりのダメージが見受けられました。

—試合後、石井館長とは何か話をされましたか?

松井　試合後、直接お話をさせてもらいましたが、石井館長個人は私と基本的に同じ見解であると伺いました。私からはラスベガスでのイベント開催上、様々な制約を受けることはこちらも理解しているし、下った判定を覆してほしいと言うつもりもありません。ただ、今回のルールと裁定についての経緯を公式的に明確に説明していただきたい旨、申し入れました。

—フィリォ選手本人とは試合後、どんな話をしたんですか?

松井　判定は判定としても、その内容については選手である当事者2人が一番よく分かっていることだと思います。また、フィリォは今回の結果に何も恥じることはないし、あとは組織的な問題として正式にK—1サイドと話し合いをするので、何も気にする必要はないと伝えました。

—極真内部や極真ファンからは、今回の判定に対して、何か意見が届いていますか?

松井　はい。日本でテレビ観戦していた人たちからも、判定についての疑問の声は挙がっています。また内部やファンと言えるかどうか分かりませんが、あるボクシング関係者の見解として「明らかにあの判定はおかしい。何千人もの観客や関係者がいた会場だけど、フィリォが勝ったと思わなかったのは、あの3人のジャッジだけだったとしか思えない」という意見も聞かれました。

—そうですか。あの、一時は「引退」も口にしたフィリォ選手ですが、今後について何か話し合いはしましたか?

松井　これで引退ということは考えられません。今後もK—1に参戦していくことを希望していますが、まずは今回の件を公式的に明確にしていただくことが先決でしょう。

—この一戦の結果を受けて、極真とK—1の関係が何か変化することはあるんでしょうか?

松井　全てがクリアにされて、今後も友好関係を継続していくことを望んでいます。

◎「フィリォVSイバノビッチ戦」の判定問題に関しては、試合レポートや「一撃コラム」でも詳しく述べたが、最後に極真・松井館長は以上のような見解を述べてくれた。また、極真サイドのセコンドの話によると、ラスベガス大会の出場オファーがあった時点から、極真側は今回のトーナメントに関して、ネバダ州ルールに基づいて行われるため、GP開幕戦とは判定基準にズレが生じることやカジノの対象になるという説明は、一切受けていなかったという。前日のルールミーティングでも、手数の問題については「ポイントになるのはあくまでヒットしているものに限られる」ということで、かすり傷ひとつないフィリォは、これならポイントにならないと思って試合をしていたそうだ。もちろん、試合後のダメージはイバノビッチのほうがはるかに大きかった。

もっともK—1サイドとしても、今回ネバダ州がこれほど自分たちのルールを押しつけてくるとは思ってもおらず、また、そのネバダ州アスレチック・コミッションも途中でグローブの違いに気が付くなど、統一性に欠ける部分があったのも見逃せない。やはり、海外でイベントを開くのは、非常に難しいということが今回あらためて分かった。■

K-1 JAPANシリーズ JAPAN GP準決勝

K-1 ANDY MEMORIAL 2001 〜アンディメモリアル〜

8.19★さいたまスーパーアリーナ

この試合を堪能せよ！

武蔵VS中迫こそ、真裏ベストバウトだ!!

一切のムリなし！ ダウン後も判定勝ち狙いなのか!?

▶ハイキックが入ったシーン。ヒザのスナップを使って、ミドルキックを途中からハイキックに変える高等技術だ

中迫剛のコメント

「左ハイを食らったってことはグラウベ戦と同じことの繰り返しだなと。1Rは固くてパンチしか出なくて、それが2R、3Rいくうちに動けるようになって。（武蔵について）倒されてて言うのもなんですけど、まあこんなもんだなっていう。もうちょっとディフェンスを強化すればいけるだろうなと」

2Rにハイキックでダウンを奪った武蔵だが、自分から前に出て攻撃は決してしない。そのアグレッシブのなさぶりは徹底的で美しさすら漂う

★第7試合/K-1ジャパンGP準決勝（3分3R）
○武蔵（3R判定3-0）中迫剛●
〈日本/正道会館〉〈日本/ZEBRA244〉
※採点…29-28、30-28、30-28。中迫は2Rに左ハイキックでダウン

▶武蔵はムリにKOを狙わず、カウンターで着実にポイントを奪っていく

◀結局、勝敗は判定に。ダウンを取ってる武蔵が勝つのは当然だろう。中迫の悔しそうな顔が印象的

▶ダウンを奪ってからも武蔵は慎重。突っ込んでくる中迫を冷静にかわす。また、中迫も無茶な突進もせず、深追いもしない

決勝戦の結果を踏まえて考えるとこの試合はともかく絶品と断言できるものであり、文句なしにベタボメできるわけである。

普段よりはアグレッシブであった中迫ではあるがやっぱり決め手にかけるその試合ぶりと、カウンター狙いに終始する武蔵の熱のなさは絶妙なハーモニーで手が合って、見ている者をナチュラルな嫌悪感に導くわけだ。その完成度の高さはこの2人でなければ絶対に出せないものである。

また、今回からヒールに目覚めたらしい中迫ではあるが、人の心に潜在的に憎悪を植え付けるそのやり口はまさにヒールそのものであった。ことわっておくが、べつにこれは皮肉を言ってるわけではない。

ヒールとは元来そういうもので、国際プロレスを離脱し、新日本プロレスに参戦したばかりのラッシャー木村などは自宅に石を投げ込まれ、家族や飼い犬までが病気になったほど心の底からファンに憎まれたものなのだ。そんな状況を全て引き受けることがヒールということなのだから、中迫の方向性に間違いはない。というか、武蔵と中迫の試合内容は、そんな感じに匹敵するぐらいクオリティーが高いというわけなのである。

なんだか知らないが世間や格闘技というものをナメてるように見える武蔵と中迫剛。今後は634と244に改名して、さらに世間の憎悪を買っていただきたいと願うばかり。

プロとしてキャラクターをまっとうするというのは、そういうことなのである。

（ブチ）

プロ格闘家美男子列伝

ノブ・ハヤシは美しい!!

▲右ヒザを痛めていながらも鋭い眼光でペタスをにらむノブ

★第8試合/K-1ジャパンGP準決勝（3分3R）
○ニコラス・ペタス（1R1分26秒、KO勝ち）ノブ・ハヤシ●
〈デンマーク/極真会館〉　〈日本/ドージョー・チャクリキ〉
※2ノックダウン。ノブは右ローキックで2度ダウン

ニコラス・ペタスは美しい。
え～、すいません、ついつい内館牧子チックな書き出しになってしまうぐらい、この日のペタスの試合内容は素晴らしいものであった。常に前に出ていく闘争心、やられたら倍やり返そうとするどう猛性、チャンスの時には一気に畳みかける思い切りの良さ。その全てが満点であり、しかもその上に、というか、それだからこそ、運まで味方につけて、このトーナメントを大爆発させてくれたのだ。ありがとう、ペタス！　武蔵をブッ倒してくれて！

ということで、ノブ・ハヤシと闘うことになったBブロック準決勝は、ペタスのローキックの連打で1R1分26秒KO勝ちという見事な結果を残したわけだ。そもそもノブはその前の富平辰文戦で足を痛めつけられており、そのダメージが残っている状態で極真仕込みの下段をバンバンもらったのだから、この結果は仕方ないもの。そんな足でも突破口を切り開こうと果敢にパンチを打ち続けたノブの心意気こそ、ほめてあげたい。勝つというのはこの執念を基盤にしてなければ、いくら技術があっても実りは少ないものだから。

それにしても、この大会を振り返ってみると、今回のトーナメントのAブロックとBブロックはあまりにも対照的な闘い模様であった。Aブロックの結果が全て判定で終わったのに対して、Bブロックは全てがKO決着。この選手の温度差が決勝戦で、これ以上ないほど溜飲が下がる結果となったといっても過言ではない。

そして、それもこれもペタスをはじめとしたBブロックの選手た

K-1 JAPANシリーズ JAPAN GP決勝戦
K-1 ANDY MEMORIAL 2001 〜アンディメモリアル〜
8.19★さいたまスーパーアリーナ

危険な賭け ノブのヒザは壊れていた!!

ノブ・ハヤシのコメント

「3月頃に練習中ヒザを傷めてしまったんですよ。で、1回戦で蹴りをもらいすぎたっていうのもあるんですけど、ホントは試合をやめるかやめないかっていうところぐらいまでドクターと話したんですけど、出るっていう判断で。足が痛いのは分かってたし、でも勝つ気でいたし。チャクリキ魂を見せたかったですけど足りなかった」

▲足を執拗に攻められたノブは1R 1分2秒最初のダウン

▼1回戦の様子を見ていたペタスはいきなり足を狙う非常な攻め

▶ノブは短期勝負狙いでパンチのラッシュ。一時はペタスをコーナーにまで追いつめることに成功する

▶ノブの重いパンチがペタスの顔面にヒットし、一時は優勢に試合を進めるが……

容赦なし ペタスが鬼の攻めを開始!!

▲再び、ローキックをくらったノブはついに2度目のダウン。1分26秒にわたって行われたノブの無茶はここで終了した

▶ノブのチャクリキ魂をその胸に武蔵戦を目指すペタス

▶ペタスはここぞとばかりにノブを攻めたてる。足はもちろんのことボディまでも容赦ない

▶極真仕込みの下段蹴りがついにノブを捕らえた。思わず腰が引けるノブ

はじめとしたBブロックの選手たちが相手をブッ倒してやるという格闘技の原点をそのハートの中心にきちんと据えて闘っていたからだと言えるだろう。

　はっきり言ってK—1は競技として成熟の時期を迎えている。だが、その弊害として、トーナメントを勝ち抜くための技術や智恵ばかりが嫌な形で、ところどころに顔を出し始めているのも事実。ペタスの試合は、そんなものが実はいかにチンケでくだらないことであるかというのを示してくれた。ともすれば、勝負至上主義の行き過ぎでダメージを負わずに勝つテクニックがやっぱり最高なのかもと思いがちになっていた寂しい今日この頃にあって、この試合は、勝利というものは相手からもぎ取るものだということを見せつけてくれて、ホント悪いツキモノが落ちたようで心晴れ晴れ。

　この試合に勝ったペタスは決勝戦において観客を驚喜乱舞に導くK—1史上に輝くベストバウトを展開したわけだが、足を負傷しながらも前に出ていったノブの存在も忘れてほしくはない。

　実際、ノブはドクターストップがかかりそうな状態でも試合することを選び、「痛くてもやる」というチャクリキ魂を出したかったと試合後語っているのだ。このスピリットをペタスは引き継いで決勝戦へと駒を進めたのである。トーナメントとはそういう倒した相手の魂をその身に抱えながら、覚悟を持って突き進んでいくことこそが醍醐味であり、格闘技を生業とするプロフェショナルの闘いざまなのである。

（ブチ）

ニコラス、怒涛の逆転劇で初戦突破！

この踏ん張りが成長の証

ダウンから見事なリカバリーを見せたニコラス。右ストレートでダウンを奪い返し、最後は右ローで決めた。空手家らしい"残心"のカッコよさを見よ！

藤本のコメント

「まさか負けるとは思ってなかったんで残念です。ダウンを奪って焦りすぎたのが反省点です。まだまだ若いというか。まだまだ強くなれるとは思うんですけど。(作戦は？) 打ち合いにいこうと。それでちゃんと打ち合いで終われたから良かったんじゃないですか。ダウンを奪ったんで、納得がいくっていうか、次につながると思う」

▲気合いが入りまくっていたニコラス。入場ゲートに姿を現わすと、思いっきり吠えた！

★第4試合/K-1ジャパンGP2回戦（3分3R）
○ニコラス・ペタス（1R2分57秒、KO勝ち）藤本祐介●
〈デンマーク/極真会館〉　〈日本/モンスター・ファクトリー〉
※2ノックダウン。藤本は右ストレートと右ローキックでダウン。ニコラスも左ボディフックでダウン

▲藤本のフックをレバーに受け、ダウンを喫したニコラス。このまさかの展開が、ジャパンGPの盛り上がりの幕開けだった

▲左右のフックをブンブン振り回す藤本。乱打戦での短期決着狙いだったようだ

今年のジャパンGPのベストバウトは、間違いなくこのニコラスVS藤本戦だった。壮絶な打撃戦があり、まさかの波乱があり、そして劇的な幕切れがあった。大ゲサに言えば、この試合にはファンを喜ばせるもの全てがあった。

藤本の作戦は、ズバリ「打ち合い」だった。相手が格上だろうがお構いなし。得意のフックを力いっぱい振り回していく姿は、とにかく見ていて気持ちが良かった。やっぱりジャパンのファイターはこうでなくっちゃいけない。

お、この藤本ってヤツなかなかやるじゃん。会場がそんな雰囲気になってきた時、左フックがレバーにヒット。ニコラスがダウンを喫してしまった！　脇腹を押さえて倒れ込むニコラス。気合いは入っているものの、コンディションはあまり良くないんだろうと思わせた。優勝候補のいきなりのピンチに、場内は騒然。だが、ここでニコラスは見事な踏ん張りを見せる。追撃のラッシュをしのぎ、右ストレートでダウンを奪い返したのだ。仕上げは右のローキック。2ダウンでのKO勝ちである。

短期決戦を挑んだ藤本に、ニコラスはバンナ戦で玉砕した時の自分を重ね合わせたという。「だから気持ちは分かるけど、それでは勝てないのも知ってるからね」。怒涛の逆転劇は、ニコラスの成長の証明でもあったのだ。

武蔵、中迫の試合で静まり返っていた観客も、この逆転劇でヒートアップ。大会のムードは一気に好転し、ジャパンGPはかつてない盛り上がりを迎えることになるのだった。

（橋本）

K-1 JAPANシリーズ JAPAN GP決勝戦
K-1 ANDY MEMORIAL 2001
〜アンディメモリアル〜
8.19★さいたまスーパーアリーナ

勝利まで残り10秒……富平、ノブの拳に悪夢の沈没

◀こんな感じで1、2Rは優勢に試合を進めていた富平。9割9分勝利に手が届いていたのだが……

▼うなだれる富平を尻目に歓喜の抱擁をかわすノブ陣営。一瞬で天国と地獄がひっくり返った

▼富平はローキックでペースを握った。このダメージが尾を引いて、ノブは準決勝を手負いの状態で闘うことに

▶試合時間が残りわずかとなったところで、いきなりノブの右フック連打が炸裂！ ダウンを喫した富平はそのままKO負け

「俺はアホかっつうんですよ……」。富平辰文にとっては、悔やんでも悔やみきれない敗戦だっただろう。ノブ・ハヤシとのトーナメント初戦。富平はいつものようにアグレッシブに攻めていった。ローキックでノブの体を崩し、パンチは何度もモロに顔面を捕らえた。ノブもパンチを返すのだが、圧倒的に手数が少ない。ジャッジペーパーを見ても、1、2Rとも富平が取っていた。3Rも富平が優勢。このまま試合が終われば、富平の勝利は間違いない。しかし、まもなく試合終了のゴングが鳴ろうかという時、突如としてノブの右フックが火を噴いた。グラっときたところへさらに右を連打され、富平はダウン。そのままKO負けである。KOタイムは2分55秒。あとたったの10秒ほどまで近付いていた勝利を、富平は逃してしまったのだ。試合後は「よく覚えてない。分からない」を繰り返した富平。もし覚えてたとしても、思い出したくないだろうなぁ……。（橋本）

★第5試合/K-1ジャパンGP2回戦（3分3R）
○ノブ・ハヤシ（3R2分55秒、KO勝ち）富平辰文●
〈日本/ドージョー・チャクリキ〉　〈日本/SQUARE〉
※右フック

念願の武蔵戦も、大石の気合い、スカされまくり！

▼トーナメントの組み合わせ抽選で武蔵を挑発した大石亨。念願かなって武蔵戦が実現したが、納得のいく試合はさせてもらえなかった。"武蔵流"のインサイドワークにスカされ、いなされて3Rを終了してしまう

◀判定は的確なカウンターでポイントを奪った武蔵が3―0でモノにした。「武蔵はかわすのがうまい。エンジンがかかってきたと思ったら、あっという間に終わってしまった」と試合後の大石

これぞイヤミなシマウマイズム 中迫の子安キック炸裂!?

▼中迫は初戦でグレート草津と対戦。試合を有利に進め、3R終盤に勝利を確信すると天性のヒールっぷりが目覚めた。焦る草津をあざ笑うように、なんと子安キック！ 完全にナメられた草津は試合後、コメントも出せない落ち込みよう

最初から最後までグイグイとプレッシャーをかけ、いつになく力強い攻撃を見せていた中迫。草津はロープを背負う展開が多かった（判定3―0で中迫の勝利）

アンディ一周忌メモリアルマッチにアンディゆかりの選手が集結！

バンナ、ベルギーの新星を問題なくKO！

猪木軍のファイターたちよ、オレのパンチを見たか!!

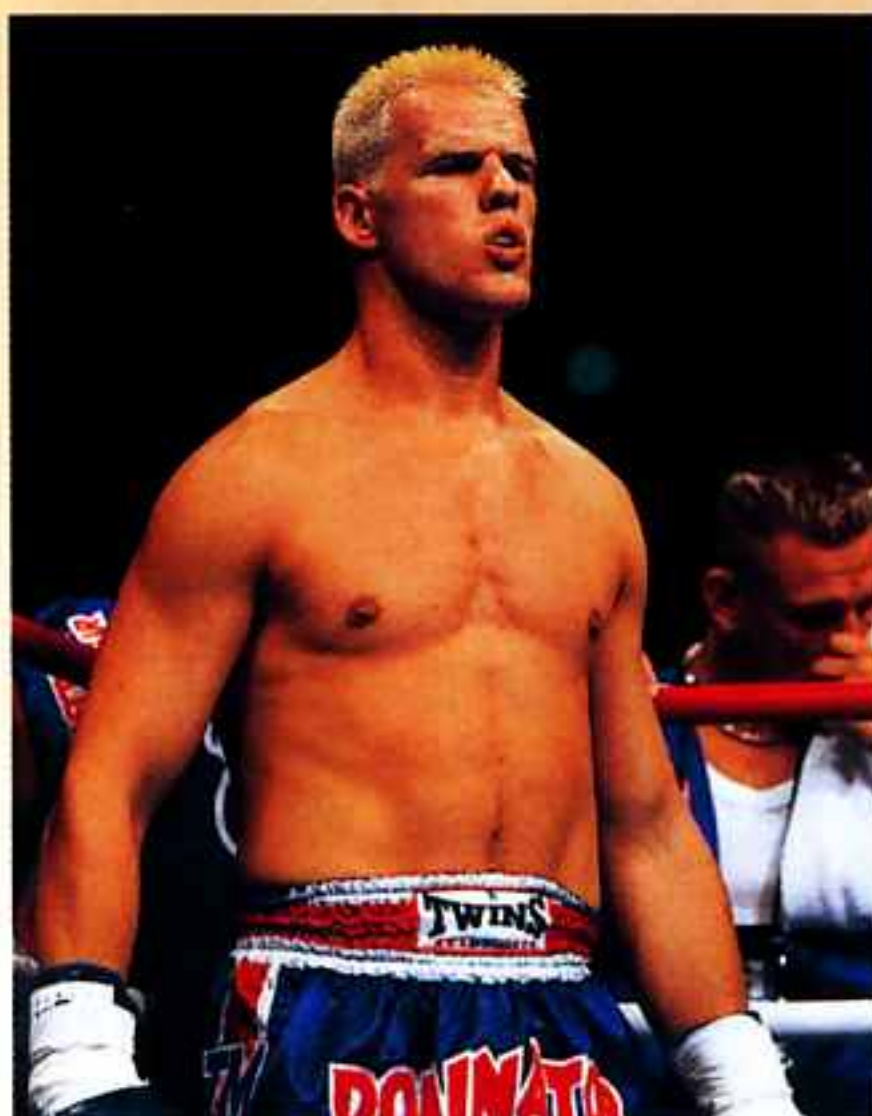
バンナのコメント

「相手の動きが速かったのにはびっくりしたよ。『プライド』の選手に対して怒りはないけど、『プライド』がストリートファイトだと言われていることにはムカツク。『プライド』こそ一番いいファイトだというのは嘘だ。K-1の選手が違うルールに出る。こっちのほうが男だ。もちろん自分もトレーニングすれば闘えるぜ」

ウィットのコメント

「試合のオファーをもらったのが10日前だったので準備不足だった。いつもはもっと速く動けるんだけど、今日はなかなか思うように動けなかった。出来としては50％だね。残念だよ。最初にダウンした時のパンチは見えなかった。また日本で試合がしたい。その時はもうちょっと準備する期間がほしいね」

▲フィニッシュとなったバンナの右ストレート。このパンチがオープンフィンガーグローブで放たれたら……

★第9試合/スーパーファイト（3分5R）
◯ジェロム・レ・バンナ（2R1分45秒、KO勝ち）マーク・デ・ウィット●
〈フランス/ボーアボエル&トサジム〉　〈ベルギー/チーム・マソアーズ〉
※右ストレート。ウィットは1Rにも右フックで2度ダウン

K—1初参戦のウィット。まったくいいところなく終わってしまった

▶かねてからVTファイターに対し挑発的な言葉を投げかけていたバンナ。この男が猪木軍迎撃に向かうのはいつになるのか？

▶この日もKOスピリット満点のバンナ。1Rには右フックで2度ダウンを奪っている

バンナ君、今日ばかりはキミにタメ口で話させてもらうね。気に障ったらゴメンよ。

とりあえずKO勝利おめでとう。『ワールドGP』優勝候補筆頭と呼ばれるだけあって、まったく危なげのない試合だったね。計3度もダウンを奪うなんてさすがだよ。

……でもね、キミの試合より、キミが「オシッコのような闘い」と言ったルールで行われた『K—1VS猪木軍』のほうが全然面白かったよ。緊張感も比べものにならないくらいにあったし、ファンの声援もとても大きかった。総合ルールを「オシッコの……」って言うからには、キミはその3試合以上のものを見せてくれると思ったのに……ってことは今日のキミの試合はオシッコ以下？　「ルールは関係ない。バイオレントな激しい試合をすればいい」って、バイオレントな試合だったかなあ？　でも、キミはセカンドロープに登って誇らしげにガッツポーズをしてたよね。「オレのパンチを見たか猪木軍！　バーリ・トゥードよりオレの試合のほうが面白ぇだろ？」って感じで。

おかしいよ、バンナ君。

最高のキミはあんなもんじゃないだろ？　K—1ルールなのに、まるでバーリ・トゥードのような喧嘩腰で闘うキミのスタイルに、ファンはシビレてるんだよ。

バンナ君、今日のような試合で満足なら、2度と総合を「オシッコのような闘い」だなんて言わないでくれ。そうじゃなければ、キミ自身があの薄いオープンフィンガーグローブを着けて、猪木軍をブチのめして見せてくれ。（宗忠）

アンディ一周忌メモリアルマッチにアンディゆかりの選手が集結！

K-1 JAPANシリーズ JAPAN GP決勝戦
K-1 ANDY MEMORIAL 2001 〜アンディメモリアル〜
8.19★さいたまスーパーアリーナ

不惑の角田信朗、アンディに捧げる魂の勝利！

▲普段はフィリォのスパーリングパートナーを務めるマウリシオ。セコンドには、フィリオとグラウベが就いた

K－1初出場でも、ブラジルでしかも極真、そんなシルバが弱いわけがない！

▶角田はマウリシオのパンチを完全にブロックしながら、逆に左右のパンチをヒットさせて優位に試合を展開

▲アンディの愛息セイヤ君と愛妻イロナさんが見守る中、角田は入魂の勝利。セイヤ君とイロナさんより勝利者賞の花束を受け取った

アンディが生きていれば、今年37歳。今回、アンディの一周忌を記念して行われたメモリアルマッチに出場した選手は、黒澤浩樹38歳、平直行37歳、そして角田信朗40歳と、アンディとほぼ同世代の、一般的に言うところの「オジサン」たち。しかし、そのファイトっぷりは、若い選手と比べても遜色ないどころか、ぜひ見習ってほしいほど魂の入ったいい内容だった。アンディのメモリアルマッチに出る以上、恥ずかしい試合はできない。そんな気持ちがあるのだろう。中でも最年長の角田は、ご存知のように今や日本中知らない子はいないほどの人気者で、ちょっと悔しいがうちの娘たちもファンらしい。テレビにラジオにと引っ張りダコで、睡眠時間もままならない状態だと聞く。そんな中で調整を行い、きっちりと結果を出してしまうのだから、もう脱帽するしかない。「角ちゃん」は子供たちのヒーローであると同時に、我らオジサンたちの〃希望〃でもあるのだ。（林）

▶手数ではマウリシオのほうが上回ったが、ローキックや左右のフックでダメージを与え、文句なしの判定勝ち

▶試合後、角田はマイクをとり、天を仰ぎながら「今日の勝利と全ファイターのスピリット、皆さんの熱い声援を、今日ここにいるセイヤとイロナと、そしてアンディに捧げます」

★第1試合/アンディメモリアルマッチ（3分3R）
○角田信朗（3R判定3-0）マウリシオ・ダ・シルバ●
〈日本/正道会館〉　〈ブラジル/Team TBC〉
※採点…30-29、30-29、30-28

37歳・平直行、38歳・黒澤浩樹もアンディ彷彿させる熱いファイト魅せる

バックブロー！バックキック！まるでアンディだっ！

▶柔術や総合が現在の主戦場である平だが、初のK－1ルールにも類稀な格闘センスで順応してみせた。バックキックや胴回し回転蹴り、飛びヒザなど、トリッキーな技を次々に繰り出し、黒澤にペースを握らせなかった

アンディが現役時代、セコンドには必ず平の姿があった。開始早々、まるでアンディが乗り移ったような、平のバックブローが黒澤にジャストミート！　黒澤は思わずダウン

▲「花道を歩いていたらアンディを思い出して、悲しくなってしまった」。試合後にそう語った平。その言葉どおり入場時の平の表情は今にも泣き出しそうだった

セコンドとして、いつもアンディの傍らにいた平。現在は、柔術や総合のインストラクターとしての活動が中心で、試合で見るのは久しぶりだった。ひと昔前には「格闘技の申し子」と言われ、抜群の格闘センスを誇った平の試合を密かに楽しみにしていたファンも多いのではないだろうか。一方の黒澤も極真時代から、木訥な闘いぶりで多くのファンを魅了してきた選手。二人の天才の対決に、心躍らせたのはボクだけではなかっただろう。とは言え、なんとなくノスタルジックなエキシビジョンっぽい試合になるのかなぁという気持ちもあった。ところが、開始早々、いきなりの平のバックブローによる黒澤のダウンで、会場の空気は一変。ガチガチの真剣勝負に声援もガ然ヒートアップ！　結果は、黒澤の流血によるTKO決着だったが、二人の男の意地と意地の激突には同世代として思わず熱くなり、よ〜し、俺も頑張るゾ〜ッと、なぜだか力が入ってしまったのだった。（林）

▲最後はバックブローの際にカットしたキズからの流血のため、黒澤にとっては不完全燃焼のドクターストップTKO負け。キズはかなり深く、試合後に13針縫ったそうだ

★第6試合/アンディメモリアルマッチ（3分3R）
○平直行（2R終了TKO勝ち）黒澤浩樹●
〈日本/ストライプル〉　〈日本/黒澤道場〉
※ドクターストップ。黒澤が左目尻から出血したため。黒澤は1Rに右バックブローでダウン

「猪木軍団VS K-1軍団」全面対抗戦の教訓

◎総評

"他流試合の緊張感を忘れるな！" ブランド化すれば『プライド』も危ない

文◎谷川貞治

「猪木軍団VSK―1軍団」全面対抗戦の開戦には、想像を遥かに超えるほどの興奮があった。石井館長の危険なギャンブルは見事功を奏し、これまで格闘技界の渦の外でブランド化していたK―1は、見事に復活した。

当日、会場に来たファンの中には、「『プライド』もこれじゃあヤバイぞ」と言っていた人もいたくらいだ。

ここで重要なのは、なぜK―1があえてリスクの大きな他流試合に打って出たかということである。対抗戦が成功したからというわけではなく、そのことはきちんと整理しておく必要があるだろう。

だって考えてみてほしい。K―1は一般的に今やプロレスより社会的評価は上に見られている。なぜ上に見られているかと言うと、フジテレビをはじめとする地上波テレビで、毎回ゴールデンタイムで放送され、プロ野球の巨人戦より高い視聴率を稼ぎ出しているからだ。その点から言っても、K―1はメジャースポーツであり、格闘技のブランドにもなっている。

そんなK―1がなぜ、あえて負けることを覚悟で、不利な総合のルールで猪木軍団と試合をやらなければならないのか。これはすなわち、モハメッド・アリのほうからアントニオ猪木に挑戦するようなもの。猪木がアリに挑戦することはあっても、アリから猪木に挑戦することはない。決して格上・格下の話をしているのではないが、K―1やアリは、それくらい違う世界にいる存在なのだ。それを石井館長が本気でやってみようと思うところに、今回の一番のポイントが隠されているのである。

もちろん、石井館長がそこに踏み切ったのは、『プライド』という存在を抜きには語れないだろう。制限なしのノールールのリアルファイトが、K―1のような大きなイベントに成長してきた。今や立ち技のK―1に匹敵するくらいのメジャー感が『プライド』にはある。正直ブームと呼ばれるほどチケットは飛ぶように売れている。これは、一時のK―1と並ぶ勢いだと言っても過言ではない。

しかも、ルールのあるスポーツよりも、より生の喧嘩に近いバーリ・トゥードは刺激が強い。石井館長のプロデューサー魂が触発されるのも当然である。

だが、正直『プライド』に集まるほどの一流選手がノールールで闘えば、これに勝るものはなかなか作りにくい。当分『プライド』は安泰かと思われたが、それ以上に今回の対抗戦が面白かったと感じたとすれば、その理由は対立概念がハッキリとした"他流試合"だったからに他ならない。

私がA・猪木の異種格闘技戦で最も好きなのは、猪木VSウィリー戦だが、それはプロレスVS極真空手というブランドが激突したからだ。ノールールはたしかに面白いのだが、ノールールだから興奮するのではなく、ファンは他流試合に最も感情を揺さぶられることを、今回の「猪木軍団VSK―1軍団」で改めて認識させられたような気がする。

K―1ほどの一流の打撃系ファイターが、ノールールをやればたしかに緊張感が違う。それでいて、ジャンルとジャンルが潰し合いをやる。これが見ていて一番ドキドキする。その他流試合の要素を忘れてしまったら、たとえ『プライド』でさえもヤバイということが今回ハッキリと分かった。

立ち技のK―1、総合の『プライド』というならば、互いに一流ファイターが鎬を削り合う場ということで、非常に共通点が多い。しかし、一流選手も長らく同じ場所で闘っていると、選手同士の緊張感が見る側に伝わりにくくなる。

どうせ同じK―1ファイター同士の闘いじゃないかとか、どうせ同じ『プライド』ファイター同士の闘いじゃないかと思われたら、見る側の興奮度は低くなるのだ。

それでも、そういう一流ファイター同士がレベルの高い試合を展開すると、そのジャンルはブランド化していく。しかし、ブランド化するということは反面、ソフトの空洞化につながりやすい。

ブランド化して、K―1も『プライド』もどんなマッチメイクでも同じじゃないかと思われた瞬間、コアなファンの求心力は失われていく。そうなると、気が付いたら観客動員が減少し、何をやっていいか分からなくなっていくものなのだ。

思い出してほしい。『プライド』ももともとは、高田VSグレイシー、桜庭VSグレイシーといった明確な対立概念が存在していた。我々は「ノールールは面白い」

ミルコの勝利で、総合に対して俄然やる気になったK－1軍団。バンナもGP後は必ずやることになるだろう

© Essei Hara

と思うと同時に「これは他流試合だ」という意識があったからこそ、『プライド』はブレイクしたのだ。その意味で、グレイシーはヒールとして、素晴らしいほどの対立概念をいつも作り出していた。藤田がブレイクしたのも、猪木イズムを背負って、マーク・ケアーのようなバーリ・トゥーダーをことごとく破ってきたからだろう。

K—1もまったく同じ。初期の頃は、「空手VSキック」という対立概念がしっかりと存在し、佐竹やアンディ・フグら不器用な空手家たちが、キックボクサーに挑み続けていった。それがいつの間にか、K—1というブランドだけで客が入り、バンナVSフィリォも、アーツVSレコも同じ意味合いになってきているのである。その証拠に、今回のジャパンGPが盛り上がったのは、極真空手のニコラス・ペタスが出場していたからだ。やっぱり、K—1に極真は重要な存在だ。極真が生きた時ほど、K—1が盛り上がることはない。

最初の話に戻ると、石井館長がなぜあえて猪木軍団に対する挑戦を決めたかというと、そういった求心力を取り戻そうと考えたからである。

「K—1だからと言って、いつまでも会場が満員になると思うな。

K—1だからと言って、テレビのゴールデンタイムでいつも放送され、それが当たり前に続くと思うな。

その刺激を内部に与えるために、石井館長はあえて一歩踏み出したのだ。

「男は負けると思ってもやらなければいけないことがあるんです」

そう石井館長は、大会終了後にコメントしていた。絶頂期があれば、必ず人気は下降線を辿る時がある。その前に、なんとか喝を入れようというのが、リスクを背負って外部の血を導入し、総合に踏み出した理由だ。

刺激のある他流試合をやれば、当然ブランド力を失うこともあり得る。しかし、それをブチ壊してまでも、K—1の原点に戻ろうとした意味は大きい。外部の敵を作ることで、K—1は今後、違った魅力を手に入れることになるはずだ。

驚いたことに、普段ほとんど口をきいたこともないようなバンナとベルナルドがミルコを必死になって応援していた。彼らは決してミルコと仲がいいわけではない。キックボクサーとは、だいたい他とは交わらない人種なのだ。

それが気が付いたら自然とK—1軍団は一丸となっていた。このK—1軍団の絆がファンには、より緊張感あふれるジャンルの看板を賭けた他流試合に映ったはずだ。このシーンは、プロレスファンの神経を逆撫でする最高の演出となった。

しかも、今回の対抗戦でミルコも、ローゼも、ノルキヤも必ずやプロとして大化けするはずだ。特に10月の敗者復活戦では、ミルコに一番の注目が集まるだろう。今後ローゼがゴルドーくらいのキャラになる素質は十分。ノルキヤも〝K—1の安田〟みたいなイメージができたし、やはり他流試合をやると、ジャンルも選手個人のキャラも磨かれる。K—1も『プライド』も、もう一度他流試合の原点に立ち返るべきだ。今回の一番の教訓はそこにある。

それにしても、K—1をここまで光らせた猪木軍団はやはり大したものだ。興行論的に見れば、安田、グッドリッジ、藤田とそれぞれが偶発的に最高の役割を見せたからこそ、K—1がここまで輝いたことを見逃してはならない。■

ジャイ落、KOTCに初挑戦!!
場内沸かすも〝デブ世界一〟逃す

終盤に猛ラッシュ！　が、時すでに遅し……
しかし、判定にブーイングがっ！

▶フレジャーの打撃をくぐってタックル。ジャイ落は終盤、テイクダウンを奪って怒涛のパンチ連打でKO寸前まで追いつめたが、中盤までの劣勢を取り戻せず、悔しい初戦判定負け

【ヘビー級トーナメント】

- ウェイド・シップ
- フレッド・フロイド
- カウアイ・カパヒア
- ジョッシュ・デンプシー
- ジーン・フレジャー
- ジャイアント落合
- マイク・ボーク
- エリック・クレパー

○キース・リチャードソン（2R判定）リチャード・モレノ●
○ティーヌ（1R16秒、KO勝ち）トラジ・マンソーリ●
○トレイシー・ヘス（2R判定）ジョー・カマチョ●
○ジョー・スティーブンソン（2R判定2-1）ライアン・ペインター●
○江宗勲（2R判定2-1）ショーン・グレイ●
○デュエイン・ラドウィグ（2R2分38秒、TKO勝ち）チャールズ〝クレイジーホーズ〟ベネット●
○クレス・ブレナン（2R1分8秒、腕ひしぎ十字固め）ケビン・ホーガン●
○ジャバー・バスケス（2R3分58秒、三角絞め）フィリップ・ペレス●

▶8人トーナメントで行われたヘビー級トーナメント（デブ世界一決定戦）。しかし、純粋な（？）デブは3人くらいで、あとはかなりのマッチョ。それにしても入場シーンはカッコイイぞっ、ジャイ落！

▶序盤にフレジャーのジャブで鼻から流血したジャイ落は、その後もリーチの長いフレジャーのジャブに手こずった

▶ジーン・フレジャーは、なかなかのグッドシェイプ。「ケンドー・ナガサキ戦の時よりいい体だったんじゃないかなぁ」（ジャイ落）

▲『プライド』で桜庭と対戦し日本でも有名になったクイントン・“ランペイジ”・ジャクソン（左）とシャノン・リッチ

▲会場にはK-1で渡米していたピーター・アーツのほか、ペドロ・ヒーゾ、マルコ・ファス、レナート・ババルの姿も

ジャイアント落合、最高!!

今回の見どころは〝デブ世界一決定戦〟に出場したジャイ落。しかし、フタを開けるとデブはジャイ落、マイク・ボークと予選に出た3人ぐらいで、あとはちゃんとしたヘビー級の選手。ジャイ落！　世界中のデブのために激しいファイトを頼むぜ!!

ジャイ落の1回戦の相手は、ジーン・フレジャー。あのケンドー・カシン、いやナガサキをKOしたボクサーだ。このトーナメントだけ7分一本で、グラウンド30秒ルールだった。たぶん、デブ同士が密着すると醜いからグラウンドは短いのだろう。

序盤、フレジャーのジャブがいきなりヒットして、早くもジャイ落は鼻血ブー。そして、テイクダウンされてマウントを取られ、振り下ろすパンチに絶体絶命。しかし、フレジャーもスタミナがなく攻め切れない。フレジャー有利の展開だったが、終了間際、一瞬のスキをついたジャイ落が逆にテイクダウンを奪い、怒涛のラッシュ！　だが、時すでに遅く、終了のゴングがなった。判定はフレジャーだったけど、場内からはブーイング。かなりのKOTCファンはジャイ落を評価したようだ。試合後、金網によじ昇るパフォーマンスをして会場の笑いをとっていたジャイ落。きっと次回も呼ばれることだろう。

ちなみにトーナメントは、謎のハワイアンのマイク・ボークを倒した、謎のハワイアンが優勝したのだった。（スピン島田）

DEEP INTERNATIONAL 2001 in YOKOHAMA
8.18★横浜文化体育館

ルチャ・リブレは本当は強いんです！

ドス・カラスJr、勝つ！なんと謙吾を秒殺

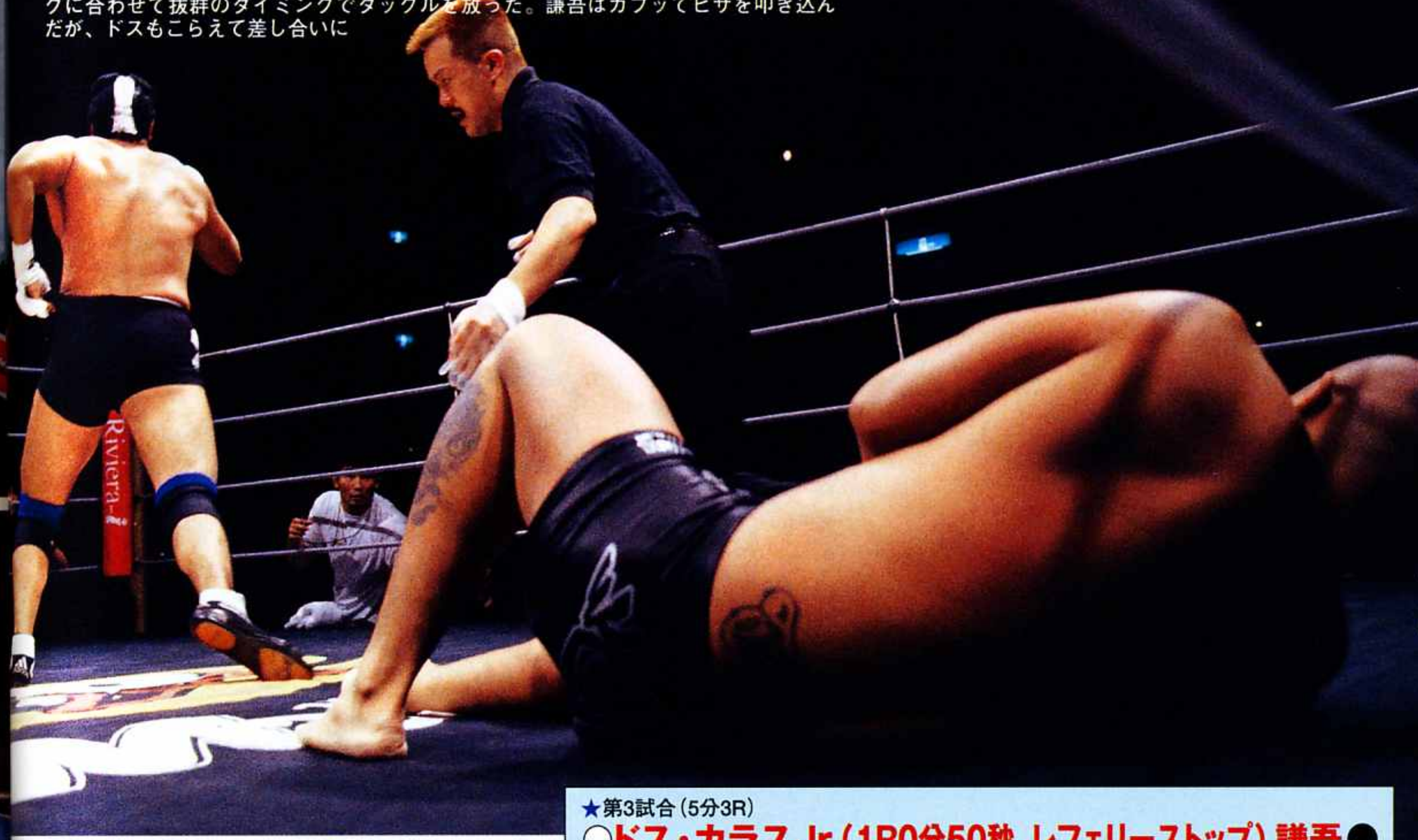
今大会の目玉カードだった謙吾VSドス・カラスJrの一戦は、まさかまさかのドス勝利！　しかもたった50秒での秒殺だ！
セコンドについたドス父も大喜び

撮影◎中島ミノル

秘技〝チリマ〟でTKO！

「今日はルチャを背負って闘った」（ドスJr）

▲カシンに似た感じのマスク（VT用）で試合に臨んだドスJr。ゴング直後、ローキックに合わせて抜群のタイミングでタックルを放った。謙吾はガブッてヒザを叩き込んだが、ドスもこらえて差し合いに

コーナーでの差し合いから、ドスJrがフロントスープレックス！　受け身を取り損なった謙吾は右ヒジを負傷し、すぐさまレフェリーが試合をストップ

★第3試合（5分3R）
○ドス・カラスJr（1R0分50秒、レフェリーストップ）謙吾●
<AAA>　<パンクラス・東京>
※投げによる右腕骨折

◀これが決定的瞬間。写真をよく見てほしい。投げられた謙吾の下敷きになった右腕が、とんでもない方向を向いている……！

正直、スマン！（健介調に）『DEEP2001』横浜大会で謙吾とドス・カラスJrのカードが組まれた時、「あぁ、話題作りなんだろうな」と単純に思ってしまった。そりゃあボクもプロレスは好きだし、ドスJrが勝ったら面白いだろうなとは思っていた。

でも、ルチャ・リブレといえばプロレスの中でも最も娯楽色が強いというか、格闘技色の薄いもの。プロレスファンだって、ルチャに強さは求めていないはずだ。197センチ、100キロの肉体を持ち、アマチュアレスリングでシドニー五輪の代表になった（協会とのトラブルで出場はせず）という経歴もあるにはあったが、今現在やっているのはルチャなのだ。

しかし、そのドスJrが、普段からガチンコの練習ばっかりやってる謙吾に勝った！　しかもわずか50秒でレフェリーストップ。パンクラシストに掟破りの逆秒殺である。再び言おう。正直、スマン！甘く見てました……。

フィニッシュは、ドスJrのフロントスープレックスで投げられた謙吾が受け身を取り損ない、ヒジを負傷してのストップ。手から先に落ちたことで腕がつっかえ棒のような状態で全体重を浴び、ヒジがあらぬ方向に曲がってしまったのだ。アクシデント？　いや、ドスJrに言わせれば、受け身が取れないように腕をクラッチして投げたのだという。

「公式にはスープレックス。だがルチャでは相手に分からないよう〝チリマ〟と暗号で呼ぶ」

秘技・チリマ！　ルチャには、こんな殺人技があったのか。ド

ドス・カラス親子のコメント

ドスJr　「（最後はどういう状況？）公式にはスープレックスだ。メキシコでは、相手に分からないように"チリマ"と暗号で言う。体の内側に相手の腕を入れて、クラッチして投げた。入場の時に相手がルチャのマスクを被ってきて、それを客席に投げたのを見て血が騒いだ。怒りが沸いて、エネルギーになったよ。（今後もVTを？）考えてはいるが、細かいルールがあるので勉強しないといけない。それとトレーナーなどにもお金が行き渡るようにしないといけないから、それを解決しないと。今日は最初は個人のために闘ったが、同時にルチャの旗を背負って闘った。ルチャは生活の糧を与えてくれたし、全ては、父を通してルチャからもらったものだ」

ドス父　「この勝利はやる前から分かっていたことだ。Jrは柔道、柔術、空手、テコンドーなど、全てを網羅したファイターだから。アマチュアの世界では、6年間メキシコのナショナルチャンピオンだった。誰とやっても勝つ。右に出る者はいない。むしろ短い試合時間だったのが残念だね。腕を折ることも、足を折ることもできたのに」

謙吾、右腕骨折！全治3カ月の重傷……

▲担架で退場した謙吾は、バックステージから救急車で病院に直行。リングドクターの診断では骨折の疑いが強く、全治3カ月になるだろうとのこと。パンクラスの尾崎社長は「今日は完全に負け」と言いつつリマッチを提案、DEEPの佐伯代表も「はい、分かりました」と即答。12月16日の両国大会で行われる模様だ

マスク姿で入場した謙吾。これにドスJrがキレた！

▶▼入場の際、セコンドとともにルチャのマスクを2枚被ってきた謙吾。花道の途中で脱ぎ捨て、客席に放り投げた。この行為によって、ドスJrの怒りの導火線に火が付いた！

▶こちらはドスJrの入場シーン。もちろんテーマ曲は『スカイ・ハイ』！コールと同時のオーバーマスク投げも行った

▲試合を終えたドスJrたちは、休む間もなく物販コーナーでグッズ販売＆ファンにサイン。プロの鑑だ

51歳・カトは無念の一本負け

▲「今でもいろんな道場で道場破りしている」、「ピストルの弾をよけた」など抜群の武雄伝を噂されたカトだったが、試合はマウントからの腕十字で大久保の完勝（1R3分5秒）。しかし試合後の大久保は「下から必死さが伝わってきた」と、決して楽勝ではなかったことを告白

▲今大会に出場したもう1人のルチャドール、カト・クン・リーは第1試合で大久保一樹（U－FILE CAMP）と対戦。22歳の大久保に対し、カトは1950年生まれの51歳。史上最も年齢差のあるVTだろう

ス・カラスというリングネームは"2つの顔"という意味があるらしいが、まさにドスJrには危険な裏の顔があったわけである。

ボクはプロレスラーがVTに出場する時に"格闘技特訓"をしたり、シリーズを休場するのがあまり好きではない。そんなことしなくても、普段から強いのがプロレスラーのはずじゃないか、と。ドスJrはそんな理想形を見事に体現してくれた。なにしろ3日前までプロレスの地方巡業をこなしていたのだ。しかも（戦闘用にアレンジされたものとはいえ）マスク姿でVT戦を行い、さらに試合後にはロビーでグッズまで売ってしまう。これぞプロレスラー！

膨らみまくるルチャ幻想。トドメはこの一言だ。

「今日はルチャの旗を背負って闘った。全ては、父を通してルチャからもらったものだ」（ドスJr）

カッコ良すぎる！　今まで多くの他流試合が行われてきたが、ここまでジャンルを背負う言葉を発したのはアントニオ猪木とグレイシーくらいじゃないだろうか。そんなドスJrにしてみれば、謙吾がマスクを被って入場し、それを客席に投げ入れたのはルチャに対する冒涜にほかならない。そして彼はキッチリ落とし前をつけたのだ。右ヒジ骨折、全治3カ月の重傷を負わせるという形で……。

ドスJrの勝利は、プロレスラーによるVTの歴史の中でもエポックメイキングなものだと思う。ならばUFC優勝時の桜庭のセリフにならい、こう言わねばなるまい。

ルチャ・リブレは本当は強いんです！

（橋本）

技巧派・菊田がキラーに変貌！

ウォレスをマウントパンチで流血葬

菊田のコメント

「最近、マウントパンチで派手にガーンと叩き潰す試合がないんで、今日は、関節よりもトコトン殴るしかないと。9月の（パンクラス）横浜文体ではベルトを賭けて、タイトルマッチをやらせてほしいです。相手は、いま一番ノッてる美濃輪選手。ほぼ決定です。横浜道場の意地をぶつけてもらおうかなと。もちろん勝ちますけどね」

▲いつもならパンチよりも“極め”を狙う菊田だが、この日はまるで別人のように、マウントを取るや上からゴツゴツとパンチの雨を降らせ、ウォレスのまぶたの上を切り、タップリと流血させてレフェリーストップ勝利。格の違いを見せつけた

▲高いタックルで組み付いた菊田は、ウォレスを抱え上げ、勢いよく叩き落としてテイクダウン

▲菊田の“探り”のローキックに顔をしかめるウォレス。菊田は開始早々から積極的に前に出ていった

9月30日、ノッてる美濃輪とタイトルマッチほぼ決定!!

★第7試合（5分3R）
○菊田早苗（1R1分52秒、レフェリーストップ）シェマック・ウォレス●
＜パンクラス・GRABAKA＞　＜コロンビア・マーシャルアーツ＞
※マウントパンチ連打

結果から言えば、菊田の勝利は当然と言うか、至極順当である。VT21戦18勝、ボクシングやキックでもなかなかの戦績を残しているとは言え、VTの世界では無名のウォレスは、アブダビコンバット王者の菊田にしてみれば「相手にとって不足なし」のわけがなく、「なんで菊田の相手がこんな無名選手なんだよぉ」と本人の代わりに文句の一つも言いたくなる。

しかし、対するウォレスにとっては、負けてもともと、勝てば超スーパーラッキー。ドリームジャンボとまではいかなくとも、ラッキー3で百万円当てる（ボクにとっては夢のような話なのだが……）以上の価値がある、まさに千載一遇のチャンスだったはず。

いつもの菊田ならば、そんな一攫千金野郎にも「ほら、ボクのほうが強いでしょ」と優しく諭すようにキュッと極めて勝っていたのだが、この日は虫の居所が悪かったのか、他が極める試合が多かったからあえてそうしたのか、これが菊田？　と思えるほど、荒々しくて怖い〝キラー〟に変貌。マウントを取るや、表情も変えずに20発以上のパンチを顔面に叩き込み、レフェリーストップで完勝。ウォレスのまぶたはパックリと切れて血が滴り落ちるほどだった。「かなりいいのが入ってましたね。もっと早く止めても良かったと思いますけど」とまるで第三者のように、冷静に試合を振り返った菊田。

9月30日には、パンクラスで今一番ノッてる美濃輪とのタイトルマッチが濃厚となってきた。美濃輪戦ではどっちの菊田を見せるのか。それは見てのお楽しみだ。（林）

DEEP INTERNATIONAL 2001 in YOKOHAMA 8.18★横浜文化体育館

近藤のはまった迷路……いったい、どこまで続くのか!?

▶またも敗れてしまった近藤。いったい、いつになったらこのトンネルを抜け出せるのか？

フィリョのコメント

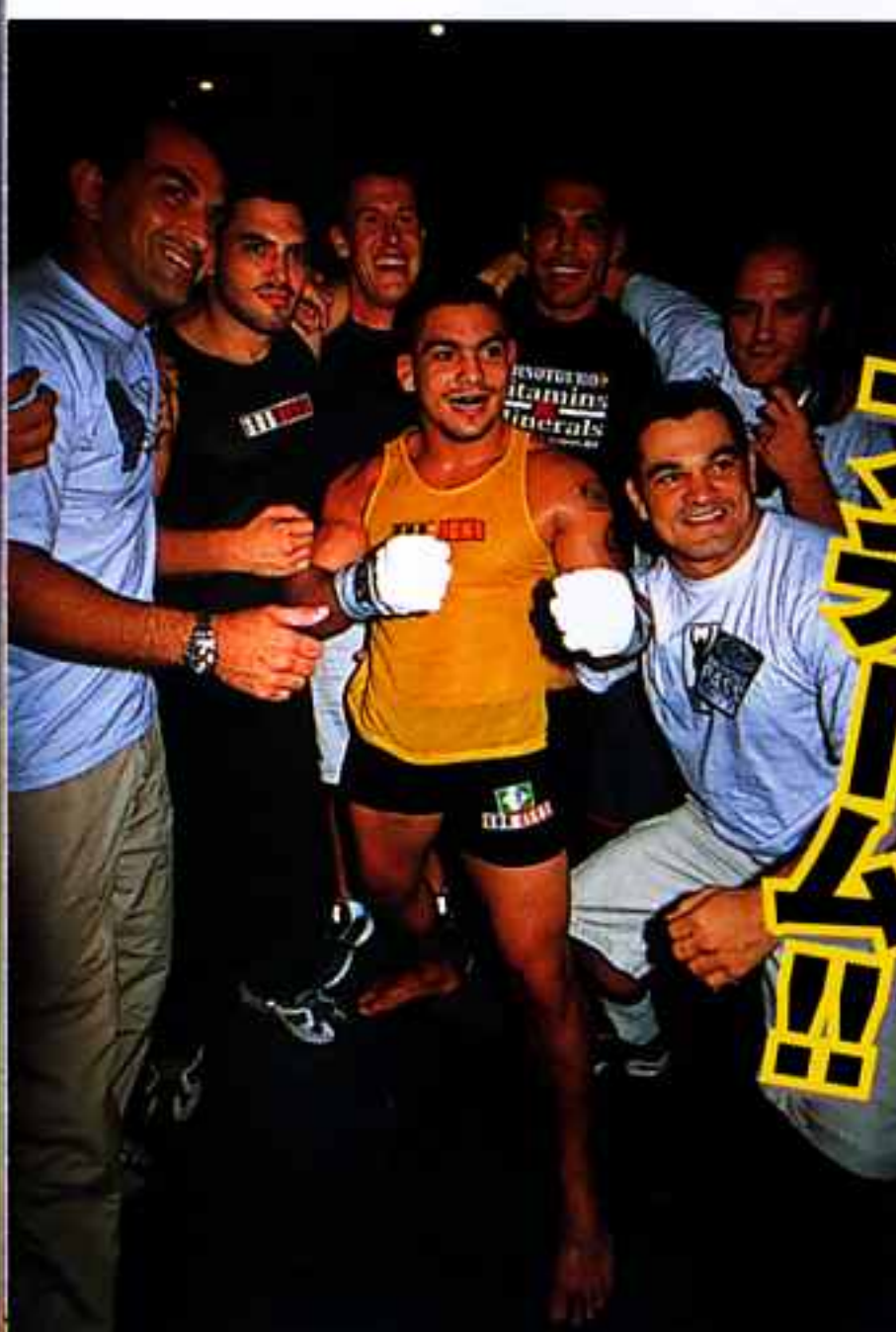
「近藤選手に関しては、ずっと尊敬してきました。90キロ級のカテゴリーの中では、世界最高じゃないかと思います。近藤選手とは力量が近かったので、試合としてはつまらないと思われたかもしれませんが、強い者同士が闘えば、そうなるのもしょうがないと思います」

近藤のコメント

「課題が残る試合だったと思います。ただ、相手がグラウンドへ引き込んでくることに対する自分の守りというのは、進歩しつつあるなぁっていう手応えを感じました。（世界の強豪との対戦が続いていることに関しては？）恵まれていると思います。（ＵＦＣは？）組まれたらやるだけです」

▲フィリョの戦法は、タックルでテイクダウンを奪い、インサイドガードからのパンチを打っていくというものだった。近藤の打撃を警戒し、スタンドでの闘いを避けたのだ

▲近藤は下からの足関節も試みた

★第9試合/メインイベント（5分3R）
○パウロ・フィリョ（3R判定3-0）近藤有己●
＜ブラジリアン・トップチーム＞　＜パンクラス・東京＞
※採点…30-28、30-29、30-29

脅威!! 最強集団トップチーム!!

技術的な進歩も見られたが………

◀セコンドに付いたブラジリアン・トップチームの面々が大騒ぎで、フィリョを祝福！

▲スタンドでの攻防を嫌い、立ち上がらないフィリョに、会場からは激しいブーイングが浴びせられた

▲なんとか下のポジションから脱出できたのは成長のあと。さらに、フィリョのタックルに合わせて得意の飛びヒザ蹴り！

『ＵＦＣ32』で、ウラジミール・マティシェンコに何もできずに敗れた近藤。ズバリ言って、崖っぷちである。入場時の顔は、相変わらず闘争心がまるで見えず、癒し系の入場曲ですら、悲しい音楽に聞こえてしまうのは、今の近藤の立場を如実に表している。

そんな崖っぷち状態にもかかわらず、今回、『ＤＥＥＰ２００１』のメインで闘うのは、ブラジリアン・トップチームのパウロ・フィリョという実力者。「鬼か！」と言ってしまいたくなるような、尾崎社長と佐伯代表の仕打ちであるが、これはある意味、近藤にとっては、再浮上のチャンスだ。

現在のパンクラスは、美濃輪と、菊田という2人が引っ張り、エース争いの最前線にいる。この輪の中に近藤が再び加わるには、今回の試合は絶対に勝たなければならない。まして、メインイベントというのは格好の舞台だ。

しかし、フィリョは、小柄で可愛らしい顔とは裏腹に、甘い相手ではなかった。完全に得意の打撃を封じられ、グラウンドで抑え込まれっぱなし。このまま、成す術なしかと思われた。

だが、やはりかつては、エースと呼ばれた男である。最後の最後で、抑え込まれた状態から脱出し、スタンドで飛びヒザ蹴りを見せるなど、見せ場を作った。が、いかんせん差が付きすぎ。結局は判定負けである。

それでも、技術的な面で進歩を見せられたのは大きな収穫だ。たしかに痛い1敗だが、エース返り咲きの光明は、わずかながら見せた近藤であった。

（小松）

『完敗ですわ』

村浜、ホーキの巧さにお手上げ。打撃完封され、十字で一本負け

▶ホーキの予想以上の巧さ＆速さのタックルであっさりテイクダウンを許してしまった村浜は、「あんなにキレイに取られるとは思わなかった。ビックリしました」と舌を巻いた

▲師匠アンドレ・ペデネイラスに肩車をされ勝利を喜ぶホーキ。村浜曰く「ＶＴだったら、ホイラーより上」のホーキは、間違いなく世界トップクラスの実力者と言えるだろう

▲防戦一方ながら、１Ｒ４分過ぎまでなんとかホーキの執拗なグラウンド攻撃を凌いだ村浜だったが、パンチと極めの両方でじりじりと攻め込まれ、最後は腕ひしぎ十字固めを極められてたまらずタップ

アリ地獄にハマったアリと言ったらいいだろうか。開始早々、エンジンのかからないうちに、ホーキの絶妙なタックルでテイクダウンされた村浜は、その後の約４分間、守ること以外まったく何もできないままだった。まるで、すり鉢状のアリ地獄の巣をずり落ちていくように、ホーキペースで試合は進められ、村浜は一度のチャンスも得ることなく、ズルズルとすり鉢の一番下まで滑り落ちてしまったのだ。もちろん、そうなればもう体液を吸われて仕留められるだけ。最後は完璧な十字固めに極められ「ジ・エンド」である。「完敗です。悔しくないッスわ、あんまり。寝技巧すぎて歯が立たなかったですわ」。試合後のインタビューを、村浜は半ば呆れ顔でこう切り出した。しかし、最後には「やることやって負けたらしょうがないけど、やることやってないですからね。もっともっと練習しないと」と悔しげな表情に変化。これが格闘家・村浜の偽らざる心境だろう。（林）

★第8試合/セミファイナル（5分3R）
○ジョン・ホーキ（1R4分29秒、腕ひしぎ十字固め）村浜武洋●
<ノバ・ウニオン> <大阪プロレス>

ノゲイラ兄弟は弟も強え〜！教科書どおりに十字で一本

▲試合後。セコンドについた兄・アントニオ＆マリオ・スペーヒーと。グレイシーを超える最強軍団は、さらにパワーアップしていくのか

リングス時代のアントニオ・ノゲイラの試合を見て「なんかセコンドにそっくりのヤツがいるなぁ」と思った人は多いのでは？ 実は似ていて当たり前、ノゲイラの双子の弟だったのだ。今大会で、その〝ノゲイラ弟〟ホジェリオが日本初ファイトを行った。相手は修斗でも活躍した藤井克久。ここ一番で結果を出せていないが、一緒に練習した選手の話を聞くとかなり自力があるという。しかし、そんな藤井をホジェリオは圧倒してしまった。「トップチームのみんなと一緒だったから家で闘ってるようなもんだった」というホジェリオは、タックルでテイクダウンし、パンチを連打、パスガードしてサイドから上四方固めと教科書どおりの動きをサクサクと決めていく。最後も、兄の「フィニッシュまで持っていけ。極めろ！」という声に従って十字で一本勝ち。兄に比べて体は細いが、実力はやっぱりホンモノだった。ノゲイラ・ツインズよ、ＶＴ界のファンクスになれ！（橋本）

▲試合展開はワンサイド。テイクダウンからパスガード、そして関節技とキッチリ藤井を仕留めた

▲藤井克久と日本初ファイトを行ったホジェリオ・ノゲイラ。あのアントニオ・ノゲイラの双子の弟だ

★第6試合（5分3R）
○ホジェリオ・ミノトゥロ・ノゲイラ（1R3分59秒、腕ひしぎ十字固め）藤井克久●
<ブラジリアン・トップチーム> <フリー>

DEEP INTERNATIONAL 2001 in YOKOHAMA 8.18★横浜文化体育館

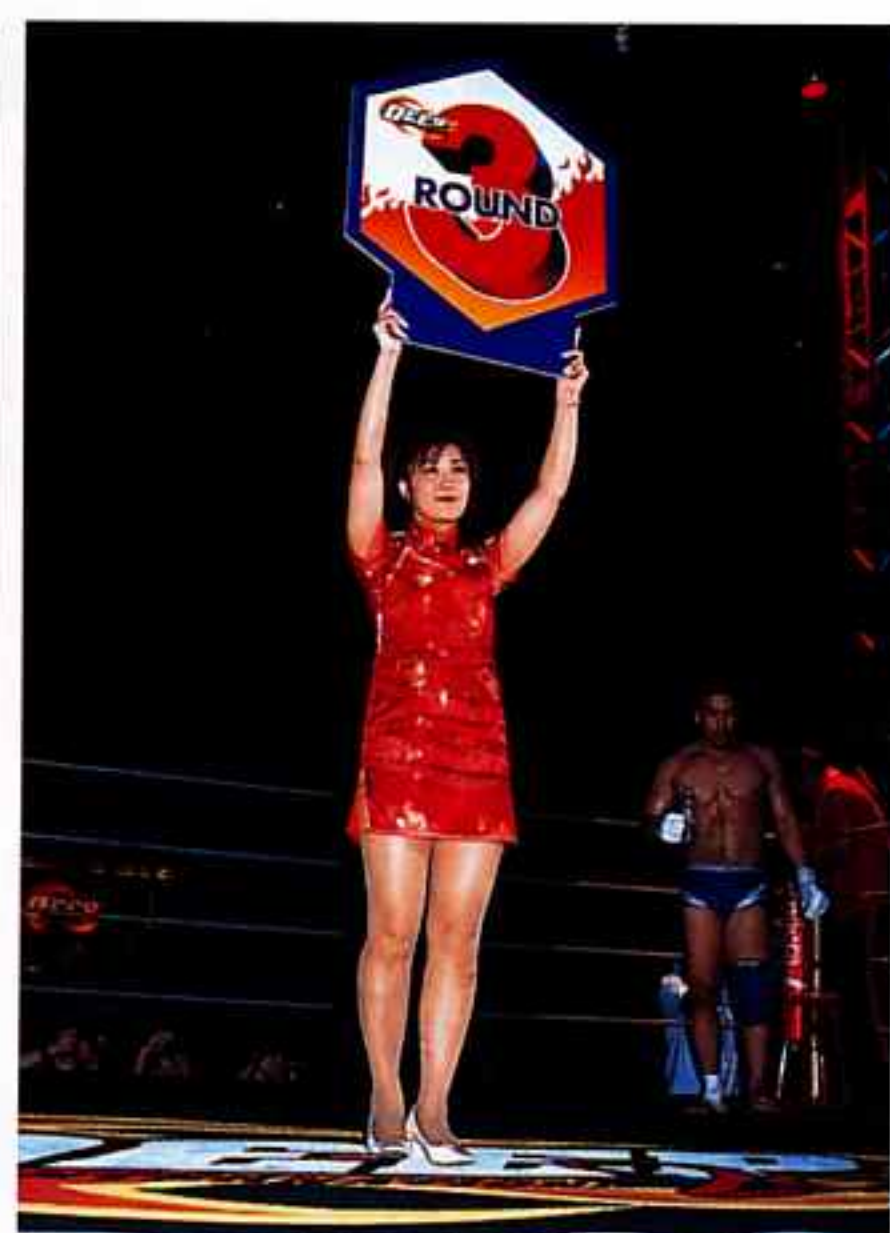
窪田VS上山、またもドロー

▲〈第２試合〉第１会大会で行われ、引き分けに終わった窪田幸生（パンクラス・横浜）と上山龍紀（U-FILE CAMP）の再戦は、攻守が目まぐるしく変わる互角の展開で、またしてもドロー。ちなみに前回はグラウンドでの顔面パンチなし、時間切れ＝ドローのルールだったが、今回はグラウンドパンチ、判定ともにありだった

アメリカ人柔術家の寝技テクに郷野聡寛がタジタジ……

▲〈第４試合〉フリーとなって２戦目の郷野聡寛（グラバカ）が対戦したのはダスティン・デニス。デニスはアメリカ人ながらブラジリアン・トップチームで修行を積む柔術家で、これが初ＶＴながら多彩な寝技のテクニックを披露。１Ｒ、いきなり三角絞めを極めかけるなど（郷野はそのまま持ち上げ、マットに叩きつけて脱出）、下からアグレッシブに攻めて郷野を苦しめた

▲判定はドローだったが、持ち味を出せていたのは完全にデニスのほうだった。「あれが今のボクの力。終わった時点でボクの負けです」と郷野

▲今大会のラウンドガールは、工藤めぐみと府川唯未の元・女子プロレスラー２人が務めた。コスチュームは「横浜といえば中華街」という佐伯代表のアイディアでチャイナドレス。残念ながら（？）１Ｒ決着が多く、出番は少なめ……

次回は12・16両国！ 大物外国人の参戦、そしてみのるVS田村は実現するのか？

好試合が続出し、前回以上の成功を収めたと言っていい『DEEP2001』。次回の大会は12月16日（日）、両国国技館での開催が決定している。佐伯繁代表によれば、「日本人対決を中心にしたい」。となるとまず気になるのが、噂される鈴木みのるVS田村潔司戦だが……。「これから調整しなければいけないんですが、田村選手に出場のオファーは出します」とのこと。果たして実現されるのか？　できればUWFルールでお願いしたいところだが。また、第１回大会で村浜VSホイラー、今回はルチャ勢出場と大胆なマッチメイクがウリの『DEEP』、次回も"隠し玉"が用意されているようだ。「某大物外国人を連れてきます」と佐伯代表。今度は誰だ？

坂田亘、リングス離脱後の初戦を飾る

▲〈第５試合〉リングスを離脱して自らの道場『EVOLUTION』を立ち上げた坂田亘。今回はアメリカのエイドリアン・セラーノを下した。アキレス腱固めの体勢からカカトでセラーノの顔面を蹴ると、これがモロに目にヒット。セラーノは負傷により１Ｒが終了した時点でレフェリーストップとなった

▶フリー初戦を白星で飾った坂田だが、「素直には喜べないですね。もっとやりたいことがあったのに」と納得のいかない表情。坂田のセコンドには髙阪剛がついていたが、これは会場で話をするうちにそういう流れになったという

※バトル・プレイス＆グレート・アントニオのみの限定販売

橋本真也

★VIVA 破壊王Tシャツ
（白／サイズXS・M・L・XL）
¥3,500（税別）

★時はきたTシャツ
（黒／サイズXS・M・L・XL）
¥3,500（税別）

アントニオ猪木

★猪木軍団応援Tシャツ
（白／サイズXS・S・M・L）
¥4,000（税別）

NEW

★猪木顔面Tシャツ
（白／サイズXL・L・M）
¥3,500（税別）

グレートアントニオ 誌上通販

★ファスティング・ダイエット
¥18,000（税別）

※我らがアントンがヘビーユーザーで、小川直也や佐竹雅昭も肉体改造に成功してから、その名を一躍世に知らしめた『ファスティング・ダイエット』。80種類の野草野菜を使って作られた発酵野菜ジュース3日分が1セットになっている。このジュースを飲みながら断食をすると、平均5キロの減量が可能。しかも体内の老廃物も取り除きます。ぜひ『ファスティング・ダイエット』をお試しください！夏はもう来た！

★（株）猪木事務所キャップ
¥2,800（税別）

★（株）猪木事務所Tシャツ
（黒・赤・白／サイズL・M）
¥3,500（税別）

★闘魂お守り
（赤・ネイビー）
¥1,000（税別）

★INOKIキャップ
（黒・ライトグレー）
¥3,500（税別）

浅草キッド

NEW

★浅草キッドTシャツ(ver.1)
（デザインカラー黒or赤／サイズXS・S・M・L）
¥3,500（税別）

※4/1～8/31までの『グレート・アントニオ』限定販売

★アントニオ猪木×ザ・ハイロウズTシャツ
（白／サイズS・XS）¥2,800（税別）

アレクサンダー・カレリン

※オレンジはSサイズはありません。

★"ハロー・シドニー!!"Tシャツ（ベージュ・オレンジ／サイズXL・L・M・S）
¥4,000（税別）

★"カレリンズ・リフト"Tシャツ
（白／サイズXL・L・M・S）
¥4,000（税別）

安田忠夫

★ヤスベガスTシャツ
（白／サイズXL・L・M・XS）¥3,000（税別）

桜庭和志

FRONT　BACK

★SAKUキーホルダー
¥800（税別）

★工作キットSAKUベルト
（本物と同じサイズ＆段ボール製）　¥2,500（税別）

http://www.great-antonio.jp

大山峻護

★ｅＴシャツ
（白／サイズＬ・Ｍ・Ｓ）　￥3,500（税別）

★とうふパンＴシャツ
（黒・緑／サイズＬ・Ｍ・ＸＳ）　￥2,800（税別）

★一番Ｔシャツ
（白×オレンジ・白×黒・黒
サイズＸＬ・Ｌ・Ｍ・ＸＳ）　￥3,500（税別）

小川直也

★オーチャンＴシャツⒶ
（黒／サイズＬ・Ｍ）
￥3,500（税別）

★オーチャンＴシャツⒷ
（ラグラン／サイズＬ・Ｍ）
￥3,500（税別）

髙田延彦

★アイ・アム・プロレスラーＴシャツ
（白／サイズＬ・Ｍ・Ｓ）￥3,800（税別）

★（株）猪木事務所マグカップ
￥1,500（税別）※グレート・アントニオロゴ入り

★（株）猪木事務所
アッシュトレー
￥1,000（税別）

ご注文方法

01 ご注文は電話受付のみです。

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル
☎(0570) 007800
※携帯電話からは掛かりません。
☎(03) 3295-4450
※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日～土曜日　AM10:00～PM6:00

02 商品お渡し方法

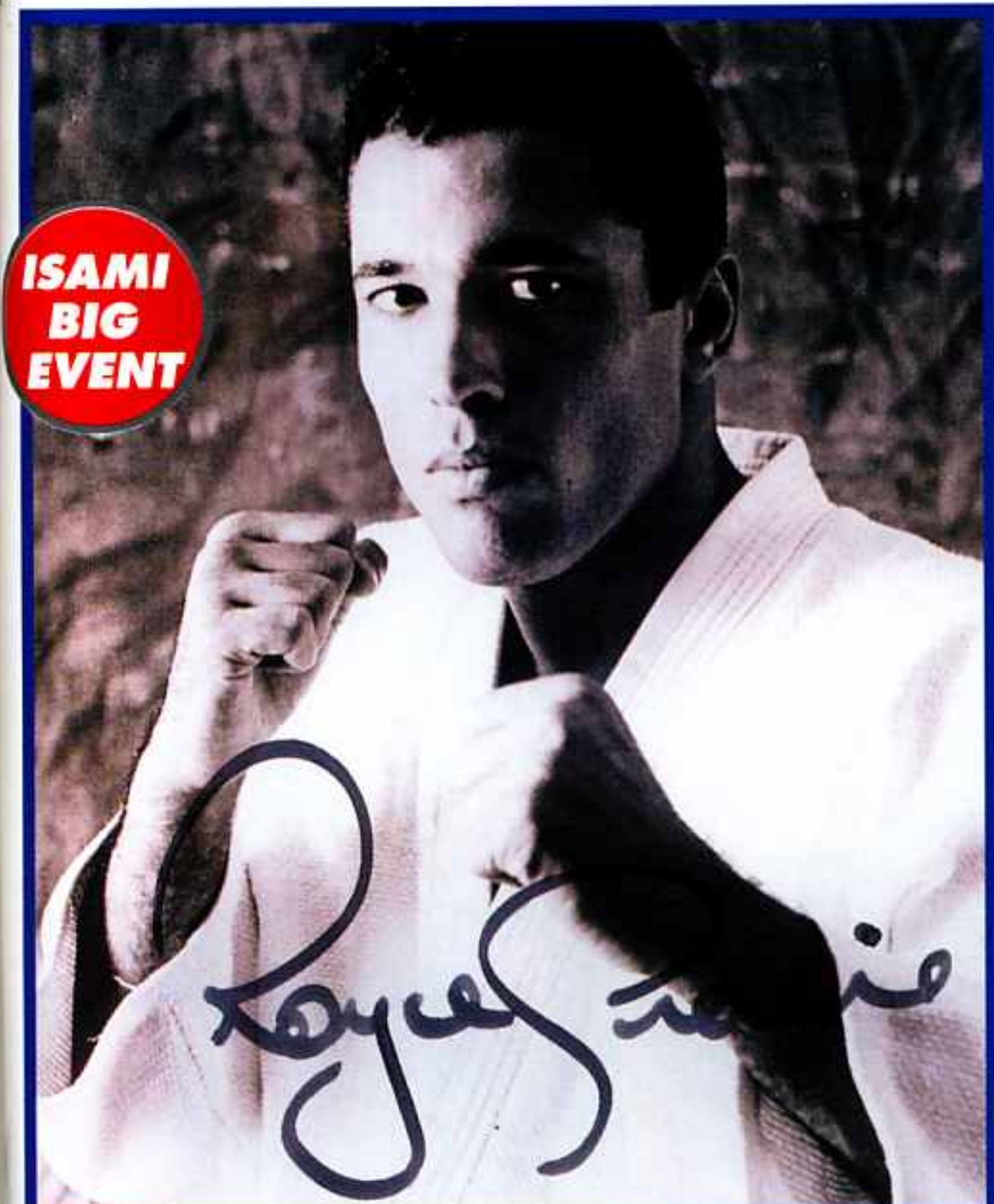
代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

03 ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

http://www.great-antonio.jp

ご注文は▶TEL.0480-24-0711 フリーダイヤル FAX 0120・110・666 24時間受付
●商品のお問合せ、返品・交換の受付時間／平日9:00〜17:00

ISAMI BIG EVENT

ついに東京イサミがサイン会を開催！
記念すべき第1弾は、なんと
ホイス・グレイシー
来たる9月9日(日)に東京イサミ(新宿)にて、ホイス・グレイシーのサイン会をおこないます。

[日　時] 2001.9.9(日) PM5:00〜7:30
●事前に東京イサミで、グレイシーギアTシャツかイサミ商品をご購入されたお客さまに整理券をお渡しします。
●当日は各種Tシャツ、色紙、ホイス・グレイシーphotoなどの販売や、ポラロイドでの撮影会も予定しています。

ヒクソングレーシー
送料各¥600

ツートンTシャツ
RG-041
¥1,900
●カラー：黒／白・赤／白・紺／白
●サイズ：M・L
●素材：綿100%
※オレンジ、ターコイズは、取扱っていません。

切替えロゴTシャツ
RG-118
¥1,900
●カラー：青・赤・白
●サイズ：L・XL
●素材：綿100%
※ベージュは、取扱っておりません。

抜き染め和柄Tシャツ
RG-144
¥2,900
●カラー：黒・赤
●サイズ：L・XL
●素材：綿100%

RICKSON GRACIE

革製キックミット
CKW-12
1ケ¥4,800 送料600円
長さ43x幅23x厚さ10cm
重さ1.5kg ベルト調節可能
●中国製

ペアキックミット
CKW-5
¥4,980 送料600円
サイズ：長40cmx巾20cmx厚8cm
重さ：(片方)350g
☆携帯の便利なメッシュバッグに入った2個組のキックミット。
☆軽量になっているので子供用にも最適。
●中国製

メディシンボール
CN-3K ¥3,200 送料 600円 直径約23cm
CN-5K ¥5,500 送料800円 直径約27cm
CN-7K ¥6,500 送料1,000円 直径約27cm
☆ゴム製なので持ち易く、滑りにくい構造。
●中国製

ボクシングマン
PM-1
¥26,000 送料各¥1,500
●サイズ(土台部分)／直径55x高さ60cm
●重量／18kg(水を入れた時：130kg)
●3段階調節可能(高さ160〜195cm)
●台湾製
※写真と実際の商品は一部形態が異なります。

スタンドバック
KM-30 重さ：15kg
●台湾製
色／黒x赤
4段階調節可能(130cm〜175cm)
¥19,800
送料1,500円
水を入れた時の重さ：130kg

ブラックデビル イヤーガード
JB-21(柔術用)
¥3,800 送料¥600
サイズ：フリー
NEW

WEIGHT WRIST&ANKLE
ウエイトリスト&アンクル
SUN-4 手首、足首どちらにも使用できます。
5ポンド ¥2,000
送料¥600 左右1組 ●中国製

マウスピース
(ケース付き) US-120
¥1,200 送料600円
●アメリカ製
●色：イエロー・レッド・ブラック・ブルー・クリアー

HAND GRIP
ハンドグリップ
SUN-3
¥1,800 送料600円
●1〜6段階、負荷調節可能
最大負荷：30kg ●中国製

WRIST TRAINER
リストトレーナー
SUN-2
¥3,500
●1〜6段階、負荷調節可能
最大負荷：30kg
送料¥600 ●中国製

WEIGHT GLOBE
ウエイトグローブ
SUN-5
●中国製
5ポンド ¥2,500 送料¥600 左右1組
10ポンド ¥3,000 送料¥800 左右1組

武道・トレーニング用品の総合メーカー
株式会社イサミ(SRS)係
〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2
TEL.0480-24-0711(代) FAX.0480-24-0713

注文受付時間	
平日	9:00〜21:00
土・日・祝日	9:00〜18:00

★総合カタログご希望の方は切手¥160分をご送付下さい。

イサミの商品は、通信販売の他、お近くの代理店でも、お求めいただけます。
●(株)建武堂(東京池袋)…TEL 03-3986-5255
●尚武堂産業(東京水道橋)……TEL03-3815-0411
●神奈川八光堂(横浜市)……TEL045-261-6834
●赤心堂(大阪市難波・東大阪市)…TEL06-6649-7111
●(株)公武堂(名古屋市)……TEL052-241-2511
●林藤武道具(石川県金沢市)……TEL0762-52-2220
●(有)東京武道具(札幌市)……TEL011-241-6345
●(株)いさご武道具(仙台市)……TEL022-262-2562
●(株)マルシン(京都市)……TEL075-841-1523
●(株)三恵(長崎県諫早市)……TEL0957-22-5210
●ケイ・ワールド(札幌市)……TEL011-818-7885

取扱店
◆正春武道具(株)(京都市)……TEL0757-51-0219
◆鍾成堂(宮崎県日向市)……TEL0982-53-5744
◆成松武道具(福岡県飯塚市)……TEL0948-22-2593
◆北九州武道具(有)(北九州市)……TEL093-521-5723
◆九州武道具(株)(久留米市)……TEL0942-33-5927
◆展武堂(横須賀市)……TEL0468-51-0412
◆(有)鈴江武道具店(徳島市)……TEL0886-31-8268
◆山迫武道具店(岡山市)……TEL086-225-5471

ご注文方法
代引	TEL又はFAXにてご注文下さい。お支払いは商品到着時に配達員へお支払い下さい。商品代金+送料+代引手数料+消費税
現金書留	TELにてお問い合わせの上、注文書と商品代金+送料+消費税をご送金下さい。
カード	TELにてご注文下さい。合計¥10,000よりご利用できます。合計¥20,000より2回払いも承ります。
分割	合計¥50,000よりご利用できます。詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

セントラルファイナンス

ご注意
★沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合わせ下さい。
★代引手数料
総額 ¥10,000未満→ ¥300
総額 ¥30,000未満→ ¥400
総額 ¥100,000未満→ ¥600
総額 ¥100,000以上→ ¥1,000
★表示の価格及び送料には消費税が含まれておりません。
★万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換します。お客様ご都合による返品は未使用に限り可。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。その際の返送料はお客様負担となります。

ご使用いただけるカード
ディーシー ビザ マスター ミリオン ジェーシービー

最終セール

定価¥2,800
¥1,400
パンチンググローブ
品番:CPG-PU
COLOR/黒・赤
SIZE/フリー

定価¥3,800
¥1,980
オープンフィンガーグローブ
品番:CFG
COLOR/黒
SIZE/フリー

定価¥8,000
¥3,600
トレーニンググローブ
品番:CTG
COLOR/黒・赤
SIZE/16oz

定価¥9,000
¥3,800
スパーリンググローブ
品番:CSG
COLOR/黒
SIZE/16oz

最終セール!!

定価¥2,000
¥980
レッグサポーター
品番:CLG
COLOR/白
SIZE/フリー

定価¥4,800
¥2,400
ボディプロテクターベーシックモデル
品番:CBP-B
COLOR/黒
SIZE/フリー
超軽量型!

定価¥3,800
¥1,600
パーフェクトガード
品番:CL-1
COLOR/白・赤
SIZE/フリー
大人気レガース!!

定価¥6,500
¥3,200
純白フルコンタクト空手着
品番:CKT2
COLOR/純白
SIZE/4号・5号・6号
白帯付き!

定価¥1,500
¥700
ファールカップ
品番:CGG
COLOR/白
SIZE/フリー
もちろん洗濯OK!

定価¥4,800
¥2,800
レガースプロ
品番:CLG-P
COLOR/黒
SIZE/フリー

定価¥5,800
¥2,800
ヘッドガードDX
品番:CHG-DX
COLOR/黒・赤・白
SIZE/フリー
マスク取外しOK!

さらにパンチンググローブプレゼント!!

ズバリ 定価¥19,800
¥9,800
スタンディングバッグ
品番:CSTB
COLOR/黒
SIZE/40×180cm

定価¥2,400
¥1,200
ハイパーキックミット
品番:CK-H
COLOR/黒・青
抜群の感触!

定価¥1,000
¥500
拳サポーター
品番:CNG
COLOR/白
SIZE/フリー

定価¥5,800
¥1,800
ムエタイショーツ
品番:CMS
COLOR/A.B.C.D.E
SIZE/Mフリー

NEW

定価¥6,000
¥2,000
スーパーパンチングミット 両手1組
品番:CPM2
COLOR/青・赤
SIZE/フリー

全商品、売切れ御免!!

高級レザーサンドバック

定価¥15,800
¥6,400
サンドバッグ150B
品番:C150
COLOR/黒
SIZE/40×150cm

定価¥12,800
¥4,900
サンドバッグ130B
品番:C130
COLOR/黒
SIZE/40×130cm

定価¥9,800
¥3,400
サンドバッグ100B
品番:C100
COLOR/黒
SIZE/40×100cm

定価¥3,000
¥1,500
スーパーハードミット
品番:CK-S
COLOR/黒
売切れごめん!!

ズバリ 定価¥25,600
¥10,000
ファイティングフルセットF1
品番:CFS-F1
SIZE/150×150×215~235cm
ファイティングスタンド+サンドバッグ100B
+さらにパンチングボールつき!!

さらにパンチングボール付

ズバリ 定価¥28,600
¥10,800
ファイティングフルセットF2
品番:CFS-F2
ファイティングスタンド+サンドバッグ130B
+さらにパンチングボールつき!!

最終セール!!

ズバリ 定価¥31,600
¥11,500
ファイティングフルセットF3
品番:CFS-F3
ファイティングスタンド+サンドバッグ150B
+さらにパンチングボールつき!!

しょうもない猪木Tシャツを作り続けるヤツらも、叩き潰してやる!! いや、自滅してくれ!

たっつぁん万座ビーチ

読者プレゼント

【グレート・アントニオ提供】

祝・猪木軍団vsK－1開戦！
祝・シウバ&ハイアンTシャツ入荷！

●猪木軍団応援Tシャツ(ver.1)
(サイズ／XS・S・M・L)
3名様

●猪木軍団応援手ぬぐい
(8・19猪木軍団応援シート特典・非売品)
3名様

※この商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、またはhttp://www.great-antonio.jpまで

【M・D・K提供】

本人着用だけに作られた別注サイズ！ デカイ！

●アーツ"アムステルダム"Tシャツ
(サイズXL)
1名様

●フィリォ"DE フラメンゴ"Tシャツ
(サイズXXL)
1名様

※K-1グッズに関するお問い合わせは、M・D・K☎03-3796-2993まで

【ドリームステージエンターテインメント提供】

PRIDEグッズ、怒濤の新作ラッシュ！

●ボブチャンチンコットンバッグ
●藤田和之コットンバッグ
各2名様

●ゲーリー・グッドリッジTシャツ(ver.2)
(サイズM)
2名様

●ハンマーハウスTシャツ
(サイズL)
2名様

●PRIDE缶バッジ
2名様

※『プライド』グッズに関するお問い合わせは、(株)ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700、またはhttp://www.so-net.ne.jp/pride/まで

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由(複数可)
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由(複数可)
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先…〒101-0054 東京都千代田区神田錦町
3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁん万座ビーチ㊺』係まで
締め切り…9月13日(木)
当日消印有効

【FFF提供】

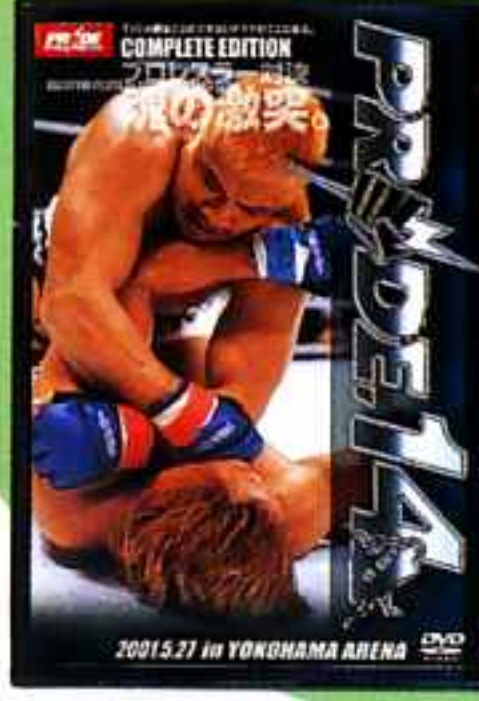
アナザー大山Tシャツ！

●大山峻護"AIMP"Tシャツ
(サイズS・M・L・XL)
2名様

※定価¥4,800。この商品に関するお問い合わせは、FFF☎03-5466-0271、またはmixed-up-confusion.comまで

【メディアファクトリー提供】

あの藤田vs高山戦をはじめとする
全9試合を完全収録！
選手の試合直後のコメントつき！

●DVD『PRIDE.14』
3名様

※収録時間130分、定価¥4,800(税別)。この商品に関するお問い合わせは、(株)メディアファクトリー☎03-5469-4880まで

たっつぁん万座ビーチ 応募券

SRSDX 9・13 No.53

藤田、安田敗れる!「猪木軍団vsK-1軍団」開戦
K-1ジャパンGP、極真のニコラス・ペタス優勝!

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年9月13日発行　第3巻・17号・通巻53号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号
定価680円 本体648円

雑誌21582-9/13　T1121582090681　Printed in Japan